

中野山遺跡
(第4・5・8～13次)
発掘調査報告

—四日市市北山町—

第二分冊

2022(令和4)年2月

三重県埋蔵文化財センター

凡 例

- 1 第二分冊に掲載の図版・表については、第一分冊掲載図表からの続き番号を付す。
- 2 遺構にかかる各一覧表については、以下のとおりとした。
 - ・グリッドについては当該遺構が存在するグリッドのうち、主なものを記載した。
 - ・遺構一覧表における「掲載図版」欄には、当該遺構および出土遺物が掲載される、本文編Ⅳ・Ⅴ章に掲載の図番を記載した。
 - ・規模の数値欄で「≦」は「以上」、() が付されているものは、推定規模を記す。
 - ・遺構一覧表にあげる主な遺物について、出土数1点は「片」、2～5点は「数点」、5点以上は「多数」と表記する。
 - ・本報告と調査時とで遺構の略称が異なるものは、調査時の略称を備考欄に記した。
 - ・遺構種別一覧の記載要領については、本文編凡例と同じとし、本文編凡例掲載の模式図も併せて参照されたい。
- 3 遺物観察表については以下のとおりとした。
 - ・実測番号は実測図作成時に各遺物の実測図に付与した整理番号である。
 - ・色調は小山正忠・竹原秀雄（編）『新版 標準土色帖』（1967年初版）日本色研事業株式会社に拠る。
 - ・土器等の残存度については、口縁部、底部等の復元径を12分割したうちの残存度を記す。口縁部と底部が遺存するものについては、基本的に口縁部の残存度を示した。「小片」としたものは、細片のため残存度が示せなかったものである。

目次 (第二分冊)

Ⅵ 自然科学分析	1
1 分析の目的	1
2 放射性炭素年代測定	(株式会社バレイオ・ラボ) 3
3 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定	(株式会社バレイオ・ラボ) 21
4 土器附着炭化物の炭素・窒素安定同位体分析	(株式会社バレイオ・ラボ) 25
5 出土石器の残存デンプン粒分析	(渋谷綾子) 28
6 中野山遺跡(第8・10～12次)出土滓の分析調査	(日鉄住金テクノロジー株式会社) 35
Ⅶ 調査のまとめ	48
1 遺構の分布状況と変遷について	(服部) 48
2 古墳時代後期から古代にかけての中野山遺跡とその変遷-近隣遺跡との関係を視座として-	(水橋) 67
3 中野山遺跡とその周辺遺跡における冶金活動	(大川) 83

図版目次 (第二分冊)

第257図 マルチプロット図(1)	(6)	第275図 梶形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(45)
第258図 マルチプロット図(2)	(7)	第276図 鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(46)
第259図 マルチプロット図(3)	(8)	第277図 梶形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(47)
第260図 暦年校正結果(1)	(15)	第278図 輝道付炉穴方位図	(56)
第261図 暦年校正結果(2)	(16)	第279図 古代竪穴建物平面形パターン模式図	(58)
第262図 暦年校正結果(3)	(17)	第280図 古代竪穴建物付帯施設位置略記号凡例	(58)
第263図 暦年校正結果(4)	(18)	第281図 時代別遺構分布図1	(61)
第264図 暦年校正結果(5)	(19)	第282図 時代別遺構分布図2	(62)
第265図 暦年校正結果(6)	(20)	第283図 時代別遺構分布図3	(63)
第266図 中野山遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真	(24)	第284図 時代別遺構分布図4	(64)
第267図 中野山遺跡(第5次)の試料	(26)	第285図 時代別遺構分布図5	(65)
第268図 炭素・窒素安定同位体比	(27)	第286図 時代別遺構分布図6	(66)
第269図 炭素安定同位体比とC/N比の関係	(27)	第287図 須恵器杯Hの法量変化	(68)
第270図 分析した中野山遺跡出土石器の例と検出された残存デンプン粒	(33)	第288図 中野山1期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器	(69)
第271図 デンプン粒の形態分類の基準と現生標本17属の形態分類図、および出土した石器から検出した残存デンプン粒の形態分類図	(34)	第289図 中野山2～5期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器	(70)
第272図 梶形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(42)	第290図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷1	(72)
第273図 鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(43)	第291図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷2	(73)
第274図 梶形鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A調査結果	(44)	第292図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷3	(74)

第 293 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 4	(75)
第 294 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 5	(76)
第 295 図	中野山遺跡と周辺遺跡の変遷 6	(77)
第 296 図	主な遺構の時期区分	(79)

第 297 図	遺跡の動向と暦年代観	(79)
第 298 図	冶金関連遺物の分布	(84・85)
付図	中野山遺跡調査区全体図	

表目次 (第二分冊)

第 3 表	自然科学分析試料一覧 (1)・(2)	(1-2)
第 4 表	測定試料および処理 (1)～(3)	(9-11)
第 5 表	放射性炭素年代測定および暦年校正の結果 (1)～(3)	(12-14)
第 6 表	中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果	(21)
第 7 表	中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果一覧	(23)
第 8 表	測定結果	(25)
第 9 表	第 4 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)
第 10 表	第 5 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)
第 11 表	第 9 次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数	(31)
第 12 表	石器から検出した残存デンプン粒	(32)
第 13 表	供試材の履歴と調査項目	(41)
第 14 表	供試材の化学組成	(41)
第 15 表	出土遺物の調査結果のまとめ	(41)
第 16 表	三重県内煙道付炉穴調査遺跡一覧表	(55)
第 17 表	煙道付炉穴方位別一覧表	(56)

第 18 表	煙道付炉穴場所別方角・形状・規模一覧表	(57)
第 19 表	縄文時代場所別遺構数一覧表	(57)
第 20 表	弥生時代場所別遺構数一覧表	(58)
第 21 表	古代堅穴建物カマド位置一覧表	(58)
第 22 表	古代場所別遺構数一覧表	(59)
第 23 表	朱書土器出土遺跡一覧表 (1)・(2)	(59・60)
第 24 表	遺構一覧表 (1)～(13)	(87-99)
第 25 表	煙道付炉穴一覧表 (1)～(3)	(100-102)
第 26 表	集石坪一覧表 (1)・(2)	(102・103)
第 27 表	弥生時代堅穴建物一覧表	(103)
第 28 表	弥生時代掘立柱建物一覧表	(103)
第 29 表	古代堅穴建物一覧表 (1)～(3)	(103-105)
第 30 表	古代土坑一覧表 (1)・(2)	(105・106)
第 31 表	古代掘立柱建物・柱列一覧表 (1)～(5)	(107-111)
第 32 表	遺物観察表 (1)～(33)	(112-144)

写真図版目次

遺構写真

写真図版 1	(147)
第 4 次調査区調査前 (西から)		
第 4 次調査区全景 (北から)		
写真図版 2	(148)
第 5 次北調査区 (東から)		
第 8 次調査区 (西から)		
写真図版 3	(149)
第 10 次南調査区から北調査区 (南西から)		
第 9 次調査区 (東上空から)		
写真図版 4	(150)
S H 1013・1025・1012・1009 (東から)		
S H 1013 (東から)		

写真図版 5	(151)
S H 1009 (北から)		
S H 1025・1012・1009 (南から)		
第 4 次調査区北西隅 (東から)		
写真図版 6	(152)
S F 1003・1004 (東から)		
S F 1015 (北東から)		
S F 1016・1022 (北東から)		
写真図版 7	(153)
S F 1114・1115・1116・1125 (東から)		
S F 1402 (南東から)		

写真図版 8	154	写真図版 22	168
S F 1405 (南西から)		S H 1104 (南から)	
S F 1405 (南西から)		S K 1311 (南から)	
S F 1410・1419 ~ 1424・1434・1457・1458・1499 (東から)		写真図版 23	169
写真図版 9	155	S K 1657 (南から)	
S F 1421 ~ 1424・1457・1458・1499 (南から)		S X 1109 遺物出土状況 (南から)	
S F 1421 (北から)		写真図版 24	170
写真図版 10	156	S X 1109 遺物出土状況 (南から)	
S F 1421・1457・1458・1499 (南西から)		S X 1118 遺物出土状況 (東から)	
S F 1423・1424 (北東から)		写真図版 25	171
写真図版 11	157	S X 1517 遺物出土状況 (北から)	
S F 1425 (南から)		S X 1590 遺物出土状況 (南から)	
S F 1425 (南西から)		写真図版 26	172
写真図版 12	158	S H 1333 (北西から)	
S F 1478 (北東から)		S H 1444 (北西から)	
S F 1484・1478 (北から)		写真図版 27	173
写真図版 13	159	S H 1639 (南から)	
S F 1484 (北から)		S H 1639 遺物出土状況 (北東から)	
S F 1594 (南西から)		写真図版 28	174
写真図版 14	160	S H 1644 ~ 1646 (北東から)	
S F 1023 検出状況 (南から)		S H 1645 遺物出土状況 (南から)	
S F 1023 (東から)		写真図版 29	175
写真図版 15	161	S H 1646・1677 (南西から)	
S F 1404 礫出土状況 (西から)		S H 1646 遺物出土状況 (東から)	
S F 1404 (南東から)		S H 1646 遺物出土状況 (南西から)	
写真図版 16	162	写真図版 30	176
S F 1506 底石出土状況 (北東から)		S H 1647 (北から)	
S F 1506 (東から)		S H 1661 (南から)	
写真図版 17	163	写真図版 31	177
S F 1514 底石出土状況 (南から)		S H 1683 (北から)	
S F 1514 (南から)		S B 1643 (南から)	
写真図版 18	164	写真図版 32	178
S F 1546 検出状況 (西から)		S H 1011 (南から)	
S F 1570 底石出土状況 (南西から)		S H 1011 貼床下土坑 (南から)	
写真図版 19	165	写真図版 33	179
S F 1584 炭化物出土状況 (南から)		S H 1057・S K 1061 (北から)	
S F 1585 底石出土状況 (南から)		S K 1043・S H 1044・S B 1070 (南西から)	
写真図版 20	166	写真図版 34	180
S F 1629 断面 (西から)		S H 1063 (西から)	
S F 1629 (西から)		S H 1164 (北西から)	
写真図版 21	167	写真図版 35	181
S H 1103 遺物出土状況 (南から)		S H 1313 (北西から)	
S H 1103 (南から)		S H 1318 (南西から)	

写真図版 36	182	写真図版 50	196
S H 1318 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1650 カマド (南西から)	
S H 1320 (南東から)		S H 1651 (南西から)	
写真図版 37	183	写真図版 51	197
S H 1321 (南東から)		S H 1663 (南から)	
S H 1322 (南から)		S H 1664 カマド (西から)	
写真図版 38	184	写真図版 52	198
S K 1325 遺物出土状況 (東から)		S H 1672 (南東から)	
S H 1436 (南から)		S H 1672 カマド (南東から)	
写真図版 39	185	写真図版 53	199
S H 1438 (南から)		S H 1675・1676 (南から)	
S H 1438 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1675 カマド (南西から)	
写真図版 40	186	写真図版 54	200
S H 1450 (南から)		S H 1676 カマド (西から)	
S H 1450 北東土坑遺物出土状況 (北から)		S H 1681・1682 (南東から)	
写真図版 41	187	写真図版 55	201
S H 1446 (西から)		S H 1682 カマド (北から)	
S H 701 (南西から)		S H 1805 (北から)	
写真図版 42	188	写真図版 56	202
S H 1562 (南西から)		S H 1805 貯蔵穴遺物出土状況 (南東から)	
S H 1562 カマド遺物出土状況 (南から)		S H 1808 (南東から)	
写真図版 43	189	写真図版 57	203
S H 1606 (南西から)		S H 1813 (北から)	
S H 1714 (北から)		S H 1813 カマド遺物出土状況 (西から)	
写真図版 44	190	写真図版 58	204
S H 1607 (西から)		S H 1814 (北東から)	
S H 1617 (南から)		S H 1814 貯蔵穴遺物出土状況 (南西から)	
写真図版 45	191	写真図版 59	205
S H 1624 (西から)		S H 1814 カマド (北東から)	
S H 1624 カマド (西から)		S H 1818 (南東から)	
写真図版 46	192	写真図版 60	206
S H 1628 (南から)		S H 1818 カマド遺物出土状況 (南東から)	
S H 1628 カマド (西から)		S H 1818 貯蔵穴遺物出土状況 (南東から)	
写真図版 47	193	写真図版 61	207
S H 1631 (南から)		S H 1820 (南東から)	
S H 1631 カマド (南から)		S H 1820 カマド遺物出土状況 (南から)	
写真図版 48	194	写真図版 62	208
S H 1648・1649・1662・1678 (南から)		S H 1831 (南から)	
S H 1648 カマド (南から)		S H 1831 貯蔵穴遺物出土状況 (南から)	
写真図版 49	195	写真図版 63	209
S H 1649 カマド (北から)		S H 1832 (南から)	
S H 1650 (西から)		S H 1832 カマド東土坑遺物出土状況 (南から)	

写真図版 64	(210)	写真図版 78	(224)
S H 1834 (南東から)		S B 1614 (南から)	
S H 1834 カマド遺物出土状況 (東から)		S B 1620・1621 (南から)	
写真図版 65	(211)	写真図版 79	(225)
S B 1045 (東から)		S B 1626 (南から)	
S B 1065 (北から)		S B 1632 (西から)	
写真図版 66	(212)	写真図版 80	(226)
S B 1066 (北西から)		S B 1636 (南から)	
S B 1067 (北東から)		S B 1642 (南東から)	
写真図版 67	(213)	写真図版 81	(227)
S B 1069 (北西から)		S B 1665 (西から)	
S B 1187 (西から)		S B 1667 (北から)	
写真図版 68	(214)	写真図版 82	(228)
S B 1188 (北から)		S B 1691・1697 (南西から)	
S B 1188・1193 (西から)		S B 1801 (西から)	
写真図版 69	(215)	写真図版 83	(229)
S B 1192 (西から)		S B 1812 (南から)	
S B 1201 (南東から)		S B 1817 (南東から)	
写真図版 70	(216)	写真図版 84	(230)
S B 1309 (北西から)		S B 1822・1824・1845 (西から)	
S B 1317 (北西から)		S B 1825 (南から)	
写真図版 71	(217)	写真図版 85	(231)
S B 1328 (北東から)		S B 1826 (東から)	
S B 1426 (南東から)		S B 1829 (南東から)	
写真図版 72	(218)	写真図版 86	(232)
S B 1440 (東から)		S K 1051 (東から)	
S B 1443 (南から)		S K 1052 (北から)	
写真図版 73	(219)	写真図版 87	(233)
S B 1504 (南東から)		S K 1161 (北東から)	
S B 1557 (北東から)		S K 1165 (北から)	
写真図版 74	(220)	写真図版 88	(234)
S B 1571 (西から)		S K 1167 (北から)	
S B 1574 (西から)		S K 1206 (南から)	
写真図版 75	(221)	写真図版 89	(235)
S B 1575 (東から)		S K 1323 遺物出土状況 (南から)	
S B 1576 (北から)		S K 1323 遺物出土状況 (南から)	
写真図版 76	(222)	S K 1427 (南から)	
S B 1704 (東から)		写真図版 90	(236)
S B 1708 (北西から)		S K 1442 遺物出土状況 (南東から)	
写真図版 77	(223)	S K 1503 (南から)	
S B 1604・1619 (東から)		写真図版 91	(237)
S B 1613 (南から)		S K 1509・1510 (東から)	
		S K 1520・1526 (東から)	

VI 自然科学分析

1 分析の目的

中野山遺跡における自然科学分析は、第3表にある65遺構からの採取試料について行った¹⁾。

分析は、放射性炭素年代測定、樹種同定、炭素・窒素安定同位体分析、残存デンプン粒分析、出土層分析を実施した。

放射性炭素年代測定 遺構の時期を推定および暦年

代の推定値を得ることを目的に、煙道付炉穴から採取した炭化物、土器付着の炭化物、時期決定可能な共存遺物がなかった焼成遺構（SF1212）の炭化材について放射性炭素年代測定を行った。

樹種同定 煙道付炉穴、古代堅穴建物、中世墓出土の各炭化材について樹種の同定を試みた。選定樹種の用途および遺跡周辺の植生検討の手がかりを得ることを目的として行った。放射性炭素年代測定を

第3表 自然科学分析試料一覧（1）

遺構	階位等	時代	試料No. AMS測定No.	報告 No.	種別*	分析種別					備考			
						C14	樹種	炭素 窒素	共存デ ンプン	漆				
SF1005	2層（東側）		試料No.1 PLD-21563		炭化材	1								
SF1008	4層	縄文	試料No.2・3		炭化材		2					コナラ 楓 コナラ 節, タリ		
			NTY-SRP20	38	石器 磨石				2			燧石1 A II		
SH1009		縄文	NTY-SRP7	5	石器 石皿					2		石皿2 A I, A II		
			NTY-SRP27	4	石器 石皿					3		石皿12 D		
			NTY-SRP29	3	石器 磨石						2		石皿13	
			NTY-SRP6	147	石器 石皿						4		石皿1	
SF1010	2層	縄文	試料No.4・5		土サンプル		2					タリ		
SH1013		縄文	NTY-SRP28	17	石器 磨石					2		燧石4 D		
SF1015	4層	縄文	試料No.6 PLD-19852		炭化材	1	○						燧石1	
			NTY-SRP26	39	石器 石皿					3			石皿11	
SF1016	6層目（3層目）	縄文	試料No.7 PLD-19853		炭化材	1	1						タリ	
SF1018	4層①	縄文	試料No.8 PLD-19854		炭化材	1	1						コナラ 楓 コナラ 節	
			試料No.9		炭化材		1							タリ
SF1019		縄文	NTY-SRP19	54	石器 石皿					2			石皿7	
SF1022	3層 3層	縄文	試料No.10 PLD-19855		炭化材	1	1						タリ	
			試料No.11		炭化材		1							コナラ 楓 コナラ 節
			NTY-SRP14	189	石器 石皿					4			石皿4 A III	
			NTY-SRP18	155	石器 磨石						2			燧石1
			NTY-SRP21	156	石器 燧石							2		燧石1
			NTY-SRP24	157	石器 石皿							2		石皿9 A III
SF1023	4層	縄文	試料No.12 PLD-19856		炭化物遺体	1								
SF1024		縄文	NTY-SRP23	55	石器 磨石					2			磨石2	
SH1025		縄文	NTY-SRP8	25	石器 石皿						3		燧石1 A II, A III, D	
			NTY-SRP9	26	石器 磨石						3		石皿3	
			NTY-SRP16	28	石器 磨石						2		石皿6	
			NTY-SRP15	71	石器 石皿						4		石皿5	
SF1030	4層①	縄文	試料No.13 PLD-19857		炭化材	1	1						タリ	
			試料No.14		炭化材		1							タリ
			NTY-SRP17	73	石器 燧石						2		燧石2	
			NTY-SRP22	74	石器 石皿							2		石皿8
			NTY-SRP30	72	石器 磨石							2		磨石3
SF1062	3層（西側） 墓上No.① 3層（西側） 墓上No.②	縄文	試料No.15 PLD-19851		炭化材	1	○						広葉樹	
			試料No.16 PLD-21564		炭化材		1							
SH1104	Pt11	縄文	NTY-SRP13	378	石器 凹石						2		凹石1	
SF1110		縄文	NTY-SRP10									4		燧石2
			NTY-SRP11	63	石器 石皿									燧石3

第3表 自然科学分析試料一覧(2)

遺構	層位等	時代	試料No. AMS測定No.	報告 No.	種別*	分析種別				備考
						C14	樹種	炭素 定量	残存 率の 測定	
SF1116		縄文	NNY-SRP12	76	石器 石皿				3	石皿14
SK131		縄文	NNY-SRP31	—	石器				4	石皿15 A層
SF1204	炭化物No.8	縄文	試料No.23 PLD-24207		炭化材	1				
SF1402	No.2	縄文	試料No.24 PLD-27465		炭化材	1				
SF1404		縄文	試料No.25 PLD-27466		炭化材	1	1			タリ
SF1410	No.3	縄文	試料No.26 PLD-27467		炭化材	1				
SF1412	No.4	縄文	試料No.27 PLD-27468		炭化材	1	1			タリ
SF1415	No.5	縄文	試料No.28 PLD-27469		炭化材	1	○			タリ
SF1419	No.6	縄文	試料No.29 PLD-27470		炭化材	1	1			タリ
SF1422	No.7	縄文	試料No.30 PLD-27471		炭化材	1	○			タリ
SF1441	No.8	縄文	試料No.31 PLD-27472		炭化材	1	1			タリ
SF1454	No.9	縄文	試料No.32 PLD-27473		炭化材	1				
SF1471	No.10	縄文	試料No.33 PLD-27474		炭化材	1	○			タリ
SF1489	No.11	縄文	試料No.34 PLD-27475		炭化材	1	○			タリ
SF1490	No.12	縄文	試料No.35 PLD-27476		炭化材	1	1			タリ
SF1498	No.13	縄文	試料No.36 PLD-27477		炭化材	1				
SF1499	No.14	縄文	試料No.37 PLD-27478		炭化材	1				
SF1506	No.12	縄文	試料No.49 PLD-27117		炭化材	1				
SF1508	No.1	縄文	試料No.38 PLD-27106		炭化材	1				
SF1513	No.2	縄文	試料No.39 PLD-27107		炭化材	1				
SF1533	No.3	縄文	試料No.40 PLD-27108		炭化材	1	○			タリ
SF1537	No.4	縄文	試料No.41 PLD-27109		炭化材	1	○			コナラ属クスミ節
SF1541	No.5	縄文	試料No.42 PLD-27110		炭化材	1	1			タリ
SF1544	No.6	縄文	試料No.43 PLD-27111		炭化材	1	1			タリ
SF1546	No.7	縄文	試料No.45 PLD-27112		炭化材	1	○			タリ
SF1547	No.8	縄文	試料No.45 PLD-27113		炭化材	1	1			タリ
SF1548	No.9	縄文	試料No.46PLD-27114		炭化材	1				
SF1564	No.10	縄文	試料No.47 PLD-27115		炭化材	1	○			タリ
SF1570	No.11	縄文	試料No.48 PLD-27116		炭化材	1	1			タリ
SF1584	No.13	縄文	試料No.50PLD-27118		炭化材	1	1			コナラ属クスミ節
SF1585	No.14	縄文	試料No.51 PLD-27119		炭化材	1	○			コナラ属クスミ節
SF1594	No.16	縄文	試料No.52 PLD-27120		炭化材	1	○			タリ
SF1629	覆土下部 (2層)	縄文	試料No.56 PLD-26787		炭化材	1				
	覆土下部 (2層)	縄文	試料No.57 PLD-26788		炭化材	1				
SK1657	覆土上部 (1層)	縄文	試料No.58 PLD-26789		炭化材	1				
SF1713	No.17	縄文	試料No.64 PLD-27122		炭化材	1				
SF1718	No.16	縄文	試料No.63 PLD-27121		炭化材	1				
SF1724	No.18	縄文	試料No.65 PLD-27123		炭化材	1				
SX1109	深緑内面炭化物	縄文	試料No.21-1 PLD-21560	463	深緑付着炭化物	1	1			AMS同一試料
	深緑外面炭化物	縄文	試料No.21-2 PLD-21561		深緑付着炭化物	1	1			AMS同一試料
SH1026		弥生	NNY-SRP25	496	石器 石皿				3	石皿10
SH011	No.7	古代	試料No.17・18		炭化材		2			徳夫住居跡基材 コナラ属クスミ節
SF1212	サンプル③No.7	古代	試料No.22 PLD-24206		炭化材	1				
—	M-L24p114	古代	SKN-1		樹形銅治洋				1	銅鍊銅治洋
SH1624	No.1	古代	SKN-2		銅治洋				1	銅鍊銅治洋
SK1439	No.2	古代	SKN-3		樹形銅治洋				1	銅鍊銅治洋
	P11 No.3②	古代	SKN-4		樹形銅治洋				1	銅鍊銅治洋
SH1538	No.4①	古代	SKN-5		銅治洋 (ガラス質)				1	銅鍊銅治洋
SK1543	No.5	古代	SKN-6		樹形銅治洋 (ガラス質)				1	銅治鉄器とそれに伴う微小物製作に伴う反応副生物
SX1039	No.7	中世	試料No.19		炭化材		1			サクラ属
			試料No.20		炭化材		1			タリ

*報告文における種別(器種名)を表記する。分析報告本文中の名称は備考欄へ記載。 樹種(同定欄)の○は、顕微鏡写真を伴わない同定材のみの報告。

行った炭化材のうち、顕鏡観察結果のみを報告したものの第3表に掲載した。

炭素・窒素安定同位体分析 縄文時代埋設土器の内外面に付着した炭化物について、付着炭化物から食生活に関する動植物の情報を得ることを目的として実施した。

残存デンプン粒分析 縄文時代の煙道付炉穴や堅穴建物出土の石器を中心に残存デンプン粒の検出を行い、石器の加工対象となった植物の情報を得ることを試みた²⁾。

出土滓の分析 古墳時代後期以降の土坑・堅穴建物柱穴等から出土した滓の鉄成分分析を行った。中野山遺跡で行われた冶金活動の内容を把握することを

目的とした。

【註】

1) 分析は、各次数の調査について遺構・遺物の整理前に実施しており、本報告への掲載にあたり、報告時の遺構名称に修正して掲載した。また、放射性炭素年代測定・樹種同定・炭素・窒素安定同位体分析については、各次数ごとに報告されていたものを、分析者の協力を得て統括した報告に掲載した。

2) 調査直後に行った分析で、調査担当による遺物種別(器種)名称で報告されているため、報告時の遺物名称と異なる表記となる。報告Noとの対応は第3表を参照されたい。

2 放射性炭素年代測定

1. はじめに

三重県四日市市の中野山遺跡第4・5・8・10・11・12次発掘調査で出土した試料について、加速器質量分析法(AMS法)による放射性炭素年代測定を行った。なお、一部の試料については樹種同定も行われている(樹種同定の項参照)。

2. 試料と方法

放射性炭素年代測定試料は、第4次発掘調査で9点、第5次発掘調査で2点、第8次発掘調査で2点、第10次発掘調査で14点、第11次発掘調査で18点、第12次発掘調査で3点の、計48点である。測定試料の情報、調整データは表4(1)～(3)のとおりである。

第4次発掘調査の試料は、SF1005 煙道付炉穴(PLD-21563)、SF1015 煙道付炉穴(PLD-19852)、SF1016 煙道付炉穴(PLD-19853)、SF1018 煙道付炉穴(PLD-19854)、SF1022 集石炉(PLD-19855)、SF1023 集石炉(PLD-19856)、SF1030 煙道付炉穴(PLD-19857)から各1点、SF1062 煙道付炉穴から2点(PLD-19851、PLD-21564)採取された、計9点の炭化植物遺体である。植物遺体の種類は、PLD-19856 が材か種子か判断できない植物遺体で、それ以外は炭化材であった。樹種同定の結果、PLD-19853、PLD-19855、PLD-19857 はクリ、PLD-19854 はコナラ属コナラ節、PLD-19852 は環孔材、PLD-19851 は広葉樹であった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第5次発掘調査の試料は、SX1109の埋塞に付着した炭化物である。横位で設置された深鉢の内外両面に炭化物が付着していた。深鉢は煮炊きに用いられ、使用時に炭化物が付着し、その後埋塞に転用されたと解釈されている。内面付着炭化物は胴下部(PLD-21560)、外面付着炭化物は胴中部(PLD-21561)から採取された。

第8次発掘調査の試料は、SF1212 焼成遺構(PLD-24206)とSF1204 煙道付炉穴(PLD-24207)から各1点採取された、計2点の出土炭化材である。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第10次調査の試料は、SF1402 煙道付炉穴(PLD-27465)、SF1404 集石炉(PLD-27466)、SF1410 煙道付炉穴(PLD-27467)、SF1412 煙道付炉穴(PLD-27468)、SF1415 煙道付炉穴(PLD-27469)、SF1419 煙道付炉穴(PLD-27470)、SF1422 煙道付炉穴(PLD-27471)、SF1441 煙道付炉穴(PLD-27472)、SF1454 集石炉(PLD-27473)、SF1471 煙道付炉穴(PLD-27474)、SF1489 煙道付炉穴(PLD-27475)、SF1490 集石炉(PLD-27476)、SF1498 土坑炉(PLD-27477)、SF1499 煙道付炉穴(PLD-27478)から各1点採取された、計14点の炭化材である。樹種同定の結果、PLD-27466、PLD-27468、PLD-27469、PLD-27470、PLD-27471、PLD-27472、PLD-27474、PLD-27475、PLD-27476 はいずれもクリであった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第11次調査の試料は、SF1508 煙道付炉穴(PLD-27106)、SF1513 煙道付炉穴(PLD-27107)、SF1533

煙道付炉穴 (PLD-27108)、SF1537 煙道付炉穴 (PLD-27109)、SF1541 煙道付炉穴 (PLD-27110)、SF1544 集石炉 (PLD-27111)、SF1546 集石炉 (PLD-27112)、SF1547 煙道付炉穴 (PLD-27113)、SF1548 煙道付炉穴 (PLD-27114)、SF1564 煙道付炉穴 (PLD-27115)、SF1570 集石炉 (PLD-27116)、SF1506 集石炉 (PLD-27117)、SF1584 集石炉 (PLD-27118)、SF1585 集石炉 (PLD-27119)、SF1594 煙道付炉穴 (PLD-27120)、SF1718 煙道付炉穴 (PLD-27121)、SF1713 煙道付炉穴 (PLD-27122)、SF1724 煙道付炉穴 (PLD-27123) から各 1 点採取された、計 18 点の炭化材である。樹種同定の結果、PLD-27108、PLD-27110、PLD-27111、PLD-27112、PLD-27113、PLD-27115、PLD-27116、PLD-27120 はクリ、PLD-27109、PLD-27118、PLD-27119 はコナラ属クスギ節であった。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

第 12 次調査の試料は、SF1629 集石炉から 2 点 (PLD-26787、PLD-26788)、SK1657 土坑 (PLD-26789) から 1 点採取された、計 3 点の炭化材である。いずれの試料も、最終形成年輪は残っていなかった。

試料は調製後、加速器質量分析計 (パレオラボ、コンパクト AMS: NEC 製 1.5SDH) を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

表 5 (1) ~ (3) に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年代に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代を、図 257 ~ 259 にマルチプロット図を、図 260 ~ 265 に暦年代較正結果をそれぞれ示す。暦年代較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年代較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年代較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.27%

であることを示す。

なお、暦年代較正の詳細は以下のとおりである。

暦年代較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年代較正には OxCal4.4 (較正曲線データ: IntCal20) を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年代較正曲線を示す。

4. 考察

以下、 2σ 暦年代範囲 (確率 95.45%) に着目し、暦年代が古い順に結果を整理する。なお、暦年代範囲と縄文土器編年との対応関係については、泉 (2008)、小林 (2017)、工藤 (2012)、増子 (2008)、佐藤 (2008)、矢野 (2008) を参照した。

SF1547 煙道付炉穴の PLD-27113 は 13519 - 13195 cal BC (95.45%) の暦年代を示した。これは、縄文時代草創期前半に相当する。

縄文時代早期前業~中業に相当する暦年代を示す試料は、42 点みられた。中でも紀元前 9100 ~ 7700 年頃の暦年代を示したのは、SF1513 煙道付炉穴の PLD-27107、SF1410 煙道付炉穴の PLD-27467、SF1548 煙道付炉穴の PLD-27114、SF1564 煙道付炉穴の PLD-27115、SF1544 集石炉の PLD-27111、SF1585 集石炉の PLD-27119、SF1537 煙道付炉穴の PLD-27109、SF1546 集石炉の PLD-27112、SF1508 煙道付炉穴の PLD-27106、SF1419 煙道付炉穴の PLD-27470、SF1489 煙道付炉穴の PLD-27475、SF1541 煙道付炉穴の PLD-27110、SF1204 煙道付炉穴の PLD-24207、SF1454 集石炉の PLD-27473、SF1412 煙道付炉穴の PLD-27468、SF1533 煙道付炉穴の PLD-27108、SF1018 煙道付炉穴の PLD-19854、SF1718 煙

道付炉穴の PLD-27121、SF1713 煙道付炉穴の PLD-27122、SF1570 集石炉の PLD-27116、SF1016 煙道付炉穴の PLD-19853、SF1030 煙道付炉穴の PLD-19857、SF1415 煙道付炉穴の PLD-27469、SF1441 煙道付炉穴の PLD-27472、SF1594 煙道付炉穴の PLD-27120、SF1471 煙道付炉穴の PLD-27474、SF1422 煙道付炉穴の PLD-27471、SF1005 煙道付炉穴の PLD-21563、SF1499 煙道付炉穴の PLD-27478、SF1404 集石炉の PLD-27466、SF1506 集石炉の PLD-27117、SF1724 煙道付炉穴の PLD-27123、SF1015 煙道付炉穴の PLD-19852、SF1062 煙道付炉穴の PLD-19851、PLD-21564、SF1584 集石炉の PLD-27118、SF1490 集石炉の PLD-27476、SF1629 集石炉の PLD-26788、PLD-26787、SF1498 土坑炉の PLD-27477、SF1022 集石炉の PLD-19855、SF1023 集石炉の PLD-19856 である。

SF1402 煙道付炉穴の PLD-27465 は 3082 - 3061 cal BC (5.91%) および 3028 - 2910 cal BC (89.54%) の暦年代を示した。これは、縄文時代中期中葉に相当する。

SK1657 土坑の PLD-26789 は 2464 - 2333 cal BC (81.97%) および 2330 - 2297 cal BC (13.48%) で、紀元前 2500 ~ 2200 年頃の暦年代を示した。これは、縄文時代後期初頭に相当する。

SX1109 埋塞の深鉢内面胴下部付着炭化物 (PLD-21560) は 1266 - 1114 cal BC (95.45%) であった。一方、外面胴中部付着炭化物 (PLD-21561) は 1216 - 1051 cal BC (95.45%) であった。これらは縄文時代晩期前葉に相当する。なお、炭素・窒素安定同位体比測定の結果では、内面付着炭化物 (PLD-21560) は C_3 植物や草食動物、外面付着炭化物 (PLD-21561) は主に C_4 植物に由来すると推定されている (別項参照)。

SF1212 焼成遺構で出土した炭化材 (PLD-24206) は、 2σ の暦年代範囲で 673 - 774 cal AD (95.45%) を示し、7 世紀後半 ~ 8 世紀後半であった。発掘調査の所見では SF1212 の時期は古代と考えられていたが、測定によって 7 世紀後半 ~ 8 世紀後半頃であると、時期の絞り込みができた。

(パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ)

伊藤 茂・安昭炫・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・小林紘一
Zaur Lomtadidze・Ineza Jorjoliani・中村賢太郎・小林克也)

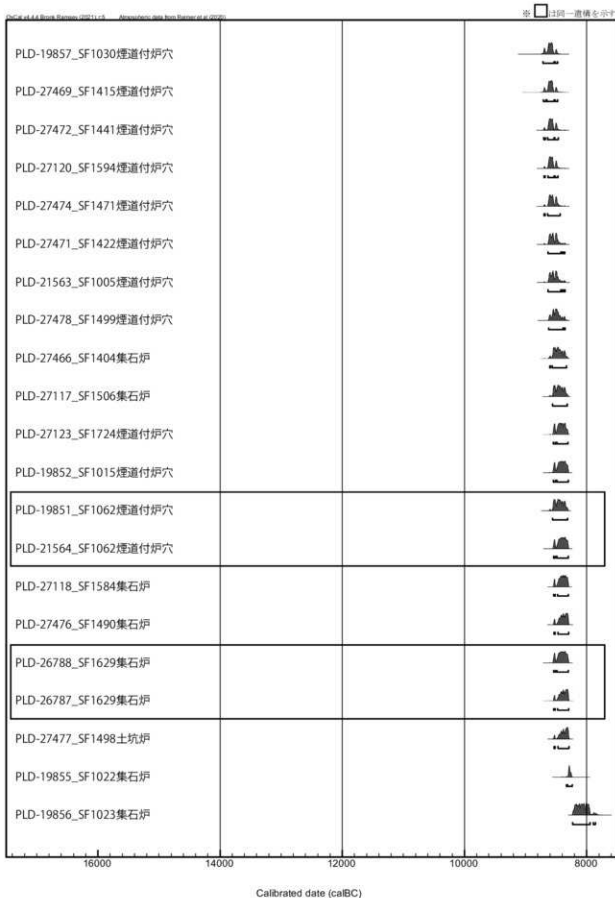
【参考文献】

- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51 (1), 337-360.
- 泉 拓良 (2008) 鷹鳥式・船元式・里木Ⅱ式土器。小林達雄編「総覧縄文土器」:502-509。アム・プロモーション。
- 小林謙一 (2017) 縄文時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—。263p。同成社。
- 工藤雄一郎 (2012) 旧石器・縄文時代の環境文化史—高精度放射性炭素年代測定と考古学—。373p。神泉社。
- 増子康直 (2008) 北裏 C—北里Ⅱ式土器。小林達雄編「総覧縄文土器」:486-493。アム・プロモーション。
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の ^{14}C 年代編集委員会編「日本先史時代の ^{14}C 年代」:3-20。日本第四紀学会。
- Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62 (4), 725-757, doi: 10.1017/RDC. 2020. 41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)
- 佐藤雅一 (2008) 隆起線文系土器群。小林達雄編「総覧縄文土器」:20-27。アム・プロモーション。
- 矢野健一 (2008) 押型文系土器 (大川式・神宮寺式土器)。小林達雄編「総覧縄文土器」:154-161。アム・プロモーション

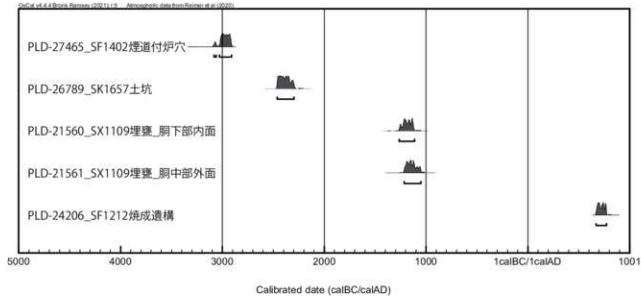


第 257 図 マルチプロット図 (1)

Calibrated date (calBC)



第 258 図 マルチプロット図 (2)



第 259 図 マルチプロット図 (3)

第4表 測定試料および処理(1)

測定番号	試験データ	試料データ	前処理
PLD-21563	試料No. 1 調査: 第4次 遺構: SF1005標準付伊穴 位置: 東側 部位: 2層	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.5 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19852	試料No. 6 調査: 第4次 遺構: SF1015標準付伊穴 部位: 4層	種類: 炭化材 (穿孔材) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19853	試料No. 7 調査: 第4次 遺構: SF1016標準付伊穴 部位: 4層 (2層目)	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19854	試料No. 8 調査: 第4次 遺構: SF1018標準付伊穴 部位: 4層	種類: 炭化材 (コナク属コナク属) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19855	試料No. 10 調査: 第4次 遺構: SF1022集石伊 部位: 3層	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19856	試料No. 12 調査: 第4次 遺構: SF1023集石伊 部位: 4層	種類: 炭化植物遺体 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19857	試料No. 13 調査: 第4次 遺構: SF1030標準付伊穴 部位: 4層	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-19851	試料No. 15 調査: 第4次 遺構: SF1062標準付伊穴 部位: 3層 (西側)	種類: 炭化材 (広葉樹) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-21564	試料No. 16 調査: 第4次 遺構: SF1062標準付伊穴 部位: 3層 (西側)	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.5 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-21560	試料No. 21-1 調査: 第5次 グリッド: F-S1 遺構: SX1109埋蔵	種類: 土器付着炭化物 器種: 深鉢 部位: 胴下部内面 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-21561	試料No. 21-2 調査: 第5次 グリッド: F-S1 遺構: SX1109埋蔵	種類: 土器付着炭化物 器種: 深鉢 部位: 胴中部外面 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.1 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-24206	試料No. 22 調査: 第8次 グリッド: N-G16 遺構: SF1217埋蔵遺構	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 部位: 外側5年輪分 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-24207	調査: 第8次 グリッド: G-U15 遺構: SF1204標準付伊穴	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27465	試料No. 24 調査: 第10次 グリッド: F-U12 遺構: SF1402標準付伊穴	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.2 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27466	試料No. 25 調査: 第10次 グリッド: F-U14 遺構: SF1404集石伊	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 0.2 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27467	試料No. 26 調査: 第10次 グリッド: F-V16 遺構: SF1410標準付伊穴	種類: 炭化材 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27468	試料No. 27 調査: 第10次 グリッド: F-U19 遺構: SF1412標準付伊穴	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27469	試料No. 28 調査: 第10次 グリッド: F-U18 遺構: SF1415標準付伊穴	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27470	試料No. 29 調査: 第10次 グリッド: F-W16 遺構: SF1419標準付伊穴	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)
PLD-27471	試料No. 30 調査: 第10次 グリッド: F-U17 遺構: SF1422標準付伊穴	種類: 炭化材 (クリ) 試料の性状: 最終形成年輪以外 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸: 1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム: 1.0 mol/L, 塩酸: 1.2 mol/L)

第4表 測定試料および処理(2)

測定番号	試験データ	試料データ	前処理
PLD-27472	試料No.31 調査:第10次 グリッド:F-A17 濃機:SF1441標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27473	試料No.32 調査:第10次 グリッド:M-D14 濃機:SF1454集石印	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27474	試料No.33 調査:第10次 グリッド:F-Q18 濃機:SF1471標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27475	試料No.34 調査:第10次 グリッド:F-R25 濃機:SF1489標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.1 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27476	試料No.35 調査:第10次 グリッド:F-R25 濃機:SF1490集石印	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27477	試料No.36 調査:第10次 グリッド:G-R1 濃機:SF1498十指印	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27478	試料No.37 調査:第10次 グリッド:F-R17 濃機:SF1499標準付付穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:0.2 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27106	試料No.38 調査:第11次 グリッド:L-A12 濃機:SF1508標準付付穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27107	試料No.39 調査:第11次 グリッド:L-P13 濃機:SF1513標準付付穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27108	試料No.40 調査:第11次 グリッド:L-L116 濃機:SF1532標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27109	試料No.41 調査:第11次 グリッド:L-L17 濃機:SF1537標準付付穴	種類:炭化材(コナク風クスギ節) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27110	試料No.42 調査:第11次 グリッド:L-L114 濃機:SF1541標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27111	試料No.43 調査:第11次 グリッド:L-G16 濃機:SF1544集石印	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27112	試料No.44 調査:第11次 グリッド:L-H18 濃機:SF1546集石印	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27113	試料No.45 調査:第11次 グリッド:L-H19 濃機:SF1547標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27114	試料No.46 調査:第11次 グリッド:L-G17 濃機:SF1548標準付付穴	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27115	試料No.47 調査:第11次 グリッド:L-J21 濃機:SF1564標準付付穴	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27116	試料No.48 調査:第11次 グリッド:L-I23 濃機:SF1570集石印	種類:炭化材(タリ) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27117	試料No.49 調査:第11次 グリッド:L-D15 濃機:SF1596集石印	種類:炭化材 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)
PLD-27118	試料No.50 調査:第11次 グリッド:L-K45 濃機:SF1584集石印	種類:炭化材(コナク風クスギ節) 試料の性状:最終形成年輪以外 状態:dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄(塩酸:1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム:1.0 mol/L,塩酸:1.2 mol/L)

第4表 測定試料および処理(3)

測定番号	選給データ	試料データ	前処理
PLD-27119	試料No. 51 調査：第11次 グリッド：M-04 遺構：SF1585集石伊	種類：炭化材（コナラ風クヌギ節） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27120	試料No. 52 調査：第11次 グリッド：F-36 遺構：SF1594横道付伊次	種類：炭化材（クワ） 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27121	試料No. 53 調査：第11次 グリッド：L-L16 遺構：SF1738横道付伊次	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27122	試料No. 54 調査：第11次 グリッド：M-A6 遺構：SF1713横道付伊次	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-27123	試料No. 55 調査：第11次 グリッド：L-114 遺構：SF1724横道付伊次	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26787	試料No. 56 調査：第12次 遺構：SF1629集石伊 部位：樺上下部(1編)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26788	試料No. 57 調査：第12次 遺構：SF1629集石伊 部位：樺上下部(2編)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)
PLD-26789	試料No. 58 調査：第12次 遺構：SK1657土坑 部位：樺土上部(1編)	種類：炭化材 試料の性状：最終形成年輪以外 部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果(1)

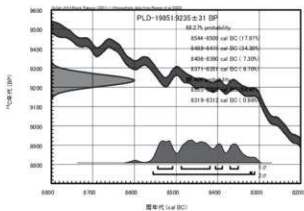
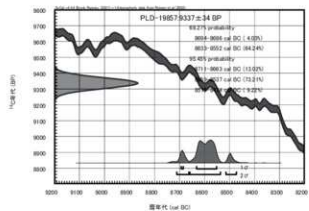
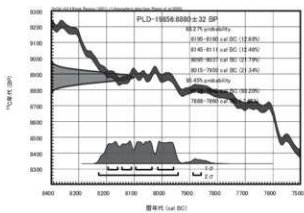
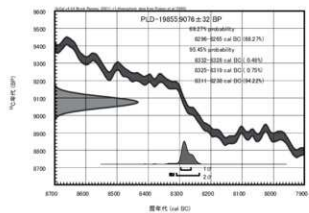
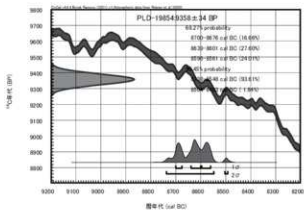
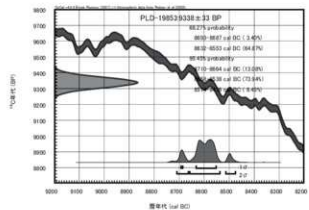
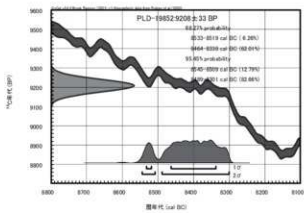
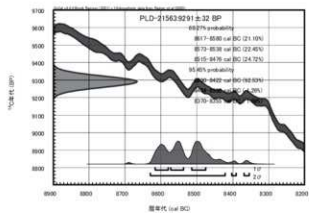
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年年代に較正した年代範囲	
				2 σ 暦年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-21563 第4次発掘調査 SF1005燧石付炉穴	-24.76 \pm 0.19	9291 \pm 32	9290 \pm 30	8617-8580 cal BC (21.10%) 8573-8538 cal BC (22.45%) 8515-8476 cal BC (24.72%)	8630-8422 cal BC (92.53%) 8404-8392 cal BC (1.26%) 8370-8355 cal BC (1.66%)
PLD-19852 第4次発掘調査 SF1015燧石付炉穴	-24.08 \pm 0.13	9208 \pm 33	9210 \pm 35	8533-8519 cal BC (6.26%) 8464-8338 cal BC (62.01%)	8545-8509 cal BC (12.79%) 8489-8301 cal BC (82.66%)
PLD-19853 第4次発掘調査 SF1016燧石付炉穴	-23.86 \pm 0.14	9338 \pm 33	9340 \pm 35	8693-8687 cal BC (3.40%) 8632-8553 cal BC (64.87%)	8710-8664 cal BC (13.08%) 8658-8538 cal BC (73.94%) 8514-8476 cal BC (8.43%)
PLD-19854 第4次発掘調査 SF1018燧石付炉穴	-25.05 \pm 0.19	9358 \pm 34	9360 \pm 35	8700-8676 cal BC (16.66%) 8639-8601 cal BC (27.60%) 8596-8561 cal BC (24.01%)	8738-8548 cal BC (93.61%) 8504-8493 cal BC (1.84%)
PLD-19855 第4次発掘調査 SF1022集石炉	-25.08 \pm 0.13	9076 \pm 32	9075 \pm 30	8296-8265 cal BC (68.27%)	8332-8328 cal BC (0.48%) 8325-8319 cal BC (0.75%) 8311-8238 cal BC (94.22%)
PLD-19856 第4次発掘調査 SF1023集石炉	-25.30 \pm 0.16	8880 \pm 32	8880 \pm 30	8195-8160 cal BC (12.68%) 8145-8111 cal BC (12.46%) 8095-8037 cal BC (21.79%) 8015-7959 cal BC (21.34%)	8228-7942 cal BC (93.20%) 7888-7860 cal BC (2.25%)
PLD-19857 第4次発掘調査 SF1030燧石付炉穴	-26.07 \pm 0.13	9337 \pm 34	9335 \pm 35	8694-8686 cal BC (4.03%) 8633-8552 cal BC (64.24%)	8711-8663 cal BC (13.02%) 8659-8537 cal BC (73.21%) 8515-8474 cal BC (9.22%)
PLD-19851 第4次発掘調査 SF1062燧石付炉穴	-26.93 \pm 0.13	9235 \pm 31	9235 \pm 30	8544-8509 cal BC (17.97%) 8488-8419 cal BC (34.30%) 8406-8390 cal BC (7.30%) 8371-8351 cal BC (8.70%)	8555-8322 cal BC (94.47%) 8319-8312 cal BC (0.98%)
PLD-21564 第4次発掘調査 SF1062燧石付炉穴	-24.97 \pm 0.17	9202 \pm 30	9200 \pm 30	8529-8522 cal BC (3.01%) 8459-8332 cal BC (65.26%)	8541-8512 cal BC (10.29%) 8485-8301 cal BC (85.16%)
PLD-21560 第5次発掘調査 SX1109埋篋 胴下部内面	-23.87 \pm 0.21	2968 \pm 21	2970 \pm 20	1253-1251 cal BC (1.17%) 1223-1187 cal BC (29.88%) 1181-1156 cal BC (19.24%) 1147-1126 cal BC (17.98%)	1266-1114 cal BC (95.45%)
PLD-21561 第5次発掘調査 SX1109埋篋 胴中部外面	-25.08 \pm 0.17	2935 \pm 21	2935 \pm 20	1208-1138 cal BC (50.46%) 1136-1111 cal BC (17.23%) 1061-1060 cal BC (0.58%)	1216-1051 cal BC (95.45%)
PLD-24206 第8次発掘調査 SF1212焼成遺構	-26.56 \pm 0.30	1278 \pm 19	1280 \pm 20	680-707 cal AD (31.95%) 724-746 cal AD (24.22%) 759-767 cal AD (9.87%) 771-773 cal AD (2.23%)	673-774 cal AD (95.45%)
PLD-24207 第8次発掘調査 SF1204燧石付炉穴	-28.75 \pm 0.28	9384 \pm 31	9385 \pm 30	8727-8725 cal BC (0.93%) 8713-8618 cal BC (67.33%)	8747-8561 cal BC (95.45%)
PLD-27465 第10次発掘調査 SF1402燧石付炉穴	-26.74 \pm 0.17	4370 \pm 24	4370 \pm 25	3011-2974 cal BC (31.53%) 2969-2940 cal BC (23.32%) 2938-2922 cal BC (13.41%)	3082-3061 cal BC (5.91%) 3028-2910 cal BC (89.54%)
PLD-27466 第10次発掘調査 SF1404集石炉	-26.85 \pm 0.17	9247 \pm 31	9245 \pm 30	8550-8501 cal BC (25.37%) 8496-8425 cal BC (35.52%) 8401-8393 cal BC (2.97%) 8367-8356 cal BC (4.41%)	8607-8591 cal BC (2.02%) 8564-8328 cal BC (93.43%)
PLD-27467 第10次発掘調査 SF1410燧石付炉穴	-26.72 \pm 0.13	9417 \pm 32	9415 \pm 30	8741-8697 cal BC (32.67%) 8682-8635 cal BC (35.60%)	8796-8617 cal BC (95.45%)
PLD-27468 第10次発掘調査 SF1412燧石付炉穴	-28.02 \pm 0.21	9369 \pm 32	9370 \pm 30	8705-8670 cal BC (25.63%) 8650-8608 cal BC (28.25%) 8589-8564 cal BC (14.39%)	8741-8554 cal BC (95.45%)
PLD-27469 第10次発掘調査 SF1415燧石付炉穴	-26.46 \pm 0.11	9332 \pm 31	9330 \pm 30	8630-8552 cal BC (68.27%)	8705-8669 cal BC (9.19%) 8651-8537 cal BC (76.13%) 8515-8475 cal BC (10.14%)
PLD-27470 第10次発掘調査 SF1419燧石付炉穴	-27.35 \pm 0.13	9386 \pm 31	9385 \pm 30	8728-8725 cal BC (1.21%) 8713-8619 cal BC (67.06%)	8748-8601 cal BC (85.40%) 8598-8561 cal BC (10.05%)
PLD-27471 第10次発掘調査 SF1422燧石付炉穴	-28.65 \pm 0.12	9296 \pm 31	9295 \pm 30	8617-8578 cal BC (25.23%) 8575-8541 cal BC (23.19%) 8512-8483 cal BC (19.85%)	8691-8689 cal BC (0.17%) 8632-8425 cal BC (93.77%) 8400-8394 cal BC (0.53%) 8368-8357 cal BC (0.98%)
PLD-27472 第10次発掘調査 SF1441燧石付炉穴	-25.96 \pm 0.13	9320 \pm 30	9320 \pm 30	8625-8550 cal BC (65.45%) 8501-8496 cal BC (2.82%)	8701-8675 cal BC (4.44%) 8641-8533 cal BC (74.70%) 8519-8464 cal BC (16.30%)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果(2)

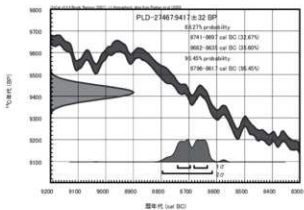
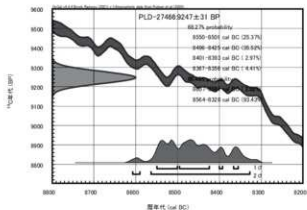
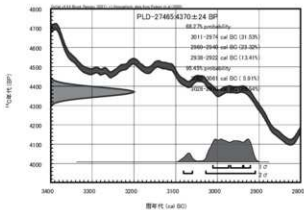
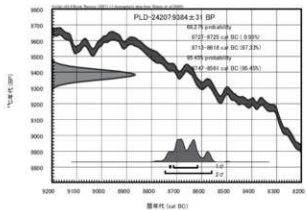
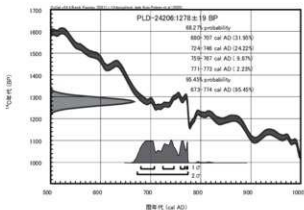
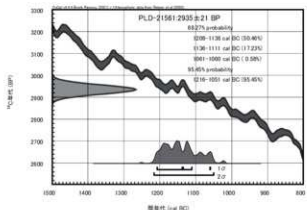
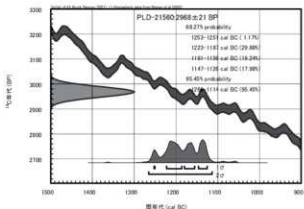
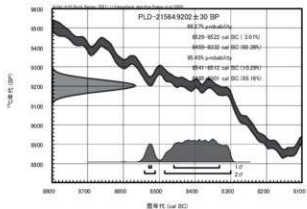
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{13}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{13}C 年代を暦年年代に較正した年代範囲	
				2 σ 暦年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-27473 第10次発掘調査 SF1454集石炉	-24.85 \pm 0.12	9373 \pm 30	9375 \pm 30	8706-8668 cal BC (29.05%) 8652-8611 cal BC (28.57%) 8586-8566 cal BC (10.65%)	8739-8558 cal BC (95.45%)
PLD-27474 第10次発掘調査 SF1471燧道付炉穴	-26.38 \pm 0.13	9307 \pm 31	9305 \pm 30	8620-8546 cal BC (56.85%) 8507-8490 cal BC (11.41%)	8697-8681 cal BC (1.83%) 8636-8448 cal BC (92.91%) 8444-8434 cal BC (0.71%)
PLD-27475 第10次発掘調査 SF1489	-27.07 \pm 0.11	9386 \pm 31	9385 \pm 30	8728-8725 cal BC (1.21%) 8713-8619 cal BC (67.06%)	8748-8601 cal BC (85.40%) 8598-8561 cal BC (10.05%)
PLD-27476 第10次発掘調査 SF1490集石炉	-27.04 \pm 0.12	9181 \pm 30	9180 \pm 30	8427-8398 cal BC (15.07%) 8395-8366 cal BC (17.05%) 8359-8301 cal BC (36.15%)	8537-8515 cal BC (4.57%) 8473-8295 cal BC (89.70%)
PLD-27477 第10次発掘調査 SF1498十坑炉	-26.09 \pm 0.13	9170 \pm 30	9170 \pm 30	8424-8402 cal BC (11.49%) 8393-8368 cal BC (15.01%) 8355-8297 cal BC (41.77%)	8535-8517 cal BC (3.95%) 8465-8292 cal BC (91.50%)
PLD-27478 第10次発掘調査 SF1499燧道付炉穴	-27.03 \pm 0.12	9270 \pm 30	9270 \pm 30	8605-8592 cal BC (4.83%) 8563-8455 cal BC (62.17%) 8440-8436 cal BC (1.27%)	8619-8415 cal BC (86.77%) 8411-8389 cal BC (4.25%) 8372-8351 cal BC (4.43%)
PLD-27106 第11次発掘調査 SF1508燧道付炉穴	-25.52 \pm 0.15	9389 \pm 26	9390 \pm 25	8711-8663 cal BC (40.17%) 8659-8623 cal BC (28.10%)	8748-8606 cal BC (89.27%) 8590-8563 cal BC (6.18%)
PLD-27107 第11次発掘調査 SF1513燧道付炉穴	-25.67 \pm 0.16	9468 \pm 26	9470 \pm 25	8799-8710 cal BC (65.53%) 8663-8658 cal BC (2.74%)	9109-9101 cal BC (0.93%) 9047-9025 cal BC (4.14%) 8827-8698 cal BC (76.52%) 8680-8635 cal BC (13.86%)
PLD-27108 第11次発掘調査 SF1533燧道付炉穴	-26.19 \pm 0.14	9362 \pm 26	9360 \pm 25	8701-8675 cal BC (20.66%) 8640-8607 cal BC (28.02%) 8590-8563 cal BC (19.59%)	8732-8720 cal BC (1.67%) 8715-8553 cal BC (93.78%)
PLD-27109 第11次発掘調査 SF1537燧道付炉穴	-24.75 \pm 0.15	9395 \pm 25	9395 \pm 25	8711-8662 cal BC (41.38%) 8660-8626 cal BC (26.89%)	8752-8610 cal BC (91.88%) 8587-8565 cal BC (3.57%)
PLD-27110 第11次発掘調査 SF1541燧道付炉穴	-27.48 \pm 0.14	9385 \pm 25	9385 \pm 25	8710-8664 cal BC (39.23%) 8658-8620 cal BC (29.04%)	8745-8605 cal BC (87.72%) 8591-8562 cal BC (7.73%)
PLD-27111 第11次発掘調査 SF1544集石炉	-27.32 \pm 0.13	9398 \pm 26	9400 \pm 25	8711-8628 cal BC (68.27%)	8756-8610 cal BC (92.37%) 8586-8565 cal BC (3.08%)
PLD-27112 第11次発掘調査 SF1546集石炉	-27.48 \pm 0.15	9391 \pm 26	9390 \pm 25	8711-8663 cal BC (40.58%) 8659-8624 cal BC (27.69%)	8750-8607 cal BC (90.06%) 8589-8563 cal BC (5.39%)
PLD-27113 第11次発掘調査 SF1547燧道付炉穴	-24.71 \pm 0.16	12809 \pm 32	12810 \pm 30	13393-13254 cal BC (68.27%)	13519-13195 cal BC (95.45%)
PLD-27114 第11次発掘調査 SF1548燧道付炉穴	-26.74 \pm 0.15	9410 \pm 26	9410 \pm 25	8733-8718 cal BC (10.73%) 8716-8695 cal BC (16.64%) 8684-8624 cal BC (40.91%)	8779-8619 cal BC (95.45%)
PLD-27115 第11次発掘調査 SF1564燧道付炉穴	-26.04 \pm 0.15	9410 \pm 26	9410 \pm 25	8733-8718 cal BC (10.73%) 8716-8695 cal BC (16.64%) 8684-8624 cal BC (40.91%)	8779-8619 cal BC (95.45%)
PLD-27116 第11次発掘調査 SF1570集石炉	-27.91 \pm 0.19	9353 \pm 30	9355 \pm 30	8697-8681 cal BC (11.63%) 8635-8601 cal BC (28.29%) 8597-8561 cal BC (28.35%)	8731-8722 cal BC (1.04%) 8714-8547 cal BC (92.07%) 8506-8491 cal BC (2.33%)
PLD-27117 第11次発掘調査 SF1506集石炉	-28.85 \pm 0.19	9236 \pm 29	9235 \pm 30	8544-8509 cal BC (18.73%) 8488-8420 cal BC (34.73%) 8405-8390 cal BC (6.66%) 8370-8352 cal BC (8.15%)	8556-8324 cal BC (95.11%) 8317-8314 cal BC (0.34%)
PLD-27118 第11次発掘調査 SF1584集石炉	-27.40 \pm 0.15	9195 \pm 26	9195 \pm 25	8433-8308 cal BC (68.27%)	8538-8515 cal BC (7.56%) 8479-8300 cal BC (87.89%)
PLD-27119 第11次発掘調査 SF1585集石炉	-27.03 \pm 0.26	9397 \pm 30	9395 \pm 30	8729-8724 cal BC (2.32%) 8713-8627 cal BC (65.94%)	8760-8605 cal BC (90.55%) 8591-8563 cal BC (4.90%)
PLD-27120 第11次発掘調査 SF1594燧道付炉穴	-26.41 \pm 0.15	9316 \pm 26	9315 \pm 25	8622-8550 cal BC (67.54%) 8499-8498 cal BC (0.73%)	8697-8682 cal BC (2.10%) 8635-8535 cal BC (76.60%) 8516-8470 cal BC (16.74%)
PLD-27121 第11次発掘調査 SF1718燧道付炉穴	-27.37 \pm 0.17	9357 \pm 26	9355 \pm 25	8699-8678 cal BC (15.54%) 8637-8604 cal BC (28.22%) 8593-8562 cal BC (24.52%)	8729-8723 cal BC (0.71%) 8713-8550 cal BC (94.09%) 8501-8495 cal BC (0.65%)
PLD-27122 第11次発掘調査 SF1713燧道付炉穴	-27.22 \pm 0.17	9356 \pm 26	9355 \pm 25	8698-8679 cal BC (14.52%) 8636-8604 cal BC (28.33%) 8593-8562 cal BC (25.42%)	8728-8724 cal BC (0.44%) 8712-8549 cal BC (94.09%) 8502-8494 cal BC (0.92%)

第5表 放射性炭素年代測定および暦年校正の結果 (3)

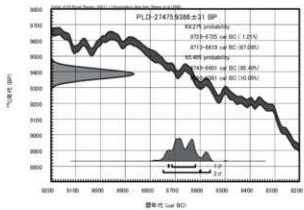
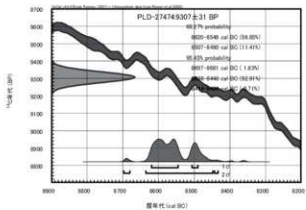
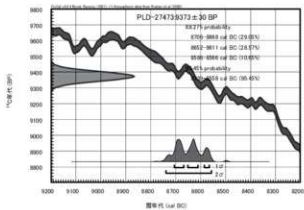
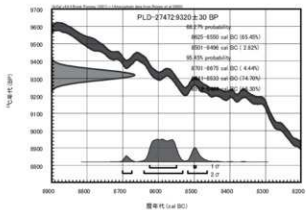
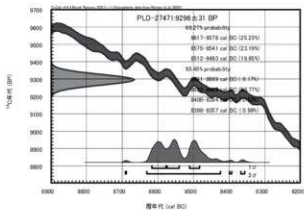
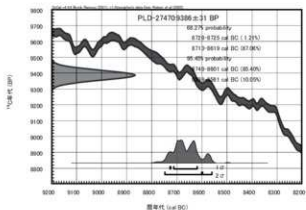
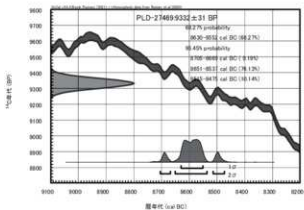
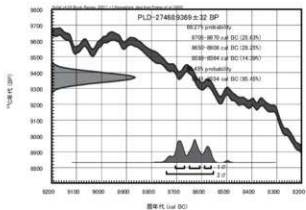
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年校正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年年代に校正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-27123 第11次発掘調査 SF1724煙道付炬穴	-27.24 \pm 0.15	9216 \pm 26	9215 \pm 25	8535-8517 cal BC (8.94%)	8544-8509 cal BC (14.41%)
				8467-8385 cal BC (43.21%) 8376-8345 cal BC (16.11%)	8488-8306 cal BC (81.04%)
PLD-26787 第12次発掘調査 SF1629集石炬	-25.77 \pm 0.16	9178 \pm 33	9180 \pm 35	8427-8398 cal BC (14.83%)	8537-8515 cal BC (5.85%)
				8396-8366 cal BC (16.81%) 8359-8299 cal BC (36.62%)	8475-8294 cal BC (89.60%)
PLD-26788 第12次発掘調査 SF1629集石炬	-28.15 \pm 0.17	9203 \pm 33	9205 \pm 35	8530-8521 cal BC (4.09%)	8543-8510 cal BC (11.31%)
				8461-8332 cal BC (64.18%)	8487-8300 cal BC (84.14%)
PLD-26789 第12次発掘調査 SK1657土坑	-29.23 \pm 0.16	3894 \pm 23	3895 \pm 25	2458-2398 cal BC (40.58%)	2464-2333 cal BC (81.97%)
				2386-2344 cal BC (27.69%)	2330-2297 cal BC (13.48%)



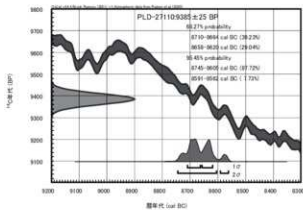
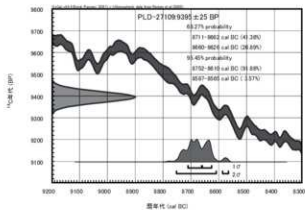
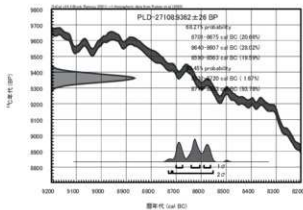
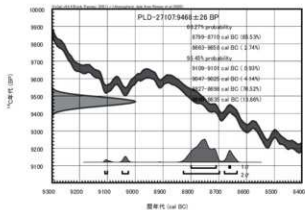
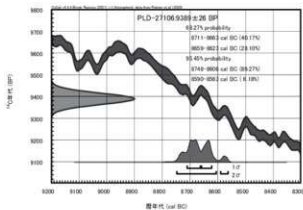
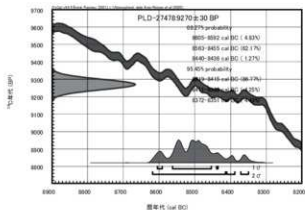
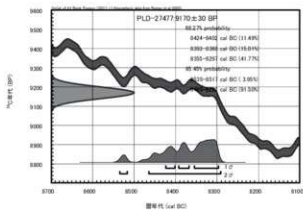
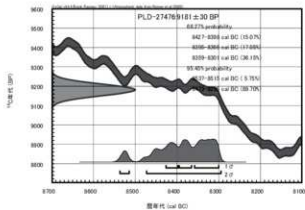
第 260 圖 曆年校正結果 (1)



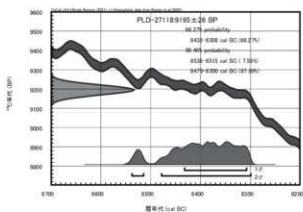
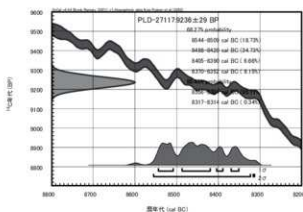
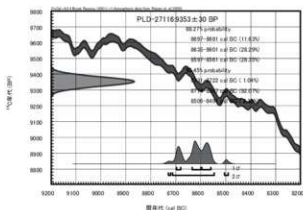
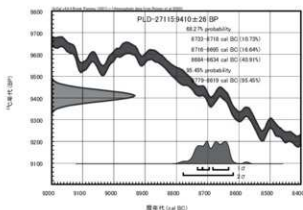
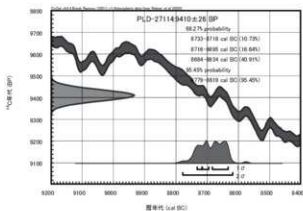
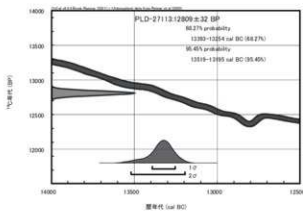
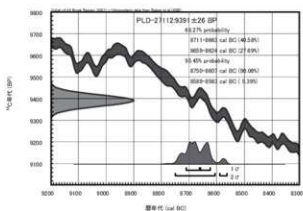
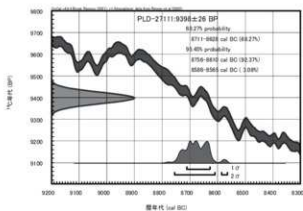
第 261 图 曆年較正結果 (2)



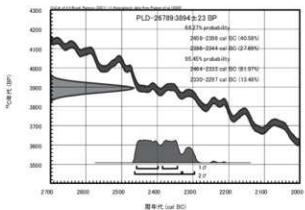
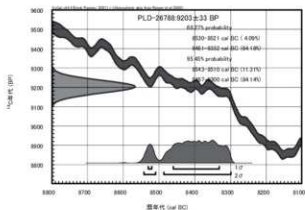
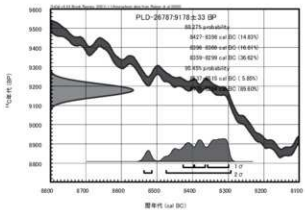
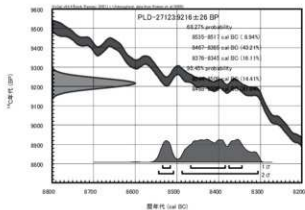
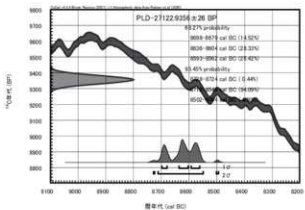
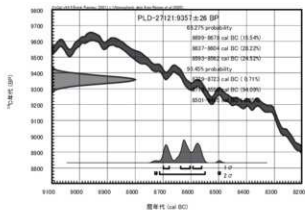
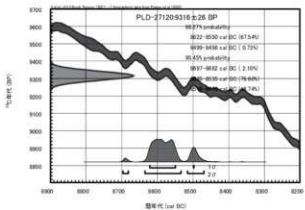
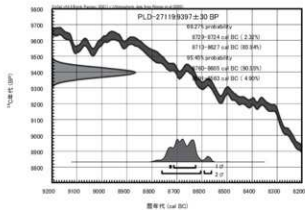
第 262 圖 曆年較正結果 (3)



第 263 図 暦年較正結果 (4)



第 264 图 曆年校正結果 (5)



第 265 圖 曆年較正結果 (6)

3 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定

1. はじめに

四日市市北山町の丘陵上に立地する中野山遺跡の第4・10・11次調査で出土した炭化材について、樹種同定を行なった。なお、一部の試料について放射性炭素年代測定も行われている（放射性炭素年代測定の項参照）。

2. 試料と方法

試料は、縄文時代早期前半のSF1547から1点、縄文時代早期の煙道付炉穴であるSF1008、SF1018、SF1030から各2点、SF1412、SF1415、SF1419、SF1422、SF1441、SF1471、SF1489、SF1533、SF1537、SF1541、SF1564、SF1594から各1点、集石炉であるSF1010、SF1022から各2点、SF1404、SF1490、SF1544、SF1546、SF1570、SF1584、SF1585から各1点、古代の堅穴建物であるSH1011から2点、中世の墓であるSX1039から2点の、計34点である。

測定可能な試料について、残存半径と残存年輪数の計測を行なった。残存半径は試料に残存する半径を直接計測し、残存年輪数は残存半径内の年輪数を計測した。

炭化材の樹種同定では、まず試料を乾燥させ、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柃目）について、カミソリと手で割断面を製作し、整形して試料台にカーボンテープで固定した。その後イオンスパックにて金蒸着を施し、走査型電子顕微鏡（日本電子㈱製 JSM - 5900LV）にて検鏡および写真撮影を行なった。

3. 結果

同定の結果、広葉樹のサクラ属とクリ、コナラ属クスギ節（以下、クスギ節）、コナラ属コナラ節（以下、コナラ節）の4分類群がみられた。クリが最も多く26点で、クスギ節が5点、コナラ節が2点、サクラ属が1点であった。同定結果を表6に、一覧を表7に示す。

次に、同定された材の特徴を記載し、第266図に走査型電子顕微鏡写真を示す。

(1) サクラ属（広義） *Prunus* s.l. バラ科 第266図 1a-1c (No.19)

やや小型の道管が、単独あるいは斜め方向に数個複合して分布する散孔材である。道管の穿孔は単一で、道管内にはらせん肥厚がある。放射組織は1〜5列幅の異性である。

サクラ属は温帯に生育する落葉または常緑の高木または低木である。サクラ属はさらにサクラ亜属、スモモ亜属、モモ亜属、ウヅミザクラ亜属などに分類され、25種がある。木材組織からはモモとバクチノキ以外は識別困難なため、この2種を除いたサクラ属とする。

(2) クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc.

ブナ科 第266図 2a-2c (No.4)、3a-3c (No.13)、4a (No.10)

年輪のはじめに大型の道管が1〜3列並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が火災状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で単列である。

クリは、北海道の石狩、日高地方以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で耐朽性が高い。

第6表 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果

遺構種類	縄文時代														古代	中世	計												
	時期	縄文時代早期前半							縄文時代早期																				
	遺道付炉穴	煙道付炉穴							集石炉							堅穴建物	墓												
	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S									
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F									
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1									
5	0	0	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	0	4	4	5	5	5	0	0									
4	0	1	3	1	1	2	4	7	8	3	3	4	6	9	1	2	0	9	4	7	8	8	1	3					
遺構番号	7	8	8	0	2	5	9	2	1	1	9	3	7	1	4	4	0	2	4	0	4	6	0	4	5	1	9	合計	
サクラ属																													
クリ	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
コナラ属クスギ節											1																		
コナラ属コナラ節																													
合計	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	34

(3) コナラ属クスギ節 *Quercus* sect. *Aeglops* ブナ科 第266図 5a-5c (No.17)

年輪のはじめに大型の道管が1列並び、晩材部では急に径を減じた、厚壁で丸い道管が接線方向に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと同放射組織がみられる。

コナラ属クスギ節にはクスギとアバマキがあり、温帯から暖帯にかけて分布する落葉高木の広葉樹である。材は重硬で切削などの加工はやや困難である。

(4) コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 第266図 6a-6c (No.2)

年輪のはじめに大型の道管が1～2列並び、晩材部では急に径を減じた、薄壁で角張った道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性で、単列のものと同放射組織がみられる。

コナラ属コナラ節にはコナラやミズナラなどがあり、温帯から暖帯にかけて広く分布する落葉高木の広葉樹である。代表的なミズナラの材は、やや重く強靱で、切削加工はやや難しい。

4. 考察

縄文時代草創期前半のSF1547煙道付炉穴では、クリが1点みられた。試料は燃料材の残渣である可能性が考えられている。クリは堅硬な樹種であり、燃料材としてみると燃焼性はそれほど高くないが、火持ちが良く長時間燃焼する、という材質をもつ(伊東ほか, 2011)。

縄文時代早期の遺構では、煙道付炉穴ではクリとクスギ節、コナラ節が、集石炉ではクリとクスギ節がみられ、クリの産出が多かった。いずれも燃料材の残渣である可能性が考えられている。クスギ節とコナラ節は、クリと同様に堅硬で、長時間燃焼するという材質をもつ(伊東ほか, 2011)。

同じ頃の遺跡である松阪市の鴻ノ木遺跡では、縄文時代早期の炉跡から出土した炭化材でクリが非常に多く確認されている(伊東・山田, 2012)。三重下では、縄文時代早期頃にはクリを燃料材として選択的に利用していた可能性がある。

中野山遺跡とは時期および地域が異なるが、青森

平野周辺では、縄文時代前期から後期の遺跡で出土した木材の樹種組成の解析から、人間によるクリ林の管理が行なわれていたと想定されている(Noshiro and Suzuki, 2006)。また、関東南部の縄文時代中期頃の集石遺構ではクリが多くみられており(小林, 2010; 野村, 2007)。以上のように、縄文時代前期から後期にかけての東日本では、クリが顕著に利用されていたことが確認されている。

クリは、前述のとおり重硬で強靱かつ長時間燃焼し続ける他に、果実は食用としての利用も可能である。中野山遺跡では、縄文時代草創期の段階からクリが有用材として認識され、利用されていた可能性がある。

古代の堅穴建物から出土した炭化材は、クスギ節であった。試料は焼けた建築材と考えられる。試料は割れていたが、元は直径2cm程度の丸木材と思われ、小径の材であるため、屋根材などの住居構築材である可能性が考えられる。

中世の墓から出土した炭化材は、サクラ属とクリであった。試料は遺体を茶筌に付した際の、燃料材の残渣であると考えられる。サクラ属はやや硬質で靱性があり、薪炭材としてもクスギやカシに次いでよいとされる(平井, 1996)。

四日市市に所在する山川遺跡では、古代から中世の火葬墓から出土した炭化材の樹種同定が行われ、9世紀中頃～10世紀中頃の遺構ではコナラ属アカガシ亜属とサクラ属、ユズリハ属、11世紀中頃～12世紀中頃の遺構ではタケ亜科、14世紀前半～15世紀後半の遺構ではマツ属複雑管束亜属、15～17世紀の遺構ではタケ亜科とムクノキが確認されている。時期による樹種構成の違いは周辺植生の変化を反映していると考えられるが、樹種を選択利用していた可能性も推測されている(バリノ・サーヴェイ、植田, 2000)。周辺地域との火葬墓および火葬穴の木材利用傾向を検討するには分析点数が少ないが、本遺跡で確認されたサクラ属は時期が異なるが山川遺跡でも使用されており、周辺地域の傾向と一致する可能性がある。

(バレイオ・ラボ 小林克也・黒沼保子)

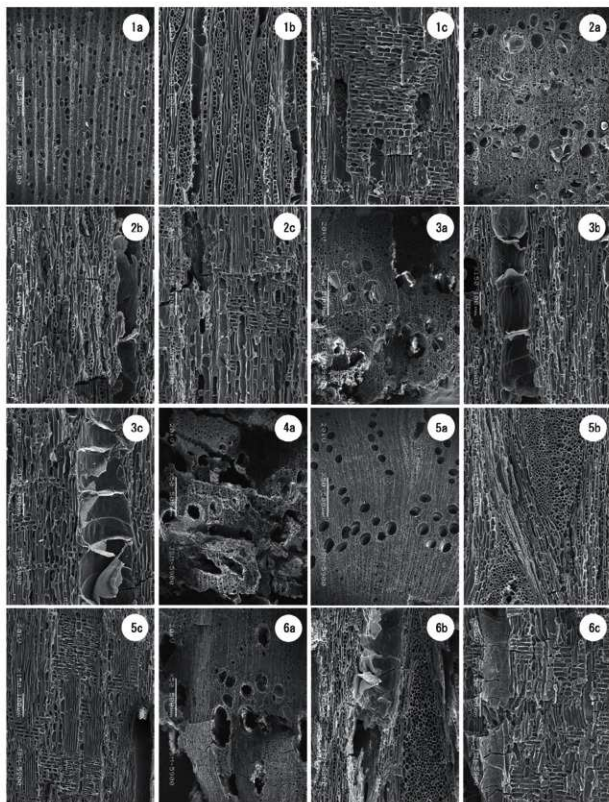
【引用文献】

- 平井信二 (1996) 木の百科. 394p. 朝倉書店.
- 伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂 (2011) 日本有用樹木誌. 238p. 海青社.
- 伊東隆夫・山田昌久編 (2012) 木の考古学. 449p. 海青社.
- 小林克也 (2010) 武蔵国分寺跡関連遺跡・武蔵台遺跡出土炭化材の樹種同定. 東京スポーツ文化事業団編「武蔵国分寺関連遺跡・武蔵台遺跡 第4分冊」:173-177. 東京都埋蔵文化財センター.
- 野村敏江 (2007) 山王上遺跡集石出土炭化材の樹種同定. 東京都スポーツ文化事業団編「山王上遺跡」:223-224. 東京都埋蔵文化財センター.
- Noshiro, S., Suzuki, M. (2006) Utilization of forest resources in the early Jomon period at and around the Sannai-maruyama site in Aomori Prefecture, northern Japan. 辻誠一郎・能城修一編「植生史研究 特別第2号」:83-100. 日本植生史学会.

- パリオ・サーヴェイ株式会社 (2000) 山川遺跡における自然科学分析調査報告. 四日市市教育委員会編「山川遺跡・山川古墳群」:57-64p. 四日市市教育委員会.
- 植田弥生 (2000) 山川遺跡第2次出土炭化材の樹種同定. 四日市市教育委員会編「山川遺跡・山川古墳群」:67-68p. 四日市市教育委員会.

第7表 中野山遺跡出土炭化材の樹種同定結果一覧

試料No.	調査年次	グリッド	出土遺構	層位	遺物No.	種類	樹種	残存平径 (cm)	残存年輪数	時期	年代測定番号
2	第4次	F-121	SF1008埋通付砂穴	4層	①	炭化材	コナラ属コナラ節	1	3	縄文時代早期	
3	第4次	F-121	SF1008埋通付砂穴	4層		炭化材	クリ	0.9	10	縄文時代早期	
4	第4次	F-V20	SF1010集石	2層	土サンプル	炭化材	クリ	-	4	縄文時代早期	
5	第4次	F-V20	SF1010集石	2層	土サンプル	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期	
8	第4次	F-122	SF1018埋通付砂穴	4層	②	炭化材	コナラ属コナラ節	-	5	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19854
9	第4次	F-122	SF1018埋通付砂穴	4層		炭化材	クリ	0.3	2	縄文時代早期前葉～中葉	
10	第4次	F-V21	SF1022集石	3層	①	炭化材	クリ	-	4	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19855
11	第4次	F-V21	SF1022集石	3層		炭化材	クリ	0.6	4	縄文時代早期前葉～中葉	
13	第4次	F-V24	SF1030埋通付砂穴	4層	①	炭化材	クリ	-	5	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-19857
14	第4次	F-V24	SF1030埋通付砂穴	4層		炭化材	クリ	0.5	12	縄文時代早期前葉～中葉	
17	第4次	G-W4	SH1011古代竪穴建物	-	⑦	炭化材	コナラ属クヌギ節	1	2	古代	
18	第4次	G-W4	SH1011古代竪穴建物	-	7	炭化材	コナラ属クヌギ節	1.3	2	古代	
19	第4次	N-C9	SX1039中世墓	-	-	炭化材	サクラ属	-	1	中世	
20	第4次	N-C9	SX1039中世墓	-	-	炭化材	クリ	-	-	中世	
25	第10次	F-114	SF1404集石	-	31	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27466
27	第10次	F-119	SF1412埋通付砂穴	-	3	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27468
28	第10次	F-118	SF1415埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	0.4	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27469
29	第10次	F-116	SF1419埋通付砂穴	-	13	炭化材	クリ	0.7	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27470
30	第10次	F-117	SF1422埋通付砂穴	-	25	炭化材	クリ	0.7	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27471
31	第10次	F-A17	SF1441埋通付砂穴	-	28	炭化材	クリ	0.9	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27472
33	第10次	F-Q18	SF1471埋通付砂穴	-	15	炭化材	クリ	0.9	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27474
34	第10次	F-R25	SF1489埋通付砂穴	-	32	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27475
35	第10次	F-R25	SF1490集石	-	20	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27476
40	第11次	L-116	SF1533埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27108
41	第11次	L-K17	SF1537埋通付砂穴	-	1	炭化材	コナラ属クヌギ節	0.6	3	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27109
42	第11次	L-114	SF1541埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27110
43	第11次	L-116	SF1544集石	-	1	炭化材	クリ	0.3	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27111
44	第11次	L-H18	SF1546集石	-	1	炭化材	クリ	0.3	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27112
45	第11次	L-H19	SF1547埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代早期前葉	PLD-27113
47	第11次	L-121	SF1564埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27115
48	第11次	L-123	SF1570集石	-	1	炭化材	クリ	0.8	1	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27116
50	第11次	M-45	SF1584集石	-	1	炭化材	コナラ属クヌギ節	1.4	6	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27118
51	第11次	M-84	SF1585集石	-	1	炭化材	コナラ属クヌギ節	-	-	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27119
52	第11次	F-36	SF1594埋通付砂穴	-	1	炭化材	クリ	0.5	2	縄文時代早期前葉～中葉	PLD-27120



第 266 図 中野山遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真

1a-1c. サクラ属 (No. 19)、2a-2c. クリ (No. 4)、3a-3c. クリ (No. 13)、4a. クリ (No. 10)、

5a-5c. コナラ属クヌギ節 (No. 17)、6a-6c. コナラ属コナラ節 (No. 2)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

4 土器附着炭化物の炭素・窒素安定同位体分析

1. はじめに

三重県に位置する中野山遺跡より検出された土器片に附着した炭化物の起源物質を推定するために、炭素と窒素の安定同位体比を測定した。また、炭素含有量と窒素含有量を測定して試料の C/N 比を求めた。なお、同一試料で放射性炭素年代測定も行っている（放射性炭素年代測定の項参照）。

2. 試料および方法

試料は、中野山遺跡 SX1109 埋壘の深鉢（報 463）の胴下部内面と胴中部外面に附着していた炭化物 2 点（PLD-21560・21561）である。なお、試料番号として放射性炭素年代測定の測定番号を用いた。測定に先立ち、炭化物試料は、酸・アルカリ・酸洗浄（HCl : 1.2N, NaOH : 0.1N）を施して試料以外の不純物を除去した。

炭素含有量および窒素含有量の測定には、EA（ガス化前処理装置）である Flash EA1112（Thermo Fisher Scientific 社製）を用いた。スタンダードは、アセトニトリル（キシダ化学製）を使用した。

炭素安定同位体比（ $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ ）および窒素安定同位体比（ $\delta^{15}\text{N}_{\text{AIR}}$ ）の測定には、質量分析計 DELTA V（Thermo Fisher Scientific 社製）を用いた。スタンダードは、炭素安定同位体比に IAEA Sucrose（ANU）、窒素安定同位体比に IAEA NI を使用した。

測定は、次の手順で行った。スズコンテナに封入した試料を、超高純度酸素と共に、EA 内の燃焼炉に落とし、スズの酸化熱を利用して高温で試料を燃

焼、ガス化させ、酸化触媒で完全酸化させる。次に還元カラムで窒素酸化物を還元し、水を過塩素酸マグネシウムでトラップ後、分離カラムで CO_2 と N_2 を分離し、TCD でそれぞれ検出・定量を行う。この時の炉および分離カラムの温度は、燃焼炉温度 1000°C 、還元炉温度 680°C 、分離カラム温度 45°C である。分離した CO_2 および N_2 はそのまま He キャリアガスと共にインターフェースを通して質量分析計に導入し、安定同位体比を測定した。

得られた炭素含有量と窒素含有量に基づいて C/N 比を算出した。

3. 結果

第 8 表に、試料名と炭素安定同位体比、窒素安定同位体比、炭素含有量、窒素含有量、C/N 比を示す。第 268 図は炭素安定同位体比と窒素安定同位体比の関係、第 269 図は炭素安定同位体比と C/N 比の関係を示したものである。

第 268 図において、中野山遺跡の埋壘内面附着炭化物（PLD-21560）は C_3 植物・草食動物の位置に、埋壘外面附着炭化物（PLD-21561）は C_3 植物・草食動物より少々 $\delta^{15}\text{N}$ が高い位置にプロットされた。

第 269 図において、中野山遺跡の埋壘内面附着炭化物（PLD-21560）は C_3 植物・草食動物と土壌（黒色土）が重複する位置に、埋壘外面附着炭化物（PLD-21561）は土壌（黒色土）の位置にプロットされた。

4. 考察

中野山遺跡 SX1109 埋壘の深鉢（報 463）の胴下部内面附着炭化物（PLD-21560）は、第 268 図と第 269 図のいずれにおいても C_3 植物・草食動物に相当する位置にプロットされたことから、 C_3 植物や

第 8 表 測定結果

試料番号	試料名	$\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ (‰)	$\delta^{15}\text{N}_{\text{AIR}}$ (‰)	炭素含有量 (%)	窒素含有量 (%)	C/N 比
PLD-21560	中野山遺跡 第5次 SX1109埋壘 F-S1 試料No. 21-1 深鉢(胴下部内面) 土器附着炭化物	-23.8	1.82	47.2	2.91	18.9
PLD-21561	中野山遺跡 第5次 SX1109埋壘 F-S1 試料No. 21-2 深鉢(胴中部外面) 土器附着炭化物	-25.8	10.2	51.5	2.71	22.2

草食動物に由来すると推定される。同じ埋裏の胴中部外面付着炭化物 (PLD-21561) は、低い $\delta^{13}\text{C}$ から陸産物と考えられ、かつ炭素窒素比がやや高いため、主に C_3 植物に由来すると推定される。 C_3 植物や草食動物の調理に使用された深鉢が転用され、SX1109 に埋設されたと解釈できる。

(パレオ・ラボ 山形秀樹・中村賢太郎)

【参考文献】

赤澤 威・南川雅男 (1989) 炭素・窒素同位体比に基づく古代人の食生活の復元。田中 琢・佐原 眞編「新しい研究法は考古学になにをもたらしたか」: 132-143, クハプロ。
 坂本 稔 (2007) 安定同位体比に基づく土器付着物の分析。国立歴史民俗博物館研究報告, 137, 305-315。
 Yoneda, M., M. Hirota, M. Uchida, A. Tanaka, Y. Shibata, M.

Morita, and T. Akazawa (2002) Radiocarbon and stable isotope analyses on the Earliest Jomon skeletons from the Tochibara rockshelter, Nagano, Japan. Radiocarbon 44 (2), 549-557.

米田 稔(2008)丸根遺跡出土土器付着炭化物の同位体分析。豊田市郷土資料館編「丸根遺跡・丸根城跡」: 261-263, 豊田市教育委員会。

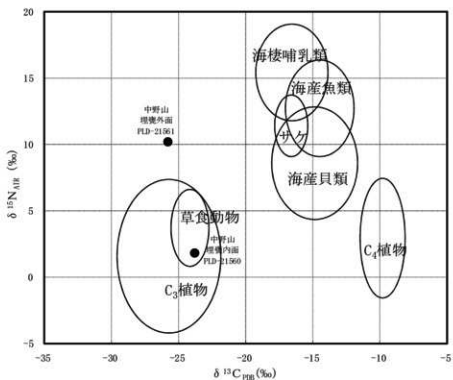
吉田邦夫・宮崎ゆみ子 (2007) 煮炊きして出来た炭化物の同位体分析による土器付着炭化物の由来についての研究。平成 16-18 年度科学研究補助金基礎研究 B (課題番号 16300290) 研究報告書 研究代表者西田泰民「日本における稲作以前の主食植物の研究」, 85-95。

吉田邦夫・西田泰民 (2009) 考古学が探る火災土器。新潟県立歴史博物館編「火焔土器の国 新潟」: 87-99, 新潟日報事業社。

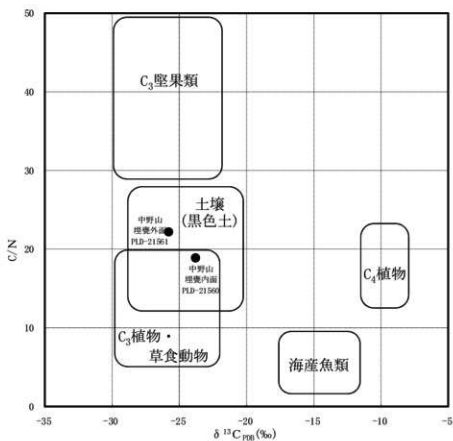


第 267 図 中野山遺跡 (第 5 次) の試料

上段: 出土埋裏内面付着炭化物 下段: 出土埋裏外面付着炭化物



第 268 図 炭素・窒素安定同位体比 (吉田・西田 (2009) に基づいて作製)



第 269 図 炭素安定同位体比と C / N 比の関係 (吉田・西田 (2009) に基づいて作製)

5 出土石器の残存デンプン粒分析

中野山遺跡第4次(縄文時代早期)、第5次(縄文時代中期後半)、第9次(縄文時代早期～中期)の調査で出土した石器に対して残存デンプン粒分析を実施した。その分析結果にもとづいて、本稿では、これらの石器で植物加工が行われた可能性を検討するとともに、検出された残存デンプン粒の形態学的特徴から石器の加工対象物について考察した。

第1節 調査対象とした石器

(1) 分析の対象とした石器

調査対象の石器は、第4次調査の出土資料が石皿13点、磨石3点、敲石4点、礫1点、第5次調査の出土資料が石皿1点、凹石1点、礫2点、第9次調査の出土資料が石皿1点の合計26点である(第9～11表)。いずれも発掘調査で出土した後に水洗され、三重県埋蔵文化財センターで保管されている。

試料採取時に行った観察では、石器の面の中央部を利用して対象物を磨る・敲くという使用状況が推定された。ただし、植物のような軟質物を磨った時に生じる光沢痕は、肉眼での観察では確認することができなかった。

(2) 分析方法

試料採取 本分析では、2012年2月と2013年2月の2度にわたって、三重県埋蔵文化財センター四日市整理所で資料観察と分析試料を採取した。資料の採取時は異物の混入を避けるため、白衣の着用や資料ごとの手洗い等、採取条件に留意した。

石器から分析試料を採取する際は Fullagar (2006)の方法を参照し、敲打痕と磨面の確認された部位を主に選択するとともに、使用痕の外側の面、確認されなかった部位の試料も採取し、残存デンプン粒の有無と検出量を検討した。マイクロピペットにチップをはめて精製水(シグマ社製)を吸入し、採取する対象に注入、洗浄しながら試料が16 μ l以上(複数枚のプレバートを作製する必要量)になるまで吸引した。1資料につき試料を4～6箇所、石器の表面の凹所から採取した。この方法は、後期旧石器時代や縄文時代の石器に対する他の分析事例(渋谷2010a, 2011, 2012)でも採用している。

プレバート作製と顕微鏡観察 プレバートの作製と顕微鏡観察は、2012年採取分を広島大学総合博物館事務室、2013年採取分を国立歴史民俗博物館の第1室準備室で行った。

採取した試料はすべて、現生デンプン粒標準の作製(渋谷綾子2006, 2010b)と同じ方法でプレバートを作製し、試料を遠心後(13,000rpm \cdot 1分)、8 μ lをグリセロール \cdot ゼラチン(シグマ社製、屈折率1.46-1.48)8 μ lで封入し、1試料につき2～3枚作製した。試料を入れないブランクスライドも毎回作製し、スライドガラスやカバーガラス、スライド封入剤における汚染の有無を確認した。

次に光学顕微鏡(Olympus BX53-33Z、簡易偏光装置付)を用いて、接眼レンズを10倍、対物レンズを10～40倍、総合倍率100～400倍の視野条件で観察した。デンプン粒の外形や偏光十字の形状などの特徴を記録する際は400倍で観察し、写真記録を行った。

顕微鏡観察の際は、検出したデンプン粒の形態に対して現生植物を用いたデンプン粒標準の形態分類法(渋谷2010b)をふまえ、A:円形・いびつな円形・楕円形、B:半円形・三角形・四角形、C:多角形の3つのカテゴリーに分類し、大きさは最大粒径を計測してI:10 μ m未満、II:10～20 μ m、III:20 μ mより大、の3つのサイズクラスに分け、合わせて9つのタイプに分類した。分解・損傷して原形の識別が難しい残存デンプン粒はこれらとは別に、「D:分解・損傷」とした。残存デンプン粒を確認した場合は、これらの項目で形態分類を行うとともに、デンプン粒の外形や粒芯、層紋(半結晶ラメラ構造)、形成核(粒芯の中央部で偏光十字が交差する箇所、ヘソhilum)の位置、偏光十字の形状も記録した。この作業を資料ごとに行い、残存デンプン粒の形態分類図を作製した。

第2節 分析結果

(1) 残存デンプン粒の検出状況

分析した石器26点のうち、石皿2 \cdot 4 \cdot 9 \cdot 12 \cdot 15、敲石1 \cdot 3 \cdot 4より合計17この残存デンプン粒が検出された。石皿12、敲石1 \cdot 4の分解デンプン粒をのぞき、ほかはすべて形態や偏光十字の形状を識別することができた(第12表)。デンプン粒の検

出状態は単粒（1粒単独の状態）、複数粒（複数の粒が密集した状態、第270図：1）であり、植物繊維や細胞組織の微細な断片も試料に含まれていた。

検出された残存デンプン粒の形態については、石皿2：AII・AIII、石皿4：AIII、石皿9：AIII、石皿15：AIII、敲石1：AII・AIII、敲石3：AIIが確認できた（第12表）。第271図では、これらの形態が明確に識別可能なデンプン粒を図示した。

石器の磨面や敲打痕のある範囲から検出された残存デンプン粒は、石器で加工された植物の痕跡である可能性が高い。しかし第11表に見られるように、石皿15の残存デンプン粒（第270図：5）は磨面の確認されない部位（IS4）から検出された。そのため、このデンプン粒は植物加工に伴うものとコンタミネーションの可能性という2通りの解釈が提示できる。他の石器の残存デンプン粒は、すべて磨面や敲打痕からの検出であり、使用痕の確認されない部位からは検出されなかった。磨面・敲打痕との関係性が推定され、これらのデンプン粒は加工対象物の残滓である可能性が考えられる。

（2）石器の残存デンプン粒の由来する植物

以上の検出結果を受けて、石皿2・4・9・15、敲石1・3の形態と現生標本を比較し（第271図）、残存デンプン粒の由来する植物を検討する。

今回検出された残存デンプン粒のうち、石皿9のAIIIのデンプン粒（第270図：3）はアミロプラストと呼ばれる細胞内構造体に包含された状態で確認された。このような状態のデンプン粒は鱗茎・根茎類に由来する可能性がある。円形で短径21.19 μm ・長径23.82 μm 、卍形の偏光十字という特徴から、ユリ科鱗茎が由来する植物の候補として挙げられる。同じSF1022から出土した石皿4のAIIIのデンプン粒も外形や粒径、偏光十字の形状から石皿9のデンプン粒と同じ植物種に由来する可能性が高い。ただし、ユリ科のどの属・種に該当するのかについては現生標本自体をさらに検討する必要があり、今後の課題としたい。

石皿15の残存デンプン粒（第270図：4）は、短径35.88 μm ・長径36.43 μm の楕円形、形成核が粒子の端部にあり、縦十字をなす偏光十字という特徴から、カタクリ *Erythronium japonicum* Decne. のデ

ンプン粒と非常に類似している。由来する植物の候補としてこの植物が挙げられる。

石皿2のデンプン粒2個（第270図：1）、敲石1のAIIのデンプン粒（第270図：7）、敲石3のデンプン粒（第270図：8）はいずれも楕円形で、粒径ならびに十字の暗線が粒子の中央で斜めに交差する偏光十字の特徴とあわせると、コナラ属 *Quercus* sp. のデンプン粒である可能性が高い。

敲石1のAIIIのデンプン粒3個（うち1個は第270図：6）については、粒径と粒子の中央で縦に交差する偏光十字の特徴から、コナラ属のデンプン粒に見られる形態学的特徴と一致せず、むしろユリ科鱗茎に由来する可能性が考えられる。そのため、敲石1については、コナラ属とユリ科鱗茎に由来する可能性のある残存デンプン粒が付着していたことになる。

以上をまとめると、検出された残存デンプン粒の由来する植物の種類は、石皿2：コナラ属、石皿4：ユリ科鱗茎、石皿9：ユリ科鱗茎、石皿15：カタクリ、敲石1：コナラ属・ユリ科鱗茎、敲石3：コナラ属、が考えられる。

先述したように、石皿15のデンプン粒は磨面の確認されない部位から検出されたため、植物加工に伴うもの、あるいは遺跡土壌などによる混入という2通りの可能性がある。石器が使用された当時の当該地域の古植生に対する詳細な復元結果や他の石器類に対する残存デンプン粒分析の結果とあわせて検証する必要がある。

分解デンプン粒については、粒子の膨潤が起きて偏光十字の幅が拡張された状態の石皿12の分解デンプン粒（第270図：4）、粒子の膨潤と偏光十字の幅の拡張が見られる敲石1の分解デンプン粒、外縁の損傷が起きた状態の敲石4の分解デンプン粒（第270図：9）という特徴がある。これらの石器には被熱の痕跡が明確には認められなかったため、石器の被熱に伴った糊化・糖化が生じたとは考え難い。

デンプン粒の残留条件を考えると、このデンプン粒は石皿での磨り潰し作業の際に植物のセルロースごと部分的に損壊され、土壌での埋没中にその壊れた部位から酵素反応が進んで原形の識別ができなくなったこと、一方の無傷のデンプン粒はセルロース

に、いわば守られる形で損傷を受けずに石器に残留したこと、つまり、デンプン粒が損壊した植物とそうでない植物の両方が石器で加工されたという仮説を提示することができる。

この仮説と関連して、考古資料の分析結果と実験用石皿で磨り潰した植物のデンプン粒を比較検討した報告 (Liu et al. 2013) がある。Liu らの実験結果によると、加工作業時にデンプン粒が損壊する植物種と、損壊せずに無傷のままの植物種が存在するという。

この結果を参照すると、特に敲石 1 については (1) コナラ属・ユリ科鱗茎のみの加工、(2) コナラ属、ユリ科鱗茎、他の植物の加工 (ただし他の植物のデンプン粒は損傷した)、という 2 通りの解釈が考えられる。つまり、敲石 1 の敲打痕から検出された分解デンプン粒は加工作業中にデンプン粒が損傷した植物に由来する可能性がある。

石皿 12 と敲石 4 の分解デンプン粒についても、石器での加工作業中にデンプン粒が損傷した植物に由来すると考えられる。どちらの石器からも 1 個のみの検出量であり、コンタミネーションの可能性もある。同じ遺構から出土した他の石器ではどうか、さらに検討する必要がある。

(3) まとめ

今回分析した中野山遺跡第 4 次・第 5 次・第 9 次調査で出土した石器について、石皿 2・4・9・12・15、敲石 1・3・4 を検出することに成功し、これらがコナラ属や鱗茎類などに由来する可能性を提示した。採取した試料中の植物性物質の含有量からは、検出された残存デンプン粒が石皿の加工対象物の残渣である可能性を考えることができる。ただし、同じ遺構から出土した他の石器、同じ土層から出土した石皿類において残存デンプン粒が見られないかを検討する必要がある。

今後、中野山遺跡を含む遺跡周辺の古環境が詳細に復元され、遺跡での植物利用や石器の用途の検討がさまざまな角度から行われれば、残存デンプン粒の候補となる植物の範囲がより狭められ植物種の同定が可能となる。本分析の結果を含めて学際的な視点から研究していくことが必要である。

(渋谷綾子)

【引用文献】

- Fullagar, R. 2006 「Starch on artifacts」 [Ancient starch research] (Torrence R.・Barton H.), pp.177-203 Left Coast Press, INC, Walnut Creek.
- Liu, L., Bestel, S., Shi, J., Song, Y., Chen, X. 2013 「Paleolithic human exploitation of plant foods during the last glacial maximum in North China」 [Proceedings of the National Academy of Science (PNAS)], pp.16
- 渋谷綾子 2006 「日本の現存植物を用いた参照デンプン標本」 [新潟県立歴史博物館研究紀要] 7, 7-16 頁
- 渋谷綾子 2010a 「高山寺貝塚、溝ノ口、市脇、下芳養、丁の町・妙寺遺跡から出土した縄文時代石器の残存デンプン粒分析」 [和歌山市立博物館研究紀要] 25, 105-117 頁
- 渋谷綾子 2010b 「日本列島における現生デンプン粒標本と日本考古学研究への応用—残存デンプン粒の形態分類をめざして」 [植生史研究] 18 (1), 13-27 頁
- 渋谷綾子 2011 「飛田給北遺跡から出土した石器の残存デンプン粒分析」 (北田井民子・田中純男・杉原重夫・渋谷綾子・上條朝宏・武笠多恵子「調布市飛田給北遺跡 第 9 地点」、多摩市)、192-203 頁
- 渋谷綾子 2012 「鹿児島県水迫遺跡出土石器の残存デンプン粒と縄文時代早期・中期における植物利用」 [植生史研究] 21 (2), 55-66 頁

第9表 第4次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

(IS: 第1次試料, 使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿1	NNY-SRP6	F-V20	SF1010	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿2	NNY-SRP7	F-U25	SH1009	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	2
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿3	NNY-SRP9	F-V25	SH1025	IS1	無	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿4	NNY-SRP14	F-V21	SF1022	IS1	磨面	1	
					IS2	磨面	0
					IS3	磨面	0
					IS4	無	0
石皿5	NNY-SRP15	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
石皿6	NNY-SRP16	F-V25	SH1025	IS2	磨面	0	
					IS3	磨面	0
石皿7	NNY-SRP19	F-T22	SF1019	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
石皿8	NNY-SRP22	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
石皿9	NNY-SRP24	F-W21	SF1022	IS1	磨面	1	
					IS2	無	0
石皿10	NNY-SRP25	G-V3	SH1026	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
石皿11	NNY-SRP26	F-V21	SF1015	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
石皿12	NNY-SRP27	F-U25	SH1009	IS1	磨面	1	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
石皿13	NNY-SRP29	F-U25	SH1009	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
磨石1	NNY-SRP21	F-V21	SF1022	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
磨石2	NNY-SRP23	F-W21	SF1024	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
磨石3	NNY-SRP30	F-V24	SF1030	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
敲石1	NNY-SRP8	F-V25	SH1025	IS1	敲打痕	3	
					IS2	敲打痕	6
					IS3	敲打痕	0
敲石2	NNY-SRP17	F-V24	SF1030	IS1	敲打痕	0	
					IS2	磨面	0
敲石3	NNY-SRP20	F-V21	SF1008	IS1	敲打痕	1	
					IS2	無	0
敲石4	NNY-SRP28	G-U1	SH1013	IS1	敲打痕	1	
					IS2	無	0
敲1	NNY-SRP18	F-V21	SF1022	IS1	無	0	
					IS2	敲打痕	0

第10表 第5次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

(IS: 第1次試料, 使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿14	NNY-SRP12	北区	SF1116	IS1	磨面	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
凹石1	NNY-SRP13	西側Pit 1	SH1104	IS1	敲打痕	0	
敲2	NNY-SRP10	E-V23	SF1110	IS1	無	0	
					IS2	無	0
					IS3	無	0
					IS4	無	0
敲3	NNY-SRP11	E-V23	SF1110	IS1	無	0	
					IS3	無	0

第11表 第9次調査出土石器の分析試料と残存デンプン粒の検出個数

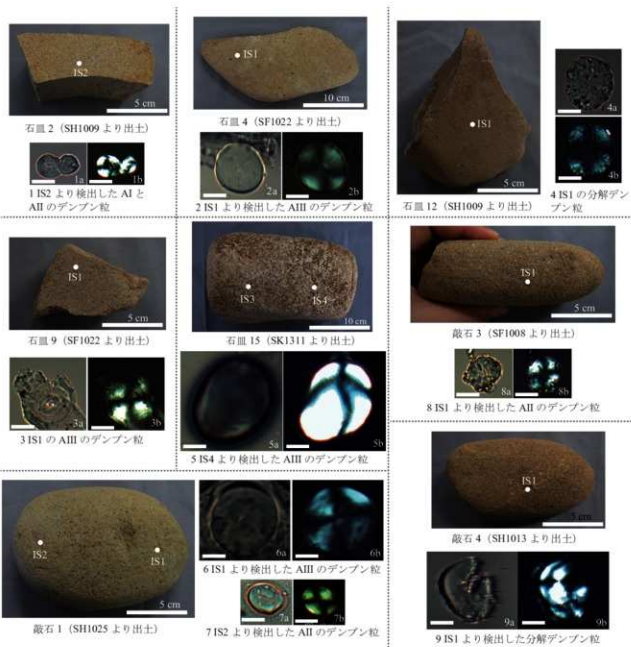
(IS: 第1次試料, 使用痕の識別は筆者自身の観察による)

石器	分析番号	出土地区	出土遺構	採取部位	使用痕の種類	検出個数	
石皿15	NNY-SRP31	K-T13	SK1311	IS1	磨面	0	
					IS2	磨面	0
					IS3	無	0
					IS4	無	1

第12表 石器から検出した残存デンプン粒（単位：個）

分析した 石器	円形主体			半円・三角・ 四角形			多角形			D	計
	AI	AII	AIII	BI	BII	BIII	CI	CII	CIII		
石皿1											0
石皿2	1	1									2
石皿3											0
石皿4			1								1
石皿5											0
石皿6											0
石皿7											0
石皿8											0
石皿9			1								1
石皿10											0
石皿11											0
石皿12									1		1
石皿13											0
石皿14											0
石皿15			1								1
磨石1											0
磨石2											0
磨石3											0
敲石1		3	3						3		9
敲石2											0
敲石3		1									1
敲石4									1		1
凹石1											0
礫1											0
礫2											0
礫3											0
計	1	5	6	0	0	0	0	0	0	5	17

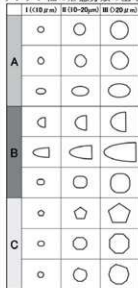
※A：円形・いびつな円形・楕円形，B：半円形・三角形・四角形，C：多角形，D：分解して原形の識別が困難なもの。I：10 μ m未満，II：10～20 μ m，III：20 μ m以上



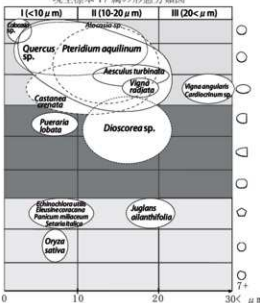
第 270 図 分析した中野山遺跡出土石器の例と検出された残存デンブレン粒

白丸は試料採取箇所, IS: 第 1 次試料, 残存デンブレン粒写真のスケールバーは 10µm を示す。デンブレン粒の写真はすべて 400 倍; a: 開放ニコル, b: 直交ニコルで撮影。

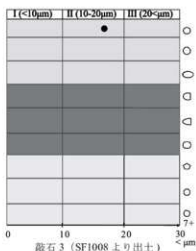
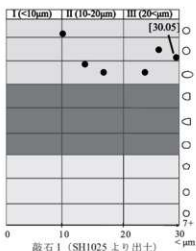
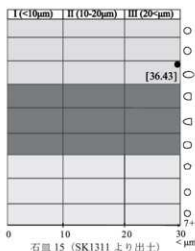
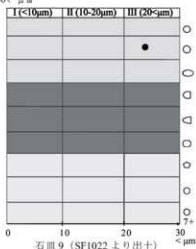
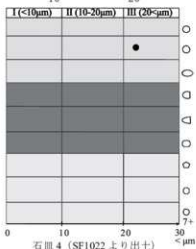
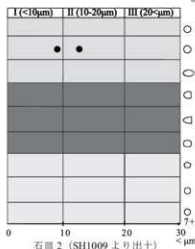
デンプン粒の形態分類の基準



現生標本 17 属の形態分類図



A : 円形
 B : 半円形・三角形・四角形
 C : 多角形
 I : <10 μm
 II : 10-20 μm
 III : 20< μm



第 271 図 デンプン粒の形態分類の基準と現生標本 17 属の形態分類図 (渋谷 2010b をもとに作製)。および分析した石器から検出した残存デンプン粒の形態分類図。

黒丸は形態が識別可能なデンプン粒 (分解/損傷デンプン粒を除く) の形態と最大粒径を示す。

6 中野山遺跡（第8・10～12次） 出土滓の分析調査

1. いきさつ

中野山遺跡は三重県四日市市北山町に所在する。東海環状自動車道部分の第3・6・7次調査、新名神高速道路部分の第4・5・8～12次調査地区からは奈良～飛鳥時代の鍛冶滓（一部青銅製品製作の影響が残る滓を含む）が確認されている。調査地区内の鍛冶関連遺構は未確認であるが、同時期の滓が複数出土したため、各地区での作業内容を比較検討する目的から、調査を実施する運びとなった。

2. 調査方法

2-1. 供試材

第13表に示す。出土滓6点の調査を行った。

2-2. 調査項目

(1) 肉眼観察

分析調査を実施する遺物の外観の特徴など、調査前の観察所見を記載した。

(2) マクロ組織

本来は肉眼またはルーペで観察した組織であるが、本稿では顕微鏡埋込み試料の断面を、低倍率で撮影したものを指す。当調査は顕微鏡検査よりも、広範囲で組織の分布状態、形状、大きさなどが観察できる利点がある。

(3) 顕微鏡組織

鍛冶の鉱物組成や金属部の組織観察、非金属介在物の調査などを目的とする。

試料観察面を設定・切り出し後、試験片は樹脂に埋込み、エメリー研磨紙の#150、#240、#320、#600、#1000、及びダイヤモンド粒子の3 μ mと1 μ mで鏡面研磨した。また観察には金属反射顕微鏡を用い、特徴的・代表的な視野を選択して写真撮影を行った。

(4) ビッカース断面硬度

ビッカース断面硬度計（Vickers Hardness Tester）を用いて硬さの測定を行い、文献硬度値に照らして、鍛冶中の晶出物の判定を行った。また金属鉄の硬さ測定も同様に実施した。

試験は鏡面研磨した試料に136°の頂角をもったダイヤモンドを押し込み、その時に生じた窪みの面積をもって、その荷重を除いた商を硬度値としている。試料は顕微鏡用を併用し、荷重は50gfで測定した。

(5) EPMA（Electron Probe Micro Analyzer）調査
日本電子製（JXA-8800RL）波長分散型5チャンネルにて含有元素の定性・定量分析を実施した。定量分析は試料電流20 $\times 10^{-8}$ アンペア、ビーム径3 μ m、補正法はZAFに従った。

試料面（顕微鏡試料併用）に真空中で電子線を照射し、発生する特性X線を分光後に画像化し定性的な結果を得る。更に標準試料とX線強度との対比から元素定量値をコンピューター処理してデータ解析を行う方法である。

反射電子像（COMP）は、調査面の組成の違いを明度で表示するものである。重い元素で構成される箇所は明るく、軽い元素で構成される箇所は暗い色調で示される。これを利用して、各相の組成の違いを確認後、定量分析を実施している。

また元素の分布状態を把握するため、反射電子像に加え、特性X線像の撮影も適宜行った。

(6) 化学組成分析

出土遺物の性状を調査するため、構成成分の定量分析を実施した。

全鉄分（Total Fe）、金属鉄（Metallic Fe）、酸化第一鉄（FeO）：容量法。

炭素（C）、硫黄（S）：燃焼容量法、燃焼赤外吸収法。

二酸化硅素（SiO₂）、酸化アルミニウム（Al₂O₃）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化カリウム（K₂O）、酸化ナトリウム（Na₂O）、酸化マンガン（MnO）、二酸化チタン（TiO₂）、酸化クロム（Cr₂O₃）、五酸化燐（P₂O₅）、バナジウム（V）、銅（Cu）、二酸化ジルコニウム（ZrO₂）：ICP（Inductively Coupled Plasma Emission Spectrometer）法：誘導結合プラズマ発光分光分析。

3. 調査結果

KN-1：椀形鍛冶滓

(1) 肉眼観察：小形で扁平な椀形鍛冶滓（51.8g）である。側面1面は破面の可能性が高い。表面には広い範囲で茶褐色の土砂や錆び鉄が付着するが、ま

とまった鉄部はみられない。滓の地の色調は黒灰色で着磁性がある。破面の気孔は少なく緻密な滓である。また上面端部から側面にかけて、部分的にガラス質滓が付着する。炉材粘土の溶融物と推測される。(2) マクロ組織：第 272 図①に示す。写真右寄りの楕円状の明灰色部は錆化鉄である。錆化が進み内部が大きく空洞化するが、他にも滓中にごく微細な錆化鉄が多数散在する。

(3) 顕微鏡組織：第 272 図②③に示す。②は滓部の確認である。白色樹枝状結晶ウスタイト(Wustite: FeO)、暗色多角形結晶ヘルシナイト(Hercynite: FeO·Al₂O₃)、淡灰色盤状結晶ファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂) が晶出する。③は錆化鉄部の拡大である。微かに層状のパーライト(Pearlite)組織の痕跡が残存しており、亜共析組織(C < 0.77%)であったと推測される。

(4) ビッカース断面硬度：第 272 図②の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 450Hv であった。ウスタイトの文献硬度値¹⁾(450 ~ 500Hv)の範囲内であり、ウスタイトに同定される。また淡灰色部の硬度値は 734Hv、910Hv であった。ファヤライトの文献硬度値より硬質であるが、内部に微細な暗色多角形結晶ヘルシナイトが晶出しているため、その影響を受けた値と判断される。後述の EPMA 調査結果からも、素地部分はファヤライトと推定される。

(5) EPMA 調査：第 272 図④に滓部の反射電子像(COMP)を示す。白色樹枝状結晶は鉄(Fe)、酸素(O)に反応がある。定量分析値は 102.8%FeO(分析点 41)であった。ウスタイト(Wustite: FeO)に同定される。微細な暗色結晶は特性 X 線像では鉄(Fe)、アルミニウム(Al)に反応がある。定量分析値は 51.9%FeO - 50.7%Al₂O₃(分析点 42)であった。ヘルシナイト(Hercynite: FeO·Al₂O₃)である。淡灰色柱状結晶は特性 X 線像では鉄(Fe)、珪素(Si)、酸素(O)に反応がある。定量分析値は 68.8%FeO - 30.1%SiO₂(分析点 43)であった。ファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)に同定される。また球状明灰色粒は、特性 X 線像では鉄(Fe)、酸素(O)に強い反応がある。定量分析値は 87.2%Fe(分析点 44)で、錆化鉄と推測される。

(6) 化学組成分析：第 14 表に示す。全鉄分(Total

Fe) 47.28% に対して、金属鉄(Metallic Fe) 0.06%、酸化第 1 鉄(FeO) 35.06%、酸化第 2 鉄(Fe₂O₃) 28.55% の割合であった。造滓成分(SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) 31.16% で、このうち塩基性成分(CaO + MgO)は 0.83%と低い。主に砂鉄(含チタン鉄鉱)起源の二酸化チタン(TiO₂)は 0.31%、バナジウム(V)が 0.01%と低値であった。酸化マンガン(MnO)も 0.06%と極低値で、銅(Cu)は 0.03%と高めである。

NKN - 2 : 鍛冶滓

(1) 肉眼観察：(10 ~ 12 次調査地区)出土滓中では、比較的大形(108.7g)の鍛冶滓の破片である。上面と側面の一部は黒色ガラス質滓で、砂を多量に混和した被熱粘土も点在する。炉材粘土の溶融物と推定される。滓部は暗灰色で、弱に着磁性がある。側面 2 面は破面で、中小の気孔が散在する。下面は微細な木炭痕による凹凸が著しい。

(2) マクロ組織：第 273 図①に示す。観察面は比較的緻密なファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)組成の滓である。表層付近に微細な錆化鉄(青灰色部)が散在するが、まとまった鉄部はみられない。

(3) 顕微鏡組織：第 273 図②③に示す。上述したように、滓中には淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また微細な明白色粒は金属鉄、不定形青灰色部は錆化鉄である。金属組織(痕跡)は不明瞭で、炭素含有率の推定等は困難な状態であった。

(4) ビッカース断面硬度：第 273 図②の淡灰色柱状結晶の硬度を測定した。硬度値は 573Hv、592Hv であった。ファヤライトの文献硬度値²⁾ 600 ~ 700Hv と比較すると軟質であるが、結晶の色調や形態および後述の EPMA 調査結果から、ファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)と推定される。

(5) EPMA 調査：第 273 図④に滓部(第 273 図②)の拡大の反射電子像(COMP)を示す。淡灰色柱状結晶は特性 X 線像をみると鉄(Fe)、珪素(Si)、酸素(O)に反応がある。定量分析値は 65.5%FeO - 30.6%SiO₂(分析点 1)であった。ファヤライト(Fayalite: 2FeO·SiO₂)に同定される。素地部分の定量分析値は 42.4%SiO₂ - 23.8%Al₂O₃ - 5.6%CaO - 5.0%K₂O - 1.1%Na₂O(分析点 2)であった。非晶質珪酸塩である。

また微細な明白色粒は特性 X 線像では鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は 97.4%Fe (分析点 3) であった。金属鉄 (Metallic Fe) である。

(6) 化学組成分析: 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) 45.78% に対して、金属鉄 (Metallic Fe) 0.09%、酸化第 1 鉄 (FeO) 42.32%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 18.29% の割合であった。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 33.12% で、このうち塩基性成分 (CaO + MgO) は 1.03% と低い割合である。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO₂) は 0.27%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。また酸化マンガン (MnO) も 0.08%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。

当鉄滓は鉄分 (FeO) および炉材粘土の溶融物 (SiO₂ 主成分) 主体の鉄滓であった。製鉄原料起源の脈石成分 (鉄鉱石: CaO, MgO, MnO, 砂鉄: TiO₂, V など) は低減傾向が著しい。以上の特徴から、鉄素材を熱間で鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛治滓と推定される。

NKN-3: 椀形鍛治滓

(1) 肉眼観察: 偏平な椀形鍛治滓 (42.0g) である。表面は広い範囲で薄く茶褐色の錆化物が付着するが、まとまった鉄部はみられない。上面には灰褐色のガラス質滓 (粘土溶融物) が部分的に付着する。また滓の色調は黒灰色で弱い着磁性がある。上下面とも細かい木炭痕による凹凸が目立つ。側面 4 面は破面で、細かい気孔が散在する。

(2) マクロ組織: 第 274 図①に示す。左上の不定形小形の青灰色部は錆化鉄であるが、まとまった鉄部を持つ滓ではない。

(3) 顕微鏡組織: 第 274 図②③に示す。滓中には白色樹枝状・粒状結晶 ウスタイト (Wustite: FeO)、淡灰色柱状結晶 ファヤライトが晶出する。またごく微細な金属鉄 (明白色) 粒が多数点状存在する。

(4) ビッカース断面硬度: 第 274 図②の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 396Hv、443Hv であった。ウスタイトの文献硬度値 450 ~ 500Hv と比較するとやや軟質であるが、結晶の色調や形態および後述の EPMA 調査結果から、ウスタイト (Wustite: FeO) の可能性が高い。また淡灰色柱状結晶の硬度

値は 630Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトと推定される。

(5) EPMA 調査: 第 274 図④に滓部 (第 274 図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。白色樹枝状結晶は特性 X 線像では鉄 (Fe)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は 95.8%FeO (分析点 4) であった。ウスタイト (Wustite: FeO) に同定される。非常に微細な暗色結晶の定量分析値は 68.9%FeO - 15.3%SiO₂ - 2.8%Al₂O₃ (分析点 5) であった。イスコライト (Iscoreite: 5FeO·Fe₂O₃·SiO₂) と推定される。また黒色結晶の定量分析値は 16.6%K₂O - 61.9%SiO₂ - 23.9%Al₂O₃ - 1.5%FeO (分析点 6) であった。オルソクレース (Orthoclase: KAlSi₃O₈) と推定される。さらに微小白明色粒は特性 X 線像をみると、鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は 101.4%Fe (分析点 2) であった。金属鉄 (Metallic Fe) である。

(6) 化学組成分析: 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 53.28% と高値であった。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.14%、酸化第 1 鉄 (FeO) が 46.13%、酸化第 2 鉄 (Fe₂O₃) 24.71% の割合である。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は 24.04% で、塩基性成分 (CaO + MgO) の割合は 1.37% と低い。また主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO₂) は 0.25%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.08%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。

当鉄滓は鉄酸化物 (FeO) の割合が高めで、製鉄起源の脈石成分は低減傾向が著しい。この特徴から、やはり鉄素材を熱間で鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛治滓と推定される。

NKN-4: 椀形鍛治滓

(1) 肉眼観察: 椀形鍛治滓の側面端部破片 (42.8g) である。滓の色調は黒灰色で、弱い着磁性がある。上面は比較的平坦で、下面には細かい木炭痕による凹凸がある。側面 4 面は破面で、細かい気孔が散在するが重量感のある滓である。

(2) マクロ組織: 第 275 図①に示す。比較的緻密な鍛治滓で、まとまった金属鉄 (またはその錆化物) はみられない。

(3) 顕微鏡組織: 第 275 図②③に示す。滓中には

白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また非常に微細な金属鉄（明白色粒）が若干点在する。

(4) ビッカース断面硬度：第275図③の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は470Hvであった。ウスタイトの文献硬度値の範囲内であり、ウスタイトに同定される。また淡灰色柱状結晶の硬度値は659Hvであった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

(5) EPMA 調査：第275図④に淬部の反射電子像 (COMP) を示す。白色粒状結晶は特性X線像をみると鉄 (Fe)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は95.8%FeO - 1.3%Al₂O₃ - 1.3%MnO (分析点7) であった。ウスタイト (Wustite: FeO) に同定される。また素地部分の定量分析値は38.0%SiO₂ - 21.4%Al₂O₃ - 11.1%CaO - 8.0%K₂O - 1.7%Na₂O - 19.8%FeO (分析点8) であった。非晶質珪酸塩に同定される。淡灰色柱状結晶は特性X線像では鉄 (Fe)、珪素 (Si)、酸素 (O) に反応がある。定量分析値は64.2%FeO - 2.5%MnO - 1.6%MgO - 30.9%SiO₂ (分析点9) であった。ファヤライトに同定される (Fayalite: 2FeO·SiO₂)。さらに微小白色粒は特性X線像をみると、鉄 (Fe) にのみ強い反応がある。定量分析値は98.2%Fe (分析点3) であった。金属鉄 (Metallic Fe) である。

(6) 化学組成分析：第14表に示す。全鉄分 (Total Fe) 53.76% と高値であった。金属鉄 (Metallic Fe) は0.10%、酸化第1鉄 (FeO) が61.07%、酸化第2鉄 (Fe₂O₃) 8.85% の割合である。造滓成分 (SiO₂ + Al₂O₃ + CaO + MgO + K₂O + Na₂O) は26.71% で、このうち塩基性成分 (CaO + MgO) の割合は201% と低い。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO₂) は0.24%、バナジウム (V) が0.01% と低値であった。また酸化マンガン (MnO) も0.10%、銅 (Cu) < 0.01% と低値である。

当鉄滓は塊形鍛冶滓 (NKN - 3) と同様、鉄酸化物 (FeO) の割合が高めで、製鉄起源の脈石成分は低減傾向が著しい。鉄素材を熱間鍛打加工する際に生じた鍛錬鍛冶滓と推定される。

NKN - 5 : 鍛冶滓

(1) 肉眼観察：扁平な鍛冶滓 (27.5g) である。全

体に軽い質感で、ガラス質滓 (炉材粘土溶融物) の割合が高いと推測される。上面は比較的平滑で、弱い磁性がある。下面はほぼ全面灰褐色の鍛冶炉床土が付着する。また端部に径5mm程の錆化鉄部が確認される。側面1面は破面である。

(2) マクロ組織：第276図①に示す。右上の暗色部は羽口先端の溶融物 (ガラス質滓)、下面表層の暗色部は熱影響を受けた鍛冶炉床土と推測される。また中央の明灰色部は鍛冶滓部分である。

(3) 顕微鏡組織：第276図②③に示す。ともに鍛冶滓部分の拡大である。灰褐色多角形結晶はマグネタイト (Magnetite: FeO·Fe₂O₃) とヘルシナイト (Hercynite: FeO·Al₂O₃) を主な端成分とする固溶体³⁾ と推定される。さらに白色粒状結晶ウスタイト、淡灰色針状結晶イスコライト、淡灰色盤状結晶ファヤライトが晶出する。

(4) ビッカース断面硬度：第276図③灰褐色多角形結晶はマグネタイトの硬度を測定した。硬度値は790Hvと硬質であった。マグネタイトとヘルシナイトを主な端成分とする固溶体として妥当な値といえる。また淡灰色盤状結晶の硬度値は699Hvであった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

(5) EPMA 調査：第276図④に淬部 (第276図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。白色樹枝状結晶は特性X線像では鉄 (Fe)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は91.3%FeO (分析点10)、86.0%FeO - 3.8%Al₂O₃ - 1.1%TiO₂ (分析点11) であった。ウスタイト (Wustite: FeO) に同定される。また淡灰色針状結晶の定量分析値は83.8%FeO - 9.3%SiO₂ - 3.5%Al₂O₃ (分析点12) であった。イスコライト (Iscoreit: 5FeO·Fe₂O₃·SiO₂) と推測される。淡灰色盤状結晶は特性X線像をみると鉄 (Fe)、珪素 (Si)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は66.7%FeO - 1.4%MnO - 30.8%SiO₂ (分析点13)、62.6%FeO - 1.1%MnO - 32.1%SiO₂ (分析点14) であった。ファヤライト (Fayalite: 2FeO·SiO₂) で、マンガン (MnO) を微量固溶する。灰褐色多角形は特性X線像では鉄 (Fe)、アルミニウム (Al)、酸素 (O) に強い反応がある。定量分析値は75.6%FeO - 15.4%Al₂O₃ - 1.5%TiO₂ (分析点15) であった。マ

グネタイト (Magnetite: $\text{FeO} \cdot \text{Fe}_2\text{O}_3$) とヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$) を主な端成分とする固溶体である。また素地部分の定量分析値 $52.5\% \text{SiO}_2 - 21.1\% \text{Al}_2\text{O}_3 - 9.2\% \text{CaO} - 8.1\% \text{K}_2\text{O} - 1.8\% \text{Na}_2\text{O} - 12.1\% \text{FeO}$ (分析点 16) であった。非晶質珪酸塩である。(6) 化学組成分析: 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 39.48% とやや低めである。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.06%、酸化第 1 鉄 (FeO) 39.12%、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 12.89% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は 44.42% と高値であるが、塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) の割合は 1.53% 低い。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO_2) は 0.33%、バナジウム (V) が 0.01% 低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.09% と低値で、銅 (Cu) は 0.02% であった。

当鉄滓は炉材粘土溶融物の割合の高い鍛錬鍛治滓と推定される。製鉄原料起源の脈石成分 (鉄鉱石: CaO , MgO , MnO , 砂鉄: TiO_2 , V など) はいずれも低減傾向が著しい。

NKN-6: 梃形鍛治滓 (金属銅混在)

(1) 肉眼観察: 成形の梃形鍛治滓 (70.2g) と推測される。上面は広い範囲が白色礫を含む黒色ガラス質滓 (炉材粘土溶融物) で覆われる。下面の滓部は黒灰色で着磁性がある。また側面端部に 10 mm 大の粒状の錆化鉄部が確認される。全体に木炭痕などによる細かい凹凸が顕著である。

(2) マクロ組織: 第 277 図①に示す。上面側の暗色部は炉材粘土溶融物 (ガラス質滓) である。一方下側の明灰色部は滓部である。部分的に白色樹枝状結晶ウスタイト、全体に発達した淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。

(3) 顕微鏡組織: 第 277 図②③に示す。②の不定形淡桃色部はガラス質滓部分と滓部の中間に確認された金属銅 (Cu) である。これに対して③は下側の滓部の拡大である。白色樹枝状結晶ウスタイト、淡灰色柱状結晶ファヤライトが晶出する。また滓中の非常に微細な明白色粒は金属鉄である。

(4) ビッカース断面硬度: 第 277 図③の白色樹枝状結晶の硬度を測定した。硬度値は 241Hv、390Hv であった。風化の影響か、ウスタイトの文献硬度値

450 ~ 500Hv と比較すると軟質である。しかし結晶の色調・形態などからウスタイトと推測される。また淡灰色柱状結晶の硬度値は 606Hv、700Hv であった。ファヤライトの文献硬度値の範囲内であり、ファヤライトに同定される。

(5) EPMA 調査: 第 277 図④に不定形金属部 (第 277 図②の拡大) の反射電子像 (COMP) を示す。淡桃色の金属部は特性 X 線像では銅 (Cu) に強い反応がある。定量分析値は 100.6%Cu (分析点 8) であった。純銅に近い組成といえる。

もう 1 視野下面側の滓部の調査を実施した。反射電子像 (COMP) を第 277 図⑤に示す。滓中の非常に微細な明白色部は、特性 X 線像をみると鉄 (Fe) にも強い反応がある。定量分析値は 101.8%Fe - 1.8%Cu (分析点 9)、103.4%Fe - 1.9%Cu (分析点 10) であった。金属鉄であるが、銅 (Cu) も検出された。また滓中の淡灰色柱状結晶は特性 X 線像では、鉄 (Fe)、珪素 (Si) に反応がある。定量分析値は 71.6%FeO - 30.7% SiO_2 (分析点 28)、70.5%FeO - 30.7% SiO_2 (分析点 29) であった。ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$) に同定される。素地部分の定量分析値は $51.9\% \text{SiO}_2 - 19.9\% \text{Al}_2\text{O}_3 - 2.3\% \text{CaO} - 3.6\% \text{K}_2\text{O} - 21.1\% \text{FeO}$ (分析点 30) であった。非晶質珪酸塩である。暗色多角形結晶は特性 X 線像をみると鉄 (Fe)、アルミニウム (Al) に強い反応がある。定量分析値は $45.2\% \text{FeO} - 56.3\% \text{Al}_2\text{O}_3$ (分析点 31) であった。ヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$) に同定される。

(6) 化学組成分析: 第 14 表に示す。全鉄分 (Total Fe) は 38.93% とやや低めである。金属鉄 (Metallic Fe) は 0.11%、酸化第 1 鉄 (FeO) 28.59%、酸化第 2 鉄 (Fe_2O_3) 23.73% の割合であった。造滓成分 ($\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{K}_2\text{O} + \text{Na}_2\text{O}$) は 39.80% と高値であるが、塩基性成分 ($\text{CaO} + \text{MgO}$) の割合は 0.97% と低い。主に製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に含まれる二酸化チタン (TiO_2) は 0.34%、バナジウム (V) が 0.01% と低値であった。酸化マンガン (MnO) も 0.05% と低値である。銅 (Cu) は 0.13% と高値傾向が著しい。

当鉄滓中には微細な金属銅が部分的に含まれることから、銅小物を含む製品の製作工程での反応副生物と判断される。一方で滓中には微細な金属鉄粒も

多数散在しており、成分的には炉材粘土溶融物の割合の高い椀形鍛冶滓 (NKN - 5) と類似する。

仮に当鉄滓が鉄 (Fe)、砒素 (As) などを含む銅の溶解や精製に伴うものであれば、かなりの割合で砒素が含まれると考えられるが、EPMA を用いた定量分析結果を見るとその含有率は微量であった。こうした特徴から、同じ (鍛冶) 炉または近接した作業空間で鍛造鉄器とそれに付属する銅小物が作られていた可能性が考えられる。

4. まとめ

中野山遺跡 (第 10 - 12 次) から出土した滓を調査した結果、以下の点が明らかとなった。

(1) 椀形鍛冶滓 (NKN - 1 ~ 5) は鍛錬鍛冶滓に分類される。当地域周辺で鉄素材を熱間で鍛打加工して、鍛造鉄器を製作していたことを示す遺物といえる。鉄酸化物 (FeO) および炉材粘土の溶融物 (SiO₂ 主成分) 主体で、製鉄原料起源の脈石成分 (鉄鉱石: CaO、MgO、MnO、矽鉄: TiO₂、V など) の低減傾向が著しい。

中野山遺跡では、他の発掘調査地区 (第 3 次・第 8 次) から同様の鍛錬鍛冶滓が確認されている。製錬工程での不純物 (製錬滓) が十分除去された鉄素材、または廃鉄器 (古鉄) 等を原料として、鍛造鉄器が製作されたと推定される。

また NKN - 2 ~ 5 は銅 (Cu) 含有率が低い。一方、NKN - 1 は銅 (Cu) 含有率がやや高めである。当鉄滓は内部に微細な金属鉄や重共析組織 (C < 0.77%) 痕跡の残る錆化鉄部が確認されており、銅関連遺物の可能性は極めて低い。しかし近接する中野山遺跡 (第 3 次) や、筆ヶ崎西遺跡 (第 3・4 次) 調査地区から微細な銅 (青銅) を含む滓が出土している。滓中の銅分が製鉄原料に起因するものか (その場合、始発原料は塊状鉄鉱石と推測される)、鍛冶とともに銅 (青銅) 小物などを製作していたためかは慎重に判断していく必要がある。

(2) 椀形鍛冶滓 (NKN - 6) 中には金属銅が部分的に混在する。この箇所は EPMA を用いた定量分析により純銅に近い組成であることが明らかになった。滓中の銅含有率も高値傾向を示す (Cu:0.13%)。以上の特徴から、銅小物を含む製品の製作工程での

反応副生物と推測される。

第 3 次調査地区からも、微細な青銅と金属鉄粒の双方を含む滓が 1 点 (TNKN - 3) 確認されている。こちらは錫 (Sn) を 6% 程度含む青銅であることが明らかとなっている。用途に合わせて様々な銅 (青銅) 材料を用いていた様相が窺える。

(日鉄住金テクノロジー (株) 八幡事業所¹⁾・TAC センター 大澤正己・鈴木瑞穂)

【註】

- 1) 日刊工業新聞社「焼結組織写真および識別法」1968
ウスタイトは 450 ~ 500Hv、マグネタイトは 500 ~ 600Hv、ファイヤライトは 600 ~ 700Hv の範囲が提示されている。
〔またマグネタイトにアルミナ (Al₂O₃) が加わり、ウルボスピネルとヘルシナイトを主な構成成分とする固溶体となると硬度値は上昇する。ヘルシナイトでは 1000Hv を越える値を示す。〕
- 2) 1) に同じ。
- 3) 黒田吉益・諏訪兼位「偏光顕微鏡と造岩鉱物」〔第 2 版〕共立出版株式会社 1983
第 5 章 鉱物各論 D. 尖晶石類・スピネル類 (Spinel Group) の記載に加筆
尖晶石類の化学組成の一般式は XY₂O₄ と表記できる。X は 2 価の金属イオン、Y は 3 価の金属イオンである。その組み合わせでいろいろの種類のものがある。(略)
- 4) 分析報告時の社名・事業所名を記す。2019 年 4 月に社名変更により、日鉄テクノロジー株式会社、また 2021 年 7 月に事業所名が九州事業所に変更となった。

第13表 供試材の履歴と調査項目

符号	遺跡名	出土位置	遺物No.	遺物名称	推定年代	針灸罐		メタル度		マイクロ組織		調査項目		備考
						大きさ(mm)	重量(g)	メタル度	メタル度	組織	組織	EPMA	化学分析	
NKN-1	中野山 (第8次)	M-L24 Pk4	14	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	54.4	48	21	51.8	なし	○	○	○	
NKN-2	中野山	SH1624	No.1	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	81	52.9	35.3	108.7	なし	○	○	○	
NKN-3	(10~12次)	SK1439	No.2	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	54.6	40.1	18.3	42.0	なし	○	○	○	
NKN-4		M-D14 Pk1	No.3	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	39.6	40.7	25.7	42.8	なし	○	○	○	
NKN-5		SB1558	No.4	銅形鋳造滓(方孔蓋)	高鳥~奈良	53.8	41.1	14.5	27.5	なし	○	○	○	
NKN-6		SK1543	No.5	銅形鋳造滓(方孔蓋)	高鳥~奈良	64.1	47.5	39.3	70.2	なし	○	○	○	

第14表 供試材の化学組成

符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		二酸化ケイ酸		TiO ₂							
					ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸	ケイ酸		ケイ酸	ケイ酸					
NKN-1	中野山 (第8次)	M-L24 Pk4	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	47.28	0.06	35.06	28.55	23.29	6.30	0.46	0.43	0.65	0.09	0.46	0.31	0.03	0.10	0.41	0.37	0.01	0.03	0.01	31.16	0.659	0.007
NKN-2	中野山	SH1624	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	45.76	0.09	42.29	18.79	25.19	5.85	0.63	0.40	0.91	0.14	0.89	0.27	0.01	0.079	0.12	0.35	0.01	-0.01	0.92	33.12	0.723	0.006
NKN-3	(10~12次)	SK1439	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	53.26	0.14	48.13	24.71	18.06	4.00	0.99	0.47	0.56	0.11	0.89	0.29	0.03	0.072	0.25	0.26	0.01	-0.01	0.87	24.04	0.451	0.005
NKN-4		M-D14 Pk1	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	53.76	0.10	61.07	8.85	19.41	4.12	1.36	0.65	0.98	0.18	0.10	0.74	0.01	0.044	0.20	0.12	0.01	-0.01	0.01	26.71	0.487	0.004
NKN-5		SB1558	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	39.48	0.06	39.17	12.89	34.04	7.06	0.89	0.64	1.54	0.25	0.99	0.33	0.04	0.051	0.21	0.17	0.01	0.02	0.03	44.42	1.125	0.008
NKN-6		SK1543	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	39.93	0.11	28.59	23.72	30.04	7.71	0.52	0.45	0.87	0.15	0.85	0.34	0.03	0.078	0.28	0.58	0.01	0.13	0.92	39.86	1.022	0.009

第15表 出土土壌物の調査結果のまとめ

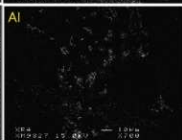
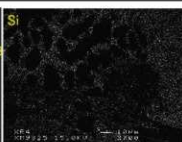
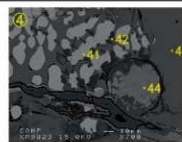
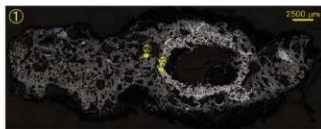
符号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	顕微鏡組織		化学組成(%)		所見						
					Total Fe	Total Fe	TiO ₂	V	MnO	Cu	成分	成分			
NKN-1	中野山 (第8次)	M-L24 Pk4	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	浅部WH+H、 鉄化鉄部、重共析組織痕跡	47.28	28.55	0.83	0.31	0.01	0.06	31.16	0.03	銅形鋳造滓	
NKN-2	中野山	SH1624	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	浅部F 微小金属鉄・鉄化鉄、	45.76	18.29	1.03	0.27	0.01	0.08	33.12	<0.01	銅形鋳造滓	
NKN-3	(10~12次)	SK1439	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	浅部微小金属鉄・鉄化鉄、 浅部WH+H+O	53.26	24.71	1.37	0.25	0.01	0.08	24.04	<0.01	銅形鋳造滓	
NKN-4		M-D14 Pk1	銅形鋳造滓	高鳥~奈良	浅部微小金属鉄・鉄化鉄、 浅部WH	53.76	8.85	2.01	0.24	0.01	0.10	26.71	<0.01	銅形鋳造滓	
NKN-5		SB1558	銅形鋳造滓(方孔蓋)	高鳥~奈良	浅部WH+M+Hの固溶体F、 微小金属鉄・鉄、	39.48	12.89	1.53	0.33	0.01	0.09	44.42	0.03	銅形鋳造滓	銅形鋳造滓とそれに伴う銅小物の製作に伴う反応副生
NKN-6		SK1543	銅形鋳造滓(方孔蓋、多量銅混在)	高鳥~奈良	浅部WH+H	38.93	23.72	0.97	0.34	0.01	0.05	39.80	0.13	銅形鋳造滓	銅形鋳造滓とそれに伴う銅小物の製作に伴う反応副生

Waste(FeO), Magnesite(FeO・Fe₂O₃), Hfeyalite(FeO・Al₂O₃), Isfeyalite(2FeO・SiO₂), Ffeyalite(2FeO・SiO₂), Or-Oribonite(KAlSiO₅)

NKN-1

椀形鍛冶滓

- ①マクロ組織
- ②滓部拡大、ウスタイト・微細ヘルシナイト・ファヤライト、硬度50gf
- ③酸化鉄部拡大、亜共析組織痕跡

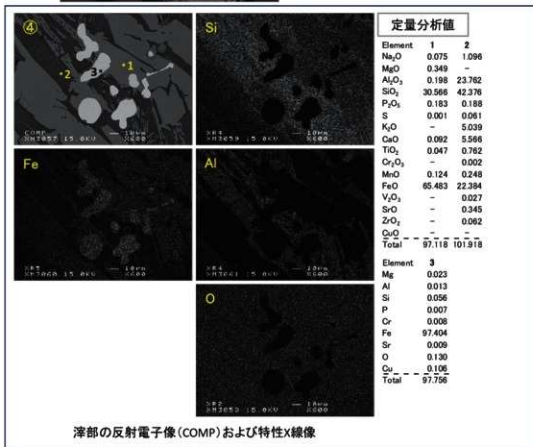
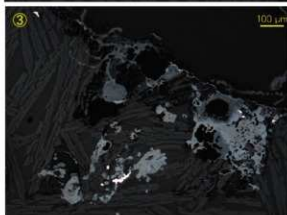
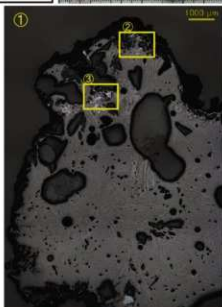


定量分析値

Element	41	42	43	44
Na ₂ O	0.095	-	0.038	-
MgO	0.053	0.048	0.541	0.002
Al ₂ O ₃	0.972	50.721	0.316	0.028
SiO ₂	0.387	0.930	30.122	5.679
P ₂ O ₅	0.011	-	0.011	0.003
S	0.020	0.003	0.003	0.013
K ₂ O	-	-	-	0.006
CaO	-	-	0.131	-
TiO ₂	0.530	1.012	0.029	0.010
Cr ₂ O ₃	0.019	0.004	-	0.023
MnO	0.010	-	0.096	0.017
FeO	102.823	51.942	68.783	87.223
As ₂ O ₃	-	0.075	0.098	-
V ₂ O ₅	0.002	0.006	-	-
PbO	0.044	-	-	0.040
CuO	-	-	-	-
SnO ₂	0.008	0.053	0.005	0.082
Total	104.954	104.794	100.173	93.126

滓部の反射電子像 (COMP) および特性X線像

NKN-2
鍛冶滓
①マクロ組織
②③滓部:ファヤライト、不定形青灰色部:酸化鉄、微小明白色粒:金屬鉄
硬度:50gf

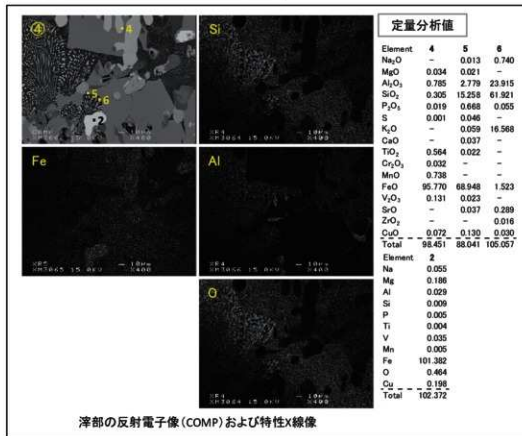
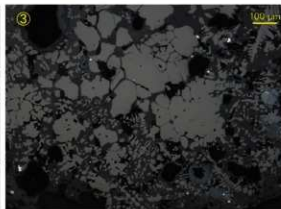


第 273 図 鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果

NKN-3

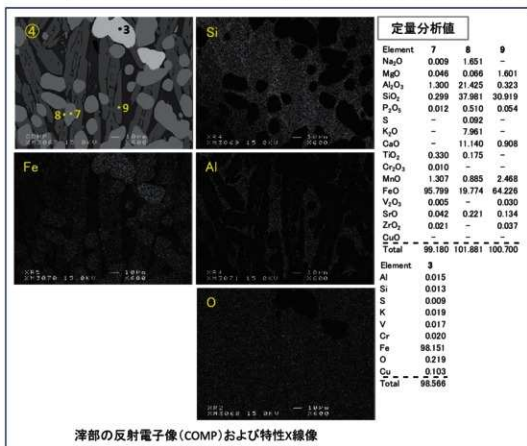
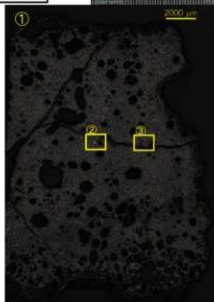
椀形鋳冶滓

①マクロ組織、②③滓部:
クワースト・ファヤライト、
微小白色粒:金属鉄、
硬度:50gf



第 274 図 椀形鋳冶滓の顕微鏡組織・EPMA 調査結果

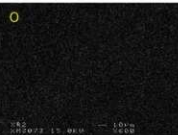
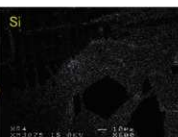
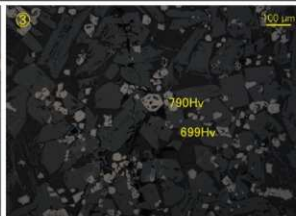
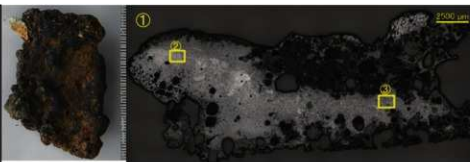
NKN-4
 梘形鍛冶滓
 ①マクロ組織
 ②③滓部:ウスタイト・
 ファヤライト、微小明白
 色粒:金属鉄、硬



第 275 図 梘形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果

KNK-5
鍛冶滓

①マクロ組織、上側
暗色部:ガラス質滓
②③滓部:ウスタイト・イ
スコライト・マグネタイトとヘ
ルシナイトの固溶体・
ファイライト、硬度:50gf



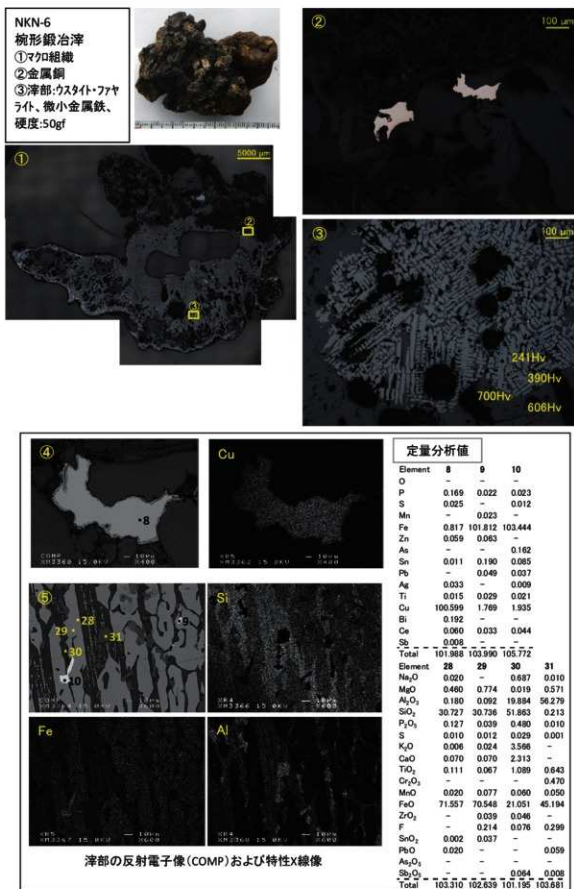
定量分析値

Element	10	11	12
Na ₂ O	-	-	-
MgO	0.152	0.039	0.214
Al ₂ O ₃	0.340	3.765	3.538
SiO ₂	0.421	0.505	9.329
P ₂ O ₅	0.023	0.014	-
S	-	-	-
K ₂ O	-	0.006	-
CaO	-	-	-
TiO ₂	0.101	1.119	0.282
Cr ₂ O ₃	0.044	0.035	0.019
MnO	0.170	0.057	0.937
FeO	91.282	86.036	83.806
V ₂ O ₅	0.033	0.077	0.034
SrO	0.048	0.008	-
ZrO ₂	0.049	-	-
Cu ₂ O	-	0.118	-
Total	92.663	91.779	98.159

Element	13	14	15	16
Na ₂ O	-	0.043	-	1.763
MgO	0.326	0.806	0.199	-
Al ₂ O ₃	0.181	0.200	15.461	21.064
SiO ₂	30.761	32.111	0.655	52.494
P ₂ O ₅	0.069	0.041	0.002	0.654
S	-	0.026	0.001	0.030
K ₂ O	-	0.003	-	8.112
CaO	0.253	0.159	-	9.165
TiO ₂	-	0.021	1.450	0.055
Cr ₂ O ₃	0.008	-	0.125	-
MnO	1.445	1.061	0.506	-
FeO	66.741	62.617	75.642	12.083
V ₂ O ₅	0.024	-	0.147	-
SrO	0.176	0.198	0.049	0.245
ZrO ₂	0.097	-	-	0.147
Cu ₂ O	-	-	-	0.026
Total	100.081	97.306	94.177	105.838

滓部の反射電子像 (COMP) および特性X線像

第 276 図 鍛冶滓の顕微鏡組織・E P M A 調査結果



第 277 図 椀形鍛冶滓の顕微鏡組織・EPMA調査結果

Ⅶ 調査のまとめ

1 遺構の分布状況と変遷について

遺構の分布状況について、まとまりがあるか、分散しているかの判断は、非常に主観的である。具体的には、どの範囲までを一つのまとまりとするか、また、どの程度の遺構の距離間を、近接しているか、離れているかなどは、人によって違いが生じる。

今回、当遺跡で広大な面積の発掘調査を行い、各時代の様々な遺構が数多く確認できた。さらに、近接した遺跡で発掘調査が行われており、その成果について、同じ組上で検討することが可能であると考えた。そのため、ある程度、主観的な判断となることは承知の上で、各時代の各遺構の分布状況について、検討を行うことにした。以下、時代順の変遷について、概説を行っていく。

(1) 縄文時代 早期

この時期の遺構は、堅穴建物5棟、煙道付炉穴159基、集石炉17基、土坑炉3基、集石遺構2基である。また、東海環状自動車道の調査では、堅穴建物1棟（この1棟は、新名神の調査と同一）、煙道付炉穴16基、集石炉11基、土坑炉1基が確認されている。

これらの遺構は、大きく3か所に分かれて、まとまりを見せている。調査区内の「北東部」、「中央部」、「西部」であるが、特に、「北東部」と「中央部」の2か所に集中している（第281図）。

各遺構の数は、以下の通りである。「北東部」では、堅穴建物4棟、煙道付炉穴120基、集石炉11基、土坑炉2基、集石遺構1基である。「中央部」では、堅穴建物1棟、煙道付炉穴55基、集石炉16基、集石遺構1基である。「西部」では、集石炉1基、土坑炉2基である（第19表）。

ところで、「北東部」と「中央部」の2か所の間は、北西方向に向かって緩やかに傾斜し、若干窪んでいる。また、この傾斜の先には、北側との丘陵を画する谷水田があり、当遺跡と筆ヶ崎古墳群とを画している。

この窪地に各遺構が見られないのは、谷への土砂

の流出や、後世の削平などを受けた結果なのかもしれない。しかし、早期の遺構群が、遺跡範囲内の、概ね東側にまとまっていることに間違いはないであろう。

なお、縄文時代の遺跡で通常確認される当時期の遺構として、陥し穴があるが、今回の調査では全く見つかっていない。また、堅穴建物については、遺構の上部が削平を受けるなど、残存状況が悪くて確認できなかった可能性も考えられるが、その数は、煙道付炉穴の数に対して、圧倒的に少ない。

今回の調査区は、当遺跡のほぼ中央部分を東西方向に貫いており、調査区外の北側や南側に、平坦な地形が広がっている。この範囲に陥し穴や、堅穴建物が存在している可能性は十分に考えられる。

ア 煙道付炉穴について

煙道付炉穴は、159基という膨大な数が確認された（第25表）。また、東海環状自動車道の調査では、16基確認されているため、合計すると175基となる。これまでの発掘調査事例は、8遺跡、計85基であったが、その数をはるかに超えて、三重県内では、最多となった（第16表）。前述のように、今回の調査区外に煙道付炉穴が存在する可能性もあり、そうなることさらに数が増えることになる。

なお、AMS法による放射性炭素年代測定を行った48試料の内、その大半は縄文時代早期の年代に含まれる結果が得られている。

燃焼坑から煙出坑の方位について

煙道部分が残存するような、状態の良いものは非常に少なく、大半は後世の削平などを受けている。そのため、他の遺跡の調査報告を参考にしながら、図面上で、以下の様な観点をもとに、燃焼坑や煙出坑を推測して、その方位を計測した。主な観点とは、平面形、被熱痕跡の様相、長軸断面の深さなどである。

なお、方位については、個々の比較や検討をするために、座標北からの角度に統一して計測した。そのため、例えばN-130°-Eという、90°を超える数字も含まれる。以下に、具体的な方位の計測方法を記述する。

①：残存状況の良いものは、燃焼坑から煙道、煙出坑の方向の方位を計測した。

②：平面形で、二等辺三角形形状を呈するようなものは、短軸の幅が広い方から幅が狭い方向の方位を計測した。

③：燃焼坑から煙道、煙出坑にかけては、緩やかに深くなることが多いため、手前の浅い部分から深い部分の方向の方位を計測した。

④：被熱痕跡は、燃焼坑の前半部分や煙道の深い部分に多く見られるため、被熱痕跡の無い方から被熱痕跡が有る方向の方位を計測した。

なお、残存状態が非常に悪く、被熱痕跡程度のもものは、方位不明としたが、159基中152基について計測することができた。以下、検討したことを若干まとめてみることにする。

まず、第25表の方位の欄を、座標北NからE（東）とW（西）の方向へ、角度の数字を少ない順に並び替えて、10°の幅毎にその数を比べてみた（第17表）。その結果、どの10°毎にも、一定の数は含まれてはいるが、その数に多少が見られた。そこで、この結果を円グラフで表したところ、方位に一定の傾向が読み取ることが出来た（第278図）。

具体的には、10°毎の最大数が13基であるため、半分以上の7基以上の方位だけを抽出してみた。その結果、7基以上の方位は、N 30° E～70° Eと、N 110° W～140° Wの、北東方向と南西方向に集中することが判明した。

この方位は、図面上での計測値で、しかも1°単位であるため、2～3°程度の誤差は十分に考えられる。しかし、方位の傾向としては、一定程度の信憑性はあるものと思われる。

さらに、この北東方向と南西方向の方位は、「北東部」と「中央部」の2か所によって、数の多さに違いも見られる。すなわち、「北東部」の方位は、南西方向と北東方向が多く、「中央部」の方位は、北東方向が多いという傾向である（第18表）。

煙道付炉穴の方位について、これまでの報告^{1)・2)}では、一定はしておらず、地形や風向きも考慮されていないと指摘されていた。しかし、今回計測した結果は、若干違う傾向が見られた。その理由などについては、はっきりと分らないが、遺跡内での地

形や、他の遺構との関係性など、何らかの影響を受けて、一定程度同じ方向を指向した可能性があるのではないかと指摘に留めておくことにする。

形状と規模について

形状については、平面形などから、二等辺三角形、長楕円形、楕円形、円形の4つに分類した。なお、二等辺三角形については、ある程度見目の判断であるが、長楕円形、楕円形、円形については、以下の数値で分類した。長軸の長さ：短軸の長さの比率が、2以上：1を長楕円形、2未満：1を楕円形、1：1を円形とした。

また、規模については、長軸が1.5m以上か、1.5m未満かを分岐として大型、小型とした。

形状と規模について、これまでの報告³⁾では、時期が下るにつれて、形状は、二等辺三角形などから長楕円形などへ変化し、規模は小型化するとされている。

そこで、この形状と規模の2点について、「北東部」と「中央部」で何らかの違いが見られるかどうか、それぞれの数をカウントして一覧表にした（第18表）。ただし、規模については、後世の遺構や攪乱などによって、明らかに削平を受けた推定の長軸数値の数は、省くことにした。

傾向としては、「北東部」には二等辺三角形が多く、しかも大型のものが多いこと。これに対して、「中央部」には小型のものが多いことが分かった。規模は、削平の度合いによって小さくなることも考えられるが、「北東部」に二等辺三角形が多いという形状の違いも考慮すると、「北東部」から「中央部」にかけて、時期が新しくなる可能性があると思われる。

イ 集石炉

種類・分布などについて

集石炉については、今回の調査で17基確認できた。また、東海環状自動車道の調査では11基確認されており、合わせると28基となる（第26表）。

煙道付炉穴が175基であるのに比べると、1割半程度の数である。前述したが、この集石炉についても、その分布状況は、「北東部」と「中央部」の2か所にまとまりを見せるなど、煙道付炉穴と同じような傾向がみられる。

ところで、この集石炉は、埋土に含まれる礫の法

量や状況などから、2つに分類（A類・B類）されている⁴⁾。A類は、拳大の礫のみが含まれて、底面が被熱するものである。B類は、底面に大型礫や石皿状の扁平な礫を4～5個敷き、上部に拳大の礫を充填するものである。底石の上面が被熱し、掘形の底面は被熱しない。また、埋土に炭化材が多く残る点、埋土が漆黒色を呈する点が特筆される。

2種類の数は17基中、A類が8基、B類が9基とはほぼ同数である。また、東海環状自動車道の調査分の11基では、A類が4基、B類が7基である。

種類ごとの分布の状況を見てみる（第19表）。A類は、「北東部」で7基、単独で1基「中央部」から西に離れて見られる。B類は、「北東部」で4基、「中央部」で5基となる。なお、東海環状自動車道での調査区は「中央部」の南側に隣接しているため、その範囲内と判断すると、A類は「北東部」に、B類は「中央部」にそれぞれ多いという傾向が見られた。

また、大きさでは、A類は一辺1m強のものが多く、B類は若干小さいものが多い感がある。

なお、時期については、自然科学分析の結果から判断すると、A類の方が、B類より新しい可能性がある。

以上、種類や場所、大きさなどを若干まとめたが、煙道付が穴に比べると対象数が少ないため、大まかな傾向であることを断っておく。

（2）縄文時代 中期～後期

この時期の遺構は、竪穴建物3棟、袋状土坑6基、土坑6基、集石遺構6基である。また、東海環状自動車道の調査では、土坑5基が確認されている。早期の遺構に対して、種類も数も少ないため、まとまりという観点では、あまり客観的な分布状況を示していないのかもしれない。

竪穴建物の2棟は、縄文時代早期で「北東部」と呼称した範囲の北西側、もう1棟の竪穴建物は、遺跡範囲の西側のほぼ中央部に所在する。この2か所について、「北部」と「西部」と呼称する（第282図）。

また、袋状土坑6基は、「西部」に全て存在し、1棟の竪穴建物を中心として、概ね東西両側に一定程度の距離はあるが、分散して存在する。なお、土坑6基は、「西部」に5基、早期で呼称した「中央部」に1基存在し、集石遺構の6基も「西部」に存在す

る（第19表）。

また、土坑などの当時期の遺構は、東海環状自動車道の調査では、「西部」に5基存在している。

上記のように、中期～後期の遺構は、「西部」でまとまりが見られる。また、「北部」で確認した竪穴建物2棟は、調査区の北端であるため、さらに北側には、当時期の遺構が存在する可能性は、十分に考えられる。

いずれせよ、早期で見られた遺構群のまとまる場所（「北東部」・「中央部」）から、中期～後期の遺構群は、「西部」と「北部」と、場所を変えているようである。

（3）縄文時代 晩期

この時期の遺構は、埋設土器4基で、東海環状自動車道の調査では当時期の遺構は見つかっていない。4基と数も少なく、まとまりを見せる感じではないが、その所在する位置については、早期で呼称した「北東部」と「中央部」にまたがって、分散している感がある（第282図・第19表）。なお、当時期の他の遺構の存在も不明であるため、これ以上の検討は出来ない。

（4）弥生時代 中期～後期

中期の遺構は、竪穴建物4棟、掘立柱建物1棟、土坑6基、溝1条、後期の遺構は、竪穴建物11棟である。なお、東海環状自動車道の調査では、中期の土坑2基、後期の竪穴建物4棟、土坑4基などが確認されている。

縄文時代に比べて、遺構の種類、数ともに決して多いわけではない。しかし、分布状況については、中期の遺構群は、遺跡範囲の「東部」（縄文時代の「北東部」と「中央部」を合わせた範囲）と「西部」の2か所に、後期の遺構群は、「西部」に集中する傾向が見られる（第283図・第20表）。特に、「西部」で見られる後期の遺構群は、西側に隣接する同時期の居林遺跡の一連で捉えることが出来るであろう。

（5）古墳時代後期～古代

この時期の遺構は、竪穴建物76棟、掘立柱建物97棟、柱列2列、土坑108基などである。また、東海環状自動車道の調査では、竪穴建物24棟、掘立柱建物38棟、土坑56基が確認されており、遺構数は非常に多く、当遺跡の中心となる時期である。なお、当時期の遺構は、東側に隣接する北山A遺跡でも、竪穴建物50棟⁵⁾、掘立柱建物25棟、土坑89

基と多数確認されているため、合わせて検討を行うこととする。

遺構数が多いこともあり、まとまり具合に、明瞭さは感じられない所もあるが、大きく4か所に分かれて、集中しているようである(第284図)。

以下に、堅穴建物、掘立柱建物、土坑と3つの遺構毎にその分布状況や、それぞれの関係などを検討していくことにする。

まずは、4か所のまとまりの名称を、①群から④群として、記述していくことにする。

①群は、遺跡範囲の西側部分で、縄文時代に「西部」と呼称し、弥生時代後期の遺構が集中した範囲内の西寄りに当たる。次の②群は、①群の東側部分で、遺跡範囲のほぼ中央に当たる。「西部」の東寄り、縄文時代に「中央部」を呼称した範囲全体を含む。この②群は、若干東西方向に長く、さらに2つか3つの小群に分けることが出来るかも知れない。③群は、さらに東側部分で、縄文時代に「北東部」と呼称した範囲に加えて、その南側を含む部分で、当遺跡範囲の東側に当たる。最後の④群は、北山A遺跡の範囲全体に当たる。

なお、①群から④群の各遺構の数は、以下の通りである。①群は、堅穴建物39棟、掘立柱建物28棟、土坑25基である。②群は、堅穴建物34棟、掘立柱建物76棟、土坑78基である。③群は、堅穴建物27棟、掘立柱建物31棟、土坑61基である。④群は、堅穴建物50棟、掘立柱建物25棟、土坑89基である(第22表)。以下、3つの遺構について、各群の状況を見ることにする。

ア 堅穴建物

中野山遺跡と北山A遺跡を合わせると150棟の堅穴建物を確認することが出来た。平面形状、規模、構造など多種多様であるが、ここでは、主に平面形状に着目して、分布状況を概観してみる(第284図)。

平面形状は、正方形と長方形の2つに分けたが、まず、その違いを明確にするため、直行する一辺の長さの差が30cm以上を長方形、30cm未満を正方形とした。なお、他の遺構との重複や、後世の攪乱などにより、一辺の長さが不明なものは省いた。

①群では、正方形13棟と長方形23棟と、長方形が多く、分布状況は調査区内のほぼ中央に集中する。

規模は、他の群に比べると若干大きい傾向にある。出土遺物から判断すると、古墳時代後期に含まれるものがある。また、正方形、長方形ともに2つの建物が、重複や近接しているものが多くみられる。

②群では、正方形15棟、長方形15棟と同数であるが、路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。前述したように、さらに2つか3つの小群に分けることが可能かもしれないが、①群と比べると分散している感がある。

なお、この②群には、壁立ちの建物と思われる堅穴建物SH317・SH319や、ヘラ記号や朱書きが施された須恵器⁶¹が出土したSH1624があり、いずれも長方形であることは注目に値しようか。また、同じく朱書きで記号が施された須恵器が出土したSK1601も、この②群に含まれ、堅穴建物の3棟ともに、②群の中でも、概ね西側半分に存在している。

③群では、正方形10棟、長方形9棟と、ほぼ同数であるが、②群同様に路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。この③群にも、壁立ちの建物と思われるSH1011・SH1714があり、いずれも長方形である。

④群では、正方形26棟、長方形16棟と、正方形が多いが、②・③群同様に路線外の南側にも遺構が存在する可能性もある。

以下に、堅穴建物について、3点程まとめてみる。まず、数については、路線外の存在も考えると断定は出来ないが、①群から④群へ(西から東へ)と、長方形から正方形への比率が高くなる。2つ目として、①群から④群へと、規模はやや小さくなり、時期は全体的に新しくなる。また、集中して分布する傾向から、適度に分散して存在するように見受けられる。3つ目として、特に、②・③群で確認された特徴的な長方形の堅穴建物や、朱書き須恵器の出土がある。これらは、当遺跡の性格を考えるうえで重要な資料となるであろう。

なお、今回、堅穴建物の平面形状の分布状況をまとめるに当たり、基礎作業として、主柱穴やカマド、貯蔵穴などについて検討を行った。検討の内容は、主柱穴の距離と一辺の長さ、カマドと貯蔵穴はその位置についての全体的な傾向についてである。分布状況に直接反映させられる結果ではないが、若干記

述しておく。

各種検討を容易にするために、以下のような凡例(略記号・方位など)で、複数の竪穴建物をパターン化することにした。

まず、主柱穴について、直行する距離が同じ場合はA、違う場合は長い方をA、短い方をBとした。

また、一辺の長さが同じ正方形でも、主柱穴の直行する距離が同じ場合と違う場合がある。そのため、同じ場合は正方形パターン①、違う場合は正方形パターン②とした。また、一辺の長さが違う長方形でも、同様に主柱穴の距離が違う場合と同じ場合がある。違う場合は長方形パターン①、同じ場合は長方形パターン②と、大きくこの4つに分類した(第279図)。なお、4つの分類の中には、正方形、長方形ともに、一辺の長さが主柱穴の距離のちょうど2倍のものや、そうでないものもあり、他にもいくつかの細分化は出来そうである。

次に、カマドと貯蔵穴の位置については、正方形、長方形ともに、主柱穴がある場合は、4つの柱穴を通る線と、柱穴を二等分する線を縦横に、いわゆる四等分線を引き、4区画×4区画の16区画を設けた。その上で、カマドが存在する一辺の奥から手前にかけて1区画ずつにa・b・c・d、左から右にかけて1区画ずつに1・2・3・4を付けた。例えば、右上隅の区画はa4、左下隅の区画はd1、なお、奥の列の中央で、2つの区画にまたがる場合はa2・3と表記した(第280図・第29表)。

上記の正方形パターン①・②と、長方形パターン①・②の4つのパターンに加えて、主柱穴が確認できないが、正方形で不明パターン、また、長方形で不明パターン、一辺の状況が確認できない不明形の7つのパターンについて、カマドの位置について表にまとめた(第21表)。その結果を若干記述しておく。いずれのパターンも見ても、一辺の中央a2・3にカマドが多くみられるが、中央の左側a2と中央の右側a3も、少ないながらも存在する。

カマドが中央左側a2の内、正方形パターン②のSH1814・SH1820は、さらに左側のa1に貯蔵穴が存在する。貯蔵穴の位置については、その大半がカマドの右側に確認されているため、異例に感じる。また、カマドが中央の右側a3に存在するもの

は、長方形に若干多くみられる。特に、四隅のa4に存在する竪穴建物SH1624は、長方形でしかも、朱書き須恵器が出土しており、非常に興味深い。

今後、一辺の中央にカマドが存在するのではなく、左右どちらかに偏る位置にある竪穴建物の性格などについても、検討していく必要がある。

イ 掘立柱建物

中山山遺跡と北山A遺跡を合わせると、160棟の掘立柱建物を確認することが出来た。ここでは、側柱建物と総柱建物の分布状況を概観してみる。なお、側柱建物の中で、桁行の柱間が等間ではなく、両端の1間分が狭い(桁行中央の柱間が広い)掘立柱建物が、東海環状自動車道の調査成果で、特徴的な存在である可能性⁷⁾が示唆されているため、このような建物についても見てみることにする(第285図)。

①群では、側柱建物15棟、総柱建物13棟と、ほぼ同数であるが、分布状況は、前述の竪穴建物よりは、やや西側に集中する感がある。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と少ない。また、総柱建物については、側柱建物の北側・西側・南側に、弧を描き、取り囲むような位置に存在するようにも見受けられる。

なお、総柱建物、側柱建物ともに2棟ずつが、近接や重複をしている。おそらく、2つの時期があり、2種類の掘立柱建物が連続して存在していた可能性が考えられよう。

②群では、側柱建物52棟、総柱建物24棟と、側柱建物が多く、その数は2倍強である。この②群は、前述したように、2つか3つの小群に分けられる可能性もあるが、全体的には側柱建物、総柱建物ともに、まばらで、分散しているように見受けられる。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は21棟と、側柱建物全体の約4割の数で、他の群と比べると多い。また、総柱建物については、①群で見られたような、側柱建物を取り囲む様な配置は、特に顕著ではないが、中央部分で、若干見受けられる。なお、この②群の掘立柱建物の規模は、他の群と比べてやや大きく、建物の方位は、複数棟がほぼ同一である。

③群では、側柱建物22棟、総柱建物9棟と、側柱建物が多く、②群同様に2倍強の数である。分布

状況についても、側柱建物、総柱建物ともまばらで、分散しているようである。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と、①群同様に少ない。また、総柱建物については、中央部分に、若干集中しているように見受けられる。

④群では、側柱建物23棟、総柱建物2棟と、側柱建物が圧倒的に多い。分布状況については、側柱建物、総柱建物ともに、まばらで分散しているようである。

側柱建物の中で、桁行中央の柱間が広い建物は4棟と、①・③群同様に少ない。以下に、掘立柱建物について、2点程まとめてみる。

まず、数についてである。側柱建物と総柱建物と、全体としては7:3の割合であるが、各群によって比率に違いがある。①群ではほぼ同数であるが、④群では圧倒的に側柱建物が多くなるため、概ね、①群から④群へと、総柱建物の比率が低くなる傾向にある。2つ目としては、桁行中央の柱間が広い掘立柱建物の比率の高さと、建物規模の大きさや方位の同一性など、②群が非常に目を引く状況が見られることである。

ウ 土坑

中野山遺跡と北山A遺跡を合わせると253基の土坑を確認することが出来た。平面形状や規模も様々であるため、ここでは、全土坑の半分以上の数である139基が確認された大型土坑を中心に、その分布状況を概観してみる。なお、前述したが、長径2m以上のものを大型土坑としたが、その中で、壁面や底面、もしくは、遺構の周辺にピットが存在する土坑（便宜上、ピット土坑と呼称）についても、合わせて見てみることにする（第285図）。ただし、このピット土坑の判断は、主観的なものである。

①群では、大型土坑13基、その内ピット土坑は約半分の7基である。大型土坑以外の土坑は12基と大型土坑とほぼ同数であるが、大型土坑の数自体は、他の群に比べると非常に少ない。また、まともも見受けられず、分散しているようである。

②群では、大型土坑47基、その内ピット土坑は33基と、その占める比率は約7割と高い。大型土坑以外の土坑は31基であるため、大型土坑の数自体も多く、その比率も高い。まとも具合は、集中しているとははいかないが、②群の中央中心に広

がっている感がある。

③群では、大型土坑39基、その内ピット土坑は、3割強の14基である。大型土坑以外の土坑は22基であり、大型土坑は2倍弱の数である。まともについてはあまり見られず、分散する傾向にある。

④群では、大型土坑40基、その内ピット土坑は7基と、比率は非常に低い。大型土坑以外の土坑は49基、大型土坑とほぼ同数であるが、合計89基となり、土坑自体の数が非常に多い。まともというより、数が多いためか、調査区内全体に万遍なく分布するような感じである。以下に、土坑について、3点程まとめてみる。

まず、大型土坑については、①群では数は少なく、②・③・④群では多い傾向が見られる。2つ目として、大型土坑以外の土坑と、大型土坑の数の比率では、②・③群で大型土坑の高さが目立つことである。3つ目として、ピット土坑については、②群ではその数も多く、大型土坑の内に占める比率も高いことが分つたと同時に、④群の数の少なさと、大型土坑の内に占める比率の低さも顕著となった。

これらで、堅穴建物、掘立柱建物、土坑と3つの遺構について、個々の分布状況を見てきたが、最後に、各群別に概観しておくことにする。

①群では、堅穴建物は、正方形より長方形の方が若干多いが、それぞれが2基ずつ重複、あるいは近接している。掘立柱建物は、側柱建物と総柱建物とほぼ同数で、堅穴建物のように2棟ずつが重複、あるいは近接している。また、桁行中央が広い側柱建物は少なく、大型土坑とピット土坑は、ともに少ない。

上記の状況から、この①群では、正方形の堅穴建物と、長方形の堅穴建物、側柱建物、総柱建物、この4つの遺構が関連して、2時期に変遷した可能性が考えられる。

②群では、堅穴建物の内、壁立ち建物の可能性がある長方形堅穴建物の存在や、朱書き須恵器の出土が特徴的である。掘立柱建物でも、方位が揃い、規模が大きいものが多く、土坑では、大型土坑やピット土坑の数が多いなど、他の群と比較しても何らかの優位性が感じられる。

③群では、各遺構とも、②群ほどの特徴的な事は感じられない。

さらに東の④群では、堅穴建物で正方形が多くなり、掘立柱建物では側柱建物が圧倒的に多くなる。土坑ではビット土坑は少なく、大型土坑が多くなる。

全体的には、①群から④群へ（西から東へ）、時期が新しくなる。それにつれて、正方形と長方形の堅穴建物、側柱建物と総柱建物の掘立柱建物、大型土坑とビット土坑という各遺構が、それぞれ関係し合っ、例えば、主屋、副屋、倉庫、何らかの作業場などといった性格、機能として一つの単位を形成していた可能性も考えられる。

(6) 中世

この時期の遺構としては墓が4基、東海環状自動車道の調査では2基、合計6基が確認されている（第286図）。存在する場所として、まとまりを見せることはなく、また、墓以外の遺構も確認されていないため、分布の状況では、何も言及することは出来ない。

(7) まとめ

これまで時代を追って、各遺構の分布状況とその変遷を概観してきた。最後に、発掘調査で得られた成果や課題などを列挙して、まとめたい。

まず、第一に挙げられるのは、縄文時代早期の煙道付炉穴の確認である。三重県内で最多の数を検出することが出来たとともに、当遺跡ではそれらの方位に、一定の傾向が見られることを提示することが出来た。また、集石炉や堅穴建物などを含め、当地域ではこれまではっきりとしていなかった時期であっただけに、その空白を埋める資料として、非常に貴重な成果も得ることが出来た。今後は、他の遺跡でも見られる複数の煙道付炉穴の重複の様相などについても検討していく必要がある。

次の弥生時代では、遺構数は少なくなるものの、近接棟柱の掘立柱建物の存在は、注目に値する。なお、後期に関しては、西側に近接する居林遺跡などへ展開するため、当遺跡内での活動は明瞭ではなくなることも判明した。

その後、古墳時代後期から古代にかけては、再び、当遺跡で非常に活発な活動の痕跡が見られることとなる。堅穴建物、掘立柱建物、土坑（特に大型土坑）などの遺構数は急増し、当遺跡の中心となる時期であることが明確になった。

掘立柱建物については、建物間の距離や柱通り、

方位などの検討課題は残すものの、堅穴建物や土坑との分布状況から、当該時期の集落の状況を明らかにすることが出来たものと思われる。なお、3つの遺構が、計画的に配置される所も少なからずあるが、西ヶ広遺跡や菟上遺跡で見られるような「公的」な性格と判断できる様相は、当遺跡では見受けられていない。

次に中世になると遺構数は急激に減少し、墓としての利用がなされるだけとなる。

その後は、特に目立った人間生活の痕跡を残すことなく、山林や雑木林、畑などとなり、現代を迎える事となった。そして、今回の発掘調査の後は、高速道路として利用されている。

最後になるが、今回の発掘調査で得られた成果の中で、いくつかのキーワードが提示された。特に古代に関して、朱書きの須恵器や鉄滓、輪の羽口が存在、また、壁立ちの堅穴建物、大型土坑、ビット土坑などである。これらは、当遺跡の性格を考える上で非常に重要であると思われる。

これらのキーワードという「点」と「点」が、今後の発掘調査などによる様々な検討で結びついて「線」となり、さらに、「線」と「線」が「面」となることで、当地域の歴史がさらに解明されることを期待している。

(服部)

【註・参考文献】

- 1) 櫻井拓馬・中村法道「近年の三重県の調査事例－野添大辻遺跡・中野山遺跡－」『東海地方における縄文時代早期前葉の諸問題』第10回東海縄文研究会2014
- 2) 山田猛「権道付初穴について」『東海地方における縄文時代早期前葉の諸問題』第10回東海縄文研究会2014
- 3) 田村隆一「1. 遺跡の立地環境と遺構」『一般国道42号線松阪・多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ 鴻ノ木遺跡』三重県埋蔵文化財発掘調査報告123-4 三重県埋蔵文化財センター1998
- 4) 近畿自動車道名古屋神戸線(四日市)JCT～亀山西JCT)建設事業に伴う「埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ」三重県埋蔵文化財センター2012
- 5) 平成24年度と25年度の2か年、個人住宅の建設に伴って四日市市教育委員会によって発掘調査が行われた。報告書が未刊行のため、平成25年11月行われた現地説明会の資料を参考にした。
- 6) 朱書きが施された土器は、全国的に見ても出土例が少なく、管見に触れた限りでは、当遺跡を含む32遺跡から出土している。(第23表)。

遺跡によって、その名称を朱書き土器、彩色記号が施された土器などと定まっておらず、また、記号や文字など書かれた内容や時代も様々である。しかし、今回、報告書を作成するに当たっては、出来るだけ多くの情報を掲載することに心掛けた。

いくつかの共通する傾向が見られるため、以下に、若干記述しておく。

器種は、圧倒的に須恵器の杯身・杯蓋が多い。

場所は杯身が底部、杯蓋が天井部と、いずれも外面に施されており、セット関係で出土する例も見受けられる。

朱書きの内容は、「×」あるいは「+」が多く、「一」・「〇」・「:」・「T」などの記号もある。「×」と「+」は、向き次第でどちらにも考えられるため、本来同じなのかもしれない。

時期は、様々であるが、概ね6世紀後半～7世紀初め頃が多い感がある。なお、奈良時代や平安時代、また、土師器の杯、文字が書かれたりするもの、官衙関係遺跡出土例などがあるが、これらは、上記の朱書き須恵器とは、全く性格が異なる所産のものであろう。

出土遺構は、古墳、横穴墓、集落跡、官衙など、様々であり、階層性の高い古墳や、何らかの古墳祭祀の在り方を示しているとか、渡来系氏族や鉄生産との関連などの検討がなされている。

当遺跡周辺にも、県内でも珍しい横穴墓の存在が知られており、興味深い。また、近接する筆ヶ崎古墳群からは、釵子が出土しており渡来系氏族との関わりも提示されている。さらに、これまでも、鉄滓・輪瀆口などの出土から古代大金部に属するとも言われている。

当遺跡から出土した朱書き土器は、それらとの関連性をさらに補完するものと考えられる。

- 7) 桁行の中央の柱間が広い獨柱建物で、意識して抽出したが、東海環状自動車道の調査で見られたような、柱筋から外側へ飛び出るような形状の建物は、新名神の調査では明瞭ではない。

第16表 三重県内埋蔵文化財調査遺跡一覧表

	遺跡名	所在地	炉穴数	参考文献
1	中野山遺跡	四日市市北山町	176基(*)	①
2	鈴山遺跡	三重郡菟野町	10基	②
3	東庄内A遺跡	鈴鹿市東庄内町・亀山市川崎町	2基	③
4	大鼻遺跡	亀山市太岡寺町	16基	④
5	西出遺跡	津市美里町	3基	⑤
6	鴻ノ木遺跡	松阪市射和町・中方可	21基	⑥
7	コドノB遺跡	多気郡明和町上村	3基	⑦
8	坂倉遺跡	多気郡多気町東池上	19基	⑧
9	野添大辻遺跡	度会町大紀町野添	11基	⑨

(*) 東海環状自動車道建設事業に伴う発掘調査計16基を含む

【参考文献】

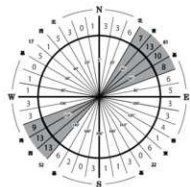
- ①三重県埋蔵文化財センター「中野山遺跡(第2・3・6・7次)発掘調査報告」2016
- ②三重県埋蔵文化財センター「鈴山遺跡(第2・3次)発掘調査報告」2018
- ③三重県埋蔵文化財センター「東庄内A遺跡(第2次)発掘調査報告」2009
- ④三重県埋蔵文化財センター「大鼻遺跡」-本文編--図録編- 1994
- ⑤三重県埋蔵文化財センター「西出遺跡・井之広遺跡」1990
- ⑥三重県埋蔵文化財センター「鴻ノ木遺跡(下層編)」1998
- ⑦三重県埋蔵文化財センター「コドノB遺跡(第2次・第3次)発掘調査報告」2000
- ⑧三重県教育委員会「坂倉遺跡」『三重県文化財年報5』1975・奥義次「第二編 原始」『多気町史 通史編』多気町1992
- ⑨三重県埋蔵文化財センター「野添大辻遺跡(第1次)発掘調査報告」2014

第 17 表 煙道付炉穴方位別一覧表

遺構番号	方位	数	方向
1 SF 1725	N-2°-E	3	北東 61
2 SF 1511	N-5°-E		
3 SF 1549	N-9°-E		
4 SF 1530	N-14°-E	3	
5 SF 1018	N-17°-E		
6 SF 1728	N-17°-E		
7 SF 1705	N-23°-E	6	
8 SF 1005	N-26°-E		
9 SF 1536	N-26°-E		
10 SF 1122	N-27°-E	7	
11 SF 1113	N-28°-E		
12 SF 1126	N-28°-E		
13 SF 1133	N-30°-E	7	
14 SF 1425	N-30°-E		
15 SF 1105	N-32°-E		
16 SF 1706	N-32°-E	7	
17 SF 1467	N-33°-E		
18 SF 1480	N-33°-E		
19 SF 1475	N-38°-E	3	
20 SF 1024	N-41°-E		
21 SF 1497	N-41°-E		
22 SF 1465	N-42°-E	13	
23 SF 1564	N-42°-E		
24 SF 1525	N-43°-E		
25 SF 1472	N-44°-E	13	
26 SF 1534	N-44°-E		
27 SF 1724	N-44°-E		
28 SF 1205	N-46°-E	5	
29 SF 1405	N-48°-E		
30 SF 1713	N-48°-E		
31 SF 1535	N-49°-E	5	
32 SF 1541	N-49°-E		
33 SF 1394	N-50°-E		
34 SF 1003	N-51°-E	5	
35 SF 1581	N-51°-E		
36 SF 1592	N-51°-E		
37 SF 1412	N-52°-E	10	
38 SF 1548	N-53°-E		
39 SF 1512	N-55°-E		
40 SF 1527	N-55°-E	8	
41 SF 1116	N-57°-E		
42 SF 1579	N-58°-E		
43 SF 1533	N-62°-E	8	
44 SF 1550	N-62°-E		
45 SF 1476	N-64°-E		
46 SF 1203	N-64°-E	8	
47 SF 1547	N-64°-E		
48 SF 1582	N-65°-E		
49 SF 1008	N-68°-E	6	
50 SF 1474	N-69°-E		
51 SF 1500	N-70°-E		
52 SF 1718	N-70°-E	6	
53 SF 1723	N-70°-E		
54 SF 1595	N-76°-E		
55 SF 1508	N-77°-E	5	
56 SF 1596	N-78°-E		
57 SF 1062	N-82°-E		
58 SF 1473	N-82°-E	5	
59 SF 1518	N-86°-E		
60 SF 1702	N-86°-E		
61 SF 1080	N-88°-E		

遺構番号	方位	数	方向
62 SF 1121	N-96°-E	3	南東 22
63 SF 1726	N-96°-E		
64 SF 1727	N-96°-E		
65 SF 1456	N-104°-E	3	
66 SF 1513	N-104°-E		
67 SF 1532	N-105°-E		
68 SF 1420	N-110°-E	4	
69 SF 1519	N-116°-E		
70 SF 1115	N-118°-E		
71 SF 1483	N-119°-E	1	
72 SF 1030	N-126°-E		
73 SF 1112	N-131°-E		
74 SF 1430	N-134°-E	6	
75 SF 1455	N-134°-E		
76 SF 1019	N-135°-E		
77 SF 1411	N-136°-E	3	
78 SF 1134	N-138°-E		
79 SF 1406	N-150°-E		
80 SF 1125	N-151°-E	1	
81 SF 1597	N-151°-E		
82 SF 1424	N-160°-E		
83 SF 1007	N-173°-E	1	
84 SF 1029	N-2°-W		
85 SF 1458	N-26°-W		
86 SF 1559	N-26°-W	3	
87 SF 1556	N-29°-W		
88 SF 1553	N-31°-W		
89 SF 1552	N-32°-W	5	
90 SF 1554	N-34°-W		
91 SF 1408	N-36°-W		
92 SF 1452	N-37°-W	1	
93 SF 1586	N-49°-W		
94 SF 1431	N-50°-W		
95 SF 1494	N-51°-W	5	
96 SF 1707	N-51°-W		
97 SF 1481	N-56°-W		
98 SF 1486	N-57°-W	1	
99 SF 1477	N-72°-W		
100 SF 1110	N-89°-W		
101 SF 1555	N-92°-W	3	
102 SF 1507	N-93°-W		
103 SF 1487	N-98°-W		
104 SF 1120	N-103°-W	3	
105 SF 1441	N-104°-W		
106 SF 1593	N-109°-W		
107 SF 1537	N-110°-W	9	
108 SF 1489	N-112°-W		
109 SF 1114	N-114°-W		
110 SF 1484	N-114°-W	9	
111 SF 1587	N-114°-W		
112 SF 1491	N-116°-W		
113 SF 1716	N-116°-W	13	
114 SF 1469	N-118°-W		
115 SF 1106	N-119°-W		
116 SF 1204	N-120°-W	13	
117 SF 1488	N-121°-W		
118 SF 1583	N-121°-W		
119 SF 1006	N-123°-W	13	
120 SF 1717	N-124°-W		
121 SF 1014	N-125°-W		
122 SF 1016	N-125°-W		

遺構番号	方位	数	方向
123 SF 1457	N-125°-W	13	南西 52
124 SF 1471	N-125°-W		
125 SF 1485	N-125°-W		
126 SF 1478	N-126°-W	13	
127 SF 1015	N-127°-W		
128 SF 1470	N-128°-W		
129 SF 1135	N-131°-W	13	
130 SF 1419	N-131°-W		
131 SF 1421	N-131°-W		
132 SF 1422	N-131°-W	13	
133 SF 1719	N-132°-W		
134 SF 1501	N-133°-W		
135 SF 1004	N-134°-W	13	
136 SF 1129	N-134°-W		
137 SF 1495	N-134°-W		
138 SF 1402	N-135°-W	13	
139 SF 1432	N-136°-W		
140 SF 1077	N-137°-W		
141 SF 1410	N-137°-W	6	
142 SF 1131	N-140°-W		
143 SF 1423	N-140°-W		
144 SF 1482	N-140°-W	6	
145 SF 1074	N-142°-W		
146 SF 1123	N-144°-W		
147 SF 1403	N-147°-W	2	
148 SF 1416	N-151°-W		
149 SF 1415	N-152°-W		
150 SF 1499	N-171°-W	3	
151 SF 1434	N-176°-W		
152 SF 1521	N-178°-W		
153 SF 1073	不明	7	不明
154 SF 1126	不明		
155 SF 1528	不明		
156 SF 1529	不明		
157 SF 1561	不明		
158 SF 1580	不明		
159 SF 1721	不明		



第 278 図 煙道付炉穴方位圖
(159 基中 152 基)

第 18 表 煙道付炉穴場所別方角・形状・規模一覧表

内容		場所		計
		北東部	中央部	
方角	北東	40	21	61
	南東	17	5	22
	北西	12	5	17
	南西	47	5	52
	不明	4	3	7
	合計	120	39	159
形状	二等辺三角形	12	2	14
	長楕円形	59	21	80
	楕円形	46	15	61
	円形	2	1	3
	不明	1	0	1
	合計	120	39	159
規模	1.5m以上(大型)	40	1	41
	1.5m未満(小型)	50	34	84
	不明	30	4	34
	合計	120	39	159

*新名神調査のみ

第 19 表 縄文時代場所別遺構数一覧表

時期	遺構名	事業名	場所				計
			北東部	中央部	北部	西部	
早期	竪穴建物	新名神	4	1	0	0	5
		東環	0	(1)	0	0	(1)
	煙道付炉穴	新名神	120	39	0	0	159
		東環	0	16	0	0	16
	集石炉A	新名神	7	0	0	1	8
		東環	0	4	0	0	4
	集石炉B	新名神	4	5	0	0	9
		東環	0	7	0	0	7
	土坑炉	新名神	2	0	0	1	3
		東環	0	0	0	1	1
集石遺構	新名神	1	1	0	0	2	
	東環	0	0	2	1	3	
中期 ～ 後期	袋状土坑	新名神	0	0	0	6	6
	土坑	新名神	0	1	0	5	6
		東環	0	0	0	5	5
	集石遺構	新名神	0	0	0	6	6
晩期	埋設土器	新名神	4		0	0	4

*早期・竪穴建物・東環(1)は、新名神1と同一遺構

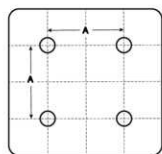
*東環・新名神で、遺構名称付与の観点に、若干違いがある可能性も考えらえる。

第 20 表 弥生時代場所別遺構数一覧表

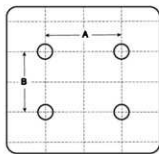
時期	遺構名	事業名	場所		計
			東部	西部	
中期	竪穴建物	新名神	2	2	4
	掘立柱建物	新名神	0	1	1
	土坑	新名神	4	2	6
		東環	2	0	2
	P i t	東環	1	1	2
溝	新名神	1	0	1	
後期	竪穴建物	新名神	0	11	11
		東環	0	4	4
	土坑	東環	0	4	4

第 21 表 古代竪穴建物カマド位置一覧表

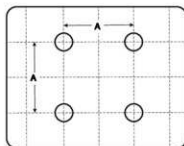
平面形	パターン	カマドの位置					計
		a 2	a 2・3	a 3	a 4	不明	
正方形	パターン①	2	6	3	0	1	12
	パターン②	2	6	2	0	0	10
	不明	0	2	0	0	3	5
	小計	4	14	5	0	4	27
長方形	パターン①	3	17	4	1	2	27
	パターン②	0	0	0	0	1	1
	不明	0	4	3	0	3	10
	小計	3	21	7	1	6	38
不明	不明	0	0	0	0	11	11
計		7	35	12	1	21	76



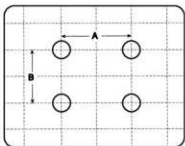
正方形パターン①



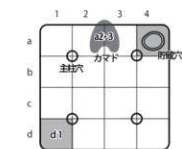
正方形パターン②



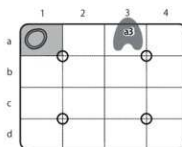
長方形パターン②



長方形パターン①



正方形



長方形

第 280 図 古代竪穴建物付帯施設位置略記号凡例

第 279 図 古代竪穴建物平面形パターン模式図

第22表 古代場所別遺構数一覧表

遺構名	性格	群								計
		①群		②群		③群		④群		
		新名神 中野山	東遷 中野山	新名神 中野山	東遷 中野山	新名神 中野山	東遷 中野山	新名神 北山A	四日市市 北山A	
SH (竪穴建物)	正方形	13	0	8	7	6	4	19	7	64
		13		15		10		26		
	長方形	20	3	10	5	8	1	16	0	63
		23		15		9		16		
	不明	3	0	1	3	7	1	8	0	23
3		4		8		8				
計		39		34		27		50		150
SB (竪立柱建物)	側柱建物 (桁行中央柱間広し)	15	0	31	21	20	2	16	7	112 (30)
		(4)	(0)	(14)	(7)	(3)	(1)	(4)	(0)	
		15		52		22		23		48
		(4)		(2)		(4)		(4)		
総柱建物	8	5	14	10	9	0	2	0	48	
	13		24		9		2			
計		28		76		31		25		160
SK (土坑)	大型土坑	11	2	28	19	32	7	38	2	139
		13		47		39		40		
	以外土坑	7	5	15	16	15	7	41	8	114
		12		31		22		49		
	計 (ピット土坑)		18	7	43	35	47	14	79	10
		(7)	(0)	(21)	(12)	(13)	(1)	(5)	(2)	
		25		78		61		89		
		(7)		(33)		(14)		(7)		

第23表 朱書土器出土遺跡一覧表(1)

遺跡名	所在地	性格	出土遺構	種類	図番	場所・内容	時期	参考文献	備考
1 東宮塚4号墳	高取県 御峠高塚の五王塚古墳西	古墳	円墳 横穴式石室	遺跡群	群像1 群像1 群像1(堀G)	天井部「F」 外周遺構中央「F」 天井部「F」 遺跡内溝「F」 堀G「F」 堀G「F」彩色塗料	2 新式4段階	①・②・⑤	
2 東ノ尾塚6号墳	高取県 和江市東江田中塚ノ尾	横穴式 竪穴式	第4号穴 竪穴式	遺跡群	群像2(堀43・44)	遺跡内溝「F」 堀43「F」 堀44「F」彩色塗料	3 群像3	3	
3 御穴塚6号墳	高取県 和江市平成町	横穴式	3号横穴式 竪穴式	遺跡群	群像1(堀1) 群像1(堀4)	遺跡内溝「F」 遺跡内溝 竪形行堂	3 群像3	6	群像3・群像4の 人家の礎石層の「F」から出土
4 名取川遺跡	高取県 磐前町名取町	集落跡	竪穴遺跡2 竪穴遺跡3	遺跡群	群像1(堀132) 群像2(堀123・144) 群像1(堀156)	遺跡内溝 記号 天井部 記号 遺跡内溝 記号	3 群像3	⑤	
5 新ノ谷古墳	高取県 三日月寺南側	古墳	横穴式石室	遺跡群	群像1	天井部「F」記号	TK 208	⑤・⑥	
6 藤山古墳	高取県 三日月寺山内	古墳	方墳? 木棺	遺跡群	群像3(堀3・7・11) 群像4(堀5・13・14・15)	堀3・7天井部「F」 堀1天井部「F」出 堀5・14 遺跡内溝に 堀13・15 遺跡内溝「F」出	3 群像3	⑤・⑥	群像3・群像4の
7 T・柳ノ尾遺跡	高取県 船橋町藤原	集落跡		遺跡群	不明		9C中	⑤	
8 御穴古墳群 4号墳	高取県 磐前町中西町	古墳		遺跡群	不明		9C中	⑤	
9 中山4号墳	高取県 磐前町八幡町	古墳		遺跡群	不明		9C中	⑤	
10 御穴古墳群 4号墳	高取県 磐前町中西町	集落跡	自然遺跡	遺跡群	群像1	天井部中央「F」記号	1 新式3段階	⑤・⑦・⑧	
11 志紀遺跡	高取県 八幡町志紀町	集落跡	水溝 竪形上	遺跡群	群像2 群像1	内周中央 三角形に彩色塗料を塗り付く	2 新式4段階	⑤・⑦・⑧	
12 新橋遺跡	高取県 磐前町新橋市 古所一丁目	集落跡	竪形	遺跡群	群像1	遺跡内溝	3 新式3段階	⑤・⑦・⑧	
13 早野・大塚古墳群 (早野・大塚遺跡)	高取県 和歌山県早野・大塚	古墳	第13号塚 17号墳 横穴式石室 第27号塚2号墳 外周式横穴式石室 竪形	遺跡群	群像1 群像1 群像1 群像1	天井部 口縁部遺構跡2号墳 墓0D 群像内溝 いくつかの遺構跡で記号 天井部中央 大きな記号	2 新式1段階 2 新式2段階 2 新式2段階→3段階	⑤・⑦・⑧	
大塚遺跡 (14～17次調査区) (18～21次調査区)	高取県 和歌山県早野・大塚	集落跡	溝・惣溝	遺跡群	群像11 群像10 群像3	外周中央溝跡1 「F」 「F」 中央点3つ連なる	1 新式4段階 →2 新式5段階	⑤・⑦・⑧ ⑤・⑦・⑧	出土品が多い 彩色塗料の調査の積り
15 大塚古墳群 (24～26次調査区)	高取県 和歌山県早野・大塚	集落跡	溝	遺跡群	群像1	遺跡内溝中央の遺構跡の 内周中央 溝跡 記号	2 新式5段階	⑤・⑦・⑧	溝・群像跡の境目「F」 群像跡の境目の境目
16 早野古墳群	高取県 和歌山県早野	集落跡	溝	遺跡群	群像2	早野古墳群内溝 群像跡	群像式 1段階→2段階	⑤・⑦・⑧	

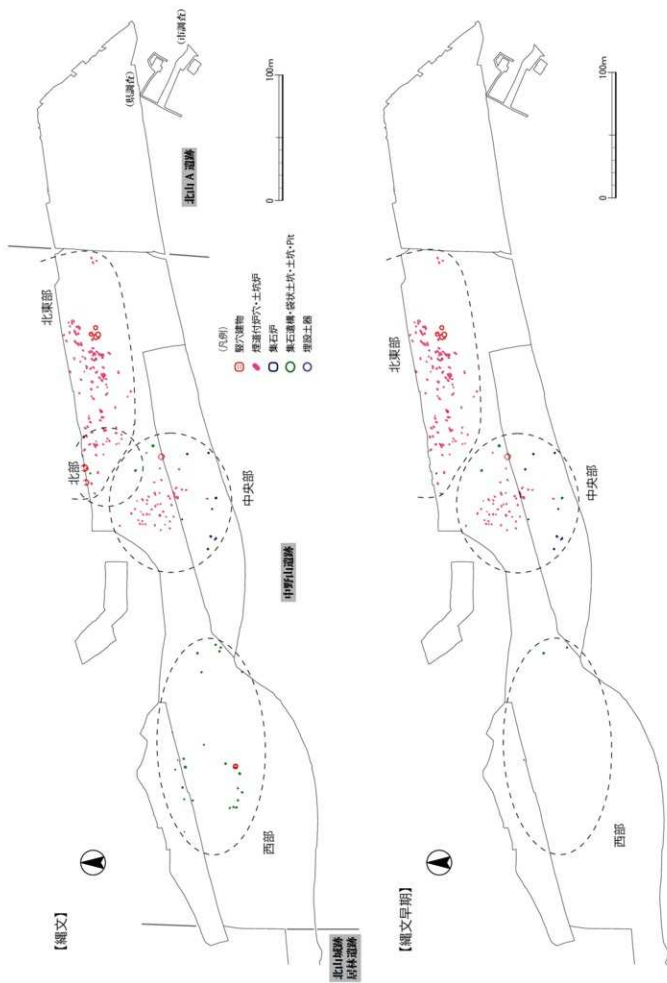
* 一覧表の作成は、三木雅子「名取飛田遺跡出土の彩色記号を持つ須石器について」『名取飛田遺跡』財団法人鳥取県教育文化財団 国上交通者 倉吉河川国道事務所(2005)、及び北野 重「朱記号を持つ須石器」『韓式土器研究V』韓式土器研究会 1994を参考にして、加筆修正を行った。

第23表 朱書土器出土遺跡一覧表(2)

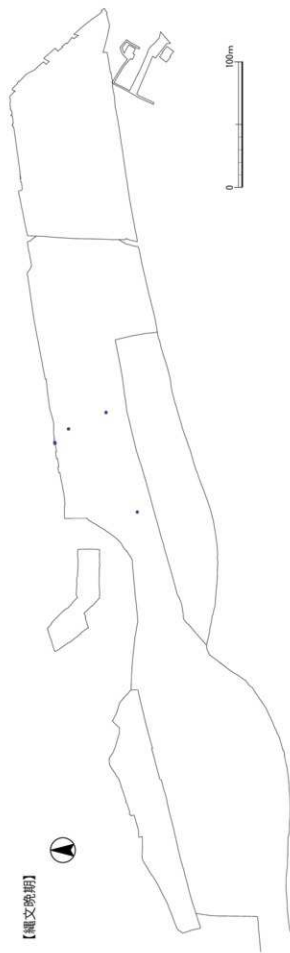
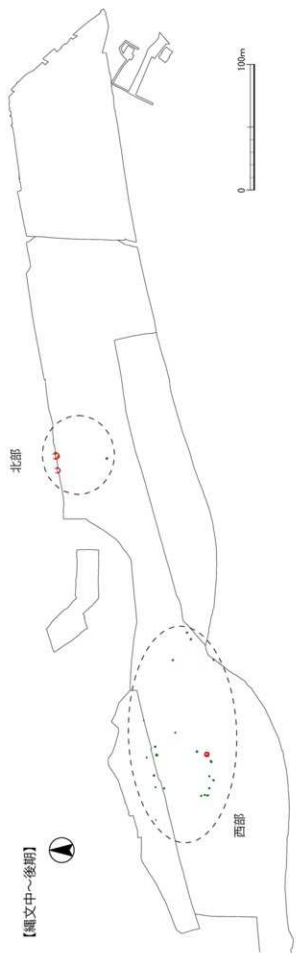
遺跡名	所在地	時期	出土遺物	種類	図録	編年・内容	時期	参考文献	備考
17 長井遺跡 (第1次調査)	大塚町 松原市安堂町一丁目	集落跡	遺構跡	遺構跡	詳表1	外遺跡跡 中遺跡跡(「 τ 」の乱れ)	W式前期	①・②・③	
18 長井遺跡 (第2次調査)	大塚町 松原市安堂町	遺構跡	第4遺跡 44号溝 埋土上層	遺構跡	詳表1 詳表2	天井部「 τ 」記号 遺跡外層「 τ 」記号	W式前期	①・②・③	
19 入谷古墳群	長野町 鳥取県鳥取市	古墳	西A-1号墳 塚内坑穴開口式石室 瓦葺	古墳	詳表1	内層「 τ 」記号	T	①・②・③	春日入丸土器出土
20 春日古墳群	赤松町 鳥取県鳥取市	古墳	1号墳 2号墳	古墳	詳表2 詳表2	「 τ 」(二) それより一段階がセト種埋土成す	W式前期 5段階中6段階	①・②	春日古墳群の遺跡群として「 τ 」記号の出土
21 大森遺跡	大森町 鳥取県大森町	集落跡		遺構跡			9C層	①	
22 中野山古墳	中野山 鳥取県鳥取市	古墳		遺構跡			9C層	①	
23 中野山遺跡	三重県 鳥取市北山町	集落跡	DH104	遺構跡	詳表1 (層20)	天井部「 τ 」 \times 」 τ 」	中野山遺跡Ⅰ中層 (M15)~TK20	①	遺構「 τ 」 \times 」 τ 」 平塚朝倉方物
			DH104	遺構跡	詳表1 (層30)	遺跡外層「 τ 」?		①	新名神(第12区) へつ記号あり
			GR100	遺構跡	詳表2 (層142B・層147) 詳表4 (層142B・層143B・ 層143・層146)	併発・天井部 併発・遺跡外層「 τ 」 \times 」?		①	本報告書 新名神(第12区)
24 第1号古墳群	三重県 四日市市小坂町	古墳	4号墳 礎石式	遺構跡	詳表 (層7)	天井部 遺構	7期前期 西中期	①	
25 小塚塚古墳群	三重県 津市安濃町	古墳	1号墳 礎石式石室 石室内	遺構跡	詳表2 (層4・5・6・7・9) 詳表2 (層13・14)	併発2 天井部「 τ 」 併発2 天井部「 τ 」 併発2 遺跡外層「 τ 」	E-5a E-6 TK200	①・②	
26 沢ガワ古墳群	三重県 津市北山町	古墳	2号墳 礎石式石室	遺構跡	詳表1 (層7) 詳表1 (層9)	併発1 天井部「 τ 」 併発1 遺跡外層「 τ 」	E-4 TK40 中野山遺跡Ⅰ	①	
27 柳田遺跡	三重県 松阪市城野町	集落跡	遺構跡	遺構跡	詳表1 (層2)	遺跡外層「 τ 」	古墳時代前期	①	遺跡群の中心部
28 滝ノ遺跡	三重県 松阪市	集落跡	遺構跡	土層跡	詳1 (層1)	遺跡内層「 τ 」	平安時代前期	①	
29 高井田遺跡	三重県 高井田町	集落跡	遺構跡	遺構跡	詳表1 (層95)	遺跡内層「 τ 」	TK200	①	
30 榎ノ木遺跡	和歌山県 和歌山市伊勢町	集落跡	不明	遺構跡	詳表1 (層14)	遺跡外層		①	新名神
31 高瀬遺跡	和歌山県 和歌山市東区 高瀬町	集落跡	遺構跡	遺構跡	詳表4 (層100・110・ 111・112)	併発1 遺跡外層・埋土成す 併発1 遺跡外層「 τ 」112 遺跡外層 遺跡「 τ 」	9C (100・7期前期)	①	へつ記号あり
32 榎ノ木遺跡	和歌山県 和歌山市高瀬町	集落跡	不明	遺構跡	詳表1 (層20)	遺跡外層「 τ 」	古墳一時代	①	志太郡新井

【参考文献】

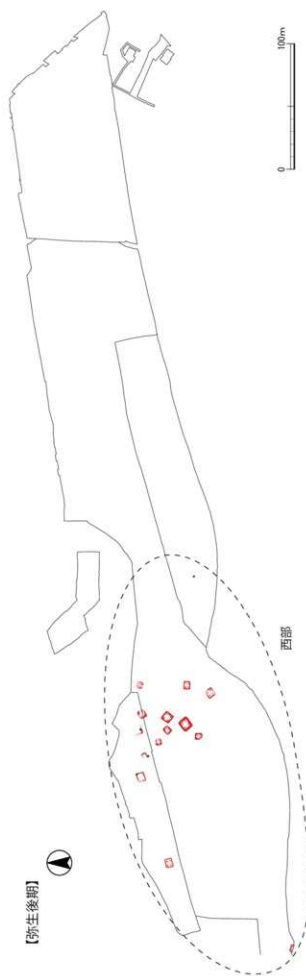
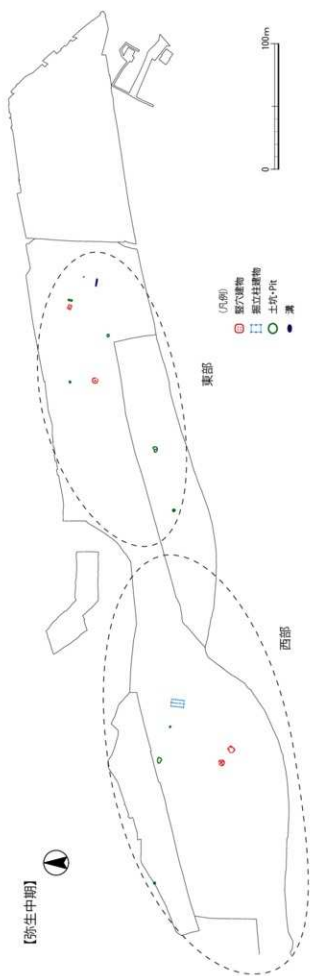
- 谷本 進 「赤色顔料・漆記号を施した須恵器と鎮魂儀礼」『但馬考古学』第5集 1988
- 勝部 昭 「十印のある土器」『古化学研究』94 -特集 万葉集と考古学- 古代学研究会 1980
- 松江市文化財調査報告書第57集 『筆ノ尾塚穴群発掘調査報告書』松江市教育委員会 (財)松江市文化振興事業団 1995
- 松江市文化財調査報告書第76集 『第2号商業地造成工事に伴う従戻跡群発掘調査報告書』松江市教育委員会 財団法人松江市文化振興事業団 1998
- 鳥取県教育文化財調査報告書104 『一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 鳥取県西伯郡名和町 名和飛田遺跡』財団法人 鳥取県教育文化財財団 国土交通省 吉古河川国造事務所 2005
- 兵庫県文化財調査報告書第50冊 『青野ダム建設に伴う発掘調査報告書(Ⅰ)』兵庫県教育委員会 1987
- 北野 重 「漆記号を持つ須恵器」『韓式土器研究Ⅴ』韓式土器研究会 1994
- 兵庫県文化財調査報告書 第44冊 『墓山古墳 - 国道176号線拡幅工事に伴う発掘調査-』兵庫県教育委員会 1987
- 『讚良郡桑里遺跡発掘調査概要・Ⅱ』大阪府教育委員会 1991
- 『志紀遺跡発掘調査概要・Ⅱ』大阪府教育委員会 1992
- 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』柏原市教育委員会 1984
- 『平尾山古墳群平野・大塚文群』1992-Ⅲ 柏原市教育委員会 1992
- 『柏原市文化財概報1984-Ⅳ』『大塚・大塚南遺跡 - 下水道管渠埋設工事に伴う-』柏原市教育委員会 1985
- 『柏原市文化財概報1988-Ⅱ』『大塚遺跡 - 一塚下小学校区内運動場に伴う-』柏原市教育委員会 1988
- 『柏原市所在遺跡発掘調査概報』柏原市教育委員会 1991
- 『高井田遺跡Ⅲ』柏原市教育委員会 1989
- 『高井田遺跡Ⅳ』1991-Ⅱ 柏原市教育委員会 1991
- 『寺口志海古墳群』奈良県歴史考古学研究所・新庄町教育委員会 1988
- 三重県埋蔵文化財調査報告186-8 『東海環状自動車道建設事業に伴う 中野山遺跡(第2・3・6・7次)発掘調査報告 - 四日市市北山町所在-』三重県埋蔵文化財センター 2016
- 三重県埋蔵文化財調査報告書223-7 『筆ノ尾古墳群・筆ノ尾西遺跡(第2・3・6次)発掘調査報告』2021
- 三重県埋蔵文化財報告120 『一般国道穴倉南神津線道路改良事業に伴う 小塚塚古墳群 - 安芸郡安濃町南神山-』三重県埋蔵文化財センター 1994
- 小玉道明ほか 『三重県一志郡白川町ガガツ古墳群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター。研究紀要第5号 三重県埋蔵文化財センター 1996
- 三重県埋蔵文化財調査報告261 『堀田 - 第6次調査-』三重県埋蔵文化財センター 2005
- 三重県埋蔵文化財調査報告123-4上 『一般国道42号線松原・多気バイパス建設事業地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ 瀬ノ木遺跡』三重県埋蔵文化財センター 1998
- 三重県埋蔵文化財報告253 『高ノ御前遺跡(第2次)発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター 2004
- 『榎ノ木遺跡 遺物編(Ⅱ版)』浜松市博物館 1998
- 静岡県埋蔵文化財センター調査報告第57集 『富里遺跡 発掘・発掘・豊田市 平成24年度~平成29年度二級河川太田川広域河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』静岡県埋蔵文化財センター 2018
- 藤枝市埋蔵文化財調査研究所 『日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発掘調査報告書3 志太郡新井(御子ヶ谷遺跡・秋合遺跡)』藤枝市教育委員会 1981



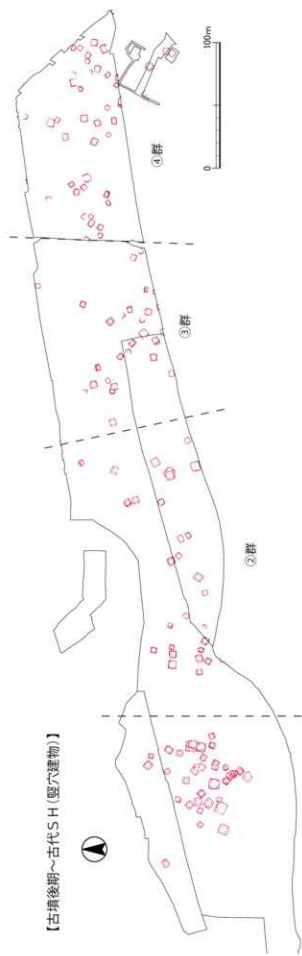
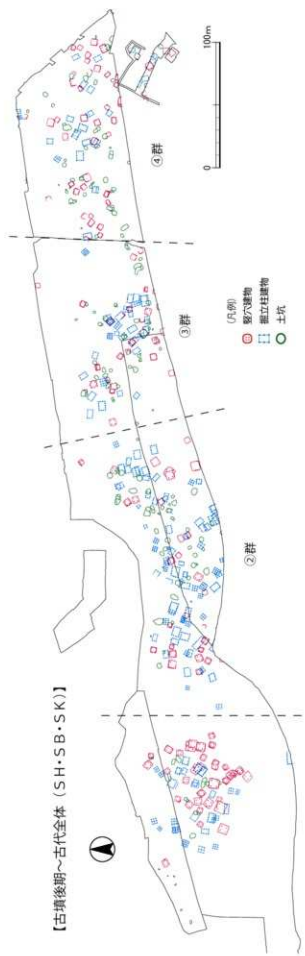
第281図 時代別遺構分布図1 (1 : 3,000)



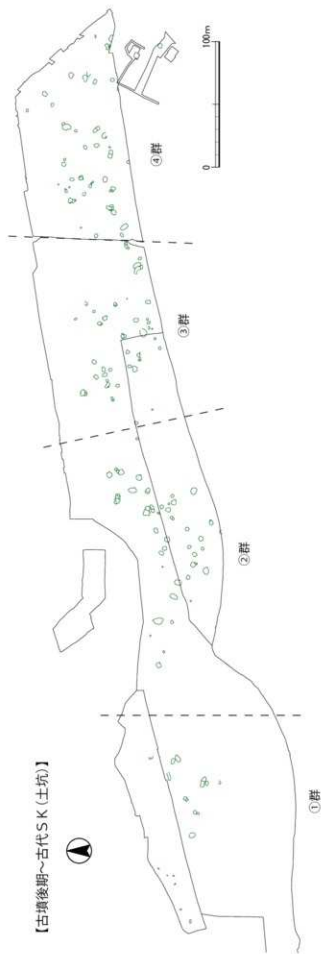
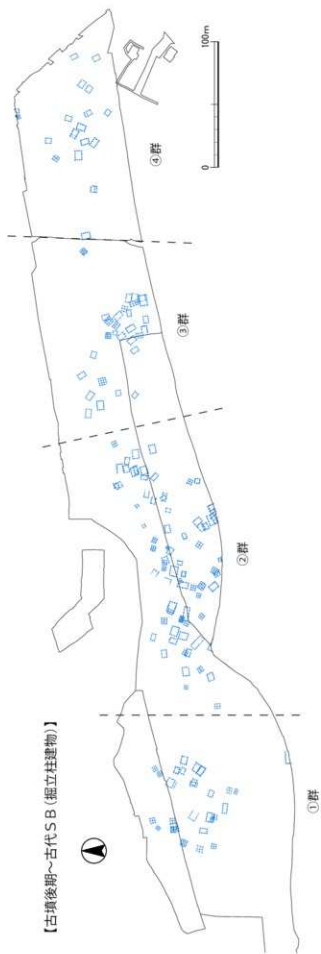
第 282 図 時代別遺構分布図 2 (1 : 3,000)



第283図 時代別遺構分布図3 (1 : 3,000)

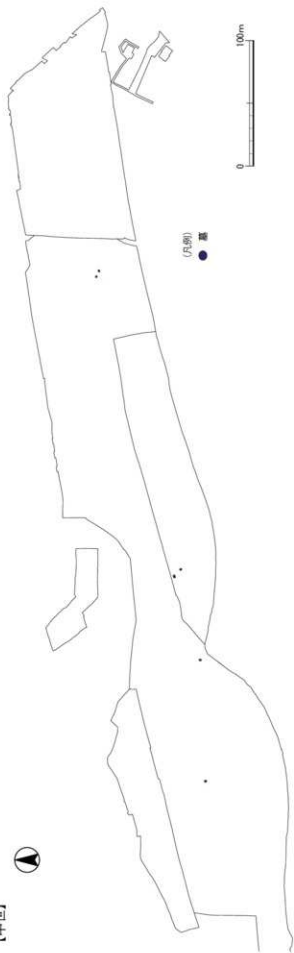


第284図 時代別遺構分布図4 (1 : 3,000)



第285図 時代別遺構分布図5 (1 : 3,000)

【中世】



第 286 圖 時代別遺構分布圖 6 (1 : 3,000)

2 古墳時代後期から古代にかけての 中野山遺跡とその変遷

—近隣遺跡との関係を視座として—

弥生時代の集落が途絶えたあと、中野山遺跡で人間の生活痕跡が認められるようになるのは、古墳時代後期からである。飛鳥時代を中心として概ね古墳時代後期から奈良時代初頭にかけての時期と、平安時代前期頃に集落が営まれており、竪穴建物や掘立柱建物が数多く見つかっている。この集落の存続期間は、谷を挟んで遺跡のすぐ北側に位置する筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡¹⁾の存続時期と大きく重複しており、両者は出土遺物の面でも、在地窯系の須恵器を主体としつつ猿投窯系の須恵器が混在することで共通する。

陶器とも猿投窯とも異なる在地窯系須恵器の地域色については、筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の報告書²⁾作成作業をとおして具体的に明らかにしたところである。そこで、同書の「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の変遷」(以下、前稿)の中で示した在地窯系須恵器編年を援用しつつ、ここでは中野山遺跡についての理解を深めていくこととしたい。ただし、中野山遺跡の集落形成は、筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡よりも古く遡るため、先行する段階を追加設定し、時期区分を行う。

(1) 時期区分と土器様相

当該期の須恵器杯H³⁾については、これまでの研究を通して、時代の推移とともに口径が縮小化することが全国的な傾向として指摘されており、北勢地域の窯の製品もその例に漏れないことが既に確認されている⁴⁾。前稿でも、北勢地域における当該時期の比較的良好な資料について、各土器群の中に含まれる須恵器杯H(蓋および身)の最大径⁵⁾(法量)の分布を示すヒストグラムを作成し、大量法から小法量のものへと順番に配列することを試みた。その結果、杯Hの縮小化が進めば進むほど、後出の器形である無台杯(杯G)や杯Bと共存する確率が高まることが確認でき、この配列に時期的な変遷を読み取ることの妥当性が裏付けられた。

そのヒストグラムに、中野山遺跡出土の比較的良好な資料を付け加えたものが第287図である。追加土器群の選択に際しては、前稿と同じく、概ね一括

資料とみて問題がないことと、まとまった数の在地窯系杯Hを含んでいることを条件とした。ただし、前稿では、北勢地域の岡山6号窯⁶⁾や西ヶ谷1・2号窯⁷⁾に加え、工人集団の系統が同じと考えられる美濃須南窯⁸⁾の製品を指して在地窯系須恵器と呼んできたが、今回中野山1期として位置づけた土器群の須恵器には、中勢地域のヲノ坪窯⁹⁾・内多窯¹⁰⁾出土品と共通する特徴を有するものが多く含まれており、生産地を北勢地域に限定はできない。そこで、北勢地域の窯と中勢地域の窯を同一の系統に属するものと見なしようかという問題については今後の課題とし、ここではそれら全体を中北勢在地窯系須恵器と大括りにしておきたい。

須恵器杯Hの法量変化は、ばらつきをもちつつ大変漸行的に進行するため、時期区分はどうしても便宜的なものとならざるを得ないが、ここでは分布域の大きな変化を重視し、以下の5段階に区分する。すなわち、中野山遺跡で弥生時代の集落が途絶えてから、再び遺構・遺物が確認されるようになる最初期を、「中野山1期」とし、以下順次段階名を付与する(第288・289図)。

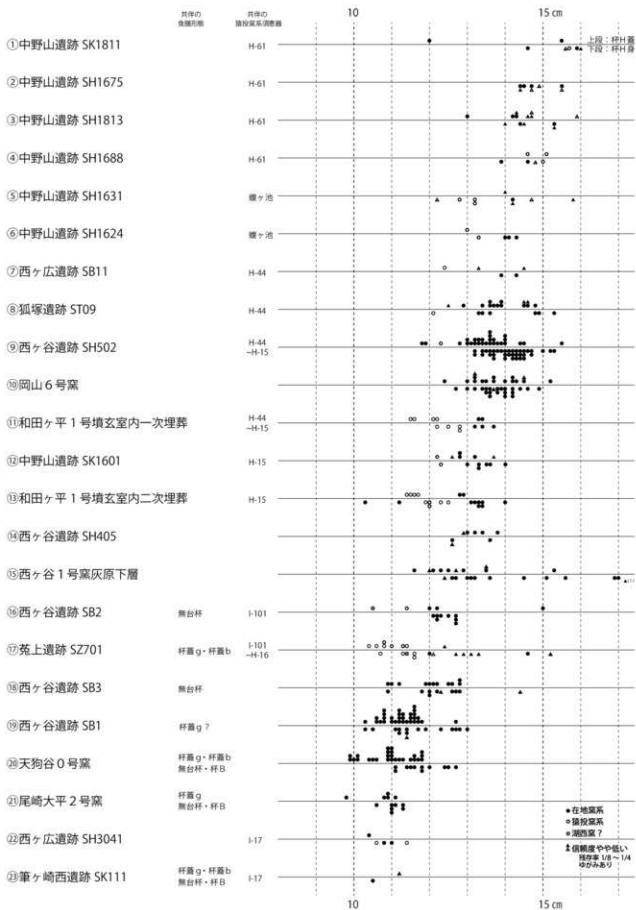
【中野山1期】

古墳時代後期になって、中野山遺跡において再び遺構・遺物が確認され始める時期である。在地窯系・猿投窯系とも須恵器杯Hは大型化が著しく、蓋・身とも最大径が14～16cmに達する。杯Hに施されたロクロケズリ調整の範囲は概して広く、とりわけ在地窯系の須恵器にその傾向が顕著である。

この時期の比較的良好な土器群としては、中野山遺跡SK 1811・SH 1675・SH 1688・SH 1813出土品が挙げられ、共存する猿投窯系須恵器はH-61号窯¹¹⁾出土品との類似性が高い。

在地窯系須恵器では、蓋・身とも杯Hの口縁端部が外側へ強く折れる独特の形状を示す一群(1498・1153・960)の存在が特徴的で、これらは津市のヲノ坪窯や内多窯の出土品との間に高い共通性を有する。また、ヲノ坪窯や内多窯の出土品との類似性はこれらの一群のみならず、口縁部が直立気味に高く立ち上がる杯H身(913)などにも認められる。

ただし、両窯の出土品と比較すると、中野山1期の須恵器杯Hは、蓋の稜線の挽き出しが甘く、杯身



第 287 図 須惠器杯 H の法量変化

の口縁部立ち上がりも低く内傾気味になっているなど、全体にわたって後出的な要素が認められる。

この段階の暦年代については、推定根拠が著しく乏しいため、高い精度を担保することが難しいが、後続する中野山2期との関係から、6世紀半ばから後半を中心とする年代を想定して、大きな間違いはないと思われる。

【中野山2期】

在地窯系須恵器杯Hの小型化が始まり、最大径の分布域が基本的に蓋・身とも15cm未満になるとともに、ロクロケズリ調整の範囲も狭くなる。蓋の稜線は基本的に消失し¹²⁾、身の口縁部の立ち上がりが急激に矮小化する。

この時期の比較的良好な土器群としては、中野山遺跡SH 1624・SH 1631出土品と、前稿で筆ヶ崎1期に位置つけた狐塚遺跡ST 09¹³⁾・西ヶ広遺跡SB 11¹⁴⁾・西ヶ谷遺跡SH 502¹⁵⁾出土品が挙げられ、窟跡では同じく筆ヶ崎1期に位置つけた圓山6号窟出土品がある。ただし、筆ヶ崎1期とした4土器群の在地窯系須恵器杯Hは、蓋・身とも約半数が最大径で14cmを割り込むほど小型化しており、14cm

台に集中が認められる中野山遺跡SH 1624・SH 1631出土品よりも後出的で、中野山2期の中では新相に位置づけられる。

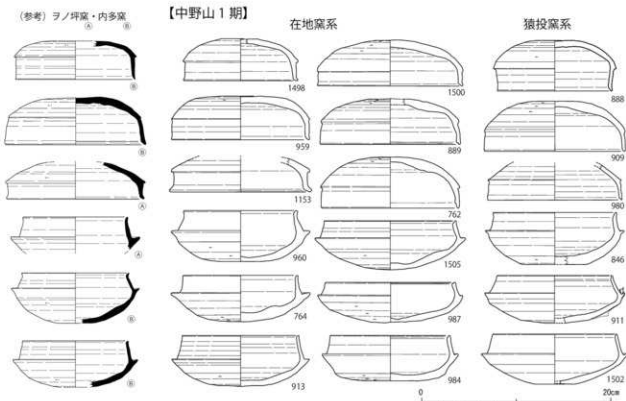
また、古相資料と新相資料では猿投窯系須恵器にも若干の違いが認められ、前者には窠ヶ池古窯¹⁶⁾出土品、後者には主としてH-44号窯¹⁷⁾出土品の類品が共存する。

決定的な根拠資料が無いため、この段階についても精度の高い暦年代の推定は難しいが、前稿でも推定したように筆ヶ崎1期が645年をやや遡る7世紀前半に位置づけられることから、古相資料の年代幅を加味し、6世紀末に遡る可能性を考慮しつつも、7世紀第1四半期を中心とする時期を想定しておきたい。

【中野山3期】

在地窯系須恵器杯Hの小型化が進行し、蓋・身とも最大径が12cm台後半～13cm台に集中する。また、ごく僅かながら杯蓋gや無台杯(杯G)が共存することもある。

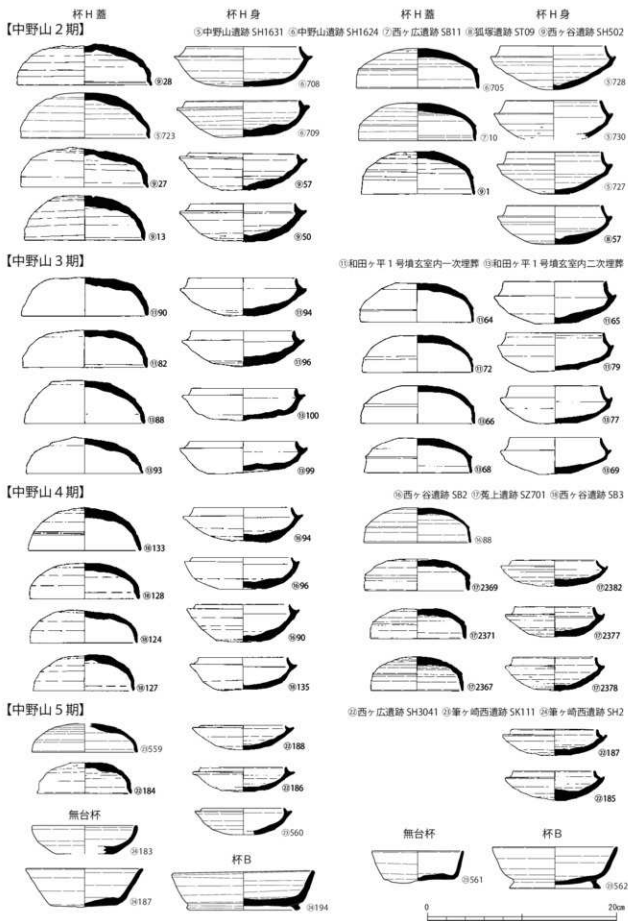
この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎2期に位置つけた和田ヶ平1号墳支室内一次



第288図 中野山1期の在地窯系須恵器と共存の猿投窯系須恵器(1:4)

北勢在地窯系

猿投窯系



第289図 中野山2～5期の在地窯系須恵器と共伴の猿投窯系須恵器（1：4）

埋葬副葬品および二次埋葬副葬品³⁰⁾、西ヶ谷遺跡 S H 405³⁰⁾ 出土品に加え、中野山遺跡 S K 1601 出土品が挙げられる。窯跡では、西ヶ谷 1 号窯の製品が次の 4 期との過渡的様相を示している。

共存する猿投窯系須恵器が、H - 15 号窯³⁰⁾ 出土品や乙巳の変との関わりが指摘される甘樫丘東麓遺跡 S X 037³¹⁾ 出土品に近似していることから、この段階の暦年代については 645 年を含む 7 世紀第 2 四半期頃と推定できる。

【中野山 4 期】

在地窯系須恵器杯 H は更に小型化し、最大径が 12 cm 前後に集中するとともに、少量ではあるが、無台杯 (杯 G) に加え杯 B の共存が認められるようになる。

この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 3 期に位置づけた西ヶ谷遺跡 S B 2・S B 3³²⁾ 出土品、菟上遺跡 S Z 701³²⁾ 出土品が挙げられ、猿投窯系須恵器ばかりの事例ではあるが、中野山遺跡では S K 1543 出土品もこの段階に位置づけることができる。

共存する猿投窯系須恵器は、I - 101 号窯³⁰⁾ や H - 16 号窯³⁰⁾ 出土品に類似しており、決定的な年代根拠を提示できないが、前後の中野山 3 期および 5 期の年代観から、この段階の暦年代については概ね 7 世紀第 3 四半期と推定が可能である。

【中野山 5 期】

在地窯系須恵器杯 H は最大径で 10 cm 台～11 cm 前後と小型化が著しく、高い頻度で無台杯 (杯 A)・杯 B が共存する。土器群の中に占める杯 H の比重が急激に低下するため、杯 H を欠く事例も多いと考えられる。

この時期の比較的良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 4 期に位置づけた西ヶ谷遺跡 S H 3041³⁰⁾、筆ヶ崎西遺跡 S K 111・S K 3³²⁾ 出土品を挙げることができ、窯跡では西ヶ谷 2 号窯のほか、工人集団が北勢在地窯と共通すると考えられる美濃須恵窯の天狗谷 0 号窯³⁰⁾ や尾崎大平 1・2 号窯³⁰⁾ をこの時期に位置づけることができる。

共存する猿投窯系須恵器は、I - 17 号窯³⁰⁾ や C - 2 号窯³¹⁾ 出土品との類似性が高く、猿投窯系須恵器の類品の飛鳥・藤原地域への搬入事例³⁰⁾ から、この段階には概ね 7 世紀第 4 四半期～8 世紀初頭と

いう暦年代観が与えられよう。

【中野山 6 期】

5 期の後、一旦、遺物が全くと言ってよいほど無くなる時期を経て、再び中野山遺跡で遺構・遺物が確認されるようになる時期を 6 期とした。須恵器は、岡山 1・2 号窯出土品³⁰⁾ に類似するものが多く、一部の遺構では灰胎陶器を伴っている。

この時期の良好な土器群としては、前稿で筆ヶ崎 5 期に位置づけた中野山遺跡 S K 1442 出土品、筆ヶ崎西遺跡 S H 81・82³¹⁾ 出土品を挙げることができ、前稿と同様に灰胎陶器の存在を考慮し、暦年代については概ね 8 世紀末～9 世紀前半と推定しておく。

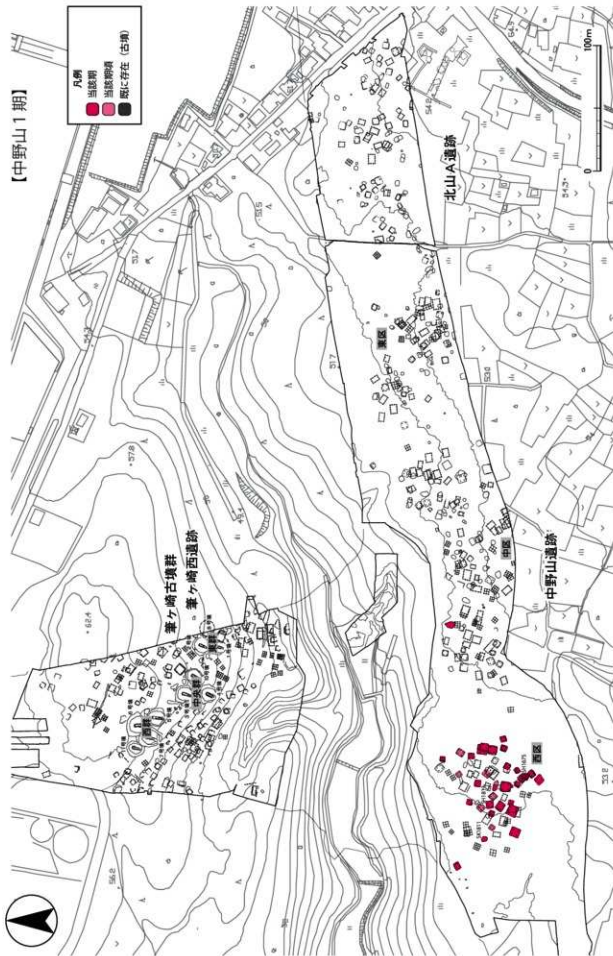
(2) 周辺遺跡を含む中野山遺跡の変遷

前述のように、中野山遺跡と筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡の存続時期は大きく重複しており、谷を挟んで向い合わせの関係にあることから、両者の間には何らかの有機的な関連性があったのではないかと思われる。また、中野山遺跡の東側に隣接する北山 A 遺跡は、遺跡名が異なるだけで、遺構の広がりに関連があることは調査段階から認識されており、既刊報告書でもこれらの遺跡を総合的に捉えて考えていくことの重要性が謳われている³⁰⁾。

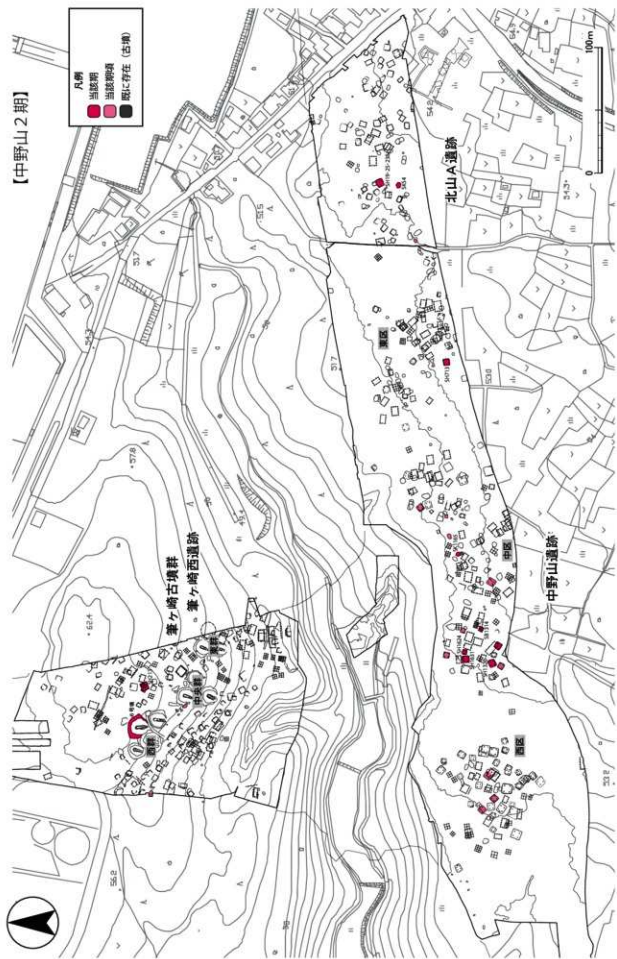
そこで、一連の発掘調査の報告書としては最後の刊行となる本書では、遺物によって時期比定ができる遺構に限られるが、これらの遺跡を総合的に分析することを通して、この地域の古代を中心とする時期の歴史を明らかにしたい。なお、各遺構・遺物の年代観については、既刊報告書³⁰⁾ の記載とは異なる場合もあるが、ここでは共通の年代尺度として上述の中野山遺跡の時期区分を使用する (第 296 図)。また、場所を示すに際しては、遺跡名の「遺跡」を省略し、中野山遺跡については遺構の分布が大きく 3 カ所に纏まる傾向があることから、西から順に西区 (概ね y=53,300 以西)・中区・東区 (概ね y=53,500 以東) と区分した。筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡については両者を合わせて筆ヶ崎とし、古墳群については前稿での区分を踏襲して、西群・中央群・東群と表記することとした。

【中野山 1 期】 (第 290 図)

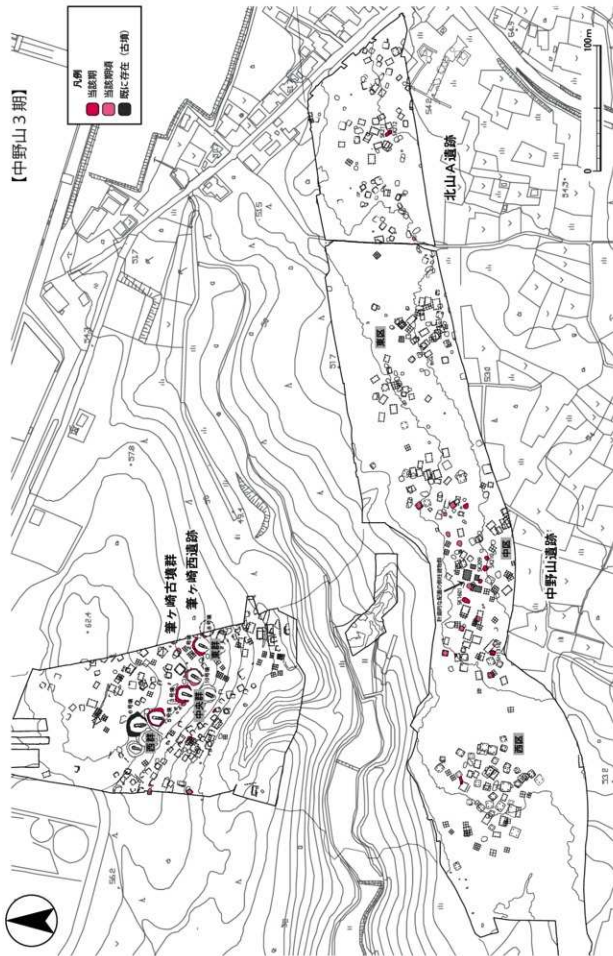
中野山西区に集落が形成された時期である。平面的な重複関係が少なからず認められるので、建て替



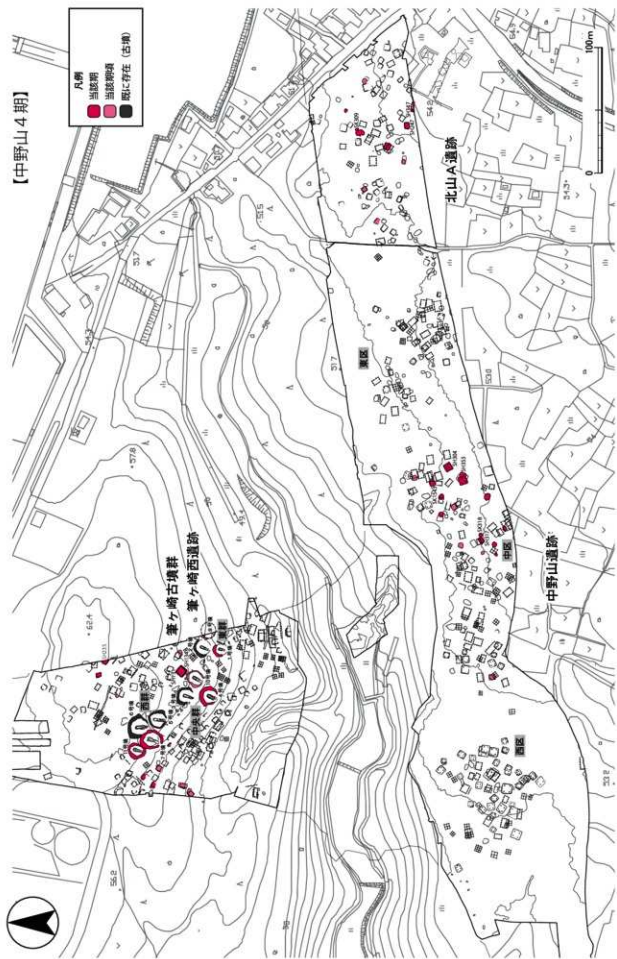
第 290 図 中野山遺跡と周辺遺跡の家連 1 (1 : 3,000)



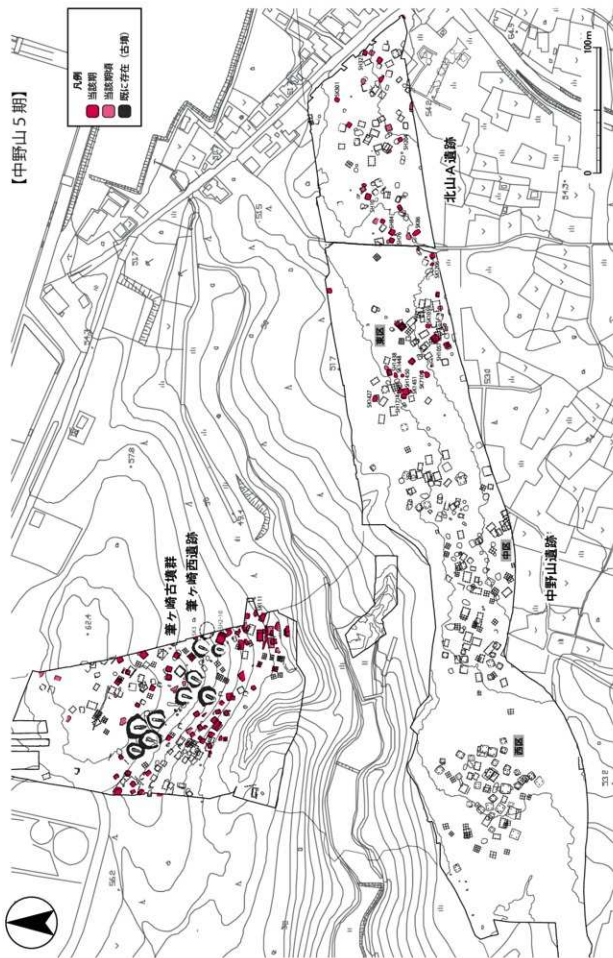
第 291 図 中野山遺跡と周辺遺跡の分布 2 (1 : 3,000)



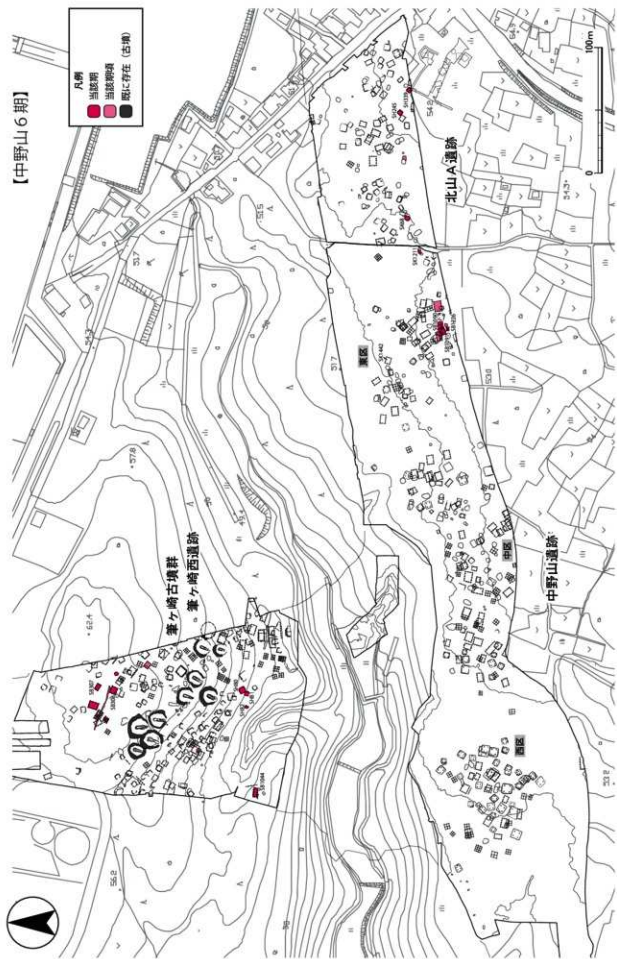
第292図 中野山遺跡と周辺遺跡の配置3 (1 : 3,000)



第293図 中野山遺跡と周辺遺跡の分布4 (1 : 3,000)



第294図 中野山遺跡と周辺遺跡の変遷5 (1:3,000)



第295図 中野山遺跡と周辺遺跡の家連6 (1 : 3,000)

えられていることを考慮する必要があるものの、堅穴建物が高密度で集中する。出土遺物からこの時期に限定できる掘立柱建物はないが、西区出土遺物の大半が1期のものであることから、少なからざる西区の掘立柱建物が1期に属するものと思われる。とりわけ、総柱建物が基本的に堅穴建物と重複関係にないことは、その可能性の高さを示している。したがって、西区で中野山1期に営まれていたのは、主として堅穴建物と総柱建物から成る集落であったと考えることができよう³⁷⁾。

この時期の須恵器は、敏投窯系のものを一定量含むつつも、津市のヲノ坪窯や内多窯の製品と共通する特徴を有するものが少なくなく、中勢地域との関係の深さが窺われる。また、土師器には口縁断面が「く」の字状を呈し、粗雑な胎土で厚手の甕・鍋が多く、いわゆる伊勢型甕が主流となる中野山2期以降の土器様相とは、顕著な違いを見せている。

【中野山2期】(第291図)

中野山西区の集落が急速に衰退し、ほぼ途絶状態になる一方、新たに中区に集落が形成され始め、やや遅れて筆ヶ崎に初めて古墳(6号墳)が造営される。

中野山2期の堅穴建物は、中区でも西寄り集中する傾向があり、柱痕跡から出土した蓋杯の完形品(1131・1132)によって、2期(新相)の廃絶とみられる総柱建物SB1314も、同じく中区の西寄りに位置している。

筆ヶ崎6号墳は、中野山の集落から小さな谷を挟んで北側に位置する丘陵上の、南向き緩斜面落ち際に築かれている。中野山の集落からの直線距離は約250mあり、7mほど高所にあたる。横穴式石室を主体部とする円墳で、石室は中野山中区の西寄り、つまり同時期の集落中心部に向かって開口している。立地のみならず、石室の方向性、さらにはこの後の古墳造営と集落の展開が連動しているように見えることを踏まえるならば、筆ヶ崎古墳群の造営母体は中野山中区の集落の居住者と推定して間違いないだろう。6号墳の石室床面から渡来系遺物とされる青銅製釵子が出土したことは、筆ヶ崎古墳群造営の母体となった中野山中区の居住者の出自を考える上で注目に値する。

ところで、中野山1期から2期にかけては、集落の

立地が変化するだけでなく、土器様相の上でも大きな変化が認められる。中野山2期には、北勢在地窯系の須恵器が安定的に供給されるようになったようで、中勢地域産にとって代わり須恵器の中心的存在となっている。また、土師器甕もいわゆる伊勢型甕が主流となるなど、1期とは大きく様相を異にする。

【中野山3期】(第292図)

中野山中区の集落がやや東側へ展開し、中区全体に遺構が分布するようになるとともに、筆ヶ崎では2・3・5号墳、やや遅れて10号墳が造営される。

中野山では、2期と比べて堅穴建物の数がやや減少する一方、中区の中央付近を中心に土坑が数多く認められるようになる。中区では、堅穴建物や土坑の他に掘立柱建物が多数検出されており、中には方位を揃えて計画的に配置されたとみられる掘立柱建物群(SB220・224・226など)もある。これらの掘立柱建物の時期を限定することは甚だ難しいが、中区からの出土遺物は多くが2~4期に属するものであるから、基本的には多くが当該時期に属するものと考えてよいだろう。なかでも、掘立柱建物は堅穴建物よりも多く見つかっており、住居形態の主流になりつつあったと考えられる。

筆ヶ崎では、2期に最初の6号墳が出現した西群より東側の中央群と東群にも、それぞれの高所に初めて古墳が築かれ(2号墳・3号墳)、西群では6号墳よりも東側のやや下がった位置に5号墳が築かれる。その後、中央群では10号墳が3号墳よりも東側のやや下がった位置に築かれる。

このように、中野山の集落と筆ヶ崎の古墳には、ともに東へ展開する動きが認められ、両者の動きは連動しているように見受けられる。

なお、注目される遺物としては、SK1601から出土した赤彩のある在地窯系須恵器杯H(1427・1434など)があり、輪羽口や鉄素材と思われる板状製品が共伴している。

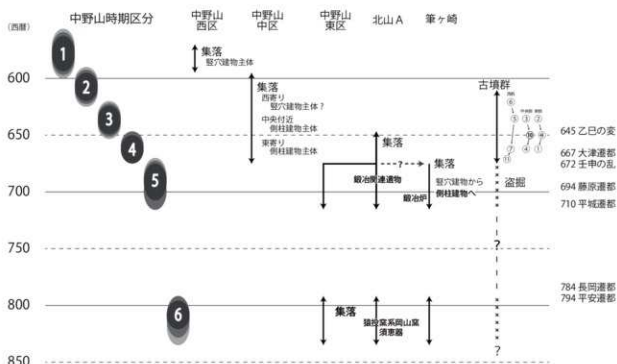
【中野山4期】(第293図)

中野山中区の集落が更に東へ展開し、筆ヶ崎には1号墳・4号墳・7号墳・11号墳が築かれる。また、北山Aに新たな集落が形成される。

中野山中区の集落では、堅穴建物と土坑が中区東半に集中する。3期よりも堅穴建物が少なくなり、

中野山 時期区分	中野山遺跡			北山A 遺跡	筆ヶ崎西 遺跡	筆ヶ崎古墳群			在地窯系 須恵器	猿投窯系 須恵器
	西区	中区	東区			西群	中央群	東群		
1期	SH多数 SH1675 SH1813 SK1811	SK216 SK1610								H-61号窯
2期		SH1631 SH1624 SH1320 SB1314	SK1165 SH713	SH19-25-28 SK54	SH213		6号墳		岡山6号窯	H-44号窯
3期	SK1668	SH1318 SK1601 SK1683	SK209 SK210 SK222 SK336	SK211・212	SH667 SK10717		5号墳	3号墳 2号墳	岡山6号窯 西ヶ谷1号窯	H-15号窯
4期		SH304 SH317 SH353 SK318 SK1543		(SH221) SH247 SH347 SK309	SH131 SH134 SH235		7号墳 11号墳	4号墳 1号墳		I-101号窯 H-16号窯
5期			SH1057 SK1059 SH1438 SK1206 SH1450 SK1427 SH1714 SK1448 SK710 SK1451	SH10 SK86 SH76 SK301 SH84 SH204 SH321	SH2-10 SH多数 SB多数 SK3-111				(西ヶ谷2号窯)	I-17号窯 C-2号窯
空白期										
6期			SB1090 SK1442 SB1091 SK1211 SB1226	SH245 SH339 SK68	SH80~82 SB307 SB308 SB1044				岡山1号窯 岡山2号窯 NN265号窯	

第296図 主な遺構の時期区分



土坑の数は増えているように見受けられるため、集落の中における個柱建物の比重は3期よりも更に高くなっているようである。

筆ヶ崎では、各群で既にある古墳よりも低い位置に、1号墳・4号墳・7号墳・11号墳が築かれる。築造位置は、先行する古墳よりも東側ではないが、西群・中央群の東側には隣接群との間に十分な間隙がないため、斜面下方への築造となったのであろう。

このように、中野山中区の集落と筆ヶ崎古墳群の動向については、先行する2・3期からの連続性が高く認められるが、2期から続いた中野山中区の集落と筆ヶ崎古墳群はこの4期を境に途絶えてしまい、次の5期には続かない。

これに対して、新たな動向として注目されるのは、北山Aに集落が形成されることである。北山Aの集落は、中野山中区の集落から東へ300mほど離れて位置していることに加え、個柱建物の比重がかなり高い中野山中区とは異なり、後述するように、この地域で一般的な堅穴建物主体の集落とみられる点で異質である。したがって、北山Aの集落の成立は、中野山中区居住者層の移住というよりも、別個の居住者層の進出と見なすべきではないかと思われる。

【中野山5期】(第294図)

北山Aの集落の居住域が拡大し、西側の中野山東区にまで堅穴建物や掘立柱建物・土坑が分布するようになる。一方、筆ヶ崎では新たな集落が形成されるとともに、早くも古墳の盗掘が始まる。

中野山東区で検出された5期の遺構の中には、SH 1450やSK 1059・1427など5期でも古相を示すものが含まれているので、北山Aから東側へ集落が広がった時期は7世紀第4四半期でも早い段階とみられる。また、中野山東区からの出土遺物は、6期の掘立柱建物集中域からの出土品を除くと、その大半が概ね5期に属するものであるため、時期を細かく限定できない古代の遺構も基本的には多くが5期に属するものと考えてよいだろう。堅穴建物と個柱建物の比率を見てみると、堅穴建物がやや多いものの数は倍増しており、北山Aと同じ比率を適応するならば、4期にはほとんど堅穴建物で構成されていた集落が5期に個柱建物を多数擁する集落へと変化したことになる。

筆ヶ崎では、古墳の周囲に集落が展開し³⁹⁾、2号墳の裾を壊して鍛冶炉を付設した工房施設が造られる。住居形態はこの5期の間に堅穴建物から個柱建物へと主体が変化することが判っており³⁹⁾、方位を意識した立派な掘立柱建物群も建てられた。

当該期の動向で注目されるのは、筆ヶ崎から出土した鍛冶関連遺物である。鉄滓や鑄羽口は北山Aや先行する中野山中区からの出土品にも散見するが、筆ヶ崎からは、鑄羽口・鑿・砥石に加え、大量の鉄滓が出土した。筆ヶ崎の北東約200mの「鍛冶を専業とした村落」⁴⁰⁾とされる西山遺跡も集落としての最盛期はこの5期で、朝明丘陵の広い範囲で鍛冶が行われていた時期である。

【空白期】その後、筆ヶ崎と北山A～中野山東区の集落はどちらも一旦途絶えたようで、8世紀前半頃の遺物は全くと言ってよいほどなくなる。

【中野山6期】(第295図)

数十年にわたる空白期を経て、筆ヶ崎の丘陵頂部平坦面と中野山東区に、個柱建物を主体とする集落が改めて形成される⁴¹⁾。

筆ヶ崎には小規模の堅穴建物が3棟(SH 80～82)ほどあるが、主柱穴やカマド、壁溝溝を欠いており、他の掘立柱建物とは離れて谷の落ち際に立地していることから、住居ではなく工房のような建物であったのだろう。北山Aで確認された堅穴建物2棟(SH 245・339)も一辺が3.5mほどと小型で、中野山東区の掘立柱建物群とは離れており、同様の性格と考えられる。

遺物では、この時期の大きな特徴として、須恵器で四日市市の岡山1・2号窯の製品と形質的に類似するものが目立つことを指摘できる。既に別の機会に論じたところであるが⁴²⁾、岡山1・2号窯における須恵器生産は、北勢在地窯系の工人集団ではなく、この地へ向わいてきた猿投窯系の工人集団によるものと考えられる。猿投窯系の須恵器生産が行われた背景を、中野山東区・北山A・筆ヶ崎の集落における需要だけで説明することが適切であるとは思えないが、岡山1・2号窯の操業期間とこれらの集落の盛衰がほぼ一致しているように見えることは注目に値しよう。あるいは、これら3遺跡を含む当該地域における開発がこの時期に顕著に進んだことを

示しているのではないとも思われるが、この点について詳しく論ずるためには、近隣地域との更なる比較検討を要する。

なお、この時期を境に再び集落は衰退し、中世に少数の土壘墓が造られたことを除いて、近代にいたるまで人間の生活痕跡は極めて希薄となる。

(3) 遺跡の動向にみる地域史

さて、新名神高速道路と東海環状自動車道をつなぐ新四日市ジャンクション付近の広大な面積を一気に調査したため、中野山遺跡を含む複数遺跡の関係を横断的に検討できる環境が整ってきた。最後に小稿での検討を通して明らかになってきた事項をまとめておきたい。

まず、中野山中区と筆ヶ崎古墳群の関係は、その位置関係だけでなく、展開や消長が合致することからも、居住域と墓域であることが明瞭になった。墓制として横穴式石室の古墳を採用し、渡来系とされる釵子を副葬するような集団であり、須恵器の生産地や土師器煮炊具の様相の違いも考慮するならば、中野山中区の集落は、西区の集落の移動によってではなく、新たに入植した居住者（渡来系）によって形成されたと考えたほうが自然であろう。現段階では、こうした社会的変動を生じさせた要因を明らかにしえないが、地域の歴史を考える上で興味深い問題である。

第二には、古代集落が堅穴建物主体から側柱建物主体へと変化する時期が、集落によって異なることを具体的に明らかにできた点である。中野山5期（7世紀第4四半期頃）の間に、筆ヶ崎や北山A～中野山東区の集落で起こった転換が、中野山中区の集落では、それよりも早い中野山3期（7世紀第2四半期頃）の段階で随分進行している。考えてみれば当然のことだが、同じ地域であっても、居住者の出自や社会的階層、他地域との関係性や性格などによって、集落の形態が変化する時期は異なるということを示しているのだろう。

第三には、古代の日本において大きな画期となった壬申の乱を前後する時期に、複数の遺跡の景観が、ほぼ時を同じくして大きく転換していることである。筆ヶ崎では古墳から集落へと激変し、中野山・北山Aでは新旧の集落の盛衰が認められた。古墳群

を造営してきた集落の衰亡とともに、新興勢力の集落が旧勢力の墓を破壊・盗掘しつつ急速に拡大し、繁栄するという地域勢力の交代劇ともとれる現象である。壬申の乱の舞台でもあったこの北勢地域においては、特に注目すべき社会的動向と言える。（水橋）

【註】

- 1) 三重県埋蔵文化財センター 2019「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡（第4・5・7次）発掘調査報告」。同2021「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡（第2・3・6次）発掘調査報告」
- 2) 前掲註1 文献（三重県埋蔵文化財センター 2021）
- 3) 呼称については、基本的に奈良文化財研究所の用例（奈良国立文化財研究所1976「平城宮発掘調査報告Ⅵ」など）に準拠したが、一部は実態に即して変更した。具体的には、杯G身と杯Aを合わせて「無台杯」、紐のつく杯蓋のうち、かえりのあるものを「杯蓋g」、かえりの無いものを「杯蓋b」とした。
- 4) 春日井領1992「北勢地域における須恵器蓋坏の法量変化について」『青木川古墳群』四日市市教育委員会。葛山拓也1997「北勢中部」『古代の土器5-1 7世紀の土器（近畿東部・東海編）』古代の土器研究会
- 5) 杯蓋は口縁部外端、杯身は受け部外端を計測した。極力、実物を閲覧し、残存度1/4以上で歪みの少ないものに限定して計測し、データの信頼度を高めたが、④・⑤～⑥については報告書掲載の実測図から読み取った。
- 6) 四日市市教育委員会1971「岡山古窯址群発掘調査報告」（四日市市埋蔵文化財調査報告5）
- 7) 四日市市遺跡調査会1992「西ヶ谷古窯跡群」
- 8) 尾野善裕・水橋公忠2004「古代の商業技術伝播—美濃国・美濃須衛衛舎の場合—」『かにかくに』八賀晋先生古稀記念論文集刊行会
- 9) 三重県埋蔵文化財センター1997「ツノ坪遺跡発掘調査報告」
- 10) 津市埋蔵文化財センター2000「埋文センターニュース」第12号
- 11) 斎藤孝正1986「東山61号窟出土の須恵器」『名古屋大学総合研究資料館報告』第2号 名古屋大学総合研究資料館。名古屋大学大学院文学研究科考古学研究室2010「東山61号窟発掘調査報告書」
- 12) 中勢産と目される須恵器に、中野山2・3期になっても残る例（S K 1601 出土品1424 など）が若干ある。
- 13) 1996年度に鈴鹿市考古博物館の進入路建設に関連して調査された堅穴住居。須恵器杯H・高杯・蓮・壺・壺、土師器碗・甕などが出土した。（平成28年9月24日に鈴鹿市考古博物館で開催された「海の古墳を考えるⅥ 第3回検討会 岸岡山古墳と御付短頸壺の展開・再検討」の藤原秀樹氏提供資料）

- 14) 日本道路公団名古屋支社・三重県教育委員会 1970 『東名阪道路埋蔵文化財調査報告』三重県文化財連盟
- 15) 四日市市教育委員会 2005 『西ヶ谷遺跡5』
- 16) 尾野善裕 1993 『猿投窟6世紀の空白をめぐる』『考古学ファナラム』3
- 17) 名古屋市教育委員会 1979 『尤真寺古窟跡発掘調査報告書』
- 18) 四日市市教育委員会 1973 『四日市の後期古墳』前掲註4文獻(葛山拓也 1997)。なお、石室内の出土位置から二次埋葬副葬品とされた杯H身のうち、北勢在地窯系須恵器であるにもかかわらず、著しく小さい2点(102・103)は、形態的にも新しい様相を呈しているため、三次埋葬の可能性を想起させる。
- 19) 四日市市教育委員会 2002 『西ヶ谷遺跡4』
- 20) 尾野善裕 1997 『尾張・西三河(窯跡)猿投・尾北・その他』『古代の土器5-1 7世紀の土器(近畿東部・東海編)』古代の土器研究会
- 21) 奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部 1995 『甘樫大東陵の調査』『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』25
- 22) 四日市市遺跡調査会 1996 『西ヶ谷遺跡』
- 23) 三重県埋蔵文化財センター 2005 『堯上遺跡発掘調査報告』
- 24) 前掲註20文獻(尾野 1997)
- 25) 前掲註20文獻(尾野 1997)
- 26) 三重県埋蔵文化財センター 2006 『西ヶ谷遺跡(第3・4次)発掘調査報告』
- 27) 前掲註1文獻(三重県埋蔵文化財センター 2021)
- 28) 各務原市埋蔵文化財調査センター 1998 『須南天狗谷古窟跡群・天狗谷窟址群発掘調査報告書』各務原市教育委員会
- 29) 大江 命 1983 『尾崎大平古窟跡群』『各務原市史』考古・民俗編考古(本文) 各務原市
- 30) 愛知県教育委員会 1980 『愛知県猿投山西南麓古窟跡群分布調査報告(Ⅰ)』
- 31) 愛知県教育委員会 1983 『愛知県古窟跡群分布調査報告(Ⅲ)(尾北地区・三河地区) 付・猿投窟の編年について』。城ヶ谷和広 2015 『高蔵寺第2号窟』『愛知県史』別編商業1古代猿投系 愛知県
- 32) 尾野善裕・森川実・大澤正吾 2016 『飛鳥地域出土の尾張産須恵器』『奈良文化財研究所紀要 2016』奈良文化財研究所・歴史土器研究会 2019 『飛鳥時代の土器編年再考』
- 33) 四日市市教育委員会 1966 『東日野弥生住居址群 岡山古窟址第1号窟』前掲註6文獻(四日市市教育委員会 1971)
- 34) 前掲註1文獻(三重県埋蔵文化財センター 2021)
- 35) 三重県埋蔵文化財センター 2017 『北山A遺跡(第2・3・5・6次)発掘調査報告』。なお、大部分が概報段階の情報ではあるが、既に中野山遺跡・北山A遺跡・筆ヶ崎遺跡を一体的に捉える試みがある。(川部浩司・渡辺和仁 2017 『伊勢-伊賀地域の古墳-飛鳥時代集落』『古墳時代から飛鳥時代へ-集落遺跡の分析からみた社会変化-』古代学研究会)
- 36) 三重県埋蔵文化財センター 2016 『中野山遺跡(2・3・6・7次)発掘調査報告』前掲註1文獻(同 2019・2021)。前掲註35文獻(同 2017)。
- 37) 堅穴建物 S H 1814・S H 1834・S K 1673 などには、明らかに新しい遺物の混入が認められる。これらの遺物は2~4期に該当することから、時期不明の遺構のうち、この時期に該当するものがあると推測され、なかでも個柱建物にその可能性がより高いと考えている。
- 38) 第3次調査では、古墳群下方に位置する中野山5期の遺構に古墳由来遺物の混入事例が少なからず認められ、遺構の所属時期を明らかにするためには詳細な検討を必要とした。第4・5・7次調査でも、古墳群と同時期の遺物が出土する遺構が西群下方のみ集申し、遺構の重複による新旧関係と出土遺物の時期が逆転する事例(S H 1022・S K 1136, S H 1078・S H 1080)が散見される。報告書掲載遺物の実見のみで確実なことは言えないが、隣接の第3次調査と類似した状況であるため、その多くが中野山5期に属するものと推測される。
- 39) 前掲註1文獻(三重県埋蔵文化財センター 2021)
- 40) 東員町教育委員会 1976 『西山遺跡・新野遺跡』
- 41) 掘立柱建物の時期比定は非常に困難だが、中野山6期の遺物を柱穴を含む掘立柱建物については、当該期の遺構と見なすことにした。何故なら、当該期の前には100年ほど空白期があるため、前代の掘立柱建物の柱痕跡路土に、6期の遺物が入り込むとは考えにくいからである。また、当該期以降、中野山では中世墓以外の遺構がほとんどなく、集落を形成したとみずだけの遺物もまた見つかっていないため、6期の遺物が柱穴埋土に混入した後世の掘立柱建物とも考え難いからである。
- 42) 水橋公忠 『古代須恵器工人の系譜-伊勢国・岡山古窟址群の場合-』『考古論集』川越哲志先生退官記念論文集 川越哲志先生退官記念事業会

【図版出典】

- 第 287 図：前掲註 5 のとおり
 第 288 図：ツノ坪窯・内多窯出土品は筆者実測
 第 289 図：前掲 第 184 図を一部改変

3 中野山遺跡とその周辺遺跡における冶金活動

中野山遺跡が立地する朝日丘陵上には、密度に差はあるものの、冶金関連遺物が出土する遺跡が分布する。初期の発掘事例は昭和45年から46年にかけて行われた、東貝町の西山遺跡、新野遺跡で報告されている¹⁾。新野遺跡では鉱滓が融着する輪羽口や椀形鍛冶滓や鉱滓片、また原料とされた可能性のある銅鉄片が出土する。西山遺跡でも輪羽口片や鉱滓片、椀形鍛冶滓のほか、溶解容器の小片が土坑や堅穴建物から見つかる。いずれも鍛冶関連の生産活動が予察されるが、滓の鉄成分分析が行われておらず、より具体的な冶金活動の情報を得られていない。次の発掘事例は東海環状道路建設に伴う広山A遺跡・広山B遺跡で、平成12年から19年にかけて実施された²⁾。また県道建設に伴う小牧北遺跡の発掘調査が平成13年に行われた³⁾。これらの同丘陵の北面および西面縁辺部において、少量であるが滓や割製かと考えられる鉄製品の出土が見られ、小規模の鍛錬鍛冶を行っていた様子がうかがえる。そして、今回報告する中野山遺跡をはじめ、丘陵を東西に横断して建設される新名神高速道路の建設に伴う調査によって、北山A遺跡、筆ヶ崎西遺跡、さらに新名神高速道路とのジャンクションが建設される東海環状自動車道の事業地となる中野山遺跡から筆ヶ崎西遺跡にかけて、鍛冶炉および鉄滓等を伴う冶金関連遺物の出土があった。特に筆ヶ崎西遺跡では、堅穴建物床面で地炉とした鍛冶炉が検出され、顕著な冶金活動を確認することができた。こうした周辺状況の中、北山A遺跡、筆ヶ崎西遺跡、中野山遺跡から出土した滓、計47点の鉄成分分析が調査時ごとに行われ、冶金の実態解明を試みている。

鉄成分分析の成果で明らかとなった異素材を扱う特性のほか、共通していたのは、鉄素材を地金として再溶解し、鍛錬鍛冶を行っていた点である。これは県下の古代以降の分析事例で多く報告されている事象で、古墳時代後期から当地では行っていたことが明らかとなった。

従前の報告では、輪羽口や鉄滓といった遺物ならびにそれらを出土した遺構のみに着目し、製鉄・鍛

冶活動の推察を行うにとどまってきた。今回の調査および遺物の検討を踏まえた集落の動向と冶金関連遺物・遺構の分布を重ね合わせてみた結果、また鉄成分分析の結果も見ながら、本丘陵上における冶金活動の推移について看取できた事項をあげてみたい。

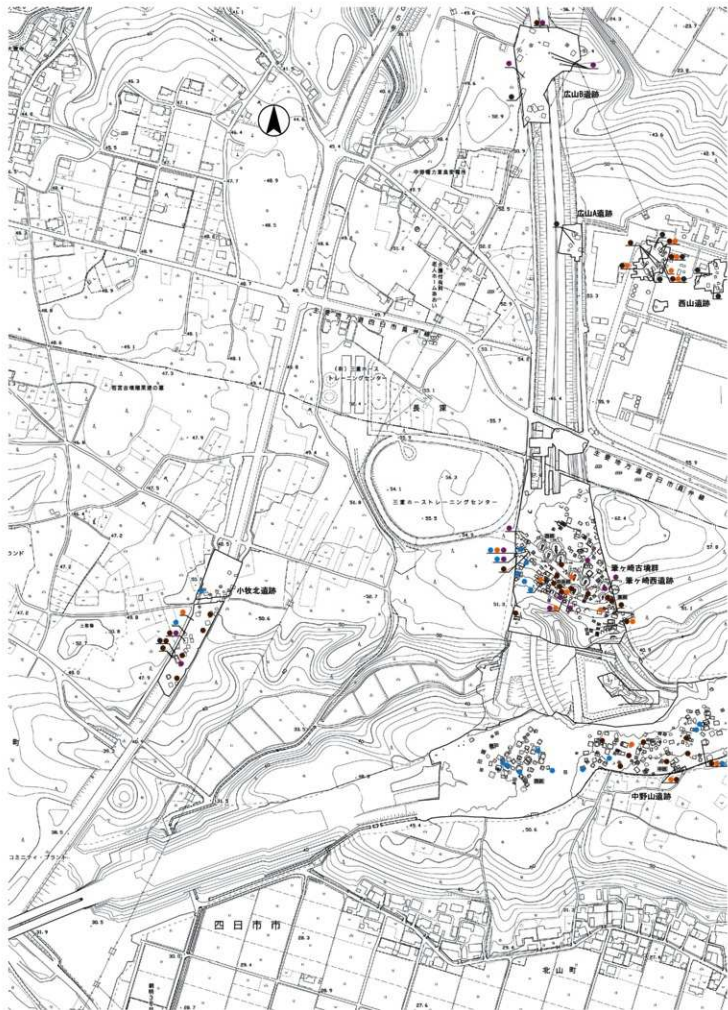
中野山1期（第296図、以下同）とした集落内においては、砥石のみの分布で、冶金そのものにかかる活動痕跡が見当たらない。調査区域外において火床等の鍛冶作業空間があったのであろうか。当該期の集落北側は谷地のため、冶金を行っていたならば、主体的空間は丘陵南面の平端部が想定されようか。中野山2期における冶金活動は、中区へ移動してきているようだが、遺構出土の遺物が乏しくはつきりしない。

中野山3期から特に4期にかけての冶金活動は、中区の南辺部で顕著となる。鉄滓だけでなく輪羽口や砥石、地金の出土など、堅穴建物での鍛冶と土坑への廃棄がうかがえる。この時期の鉱滓からは、金属鉄粒と同時に青銅粒を含むことが報告されており⁴⁾、青銅製品と鉄の異素材を併用して加工する、あるいは溶解炉等の共用で冶金活動を行っていたものと思われる。この異素材を扱う体制は次の5期にかけて、筆ヶ崎西遺跡の古墳を挟んだ西裾・東裾で見つっている⁵⁾。分析結果から、鉄・鉛素を含む品位の低い国内産鋼素材を同一炉内で溶融した可能性が考えられている⁶⁾。筆ヶ崎西遺跡側の生産滓の方が、含鉄滓・鉄塊系遺物が多いことと、始発原料に塊状鉄鉱石が想定される鉄滓が出土していることも併せて注目しておくべき⁶⁾。

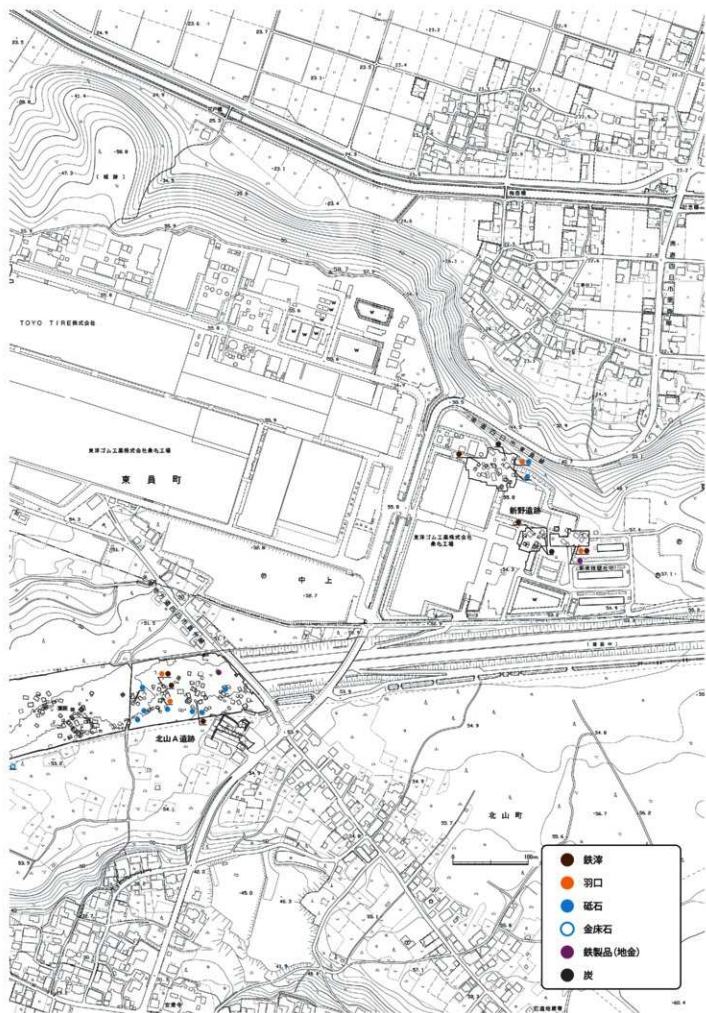
中野山5期では、活動の場を東区以東に移行し、地金とした鉄素材と冶金関連遺物が共存する遺構が見られる。東区では、4期に見られた異素材併用・共用の痕跡は見当たらないが、筆ヶ崎西遺跡方面の古墳裾部で引き続き展開されている。

中野山6期では、東区南辺・東南隅にわずかに遺物の出土があるが、5期ほどの分布はない。

以上のような動向が推察されるところであるが、出土鉄滓の出土量に対する分析の実施数が十分とはいえない調査・遺跡もあり、冶金活動のすべてを解明できてはいない。そこで、生産滓から分かる作業内容に加えて、広山B遺跡、西山遺跡、新野遺跡で



第 298 図 冶金関連遺物の分布 (1 : 5,000)



検出された、炭化材を伴う焼土坑の分布状況にも注目したい。操業規模の大小にかかわらず、冶金を伴う生産活動に燃料となる炭は不可欠で、従前の調査で検出された炭化材を伴う焼土坑は、炭生産の伏焼土坑の可能性を考えておきたい⁹⁾。製鉄規模の燃料ならば、炭窯により生産するものと思われるが、小鍛冶では、鍛錬鍛冶の作業場付近で使用量分の消し炭を、こうした焼土坑で生産していた可能性が考えられる。後世の擾乱もあり、十分な残存状況ではない検出事例もある。付近の建物の厨房や土蔵墓的な性格、また焼失建物を想定されるケースもあるが、周辺遺構および共存遺物の状況によっては、小鍛冶燃料生産の遺構も、想定する性格の一つに考えるべきであろう。

こうした遺構へも目を向けることで、小鍛冶創業の空間が、より広範囲に実態が把握できるようになる。中野山3期以降の小鍛冶の操業が、場所を移しながら本丘陵上で存続していたことは、今も事業地外の部分に残るクスギやコナラの森林資源と、約200年にわたり利用と再生のバランスを取りながら冶金活動をし、集落を営んできたと言えることができるか。

現時点では、古代後期以降の冶金活動がうかがえる発掘調査地点はないため、9世紀半ば以降に冶金の痕跡は希薄となり、中世以降、ごく限られた遺構で散見するのみとなる。本丘陵上の動向をふまえ、近接する久留倍遺跡や西ヶ広遺跡などの操業内容の比較検討などを課題としつつ、「大金(鐘)」の地名が残った当地の歴史の解明に向けて注視していきたい。

(大川)

【註】

- 1) 東員町教育委員会 1976「西山遺跡・新野遺跡」
- 2) 三重県教育委員会 1972「新野遺跡発掘調査報告-C地区-」
- 3) 三重県埋蔵文化財センター 2009「広山A遺跡・広山B遺跡」
- 4) 三重県埋蔵文化財センター 2007「小牧北遺跡発掘調査報告」
- 5) 三重県埋蔵文化財センター 2016「中野山遺跡(第2・3・6・7次)発掘調査報告」
- 6) 三重県埋蔵文化財センター 2021「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡(第2・3・6次)発掘調査報告」
- 7) 6) 掲載「出土物の分析調査」
- 8) 三重県埋蔵文化財センター 2019「筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡(第4・5・7次)発掘調査報告」
- 9) 福島県教育委員会 1995「真金吹く陸奥の行方」

【参考文献】

国土交通省中国地方整備局松江国道事務所・島根県教育庁文化財調査センター 2007「たたら街道」-中国横断自動車道(尾道松江線)事業地内埋蔵文化財発掘調査概報-

第 24 表 遺構一覧表 (1)

遺構番号	名称	土台マシット		高麗国産	形状	時代	面積			位置	備考 (注) 1. 高麗国産品は、韓半島産品と区別
		光南院	小南院				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
第 304	12次	1	06+7	10,190,244	土坑	3+4層	6.9	3.9	0.15	瓦器群集、土師器片	大型土坑 高麗国産品が出土
第 304	12次	2	122地	6,94,225	壇状遺物	弥生前期	6.9	3.4	0.1	弥生土師器・高砂	
第 701	4次	9	119地	11,163,227	壇状遺物	古銅	4.2	2.9	0.12	瓦器群集・鏡片・瓦、土師器片	高麗国産品が出土
第 801	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器
第 802	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器
第 902	4次	F	121+22	11.36	溝遺存跡	縄文中期	1.6	0.6	0.22	遺物なし	
第 904	4次	F	121+22	11.36	溝遺存跡	縄文中期	2.3	0.7	0.25	遺物なし	
第 906	4次	F	120	11,17,202	溝遺存跡	縄文中期	8.9	8.3	0.16	縄文土師器片、鏡片	9030-9422 cal BC
第 908	4次	F	121	11,17,202	溝遺存跡	縄文中期	1.4	0.5	0.22	縄文土師器片	
第 907	4次	F	120地	11.36	溝遺存跡	縄文中期	1.3	0.8	0.29	縄文土師器片	
第 909	4次	F	121地	11,16,202	溝遺存跡	縄文中期	1.4	0.5	0.27	縄文土師器片、磨石・鏡片	
第 909	4次	F	120地	11,16,201	壇状遺物	縄文中期	2.7	2.6	0.24	縄文土師器片、瓦器・鏡片・磨石・鏡片・鏡片・土刀	
第 910	4次	F	120	11,66,207	墓石跡	縄文中期	0.8	0.7	0.27	瓦器	墓石跡 30100-0100-0100(1) 墓室
第 911	4次	G	83地	11,95,227	壇状遺物	古代	4.6	3.9	0.18	土師器片、土師、瓦器	30102-0100(1) 30102-0100(2) 墓石跡
第 912	4次	F	124地	11,16,201	壇状遺物	縄文中期	3.9	3.7	0.11	縄文土師器片	
第 913	4次	G	11地	11,13,201	壇状遺物	縄文中期	3.9	2.9	0.15	縄文土師器片、磨石	
第 914	4次	F	121	11.39	溝遺存跡	縄文中期	1.5	0.5	0.24	遺物なし	
第 915	4次	F	121+22	11,16,202	溝遺存跡	縄文中期	2.1	0.5	0.4	縄文土師器片、瓦器	9049-9201 cal BC
第 916	4次	F	121	11,20,202	溝遺存跡	縄文中期	1.2	0.7	0.37	縄文土師器片、磨石	9054-9028 cal BC
第 917	4次	G	11	12,174	土坑	古代	2.3	1.3	0.28	土師器群集	大型土坑
第 918	4次	F	122	11,20,202	溝遺存跡	縄文中期	1.4	0.5	0.35	縄文土師器片	9059-9548 cal BC
第 919	4次	F	121	11,21,202	溝遺存跡	縄文中期	1.9	0.7	0.69	縄文土師器片、磨石	
第 920	4次	F	122地	12	溝	縄石中期	2.6	0.5	—	遺物なし	
第 921	4次	F	123	12,209	溝	縄石中期	1.3	0.7	—	縄文土師器片	
第 922	4次	F	121	11,20,64,202	墓石跡	縄文中期	1.1	0.6	0.45	縄文土師器片、瓦器・磨石・鏡片	墓石跡 3011-9028 cal BC
第 923	4次	F	125	11,13,65,202	墓石跡	縄文中期	1.1	1.0	0.7	縄文土師器片、土刀・瓦器・磨石片、打製石片・鏡片	墓石跡 3012-0100(1) 3012-0100(2) cal BC
第 924	4次	F	121	11,22,202	溝遺存跡	縄文中期	2.6	1.0	0.44	縄文土師器片、磨石・磨石・鏡片	塚・1号穴
第 925	4次	F	125	11,14,201	壇状遺物	縄文中期	3.7	3.7	0.17	縄文土師器片、磨石・瓦器・鏡片・磨石・鏡片	
第 926	4次	G	13+4	12,61,224	壇状遺物	弥生中期	3.5	2.6	0.12	弥生土師器片、打製石片・瓦器	
第 927	4次	G	13地	12,60,226	土坑	弥生中期	3.4	1.05	0.37	弥生土師器・鏡、打製石片	
第 928	4次	F	125	12,209	土坑	縄文	1.5	0.65	0.12	縄文土師器片	
第 929	4次	F	109	11,23,202	溝遺存跡	縄文中期	1.9	0.8	0.41	縄文土師器片、鏡片	
第 930	4次	F	124	11,22,202	溝遺存跡	縄文中期	1.5	0.6	0.5	縄文土師器片、磨石・瓦器・瓦器・土刀	9059-9527 cal BC
第 931	4次	G	11	12,197,233	土坑	縄石中期	3.7	2.6	0.19	瓦器	
第 932	4次	G	14	12,174	土坑	古代?	2.9	2.15	0.1	土師器片	30102-0100(1) 大型土坑
第 933	4次	F	121	11,197	土坑	縄石中期	1.6	0.8	0.21	遺物なし	
第 934	4次	G	19+7	12	溝	古代?	4.6	0.3	—	土師器群集	
第 935	4次	F	124	12,197	土坑	縄石中期	1.4	0.85	0.29	遺物なし	
第 936	4次	G	12地	12,174	土坑	古代?	2.3	1.95	0.33	土師器群集	大型土坑
第 937	4次	G	825地	12,174,244	土坑	古代	4.1	2.9	0.42	高砂群集、土師器片	大型土坑
第 938	4次	G	19	12,96,226	土坑	弥生中期	6.4	4.4	0.13	弥生土師器片	土師器片の可能性
第 939	4次	G	19	12,106	墓	中世	0.85	0.65	0.12	土師器片	
第 940	4次	G	116	12,196	墓	中世	0.75	0.5	0.11	遺物なし	
第 941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器
第 942	4次	G	104地	12,91,226	溝	弥生中期	6.9	6.8	0.2	弥生土師器片	
第 943	4次	G	118地	12,175,244	土坑	弥生前期	4.9	2.9	0.6	高砂群集・磨石・鏡、土師器片、磨石	大型土坑
第 944	4次	G	105地	12,96,227	壇状遺物	古銅	5.1	5.1	0.1	瓦器群集・鏡、土師器片	30104-0100(1)
第 945	4次	G	122地	11,12,136,253	壇状遺物	古代	4.2	3.8	—	土師器群集、縄文土師器片	

第 24 表 遺構一覧表 (2)

遺構番号	高さ	土台プロフィール		南側傾斜	材料	時代	幅			主な遺物	備考 (年代別出土品目・出土品目別表参照)
		外側径	内側径				長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)		
SR 1846	40E	N	12	12	土版	弥生	2.25	1.85	0.29	弥生土版片	
SR 1847	40E	N	103	12,175	土版	弥生	1.85	1.3	0.13	弥生土版片、土版断片	
SR 1848	40E	N	47	12	土版	弥生	1.4	0.7	0.37	弥生土版片、土版片	
SR 1849	40E	N	87	12	土版	古代	1.18	0.7	0.44	弥生朝鮮産	
SR 1850	40E	N	823	12,96,238	土版	弥生中期	1.8	1.8	0.36	朝鮮製土版	
SR 1851	40E	N	812+4	12,175,238	土版	古代	3.0	2.4	0.41	弥生土版片、土版断片	大型土版
SR 1852	40E	N	F226	11,12,175,238	土版	古代	4.1	3.5	0.45	弥生土版片、新、土版断片、破片片	弥生2期→弥生3期 大型土版
SR 1853	40E	N	F256	12,176,238	土版	古代	2.8	2.0	0.30	弥生土版断片、土版片	大型土版
SR 1854	40E	N	F186	12,93	板瓦断片	古代	3.15	1.85	0.1	遺物なし	
SR 1855	40E	N	614+3	12	土版	古代?	1.2	0.7	0.38	土版断片	
SR 1856	40E	N	65	12,244	土版	古代	0.75	0.7	0.28	土版断片	
SR 1857	40E	N	3136	11,15,93,227	板瓦断片	古期	6.1	6.1	0.41	弥生土版片、新、破片片	弥生3期(4)土版片 弥生3(土版)
SR 1858	40E	N	3256	12,93,227	板瓦断片	古代	3.75	2.85	0.25	土版断片	
SR 1859	40E	N	3256	12,176,238	土版	弥生前期	4.1	3.1	0.43	弥生土版片、新、土版断片、割線土版	大型土版
SR 1860	40E	N	21	12,176,238	土版	古代	1.3	1.0	0.25	土版断片	
SR 1861	40E	N	8236	12,176,227	土版	古代	6.9	5.4	0.3	弥生土版片、新、土版断片	弥生3期(土版) 大型土版
SR 1862	40E	F	126	11,11,202	漆器付炉穴	縄文中期	1.25	0.3	0.14	弥生土版片	弥生3期(土版)→弥生3(土版) 弥生3(土版)→弥生3(土版)
SR 1863	40E	N	606	12,94,227	板瓦断片	古代	4.7	3.7	0.29	土版断片	弥生3期(土版)→弥生3(土版) 弥生3(土版)→弥生3(土版)
SR 1864	40E	N	64	12	土版	古代?	1.15	1.05	0.38	土版断片	
SR 1865	40E	N	6296	12,130,242	板瓦断片	古代	6.9	4.35	—	土版断片	
SR 1866	40E	N	3186	15,131	板瓦断片	古代	3.25	3.9	—	土版断片	
SR 1867	40E	N	8226	11,12,155,242	板瓦断片	古代	3.7	3.9	—	弥生土版片、土版断片	弥生3期(土版)→弥生3(土版)
SR 1868	40E	N	616	12,152	板瓦断片	古代	4.8	3.0	—	土版断片	
SR 1869	40E	N	818	12,152	板瓦断片	古代	7.2	4.35	—	弥生土版片、土版断片	
SR 1870	40E	N+N	1256	12,152	板瓦断片	古代	3.7	3.4	0.95	土版断片	
SR 1871	40E	N	646	12,152	板瓦断片	古代	6.9	4.4	—	遺物なし	弥生3期(土版)
SR 1872	40E	N	126	12,134,242	板瓦断片	古期	7.8	5.4	—	弥生土版片、土版断片	弥生3期(土版) 弥生3(土版)→弥生3(土版)
SR 1873	40E	F	124	12,24	漆器付炉穴	縄文早期	0.85	0.85	?	遺物なし	
SR 1874	40E	F	321	11,24,202	漆器付炉穴	縄文早期	1.45	0.8	0.54	縄文土版断片	
SR 1875	40E	N	621+22	11,209	土版	縄文	1.4	0.95	0.36	縄文土版片	
SR 1876	40E	F	624	12	土版	縄文	1.4	0.9	0.32	縄文土版片	
SR 1877	40E	F	321	11,24	漆器付炉穴	縄文早期	0.85	0.7	0.34	遺物なし	
SR 1878	40E	F	328	11,209	土版	縄文	0.9	0.6	0.37	縄文土版片	
SR 1879	40E	F	328+25	12	土版	縄文	0.9	0.6	0.35	縄文土版片	
SR 1880	40E	F	121	11,19	漆器付炉穴	縄文早期	?	?	?	遺物なし	
SR 1881	40E	N+N	1256	12,134,242	板瓦断片	古代	3.65	3.9	—	土版断片	
SR 1882	40E	N	823	11,12,152	板瓦断片	古代	3.3	3.0	—	遺物なし	
SR 1883	—	—	—	—	—	—	—	—	—	与妻	
SR 1884	40E	N	F26	12,152	板瓦断片	古代	4.2	4.2	—	土版断片	
SR 1885	40E	N	306	12,152	板瓦断片	古代	6.6	3.8	—	遺物なし	
SR 1886	40E	N	646	12,156	板瓦断片	古代	6.3	4.5	—	遺物なし	
SR 1887	40E	N	34+3	12,136	板瓦断片	古代	5.65	4.8	—	土版断片	
SR 1888	40E	N	1226	11,12,152	板瓦断片	古代	4.85	3.9	—	弥生土版片、土版断片	
SR 1889	40E	N	3296	12,137,242	板瓦断片	古期	6.4	4.2	—	弥生土版片、土版断片	
SR 1890	40E	N+N	8236	12,136,242	板瓦断片	古期	5.4	3.75	—	弥生土版片、新、土版断片	弥生3期(土版) 弥生3(土版)→弥生3(土版)
SR 1891	40E	N	823+25	12,136,242	板瓦断片	古期	5.55	4.95	—	弥生土版片、土版断片	
SR 1892	40E	N	6126	11,136	板瓦断片	古代	6.15	3.9	—	弥生土版片、土版断片	
SR 1893	40E	N	112	10	漆	弥生中期	0.2	1.0	—	遺物なし	

第24表 遺構一覧表(3)

遺構番号	遺長	主要なモチーフ 光景図 示像図	掲載図番	性質	時代名	距離			正倉遺物	備考 (正倉館収蔵品目・展示品目番号)	
						長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)			
SR 1102	500	F	T12	30	時期不明	2.3	6.5	—			
SR 1103	500	F	T22壁	11,73,74, 219-224	聖元遺物	6.1	2.55	6.52	滅亡土師赤瓦(中継層壁)。石線・瓦葺・横列瓦葺。		
SR 1104	500	F	T23+24	11,73,217	聖元遺物	5.15	3.15	6.86	滅亡土師赤瓦(中継層壁)。瓦葺。		
SR 1105	500	F	T18	10,11,25	徳源村伊仁	1.5	6.4	6.23	遺物なし		
SR 1106	500	F	T26	11,20	徳源村伊仁	1.5	6.8	6.19	遺物なし		
SR 1107	500	F	T22壁	11,22	聖元遺物	6.7	6.6	6.18	遺物なし		
SR 1108	500	F	R22壁	11,34	聖元遺物	3.9	5.9	6.4	土師器		
SR 1109	500	F	S1	11,96,223	権謀土師	1.2	6.65	6.52	滅亡土師遺跡	内) 1200-1214 no1 敷 外) 1220-1052 no1 敷	
SR 1110	500	F	T23	11,25,262	徳源村伊仁	1.64	6.8	6.28	瓦葺		
SR 1111	500	F	T1	11,199	土師	6.2	6.22	6.12	遺物なし		
SR 1112	500	F	S2	11,26	徳源村伊仁	1.7	6.7	6.36	遺物なし		
SR 1113	500	F	S1	11,26	徳源村伊仁	1.25	6.65	6.1	遺物なし		
SR 1114	500	F	S3	11,26	徳源村伊仁	1.75	6.65	6.4	遺物なし		
SR 1115	500	F	S2	11,26	徳源村伊仁	2.25	6.75	6.2	遺物なし		
SR 1116	500	F	S3	11,25,262	徳源村伊仁	1.2	6.5	6.29	滅亡土師瓦。瓦葺		
SR 1117	500	F	S2	11,199	土師	6.9	6.6	6.67	遺物なし		
SR 1118	500	F	S4	11,96,223	権謀土師	6.35	6.3	6.12	滅亡土師遺跡		
SR 1119	500	F	S2	11,199	土師	1.9	6.7	6.15	遺物なし		
SR 1120	500	F	S5	11,27	徳源村伊仁	1.55	6.95	6.4	遺物なし		
SR 1121	500	F	S5	11,27	徳源村伊仁	1.25	6.7	6.11	遺物なし		
SR 1122	500	F	S8	11,26	徳源村伊仁	1.55	6.8	6.26	遺物なし		
SR 1123	500	F	R6壁	11,26	徳源村伊仁	1.65	6.6	6.23	遺物なし		
SR 1124	500	F	S4壁	11,199	土師	6.75	6.6	6.17	遺物なし		
SR 1125	500	F	S2	11,26	徳源村伊仁	1.5	6.7	6.28	遺物なし		
SR 1126	500	F	S6	11,26	徳源村伊仁	1.7	6.7	6.2	遺物なし		
SR 1127	500	F	S9	11,199	土師	1.1	6.45	6.11	遺物なし		
SR 1128	500	F	S9	11,199	土師	1.5	6.4	6.15	遺物なし		
SR 1129	500	F	S9	11,29	徳源村伊仁	1.45	6.45	6.3	遺物なし		
SR 1130	500	F	S4	11	土師	1.45	3.2	6.19	遺物なし		
SR 1131	500	F	R3	11,29	徳源村伊仁	1.15	6.5	6.2	遺物なし		
SR 1132	500	F	S1	11	土師	1.1	6.45	6.32	遺物なし		
SR 1133	500	F	S3	11,26,262	徳源村伊仁	1.6	6.55	6.21	滅亡土師瓦		
SR 1134	500	F	T22壁	11,26	徳源村伊仁	6.65	6.5	6.69	遺物なし		
SR 1135	500	F	T1	11,26,262	徳源村伊仁	1.55	6.45	6.35	滅亡土師瓦		
SR 1136	500	F	T9	11,26	徳源村伊仁	6.6	6.35	6.65	遺物なし		
SR 1161	500	R	Q23+24	10,126,244	土師	2層	5.6	4.0	6.25	瓦葺部高床・塼・土師器壁	大型土師
SR 1162	500	R	Q24	10,127,244	土師	古代	1.22	1.15	6.1	瓦葺部塼・土師器壁	
SR 1163	500	R	Q23	10	土師	時期不明	1.6	6.9	6.15	遺物なし	
SR 1164	500	L	P2壁	10,96,227	聖元遺物	古代	3.4	5.4	6.2	瓦葺部瓦葺。土師器壁	東條院跡土師C T2(104-105)T2(104-105)壁打込
SR 1165	500	L	Q16壁	10,127,243	土師	2層	5.45	3.15	6.1	瓦葺部塼・軒・塼・土師器壁・土師	大型土師
SR 1166	500	L	Q16壁	10	塼	古代?	1.2	6.2	6.1	瓦葺部塼・土師器壁	T2(104)内瓦葺打込土師
SR 1167	500	L	Q4	10,127,243	土師	古代?	4.8	2.85	6.12	土師器壁	大型土師
SR 1168	500	L	Q1	10,127	土師	古代?	1.1	6.9	6.08	瓦葺部高床・塼・土師器壁	
SR 1169	500	R	Q24	10,126	土師	古代?	1.65	6.75	6.28	瓦葺部塼・軒・塼・土師器壁・土師	
SR 1170	500	L	Q4	10	土師	時期不明	1.8	6.7	6.44	遺物なし	
SR 1171	500	L	Q2	10	土師	時期不明	1.2	6.55	6.24	遺物なし	
SR 1172	500	L	Q4	10	土師	時期不明	6.8	6.6	6.16	遺物なし	
SR 1173	500	L	Q3	10	塼	奈良~現代	10.8	1.8	—	築物跡・塼	

第24表 遺構一覧表(4)

遺構番号	表数	土佐アブツツ		南緯/北緯	経度	時代	幅			土佐遺構	備考 (年代別/遺構別/土佐アブツツ/表数)
		東	西				深さ				
SR 1174	50	L	L3	16,199	上段	砂層中層	1.9	6.35	6.36	遺構なし	
SR 1175	50	L	R3	16,199	上段	砂層中層	3.4	3.1	6.43	遺構なし	
SR 1176	50	L	R3	16,200	上段	砂層中層	2.2	3.1	6.43	遺構なし	
SR 1177	50	L	J4	16,199	上段	砂層中層	1.1	6.7	6.31	遺構なし	
SR 1178	50	L	R1	16,176,245	上段	古代	-0.9	6.73	6.23	埋没跡	
SR 1179	50	R	R23	16,199	上段	砂層中層	9.7	6.3	6.17	遺構なし	
SR 1180	50	R	R23	16,199	上段	砂層中層	6.95	6.3	6.15	遺構なし	
SR 1181	50	L	R2	16,199	上段	砂層中層	6.65	6.3	6.14	遺構なし	
SR 1182	50	L	J4	16,200	上段	砂層中層	1.2	6.7	6.25	遺構なし	
SR 1183	50	L	J5	16,199	上段	砂層中層	3.1	6.7	6.17	遺構なし	
SR 1184	50	L	R2	16,199	上段	砂層中層	1.1	6.3	6.32	遺構なし	
SR 1185	50	L	R1	16,200	上段	砂層中層	1.9	6.8	6.2	遺構なし	
SR 1186	50	R	R21	6,10	上段	砂層中層	1.15	6.3	6.18	遺構なし	
SR 1187	50	L	5階	16,199	居住建物	古代	3.6	3.3	—	土階部分	
SR 1188	50	L	10階	16,140	居住建物	古代	3.0	2.7	—	埋没跡片、土階部分	
SR 1189	50	R+L	10階	16,140	居住建物	古代	7.8	3.7	—	土階部分、埋没跡片	表層部24上段
SR 1190	50	L	10階	16,141	居住建物	古代	3.4	4.2	—	土階部分	
SR 1191	50	L	9階	16,141	居住建物	古代	3.4	3.6	—	遺構なし	
SR 1192	50	L	10階	16,142	居住建物	古代	2.1	3.8	—	遺構なし	表層部24上段
SR 1193	50	L	10+3	16,142	居住建物	古代	3.6	3.3	—	埋没跡片、土階部分	
SR 1194	50	R	10階	16,142	居住建物	古代	6.55	4.2	—	土階部分	
SR 1195	50	R	10階	16,142	居住建物	古代	—	3.1	—	埋没跡部分、土階部分	
SR 1196	50	R	R22階	16,142	居住建物	古代	4.4	4.3	—	遺構なし	表層部20上段
SR 1201	60	G	R14階	12,142	居住建物	古代	4.2	4.2	—	土階部分	埋没跡片
SR 1202	60	G	R16	12,178	上段	古代	6.7	6.6	6.15	土階部分	
SR 1203	60	G	714	12,21,290	徳道村伊元	縄文中期	1.7	6.6	6.3	埋没	
SR 1204	60	G	113	12,31	徳道村伊元	縄文中期	1.35	6.45	6.22	遺構なし	埋没跡片 cal 埋
SR 1205	60	G	913	12,31	徳道村伊元	縄文中期	6.65	6.6	6.58	遺構なし	
SR 1206	60	R	213階	12,178,245	上段	5階	3.1	2.1	6.34	埋没跡片・埋没跡・断面、土階部分、埋没跡・断面、埋没・断面	大型土坑
SR 1207	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5階	
SR 1208	60	R	114階	12,186,245	上段	5階	1.8	6.75	6.2	埋没跡部分・断面、土階部分・断面	
SR 1209	60	R	214階	12,186,227	埋没建物	5階	2.95	1.75	6.42	埋没跡部分	
SR 1210	60	R	111階	12,178,245	上段	古代	2.3	1.35	6.43	土階部分、断面	埋没跡→埋没跡→埋没跡 大型土坑
SR 1211	60	R	113階	12,178,246	上段	6階	4.95	3.35	6.42	埋没跡部分・断面・断面、埋没跡・断面、埋没跡・断面、埋没跡・断面、埋没跡・断面	埋没跡→埋没跡→埋没跡 大型土坑
SR 1212	60	R	114	12,178,246	土階部分	5階	2.95	1.7	6.29	埋没跡部分・断面、土階部分	埋没跡→埋没跡→埋没跡 埋没跡 cal 埋
SR 1213	60	R	113階	12,186,227	埋没建物	古代	4.3	3.95	6.58	埋没跡、土階部分	
SR 1214	60	R	211	12,186	上段	古代	3.3	2.9	6.43	埋没跡、土階部分	大型土坑
SR 1215	60	R	119階	12,186	上段	古代	7.2	2.75	6.38	土階部分	埋没跡→埋没跡 大型土坑
SR 1216	60	R	111階	12,186,246	上段	古代	6.9	3.45	6.35	埋没跡部分・断面、土階部分	大型土坑
SR 1217	60	R	119階	12	上段	古代	1.2	3.1	6.22	土階部分	
SR 1218	60	R	116階	12,186	埋没建物	5階	3.9	1.35	6.58	埋没跡部分、土階部分	
SR 1219	60	R	112+3	12,186	埋没建物	古代	4.8	4.95	6.18	埋没跡部分、土階部分	
SR 1220	60	R	112+7	12,186,227	埋没建物	5階	3.9	3.3	6.18	埋没跡部分・断面、土階部分	
SR 1221	60	R	114階	12,186,247	上段	5+6階	3.9	2.7	6.14	埋没跡部分・断面、土階部分、断面、土階部分	埋没跡→埋没跡 大型土坑
SR 1222	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5階 埋没跡→埋没跡	
SR 1223	60	R	116階	12,186,227	埋没建物	古代	3.3	3.1	6.1	埋没跡部分・断面、土階部分・断面、断面、土階部分、土階部分	埋没跡→埋没跡→埋没跡 大型土坑
SR 1224	60	R	116階	12,186,247	上段	5+6階	3.9	3.35	6.16	埋没跡	大型土坑
SR 1225	60	R	116階	12,186,247	上段	古代	1.75	3.7	6.17	土階部分	

第 24 表 遺構一覧表 (5)

遺構番号	国名	所在地	年代	遺構の種類	性質	時代	面積			主な遺物	備考 (年代別表裏面・年代別表裏面)	
							延床面積 (㎡)	掘削面積 (㎡)	掘削土量 (t)			
第 120 号	和	和	124	12.144.242	居住建物	6 期	2.7	1.55	—	瓦器群・灰土・土師器類		
第 121 号	和	和	124	12.144.242	居住建物	6 期	2.8	1.73	0.23	遺物なし	第1099号・第1217号 大型土坑	
第 122 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器 第1099号・組合	
第 123 号	和	和	124	12.144.242	土坑	古代	1.1	0.85	0.18	瓦器群・土師器類、須石群		
第 124 号	和	和	124	12.144.242	土坑	6 期	3.15	3.4	0.38	瓦器群・灰土・土師器類・須石・鉄器	大型土坑	
第 125 号	和	和	123・24	12.144.242	土坑	古代	0.8	0.8	0.1	土師器類	コップ	
第 126 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器	
第 127 号	和	和	101・24	13.36	居住建物	古代	6.2	2.25	0.2	土師器片	瓦器群の1号	
第 128 号	和	和	102	—	溝	時期不明	23.35	3.9	0.04	遺物なし		
第 129 号	和	和	102	7	土坑	時期不明	1.1	1.1	0.23	遺物なし		
第 130 号	和	和	102	7	土坑	時期不明	1.1	0.7	0.14	遺物なし		
第 131 号	和	和	101	6.7	溝	時期不明	31.15	0.8	0.28	遺物なし		
第 132 号	和	和	1・2	6.81.234	居住建物	奈良前期	3.4	2.15	0.04	灰土・漆器・高野		
第 133 号	和	和	1.15	6.7	溝	時期不明	27.35	0.7	0.22	遺物なし		
第 134 号	和	和	101	6	溝	時期不明	17.75	3.0	0.48	遺物なし		
第 135 号	和	和	12	6	溝	時期不明	18.25	3.0	0.2	遺物なし		
第 136 号	和	和	102	7, 8, 144	居住建物	古代	9.3	3.05	—	遺物なし		
第 137 号	和	和	113	6.71	土坑	縄文中期	3.0	0.95	0.3	須石		
第 138 号	和	和	713	9.76.219	居住土坑	縄文中期～後期	1.05	0.85	0.41	須石		
第 139 号	和	和	115	9.76.219	居住土坑	縄文中期～後期	1.1	0.95	0.4	縄文土器群、須石		
第 140 号	和	和	115・113	9.87	居住建物	古代	3.4	3.1	0.15	瓦器群・土師器類、須石・須石	瓦器群の1号・2号 第113号・第115号	
第 141 号	和	和	715	9.148.242	居住建物	2 期	3.3	3.3	—	瓦器群・灰土	第114号・第115号	
第 142 号	和	和	114	9.247	土坑	古代	2.3	0.95	0.14	土師器片	大型土坑	
第 143 号	和	和	712	9	土坑	時期不明	1.15	0.43	0.43	遺物なし		
第 144 号	和	和	713	6.145	居住建物	古代	11.1	4.5	—	土師器片	第119号・第118号・第117号 第113号・第115号	
第 145 号	和	和	710	6.9, 96.228	居住建物	3 期	3.9	3.6	0.14	瓦器群・灰土・土師器類	第119号・第118号・第117号	
第 146 号	和	和	110・111	6.8, 96	居住建物	古代	4.2	2.6	0.67	遺物なし	第119号・第118号・第117号	
第 147 号	和	和	110	6.9, 96.228	居住建物	2 期	3.4	3.4	0.1	瓦器群・灰土・土師器類	埋て壁土	
第 148 号	和	和	101	6.9, 96.228	居住建物	2 期	4.5	4.2	0.04	瓦器群・灰土・土師器類		
第 149 号	和	和	110	6.9, 106.228	居住建物	3・4 期	4.8	4.5	0.17	瓦器群・土師器片・須石	第112号・第114号	
第 150 号	和	和	717	6.9, 102	土坑	古代	2.6	0.8	0.14	土師器片	大型土坑	
第 151 号	和	和	110	6.9, 145	居住建物	古代	4.05	3.9	—	土師器片	第112号・第114号	
第 152 号	和	和	110	6.9, 109	コップ	古代	0.85	0.55	0.18	土師器類	第112号・コップ	
第 153 号	和	和	310・111	6.9, 140	居住建物	古代	6.25	3.05	—	遺物なし		
第 154 号	和	和	101	6.9, 101	居住建物	古代	2.45	1.95	0.2	遺物なし		
第 155 号	和	和	340	6.9, 140	居住建物	古代	7.7	5.55	4.3	—	遺物なし	第1126号(縄文)→第1127号
第 156 号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	瓦器	
第 157 号	和	和	101	6.9, 106	溝	中期	1.2	0.43	0.1	土師器片, U.F		
第 158 号	和	和	101	7, 8, 91, 224	居住建物	弥生中期	5.05	4.4	0.18	赤土・漆器・灰土		
第 159 号	和	和	712	6.147	居住建物	古代	4.2	3.6	0.3	—	遺物なし	
第 160 号	和	和	711	6.8, 91, 224	居住建物	弥生前期	6.0	6.0	0.63	赤土・漆器・灰土	埋て壁土?	
第 161 号	和	和	102	6.9, 200	土坑	時期不明	0.7	0.6	0.1	遺物なし		
第 162 号	和	和	102	6.9	土坑	時期不明	1.2	1.2	0.18	遺物なし		
第 163 号	和	和	101	6.9, 119	居住土坑	縄文中期～後期	0.95	0.95	0.22	縄文土器片	第1127号埋て壁土	
第 164 号	和	和	119	6.9	土坑	時期不明	—	—	—	遺物なし		
第 165 号	和	和	112	11, 32, 203	埋て壁土	縄文中期	1.7	0.45	0.26	縄文土器片・須石	第1127号埋て壁土	
第 166 号	和	和	113	11, 33	埋て壁土	縄文中期	0.45	0.45	0.19	遺物なし		

第24表 遺構一覧表(6)

遺構番号	次期	上代アサヒ		南朝国風	性格	時代	面積			主な遺物	備考 (年代別出土品・出土品・出土品)
		大塚区	小塚区				約 (㎡)	幅 (m)	長さ (m)		
SP 1401	1000	F	F14	11,45,200	亀石伊	縄文早期	1.15	1.0	0.32	縄文土器破片、縄石	亀石伊(大塚区) SP14-0221 出土 縄
SP 1402	1000	F	F15・14	11,32	横道村伊	縄文早期	2.0	0.5	0.21	遺物なし	
SP 1403	1000	F	F16	11,33	横道村伊	縄文早期	0.7	0.4	0.15	遺物なし	
SP 1407	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1408	1000	F	F18・15	11,33,200	横道村伊	縄文早期	0.9	0.3	0.28	縄石	
SP 1409	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1410	1000	F	F10・17	11,34,200	横道村伊	縄文早期	1.4	0.4	0.38	縄文土器片	SP10-0017 出土 縄
SP 1411	1000	F	F17・18	11,33	横道村伊	縄文早期	2.1	0.9	0.43	縄文土器破片	
SP 1412	1000	F	F18・19	11,34,200	横道村伊	縄文早期	6.40	0.40	0.22	縄文土器破片、瓦器	SP14-0024 出土 縄
SP 1413	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1414	1000	F	F18	11,40	亀石伊	縄文早期	1.2	0.4	0.32	遺物なし	亀石伊(大塚区)
SP 1415	1000	F	F16	11,34,200	横道村伊	縄文早期	1.3	0.3	0.31	縄文土器破片、瓦器	SP15-0027 出土 縄
SP 1416	1000	F	F18・19	11,33	横道村伊	縄文早期	1.25	0.35	0.13	遺物なし	
SP 1417	1000	F	F11	11,31	蟹穴遺物	古代	2.43	2.43	0.02	土器破片	SP1417-18(129)-19(128) →18(127)
SP 1418	1000	F	F14	11,30,226	土坑	弥生早期	0.4	0.4	0.13	弥生土器片・雉	
SP 1419	1000	F	F16	11,36,200	横道村伊	縄文早期	1.9	0.45	0.4	縄文土器破片、瓦器	SP10-0001 出土 縄
SP 1420	1000	F	F16	11,36	横道村伊	縄文早期	1.35	0.45	0.19	遺物なし	
SP 1421	1000	F	F17	11,37,206, 204	横道村伊	縄文早期	1.12	0.35	0.37	縄文土器破片、瓦器	
SP 1422	1000	F	F17	11,37,204	横道村伊	縄文早期	1.15	0.45	0.16	縄文土器片	SP12-0423 出土 縄
SP 1423	1000	F	F17	11,37,206	横道村伊	縄文早期	1.40	0.35	0.34	遺物なし	
SP 1424	1000	F	F17	11,37,204	横道村伊	縄文早期	0.95	0.4	0.22	遺物なし	
SP 1425	1000	F	F18・19	11,33,204	横道村伊	縄文早期	1.35	0.3	0.29	縄文土器破片、縄石	
SP 1426	1000	F	F14	11,37	蟹穴遺物	古代	0.9	3.9	—	土器破片	
SP 1427	1000	F	F11	11,30,217	土坑	多期古墳	3.4	3.4	0.4	土器破片、土器破片、土器	SP1427-18(129)-19(128) →18(127) 大型土坑
SP 1428	1000	F	F11	11,30,217	土坑	古代	2.4	1.45	0.36	土器破片	SP1427-18(129)-19(128) →18(127) 大型土坑
SP 1429	1000	F	F11	11,30,217	土坑	古代	1.85	1.45	0.22	土器破片・フナコト、土器破片	SP1427-18(129)-19(128) →18(127)
SP 1430	1000	F	F13	11,38,204	横道村伊	縄文早期	1.0	0.30	0.17	縄文土器片、縄石・瓦器	
SP 1431	1000	F	F15	11,40	横道村伊	縄文早期	1.15	0.4	0.16	遺物なし	
SP 1432	1000	F	F13	11,40	横道村伊	縄文早期	0.40	0.45	0.08	遺物なし	
SP 1433	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1434	1000	F	F16	11,40	横道村伊	縄文早期	1.4	0.3	0.22	縄文土器片	
SP 1435	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1436	1000	F	F10	11,39,228	蟹穴遺物	古代	3.4	3.4	0	土器破片、製瓦土器	SP1436-1出土 縄
SP 1437	1000	W	F14	11,40	土坑	古代	3.8	2.0	0.21	土器破片、土器破片	大型土坑
SP 1438	1000	W	F18	11,39,229	蟹穴遺物	古墳	4.9	2.7	0.08	土器破片、軒石、瓦片、土器破片、製瓦土器、瓦片、埴石	博士野人(土庫) SP1438-1中出土 縄
SP 1439	1000	W	F17	11,39,217	土坑	多期古墳	3.8	3.4	0.3	土器破片、瓦片、瓦片、土器破片、軒	大型土坑
SP 1440	1000	F	F14	11,38,212	蟹穴遺物	古代	4.80	3.9	—	土器破片	
SP 1441	1000	W	F17・18	11,41,204	横道村伊	縄文早期	2.0	0.7	0.31	縄文土器片、軒石	SP1439-1(7)111 SP14-0023 出土 縄
SP 1442	1000	F	F19	11,39,210	土坑	古墳	0.6	0.45	0.14	土器破片、軒石・瓦片・瓦片(1部) 土器破片、製瓦土器	
SP 1443	1000	W	F12	11,40	蟹穴遺物	古代	3.7	3.30	—	土器破片、土器破片	博士野人?
SP 1444	1000	W	F14	11,40,224	蟹穴遺物	弥生早期	4.2	4.1	0.1	弥生土器片・雉	
SP 1445	1000	W	F12	11,39,210	土坑	多期古墳	4.7	3.0	0.36	土器破片・軒石、土器破片、瓦片(1部)	大型土坑
SP 1446	1000	W	F14	11,39	蟹穴遺物	古代	4.1	3.1	0.04	土器破片	SP146・18(12)遺瓦
SP 1447	1000	W	F15	11,39	土坑	古代?	4.0	3.3	0.2	土器破片、土器破片	大型土坑
SP 1448	1000	W	F16	11,39,210	土坑	古墳	4.3	3.0	0.30	土器破片・軒石・瓦片、瓦片、土器破片	大型土坑
SP 1449	1000	W	F15・16	11,39,210	土坑	古墳	3.5	2.4	0.3	土器破片、土器破片	大型土坑
SP 1450	1000	W	F12	11,39,229	蟹穴遺物	多期古墳	3.2	3.1	0.08	土器破片、軒石、土器破片	SP149-1(8)17(4)-18(14)
SP 1451	1000	W	F12	11,39,210	土坑	古墳	2.8	2.3	0.26	土器破片・瓦片・軒石、土器破片	大型土坑 SP149-18(14)

第 24 表 遺構一覧表 (7)

遺構番号	表名	土佐グランド		掲載回数	性質	時代名	距離			主な遺物	備考 (※所在地は遺構番号の数字が重複する場合があります)
		大地区	小地区				表名 (m)	幅 (m)	長さ (m)		
SP 1402	1005	8	C13	11, 41	—	縄文中葉	8. 85	8. 305	8. 40	遺物なし	
SP 1403	1005	8	C23・14	11, 394	土居	古代学	2. 1	1. 7	8. 28	土居断片	大型土居 50146・50143遺物
SP 1404	1005	8	314	11, 66, 208	集石所	縄文中葉	8. 9	8. 75	8. 35	石蓋	集石所土居 50154・50153・50152
SP 1405	1005	F	513	11, 39	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 55	8. 65	8. 4	遺物なし	
SP 1406	1005	8	A17・18	11, 41	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 315	8. 7	8. 15	遺物なし	
SP 1407	1005	F	817	11, 37, 206, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 455	8. 55	8. 28	縄文土断片、石蓋	
SP 1408	1005	F	812	11, 37, 206, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 45	8. 4	8. 18	縄文土断片、石蓋	
SP 1409	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1410	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1411	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1412	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1413	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1414	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1415	1005	F	316	11, 41	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 4	8. 5	8. 11	遺物なし	
SP 1416	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1417	1005	F	318	11, 41	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 33	8. 35	8. 14	遺物なし	
SP 1418	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠番
SP 1419	1005	F	718	11, 41	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 65	8. 355	8. 13	遺物なし	
SP 1420	1005	F	719	11, 42	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 65	8. 5	8. 25	遺物なし	
SP 1421	1005	F	819	11, 42, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 75	8. 7	8. 19	縄文土断片	
SP 1422	1005	F	820	11, 43	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 8	8. 35	8. 21	遺物なし	
SP 1424	1005	F	826	11, 43, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 8	8. 5	8. 18	縄文土断片、石蓋	
SP 1425	1005	F	821	11, 42	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 755	8. 35	8. 18	遺物なし	
SP 1426	1005	F	823	12, 44	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 355	8. 65	8. 19	縄文土断片	
SP 1427	1005	F	823	12, 45	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 45	8. 355	8. 29	遺物なし	
SP 1428	1005	F	823	12, 46	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 35	8. 35	8. 22	遺物なし	
SP 1429	1005	F	822	11, 66, 207	集石所	縄文中葉	1. 1	8. 7	8. 38	縄文土断片、土居・断片	集石所土居
SP 1430	1005	F	823	12, 43, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 55	8. 8	8. 35	縄文土断片、石蓋、石蓋	
SP 1431	1005	F	823	12, 43, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 455	8. 6	8. 17	縄文土断片、石蓋	
SP 1432	1005	F	823	12, 44	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 85	8. 4	8. 29	縄文土断片	
SP 1433	1005	F	823	12, 44	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 755	8. 35	8. 18	遺物なし	
SP 1434	1005	F	824	12, 46, 204	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 5	8. 7	8. 34	縄文土断片、石蓋	
SP 1435	1005	F	724	12, 47	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 35	8. 5	8. 13	遺物なし	
SP 1436	1005	F	825	12, 47	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 2	8. 5	8. 23	縄文土断片	
SP 1437	1005	F	723	12, 47	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 4	8. 35	8. 18	縄文土断片	
SP 1438	1005	F	825	12, 48, 205	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 4	8. 35	8. 23	断片	
SP 1439	1005	F	825	12, 48, 205	溝遺付砂穴	縄文中葉	3. 15	8. 7	8. 35	縄文土断片、石蓋、断片	50149・50151・50152
SP 1440	1005	F	825	12, 46, 208	集石所	縄文中葉	1. 25	8. 65	8. 37	縄文土断片、石蓋	集石所土居 50173・50201
SP 1441	1005	G	91	12, 49	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 15	8. 6	8. 23	遺物なし	
SP 1442	1005	G	82	12, 48, 208	集石所	縄文中葉	1. 85	8. 65	8. 29	断片	集石所土居
SP 1443	1005	G	80	12, 51, 399	土居所	縄文中葉	8. 95	8. 55	8. 32	縄文土断片	
SP 1444	1005	G	80・3	12, 49	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 55	8. 355	8. 11	遺物なし	
SP 1445	1005	G	72	12, 47	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 9	8. 35	8. 08	遺物なし	
SP 1446	1005	G	878	12, 145, 228	塚/塚跡	古銅器	3. 7	3. 6	8. 14	石蓋断片、土居断片、断片土居	
SP 1447	1005	G	81	12, 49	溝遺付砂穴	縄文中葉	8. 55	8. 4	8. 08	遺物なし	
SP 1448	1005	G	81	12, 51	土居所	縄文中葉	8. 8	8. 55	8. 25	遺物なし	50155・50202
SP 1449	1005	F	817	11, 37, 206	溝遺付砂穴	縄文中葉	1. 55	8. 35	8. 35	縄文土断片	50179・50153

第 24 表 遺構一覧表 (8)

遺構番号	西暦	所在アグリコード	所在地	面積(㎡)	種類	時代	幅員			主な遺物	備考 (※1:遺構の位置・形状・規模等、※2:調査内容)
							長さ(m)	幅(m)	高さ(m)		
SP-1300	1800	G	72	25.49	遺跡付砂穴	縄文早期	1.9	0.6	0.25	遺物なし	
SP-1301	1100	F	90	11,56,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.05	0.55	0.15	縄文土器破片、石蓋	伊豆川上層 伊豆川下層
SP-1302	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	伊豆川一統一 ^{※1} 下層
SP-1303	1100	L	100-9	10,194,248	土坑	2・3期	4.3	3.0	0.1	須恵器群、須恵器、土師器片	大型土坑
SP-1304	1100	L	100B	85,348	竊瓦遺物	古代	3.8	3.3	—	遺物なし	
SP-1305	1100	L	100C	10,194	土坑	約略不明	1.7	0.75	0.4	遺物なし	
SP-1306	1100	L	101B	30,637	竊瓦伊	縄文早期	0.9	0.7	0.35	遺物なし	竊瓦伊伊類 SP06-0023 cal 紀
SP-1307	1100	L	101A	30,30	遺跡付砂穴	縄文早期	1.4	0.65	0.2	遺物なし	
SP-1308	1100	L	A12	30,58,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.4	0.2	縄文土器片	07-01-0009 cal 紀
SP-1309	1100	L	B12	10,195	土坑	古代中	4.2	3.05	0.35	土師器片	大型土坑
SP-1310	1100	L	F14	10,195,248	土坑	古代	5.4	4.45	0.3	須恵器群、土師器	大型土坑
SP-1311	1100	L	B12	10,31	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.55	0.05	遺物なし	
SP-1312	1100	L	F14	10,31	遺跡付砂穴	縄文早期	1.25	0.45	0.1	遺物なし	
SP-1313	1100	L	F12	10,01,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.0	0.5	0.1	縄文土器破片	0027-0009 cal 紀
SP-1314	1100	L	K14	10,07	竊瓦伊	縄文早期	0.55	0.35	0.25	遺物なし	竊瓦伊伊類
SP-1315	1100	L	014	10,194,229	竊瓦遺物	2・3期	4.9	4.0	0.05	須恵器群、須恵器、土師器破片	
SP-1316	1100	L	110	10,194,229	竊瓦遺物	古代	4.7	3.1	0.1	土師器	
SP-1317	1100	L	J12	10,00,222	埴土	縄文晩期	0.4	0.2	0.05	縄文土器破片	
SP-1318	1100	L	B12	10,31	遺跡付砂穴	縄文早期	1.1	0.6	0.15	遺物なし	
SP-1319	1100	M	01-2	11,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.4	0.1	遺物なし	
SP-1320	1100	L	B12	10,195,248	土坑	4期	4.0	3.7	0.2	須恵器群、須恵器、土師器	大型土坑
SP-1321	1100	L	B15	30,32	遺跡付砂穴	縄文早期	1.1	0.5	0.2	遺物なし	
SP-1322	1100	L	110	10,195,248	竊瓦遺物	古代	2.4	2.25	—	遺物なし	
SP-1323	1100	L	109	10,195	竊瓦遺物	古代	2.4	2.25	—	須恵器片、土師器破片	
SP-1324	1100	L	110	10,195,248	土坑	3・3期	2.7	2.0	0.2	須恵器群、土師器破片	大型土坑
SP-1325	1100	L	114	30,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.35	0.2	遺物なし	
SP-1326	1100	L	B12	10,195,248	土坑	古代	3.5	4.95	0.35	須恵器片、土師器	大型土坑
SP-1327	1100	L	B12	30,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.8	0.5	0.15	遺物なし	
SP-1328	1100	L	F12	10,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.6	0.5	0.05	遺物なし	埴土のハ
SP-1329	1100	L	F12	10,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.75	0.6	0.05	遺物なし	埴土のハ
SP-1330	1100	L	014	10,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.65	0.4	0.04	遺物なし	
SP-1331	1100	L	012	10,196,248	土坑	古代	2.65	1.3	0.1	須恵器片、土師器破片	大型土坑
SP-1332	1100	L	110	30,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.5	0.1	遺物なし	
SP-1333	1100	L	109	30,32	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.45	0.25	遺物なし	
SP-1334	1100	L	J11	10,32	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.6	0.15	遺物なし	
SP-1335	1100	L	K11-12	10,34	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.45	0.2	遺物なし	
SP-1336	1100	L	J11	10,34	遺跡付砂穴	縄文早期	1.0	0.6	0.2	遺物なし	
SP-1337	1100	L	K12-14	10,34	遺跡付砂穴	縄文早期	1.2	0.45	0.25	遺物なし	07-01-0019 cal 紀
SP-1338	1100	L	B16	10,196,249	土坑	4期	4.7	3.2	0.4	須恵器群、須恵器、土師器、伊豆、石蓋、須恵土器	大型土坑
SP-1339	1100	L	114	10,196,242	竊瓦遺物	古代	4.0	3.3	—	土師器群	
SP-1340	1100	L	B16	10,196	竊瓦遺物	古代	4.3	3.4	—	土師器群	
SP-1341	1100	L	F14	10,54,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.25	0.4	0.25	縄文土器破片	07-01-0005 cal 紀
SP-1342	1100	L	112	10,196,249	土坑	古代	4.0	2.4	0.4	須恵器群、須恵土器	大型土坑
SP-1343	1100	L	109	10,11,196, 248	土坑	4期	4.3	4.45	0.3	須恵器群、伊豆、須恵器、須恵土器、伊豆、須恵土器	大型土坑
SP-1344	1100	L	014	10,01,205	竊瓦伊	縄文早期	0.6	0.6	0.25	石蓋	竊瓦伊伊類 07-01-0010 cal 紀
SP-1345	1100	L	017	10,107,200	土坑	古代	4.45	4.15	0.1	須恵器群、土師器	大型土坑
SP-1346	1100	L	B16	10,11,196, 48,200	竊瓦伊	縄文早期	0.9	0.7	0.2	石蓋	竊瓦伊伊類 07-01-0007 cal 紀
SP-1347	1100	L	B19	10,11,196, 248	遺跡付砂穴	縄文早期	0.55	0.4	0.2	縄文土器破片	1019-11105 cal 紀

第 24 表 遺構一覽表 (9)

遺構番号	位置	所在学舎名	平面図	平面図縮尺	性質	時代	面積			主な遺物	備考 (所在地を省略したものは縮尺不詳)
							延床面積	敷地面積	掘り出し面積		
第 1546	11区	1	017	18.35	遺跡付砂穴	縄文早期	1.2	0.45	0.15	縄文土器破片	
第 1549	11区	1	017	19.95,205	遺跡付砂穴	縄文早期	0.25	0.25	0.1	縄文土器破片	
第 1550	11区	1	011	18.36	遺跡付砂穴	縄文早期	1.6	0.45	0.45	遺物なし	
第 1551	11区	1	017他	10.151	居住建物	古代	3.8	3.8	—	遺物なし	
第 1552	11区	1	016	18.35	遺跡付砂穴	縄文早期	0.25	0.3	0.1	遺物なし	
第 1553	11区	1	016	18.35	遺跡付砂穴	縄文早期	0.25	0.2	0.1	遺物なし	
第 1554	11区	1	013	18.36	遺跡付砂穴	縄文早期	0.85	0.4	0.05	遺物なし	
第 1555	11区	1	012	18.36	遺跡付砂穴	縄文早期	0.65	0.355	0.65	遺物なし	
第 1556	11区	1	018 + 19	10.11,56	遺跡付砂穴	縄文早期	0.65	0.45	0.1	遺物なし	
第 1557	11区	1	019他	10.132,242	居住建物	古代	5.1	3.3	—	瓦葺屋根、土間跡	
第 1558	11区	1	017他	10.131	居住建物	古代	5.4	4.2	—	土間跡、柱母	
第 1559	11区	1	016	18.37	遺跡付砂穴	縄文早期	1.2	0.35	0.15	遺物なし	
第 1560	11区	1	017	10.195	土坑	時期不明	1.35	0.8	0.15	遺物なし	
第 1561	11区	1	015	18.35	遺跡付砂穴	縄文早期	0.5	0.3	0.05	遺物なし	遺跡跡線のみ
第 1562	11区	1	012他	10.11,105,220	居住建物	古代	5.55	5.1	0.1	瓦葺屋根・柱、土間跡・溝、礎石・礎石	
第 1563	11区	1	010他	10.11,105,220	土坑	古代	4.6	3.4	0.5	瓦葺屋根、土間跡	大型土坑
第 1564	11区	1	021	18.11,37,385	遺跡付砂穴	縄文早期	1.45	0.35	0.25	礎石	第 179号 参照
第 1565	11区	1	010他	11.38,219	土坑	縄文中期～後期	1.35	0.95	0.15	縄文土器破片	
第 1566	11区	1	010他	18.11,197	土坑	時期不明	1.4	1.0	0.45	遺物なし	
第 1567	11区	1	021	16.11,198	土坑	古坟中	2.4	1.6	0.35	土間跡	大型土坑
第 1568	11区	1	010他	18.11,198	土坑	古坟中	2.3	2.15	0.4	土間跡	大型土坑
第 1569	11区	1	020他	10.11,106,220	土坑	4期	4.7	4.3	0.4	瓦葺屋根・高床、土間跡	大型土坑
第 1570	11区	1	023	11.69,208	集石跡	縄文早期	0.65	0.55	0.15	瓦葺	集石跡を掘り出し 第 174号 参照
第 1571	11区	1	020他	10.11,130,242	居住建物	古代	5.4	4.2	—	土間跡	
第 1572	11区	1	021	16.11,192	土坑	古坟中	1.9	1.3	0.35	遺物破片	
第 1573	11区	1	021他	11.160,229	貯蔵穴	古坟中	0.75	0.35	0.15	土間跡、礎石	
第 1574	11区	1	010他	10.11,130,242	居住建物	古代	6.4	4.5	—	瓦葺屋根、土間跡	
第 1575	11区	1	022他	10.11,130,242	居住建物	古代	5.4	3.3	—	瓦葺屋根、土間跡	
第 1576	11区	1	010他	10.11,130,242	居住建物	古代	6.9	3.1	—	遺物なし	奥敷跡線と柱石
第 1577	11区	1	025他	11.154,242	居住建物	古代	6.6	3.1	—	瓦葺屋根、土間跡	
第 1578	11区	1	025他	11.155	居住建物	古代	3.9	2.6	—	遺物なし	
第 1579	11区	F	03	11.37	遺跡付砂穴	縄文早期	0.955	0.5	0.35	遺物なし	
第 1580	11区	F	03	11.37	遺跡付砂穴	縄文早期	0.3	0.3	0.05	遺物なし	遺跡跡線のみ
第 1581	11区	F	04	11.38,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.65	0.3	縄文土器片	
第 1582	11区	F	04	11.38	遺跡付砂穴	縄文早期	0.95	0.55	0.3	遺物なし	
第 1583	11区	F	01	11.38,206	遺跡付砂穴	縄文早期	0.4	0.4	0.02	瓦葺	
第 1584	11区	B	05	11.69	集石跡	縄文早期	0.4	0.35	0.32	遺物なし	集石跡を掘り出し 第 179号 参照
第 1585	11区	B	04	11.70	集石跡	縄文早期	0.75	0.35	0.2	遺物なし	集石跡を掘り出し 第 179号 参照
第 1586	11区	F	03	11.38	遺跡付砂穴	縄文早期	0.7	0.3	0.1	遺物なし	
第 1587	11区	B	03	11.38	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.5	0.05	遺物なし	
第 1588	11区	F	03-4	11.385	土坑	時期不明	1.1	0.9	0.15	遺物なし	
第 1589	11区	1	024	11.385	土坑	時期不明	1.05	0.9	0.25	遺物なし	
第 1590	11区	B	07	11.90,225	傾斜土留	縄文晩期	0.35	0.4	0.1	縄文土器破片	
第 1591	11区	B	02	11.385	土坑	古坟中	2.4	1.8	0.2	瓦葺屋根、土間跡	大型土坑
第 1592	11区	F	06	11.70	遺跡付砂穴	縄文早期	1.15	0.8	0.3	遺物なし	
第 1593	11区	F	06	11.70	遺跡付砂穴	縄文早期	0.35	0.45	0.2	遺物なし	
第 1594	11区	F	06	11.38,205	遺跡付砂穴	縄文早期	1.85	0.4	0.4	縄文土器片	第 171号 参照
第 1595	11区	B	A3-6	11.70	遺跡付砂穴	縄文早期	0.9	0.5	0.1	遺物なし	遺物内容 第 155号 参照

第 24 表 遺構一覧表 (10)

遺構番号	位置アウトライン		面積(㎡)	種類	時代	幅員			主な遺物	備考 (※1:遺構の位置、※2:遺構の形状)	
	北緯度	東経度				長さ(m)	幅(m)	高さ(m)			
SR 1306	13°E	F	80	11.60	遺跡付穴	縄文前期	0.9	6.5	6.2	遺物なし	
SR 1307	13°E	F	110	11.60	遺跡付穴	縄文前期	1.05	6.9	6.2	遺物なし	
SR 1308	13°E	M	100	11.10, 12.0	竪穴建物	古代	6.30	16.91	0	土師器類	
SR 1309	13°E	M	60	11	コナツク	縄文前期	6.45	6.2	—	遺物なし	
SR 1401	13°E	K	F90	6.10, 10.6, 10.6, 12.1	土坑	3期	6.4	5.65	6.25	須恵器群・新蓋・高脚・壺・土師器類、土師器類、土師器類、土師器類、土師器類	大型土坑
SR 1402	13°E	K	402	10	土坑	古墳前期～古代	4.1	3.20	6.1	土師器片	大型土坑
SR 1403	13°E	K	507	10	土坑	縄文前期	6.95	6.95	6.2	遺物なし	
SR 1404	13°E	K	614	6.20	竪穴建物	古代	6.25	5.25	—	土師器片	遺跡付穴遺構、新井田遺構(※2)
SR 1406	13°E	K	517	6.10, 2.29	竪穴建物	3期?	4.1	6.9	6.1	須恵器群、土師器類	SR1006→SR1412、SR1436
SR 1407	13°E	K	F15	6.10, 2.29	竪穴建物	2・3期	3.6	3.4	6.12	須恵器群・新蓋・高脚・壺・土師器類	SR1006→SR1409
SR 1409	13°E	K	514	6.10	土坑	古墳前期～古代	6.8	6.8	6.1	土師器片	
SR 1409	13°E	K	F15 + 16	6.10, 2.21	土坑	古墳前期～古代	3.5	3.25	6.22	須恵器類	SR1407→SR1409 大型土坑
SR 1410	13°E	K	516	6.10, 2.21	土坑	1期	6.45	3.4	6.2	須恵器群、土師器類	遺跡付穴、SR1412 大型土坑
SR 1411	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SR 1412	13°E	K	516	6.10	竪穴建物	古代	10.9	4.2	—	土師器片	遺跡付穴
SR 1413	13°E	K	F13	6.10, 2.42	竪穴建物	古代	7.40	5.20	—	須恵器群、土師器類	
SR 1414	13°E	K	R12	6.10, 2.42	竪穴建物	古代	6.6	5.20	—	須恵器群、土師器類	
SR 1415	13°E	K	L13	6.10, 2.21	土坑	2期	1.20	6.95	6.12	須恵器群・壺・土師器類	
SR 1416	13°E	K	J11	6.20	土坑	縄文前期	3.9	6.8	6.1	遺物なし	
SR 1417	13°E	K	L10	6.10, 2.29	竪穴建物	2・3期	4.5	4.5	6.1	須恵器群・高脚・壺・壺・新蓋・新蓋、土師器類	中津原遺構
SR 1418	13°E	K	L12	6.10	竪穴建物	古代	5.25	3.3	—	須恵器片	
SR 1419	13°E	K	F17	6.10	竪穴建物	古代	2.75	3.2	—	遺物なし	
SR 1420	13°E	K	J09	6.1, 1.1	竪穴建物	古代	3.45	3.45	—	遺物なし	遺跡付穴遺構、新井田遺構(※2)
SR 1421	13°E	K	J08	6.1, 1.1	竪穴建物	古代	6.9	3.6	—	遺物なし	遺跡付穴遺構、新井田遺構(※2)
SR 1422	13°E	K	T1 + 6	6.1, 1.1	土坑	古墳前期～古代	1.8	6.25	6.2	須恵器群、土師器類	遺跡付穴遺構、新井田遺構(※2)
SR 1423	13°E	K	89	6.1, 1.1	竪穴土坑	縄文中期～後期	6.95	6.9	6.2	遺物なし	
SR 1424	13°E	K	F11	6.10, 2.20	竪穴建物	2期	3.9	3.6	6.25	須恵器群・新蓋・高脚・壺・壺、土師器類、土師器類	中津原遺構
1425	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SR 1426	13°E	K	J10	6.1, 1.1	竪穴建物	古代	6.6	4.95	—	遺物なし	
SR 1427	13°E	K	F11	6.10	竪穴建物	古代	5.7	3.6	—	土師器片	
SR 1428	13°E	K	F7	6.10, 2.20	竪穴建物	古代	6.2	6.6	6.2	須恵器類・壺・土師器片、赤土土師器	
SR 1429	13°E	K	Q12	6.20	竪穴付	縄文前期	1.2	1.05	6.3	遺物なし	遺跡付穴遺構、SR1426、SR1428、SR1430、SR1432
SR 1430	13°E	M	L10	6.10, 2.21	土坑	古墳前期～古代	1.6	6.95	6.45	土師器片・壺	
SR 1431	13°E	K	F90	6.10, 10.6, 10.6	竪穴建物	2期	3.7	3.4	6.2	須恵器群・新蓋・新蓋・壺、土師器類、土師器類、土師器類	
SR 1432	13°E	K	613	6.10	竪穴建物	古代	4.65	4.65	—	遺物なし	
SR 1433	13°E	K	SR + 10	6.1, 1.1, 2.21	土坑	3期	2.1	1.45	6.15	須恵器群、土師器類	大型土坑
SR 1434	13°E	K	67	6.1, 1.1	土坑	古墳前期～古代	3.9	3.2	6.22	須恵器片、土師器片	大型土坑
SR 1435	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SR 1436	13°E	K	614	6.10	竪穴建物	古代	4.2	3.6	—	須恵器片、土師器片	
SR 1437	13°E	K	SR + 10	6.1, 1.1, 2.21	竪穴建物	古代	6.6	3.9	—	土師器片	
SR 1438	13°E	K	J10	6.1, 1.1, 2.21	竪穴建物	古代	3.9	3.7	—	遺物なし	
SR 1439	13°E	K	T0	6.10, 2.21	竪穴建物	赤土土師器	6.6	4.7	6.15	赤土土師器、高脚	
SR 1440	13°E	K	10	6.1	土坑	縄文	6.65	6.25	6.22	遺物なし	
SR 1441	13°E	K	R1 + 4	6.1, 1.1, 2.21	竪穴建物	赤土土師器	4.4	2.45	6.1	赤土土師器類	
SR 1442	13°E	J	L10	6.10	竪穴建物	古墳前期～古代	6.6	6.8	—	土師器片	
SR 1443	13°E	J	SR14	6.10	竪穴建物	赤土土師器～後期	3.9	5.20	6.2	遺物なし	古墳時代の遺物
SR 1444	13°E	J	F12	6.10, 2.21	竪穴建物	赤土土師器	7.9	2.6	6.2	赤土土師器・壺・高脚、高脚	高脚付の遺構
SR 1445	13°E	J	F19	6.1, 1.1, 2.21	竪穴建物	赤土土師器	5.25	4.25	6.2	赤土土師器・壺・高脚、高脚	赤土土師器

第 24 表 遺構一覧表 (11)

遺構番号	表数	所在 北緯度	所在 東経度	遺構形状	性質	時代	面積			土質層	備考 (年代別表裏面及び形状等欄参照)
							長さ [m]	幅 [m]	面積 [㎡]		
第 346	12C	J	T23	8.86, 224	壁状遺物	弥生前期	9.1	8.0	0.25	弥生上層部・小豆・高杉・高杉・野梨石	
第 347	12C	J	T17	8.87, 223	壁状遺物	弥生前期	14.7	4.2	0.1	高杉	
第 348	12C	J	S15	8.118, 211	壁状遺物	1期	7.0	2.8	0.12	弥生前期部・上層部・高杉・弥生上層部・高杉・弥生上層部	第1649～第1649～第1649
第 349	12C	J	T18	8.118, 211, 221	壁状遺物	1期	6.0	6.0	0.2	弥生前期部・榊身・弥生上層部	第1649～第1649～第1649
第 350	12C	J	R15	7.8, 172, 221	壁状遺物	1期	4.8	4.2	0.3	弥生前期部・榊身・上層部・高杉・高杉・弥生上層部	
第 351	12C	J	R17	8.122, 221	壁状遺物	1期?	6.0	4.0	0.2	弥生前期部・榊身・上層部	弥生前期部・榊身・上層部
第 352	12C	J	R18	7.113, 221	壁状遺物	1期?	4.2	3.0	0.1	弥生前期部・上層部・高杉・弥生上層部	弥生前期部・榊身・上層部
第 353	12C	J	R13+14	7.86, 228	土坑	弥生中期	4.5	2.1	0.1	弥生上層部(1層)・高杉・弥生上層部	
第 354	12C	J	R20	8.91, 228	土坑	弥生中期	1.3	0.62	0.15	弥生上層部	
第 355	12C	J	T18	8	土坑	弥生前期	1.25	0.3	0.02	遺物なし	
第 356	12C	J	R19+8	8.219	壺状遺物	縄文中期～前期	1.8	8.8	0.3	縄文土層片、割片	
第 357	12C	J	R18	8.78, 229	土坑	縄文中期～前期	1.05	0.9	0.25	縄文土層部、割片	第1649～第1649 (表・裏)
第 358	12C	J	R13	7.181, 212	土坑	古墳後部 ～古代?	4.20	2.5	0.1	弥生前期部・榊身・上層部	大型土坑
第 359	12C	J	R19	7.114, 221	壁状遺物	1期	5.1	4.0	0.12	弥生前期部・榊身・上層部	
第 360	12C	J	T18	7.113, 221	壁状遺物	1期?	5.7	5.1	0.25	弥生前期部・榊身・高杉部・上層部・弥生上層部	第1649～第1649～第1649 →第1649～第1649
第 361	12C	J	T18	8.87, 223	壁状遺物	弥生前期	5.0	4.2	0.15	弥生上層部・高杉	遺失
第 362	12C	J	T15	8.148, 222	壁状遺物	1期	7.2	4.3	0.2	弥生前期部・榊身・上層部・高杉	第1649～第1649～第1649 第1649～第1649 の竪石土層部上に遺構あり
第 363	12C	J	R18	8.113, 221	壁状遺物	1期	4.8	2.02	0.1	弥生前期部・上層部・榊身	
第 364	12C	J	T18	8.148, 222	壁状遺物	1期	5.1	4.0	0.12	弥生前期部・榊身・高杉・上層部・高杉・上層部	
第 365	12C	J	R11	7.165	壺状遺物	古墳後部 ～古代?	4.8	3.8	—	弥生前期部・上層部	
第 366	12C	J	R19	7.186	壺状遺物	古墳後部 ～古代?	4.8	3.8	—	上層部	
第 367	12C	J	R12	7.186	壺状遺物	古墳後部 ～古代?	6.0	4.02	—	弥生前期部・上層部	
第 368	12C	J	R9+10	7.192, 222	土坑	3期	6.22	2.1	0.2	弥生前期部・高杉・高杉・上層部	大型土坑
第 369	12C	J	R13	7.182, 212	土坑	古墳後部 ～古代?	6.2	2.42	0.1	弥生前期部・上層部	大型土坑
第 370	12C	J	T15	8.79, 219	壺状遺物	縄文中期～前期	1.15	3.0	0.22	野梨石、高杉	
第 371	12C	J	T14	7.77	竪石土坑	縄文中期～前期	1.8	1.4	0.45	遺物なし	
第 372	12C	J	T14	7.148, 222	壁状遺物	古墳後部?	4.8	4.2	0.15	上層部・高杉	
第 373	12C	J	T19	7.191, 222, 222	土坑	1期	3.025	2.23	0.05	弥生前期部・榊身・上層部	大型土坑
第 374	12C	J	T19	7.117, 222, 222, 225	壁状遺物	1期	4.1	4.1	0.05	弥生前期部・榊身・高杉・上層部・高杉・榊身・上層部・高杉・榊身・上層部	第1649～第1649
第 375	12C	W	R10	7.118, 178, 221	壁状遺物	1期	6.0	6.0	0.2	弥生前期部・榊身・高杉・上層部	第1649～第1649～第1649
第 376	12C	W	C11	7.118, 178, 221	壁状遺物	1期	4.6	4.6	0.2	弥生前期部・榊身・上層部	第1649～第1649～第1649
第 377	12C	J	T21	8.86	壁状遺物	弥生前期	6.8	6.7	0.1	遺物なし	
第 378	12C	J	T18	8.10	壁状遺物	古墳後部?	6.6	5.72	0.1	弥生前期部・上層部	第1649～第1649
第 379	12C	J	T14	7.8, 212, 218	壁状遺物	縄文中期～前期	3.42	3.2	0.3	縄文土層部	第1649 (室内)
第 380	12C	W	R10	7.129, 221	壁状遺物	古墳後部?	5.2	3.2	0.15	遺物なし、上層部	第1649～第1649
第 381	12C	J	T12	7.121, 221	壁状遺物	古墳後部?	4.8	2.92	0.2	弥生前期部・上層部	第1649～第1649
第 382	12C	J	T12	7.121, 224	壁状遺物	1期	4.8	4.8	0.2	弥生前期部・上層部・高杉	第1649～第1649
第 383	12C	W	R13	7.84, 221	壁状遺物	弥生中期	4.45	4.4	0.1	弥生上層部	
第 384	12C	W	R12	7.118, 228, 221	壁状遺物	1期	4.2	3.9	0.2	弥生前期部・榊身・榊身・上層部	
第 385	12C	W	R10	7.122, 221	壁状遺物	1期	6.2	2.22	0.05	弥生前期部・榊身・榊身・上層部	
第 386	12C	J	T19	7.79	壺状遺物	縄文中期～前期	0.7	0.62	0.2	縄文土層片	
第 387	12C	W	R19	7.192, 222	土坑	古墳後部 ～古代?	1.42	0.73	0.1	上層部	
第 388	12C	W	R12	7.128, 221, 221	壁状遺物	1期	3.9	3.9	0.1	弥生前期部・榊身・榊身・上層部	第1649～第1649
第 389	12C	J	T12	7.112, 228	壁状遺物	古墳後部?	3.42	2.62	0.1	弥生前期部・上層部	第1649～第1649～第1649 →第1649～第1649
第 390	12C	J	T12	7.112, 228	壁状遺物	古墳後部?	5.4	5.1	0.1	弥生前期部・上層部	第1649～第1649～第1649 →第1649～第1649
第 391	12C	J	T10	7.167, 242	壺状遺物	古墳後部～古代	6.73	4.2	—	遺物なし、上層部・高杉・野梨石	第1649～第1649～第1649 →第1649～第1649
第 392	12C	J	T12	7.78, 219	土坑	縄文中期～前期	0.9	0.7	0.12	縄文土層部、高杉	
第 393	12C	J	T14	7.73, 218	室内	縄文中期～前期	6.62	6.22	0.28	縄文土層部	第1649(室内)

第 24 表 遺構一覧表 (12)

遺構番号	位置アウトライン		面積(㎡)	種類	時代	基礎			主な遺物	備考 (※1:調査実施年度、※2:調査実施箇所)
	北緯度	東経度				長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)		
SR 1694	120° 0'	81° 1' 0"	7,123.236	竪穴建物	1期	4.8	14.81	0.2	須恵器群土、灰土・土、土師器群	SR1694→SR1695→SR1697
SR 1695	120° 0'	81° 1' 0"	7,725.219	土坑	縄文中層～後編	1.2	6.73	9.12	縄文土師器片	
SR 1696	120° 0'	81° 1' 0"	7,122	竪穴建物	古墳後編 ～古墳Ⅱ	3.4	4.8	6.1	遺物なし	
SR 1697	120° 3'	79° 58'	5,917.242	竪穴建物	古墳後編 ～古墳Ⅱ	6.43	4.63	—	須恵器群土、土師器群	SR1696→SR1695→SR1698 →SR1699→SR1698
SR 1699	120° 3'	79° 58'	5,368	竪穴建物	古墳後編 ～古墳Ⅱ	5.55	5.45	—	須恵器片、土師器片	
SR 1699	120° 8'	82° 28'	16,193	土坑	弥生前期	1.2	3.15	9.22	遺物なし	
SR 1701	120° 8'	81° 11'	11,115.281	竪穴建物	縄文早期	13.49	13.91	6.63	縄文土師器	高塚南59上層C
SR 1702	120° 8'	81° 0'	11,465.285	竪穴建物	縄文早期	1.5	6.2	6.22	縄文土師器片	
SR 1703	120° 8'	81° 0'	11,150.235	竪穴建物	古墳Ⅱ	6.73	6.2	—	弥生土師器	
SR 1704	120° 8'	81° 0'	11,136	竪穴建物	古墳Ⅱ	6.9	5.1	—	須恵器片、土師器片	
SR 1701	120° 8'	81° 0'	11,61	竪穴建物	縄文早期	1.8	6.45	6.25	遺物なし	
SR 1706	120° 8'	81° 0'	11,415.285	竪穴建物	縄文早期	4.25	6.2	6.22	須恵	
SR 1707	120° 8'	81° 0'	11,61	竪穴建物	縄文早期	6.65	6.25	6.25	遺物なし	
SR 1708	120° 8'	81° 0'	11,136.242	竪穴建物	古墳Ⅱ	6.4	6.25	—	須恵器片、土師器片、土師	
SR 1709	120° 8'	81° 0'	11,189	土坑	古墳Ⅱ	1.8	3.6	6.2	土師器片	
SR 1710	120° 8'	81° 0'	11,132	竪穴建物	古墳Ⅱ	4.2	5.9	—	土師器片	
SR 1711	120° 8'	81° 0'	11,189.232	土坑	古墳Ⅱ	2.2	2.1	6.4	須恵器片、土師器群、縄文土師器	大型土坑
SR 1712	120° 8'	81° 0'	11,189	土坑	古墳Ⅱ	2.7	2.6	6.45	土師器片	大型土坑
SR 1713	120° 8'	81° 0'	11,415.286	竪穴建物	縄文早期	6.95	6.2	6.2	縄文土師器片	RF14-6549 cal BC
SR 1714	120° 8'	81° 1'	11,196.236	竪穴建物	各期	4.1	3.7	6.4	須恵器群土・灰土・土師器・土師器群	RF146549 cal BC RF146549 cal BC
SR 1715	120° 8'	81° 1'	11,189	土坑	弥生前期	1.65	3.4	6.2	遺物なし	
SR 1716	120° 8'	81° 0'	16,355	竪穴建物	縄文早期	3.45	6.6	6.26	遺物なし	
SR 1717	120° 8'	81° 0'	11,130	竪穴建物	縄文早期	6.65	6.25	6.2	遺物なし	RF146549 cal BC
SR 1718	120° 8'	81° 0'	16,62	竪穴建物	縄文早期	1.5	6.45	6.45	遺物なし	RF14-6550 cal BC
SR 1719	120° 8'	81° 0'	11,130	竪穴建物	縄文早期	3.65	6.45	6.25	遺物なし	RF146549 cal BC RF146549 cal BC
SR 1720	—	—	—	—	—	—	—	—	文書	
SR 1721	120° 8'	81° 0'	11,62	竪穴建物	縄文早期	6.45	6.25	6.24	遺物なし	
SR 1722	120° 8'	81° 0'	11,713.289	竪穴建物	縄文早期	1.5	3.4	6.25	縄文土師器片、灰土・土師	
SR 1723	120° 8'	81° 0'	16,62	竪穴建物	縄文早期	6.75	6.25	6.2	遺物なし	
SR 1724	120° 8'	81° 0'	16,54.286	竪穴建物	縄文早期	1.2	6.45	6.2	縄文土師器	SR16-6366 cal BC
SR 1725	120° 8'	81° 0'	16,11.42	竪穴建物	縄文早期	1.15	6.4	6.2	遺物なし	
SR 1726	120° 8'	81° 0'	16,62	竪穴建物	縄文早期	1.15	6.45	6.1	遺物なし	
SR 1727	120° 8'	81° 0'	16,62	竪穴建物	縄文早期	6.65	6.25	6.15	遺物なし	
SR 1728	120° 8'	81° 0'	11,415.286	竪穴建物	縄文早期	1.2	6.4	6.25	縄文土師器片、灰土	
SR 1729	120° 8'	81° 0'	16,115.252	竪穴建物	古墳Ⅱ	6.6	4.95	—	須恵器群土、土師器片	
SR 1730	120° 8'	81° 0'	16,115.252	竪穴建物	古墳Ⅱ	6.45	3.3	—	土師器片	
SR 1801	120° 3'	81° 0'	7,369	竪穴建物	古墳後編 ～古墳Ⅱ	6.4	3.4	—	遺物なし	SR1802付、65m南に存在
SR 1802	120° 3'	81° 0'	7,369	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	1.8	3.3	6.1	土師器群	
SR 1803	120° 3'	81° 0'	7,369	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	1.8	6.9	6.1	土師器群	
SR 1804	120° 3'	81° 0'	7,369	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	0.7	6.5	6.1	土師器群、縄文土師器	
SR 1805	120° 3'	81° 0'	7,123.236	竪穴建物	1期	3.93	2.15	6.1	須恵器群土、灰土、土師器群、古墳	
SR 1806	120° 3'	81° 0'	7,193.239	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	1.5	3.4	6.1	土師器群、灰土	
SR 1807	120° 3'	81° 0'	7,193.239	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	2.9	2.6	6.1	土師器群	
SR 1809	120° 3'	81° 0'	7,124.236	竪穴建物	1、2期	3.1	3.1	6.25	須恵器群土、土師器群、灰土	SR1809→SR1808
SR 1809	120° 3'	81° 0'	7,171.219	土坑	縄文中層～後編	6.65	6.7	6.6	縄文土師器	
SR 1810	120° 3'	81° 0'	7,369	土坑	古墳後編 ～古墳Ⅱ	1.7	6.65	6.15	土師器群	SR1809→SR1808
SR 1811	120° 3'	81° 0'	7,194.233	土坑	1期	4.9	2.6	6.15	須恵器群土、灰土・灰土、高砂土、土師器群、灰土・土師器群	
SR 1812	120° 3'	81° 1'	7,369	竪穴建物	古墳後編 ～古墳Ⅱ	4.65	4.5	—	遺物なし	

第 24 表 遺構一覧表 (13)

遺構番号	期	土佐グロブ	発掘調査	性質	時代	面積			土佐遺物	備考 (内訳は表裏欄に示す)	
						長さ (m)	幅 (m)	積上 (㎡)			
00-1013	11世紀	J	9世紀	2,225, 227, 228	壇状建物	1層	6.9	3.7	6.13	瓦器類・灰土・砂土・漆・土師器類・銅・鉄・刀子・鏡・銅瓦・銅瓦	
00-1014	11世紀	J	9世紀	2,128, 236, 239	壇状建物	1・2層	5.1	5.1	6.2	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類・刀子・鏡・銅瓦・銅瓦	
00-1015	11世紀	J	9世紀	2,190, 253	土壇	1層	4.9	5.3	6.13	瓦器類・灰土・漆・土師器類	大型土壇
00-1016	11世紀	J	9世紀	2,190, 253	土壇	古墳後部 ～古瓦?	5.45	5.3	6.13	瓦器類・灰土・漆・土師器類	大型土壇
00-1017	11世紀	J	9世紀	2,169	礎状建物	古墳後部 ～古瓦	4.95	5.4	—	土師器片	
00-1018	11世紀	J	8世紀	2,128, 239	壇状建物	1層	7.2	4.0	6.2	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類・高杯・銅瓦・漆・土師器類	
00-1019	11世紀	J	12・3	2,190, 263	土壇	古墳後部 ～古瓦?	5.25	5.7	6.25	瓦器類・灰土・漆・土師器類・銅片・銅瓦	大型土壇
00-1020	11世紀	J	13	2,127, 260, 261	壇状建物	1層	4.5	4.5	6.2	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類・銅・刀子・銅瓦	礎状 001020→001019, 001021
00-1021	11世紀	I	13世紀	2,123	壇状建物	古墳後部?	4.5	5.9	6.1	土師器類, 瓦器類(001021土壇に接合)	
00-1022	11世紀	J	13世紀	2,176, 247	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	7.45	5.25	—	土師器片, 土壇	
00-1023	11世紀	J	13世紀	2,190, 259	土壇	古墳後部 ～古瓦?	5.9	1.95	6.1	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類	大型土壇
00-1024	11世紀	J	13世紀	2,176	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	5.4	5.0	—	遺物なし	
00-1025	11世紀	T・J	13世紀	2,171, 243	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	5.55	5.6	—	瓦器類・漆・土師器類	
00-1026	11世紀	J	13世紀	2,171	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	5.4	5.2	—	瓦器類・漆	
00-1027	11世紀	J	17	2,172, 239	礎状土壇	礎文中部～後部	6.95	6.9	6.3	礎文中部	
00-1028	11世紀	J	19	2,196	墓	中室	1.5	6.9	6.13	瓦器類・漆	001028→001024→001029
00-1029	11世紀	G	196・7	2,171	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	5.9	2.4	—	土師器類	
00-1030	11世紀	G	199	2,190, 253	土壇	1層	2.55	1.4	6.13	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類・銅・刀子・鏡・銅瓦	001030→001024 大型土壇
00-1031	11世紀	G	199	2,126, 243	壇状建物	1層	6.955	6.655	6.65	瓦器類・灰土・漆・土師器類・銅片	001031→001022
00-1032	11世紀	J	199	2,126, 243	壇状建物	1層	6.4	7.95	6.1	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類	001032→001022
00-1033	11世紀	G	199	2,171, 243	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	7.5	5.6	—	瓦器類・灰土・漆・土師器類	
00-1034	11世紀	F	199	2,126, 243	壇状建物	1層	5.5	7.2	6.1	瓦器類・灰土・漆・銅瓦・土師器類・銅片	
00-1035	11世紀	G	199	2,171	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	4.2	5.6	—	土師器片, 銅片	
00-1036	11世紀	I	224	?	土壇	時期不明	6.6	6.25	6.1	赤土土壇	部分的に埋没している
00-1037	11世紀	F	199	2,126, 253	土壇	1層	6.4	6.1	6.1	瓦器類・灰土	3ヶ所
00-1038	11世紀	J	19	2,178, 239	墓右遺構	礎文中部～後部	6.6	6.75	6.25	礎文中部・漆	
00-1039	11世紀	F	125	2,129	礎状土壇	1層	6.7	6.65	6.1	瓦器類・灰土・漆・土師器類・銅片	001039の礎状土壇
00-1040	11世紀	J	19	2,178, 239	墓右遺構	礎文中部～後部	6.75	6.4	6.1	礎文中部	001040の礎状土壇
00-1041	11世紀	J	19	2,178, 239	土壇	礎文中部～後部	6.5	6.45	6.25	銅瓦	
00-1042	11世紀	J	199	2,169	柱列	古墳後部 ～古瓦?	5.25	—	—	遺物なし	001042の柱5柱列
00-1043	11世紀	J	199	2,169	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	4.5	5.4	—	土師器片	
00-1044	11世紀	F	130	6,7,132	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	4.5	6.5	4.2	遺物なし	
00-1045	11世紀	J	130	2,176	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	4.5	5.5	—	遺物なし	
00-1046	11世紀	G	199	2,129	壇状建物	古墳後部?	2.55	5.15	6.1	土師器類	
00-1047	11世紀	J	199	2,171	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	5.75	5.1	—	遺物なし	
00-1048	11世紀	I	103	2,171	礎状建物	古墳後部 ～古瓦?	6.9	5.65	—	土師器片	001048の礎状土壇2ヶ所
00-1049	11世紀	J	19	2,179	墓右遺構	礎文中部～後部	6.65	6.65	6.1	遺物なし	001049の礎状土壇

※1～6期：在地系系図に基づいた中野山遺跡の時期区分（※2参照）

第 25 表 煙道付炉穴一覽表 (1)

	設備番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	長さ/幅					
1	SF 1003	1.6	0.6	0.33	2.67	N-51°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
2	SF 1004	2.3	0.7	0.25	3.29	N-134°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
3	SF 1005	0.8 ≤	0.5	0.18	1.6 ≤	N-26°-E	北東	楕円形	不明	北東部
4	SF 1006	1.4	0.5	0.23	2.80	N-123°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
5	SF 1007	1.3	0.8	0.29	1.63	N-173°-E	南東	楕円形	小型	北東部
6	SF 1008	1.4	0.5	0.27	2.80	N-68°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
7	SF 1014	1.3	0.5	0.24	2.60	N-125°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
8	SF 1015	2.1	0.5	0.4	4.20	N-127°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
9	SF 1016	1.2 ≤	0.7	0.37	1.71 ≤	N-125°-W	南西	楕円形	不明	北東部
10	SF 1018	1.4	0.5	0.37	2.80	N-17°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
11	SF 1019	1.8	0.7	0.08	2.57	N-135°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
12	SF 1024	2.0	1.0	0.44	2.00	N-41°-E	北東	二等辺三角形	大型	北東部
13	SF 1029	1.3	0.8	0.41	1.63	N-2°-W	北西	楕円形	小型	北東部
14	SF 1030	1.5	0.6	0.5	2.50	N-126°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
15	SF 1062	1.35	0.5	0.14	2.70	N-82°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
16	SF 1073	0.6 ≤	0.6 ≤	?	1.00 ≤	不明	不明	円形	不明	北東部
17	SF 1074	1.6 ≤	0.6	0.54	2.67 ≤	N-142°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
18	SF 1077	0.9 ≤	0.7	0.34	1.29 ≤	N-137°-W	南西	楕円形	不明	北東部
19	SF 1080	不明	不明	不明	不明	N-88°-E	北東	不明	不明	北東部
20	SF 1105	1.3	0.4	0.23	3.25	N-32°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
21	SF 1106	1.5	0.8	0.19	1.88	N-119°-W	南西	楕円形	大型	北東部
22	SF 1110	1.65	0.8	0.26	2.06	N-89°-W	北西	長楕円形	大型	北東部
23	SF 1112	1.7	0.7	0.36	2.43	N-131°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
24	SF 1113	1.25	0.65	0.1	1.92	N-28°-E	北東	楕円形	小型	北東部
25	SF 1114	1.15	0.65	0.4	1.77	N-114°-W	南西	楕円形	小型	北東部
26	SF 1115	2.25	0.75	0.2	3.00	N-118°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
27	SF 1116	1.2	0.5	0.29	2.40	N-57°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
28	SF 1120	1.55	0.95	0.4	1.63	N-103°-W	南西	楕円形	大型	北東部
29	SF 1121	1.25	0.7	0.11	1.79	N-90°-E	南東	楕円形	小型	北東部
30	SF 1122	1.55	0.8	0.26	1.94	N-27°-E	北東	楕円形	大型	北東部
31	SF 1123	1.65	0.6	0.23	2.75	N-144°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
32	SF 1125	1.3	0.7	0.28	1.86	N-151°-E	南東	楕円形	小型	北東部
33	SF 1126	1.7	0.7	0.2	2.43	N-28°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
34	SF 1129	1.45	0.65	0.3	2.23	N-134°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
35	SF 1131	1.15	0.5	0.2	2.30	N-140°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
36	SF 1133	1.0	0.55	0.21	1.82	N-30°-E	北東	楕円形	小型	北東部
37	SF 1134	0.85	0.5	0.09	1.70	N-138°-E	南東	楕円形	小型	北東部
38	SF 1135	1.55	0.45	0.35	3.44	N-131°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
39	SF 1136	0.6	0.35	0.05	1.71	不明	不明	楕円形	小型	北東部
40	SF 1203	1.7	0.4	0.3	4.25	N-64°-E	北東	長楕円形	大型	北東部
41	SF 1204	1.35	0.45	0.22	3.00	N-120°-W	南西	長楕円形	小型	北東部
42	SF 1205	0.85	0.4	0.09	2.13	N-46°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
43	SF 1402	1.7	0.65	0.26	2.62	N-135°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
44	SF 1403	0.65 ≤	0.45	0.19	1.44 ≤	N-147°-W	南西	楕円形	不明	北東部
45	SF 1405	2.0	0.5	0.21	4.00	N-48°-E	北東	二等辺三角形	大型	北東部
46	SF 1406	0.7	0.4	0.15	1.75	N-150°-E	南東	楕円形	小型	北東部
47	SF 1408	0.9	0.5	0.18	1.80	N-36°-W	北西	楕円形	小型	北東部
48	SF 1410	1.6	0.6	0.38	2.67	N-137°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
49	SF 1411	2.1	0.9	0.45	2.33	N-136°-E	南東	二等辺三角形	大型	北東部
50	SF 1412	0.85 ≤	0.45	0.22	1.89 ≤	N-52°-E	北東	楕円形	不明	北東部
51	SF 1415	1.5	0.5	0.31	3.00	N-152°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
52	SF 1416	1.2 ≤	0.55	0.13	2.18 ≤	N-151°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
53	SF 1419	1.8	0.65	0.4	2.77	N-131°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
54	SF 1420	1.35	0.45	0.19	3.00	N-110°-E	南東	長楕円形	小型	北東部
55	SF 1421	1.1 ≤	0.55	0.37	2.00 ≤	N-131°-W	南西	長楕円形	不明	北東部
56	SF 1422	1.1 ≤	0.65	0.16	1.69 ≤	N-131°-W	南西	楕円形	不明	北東部
57	SF 1423	1.65	0.55	0.34	3.00	N-140°-W	南西	長楕円形	大型	北東部
58	SF 1424	0.9 ≤	0.6	0.22	1.50 ≤	N-160°-E	南東	楕円形	不明	北東部
59	SF 1425	1.35	0.5	0.29	2.70	N-30°-E	北東	長楕円形	小型	北東部
60	SF 1430	1.8	0.55	0.17	3.27	N-134°-E	南東	長楕円形	大型	北東部
61	SF 1431	1.15 ≤	0.6	0.06	1.92 ≤	N-50°-W	北西	楕円形	不明	北東部

第25表 煙道付炉穴一覽表(2)

	遊構番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	長さ/幅					
62	SF 1432	0.85	0.45	0.08	1.89	N-136°-W	南西	槽円形	小型	北東部
63	SF 1434	1.4	0.5	0.27	2.80	N-176°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
64	SF 1441	2.0	0.7	0.31	2.86	N-104°-W	南西	長槽円形	大型	北東部
65	SF 1452	0.8 ≦	0.55 ≦	0.05	1.45 ≦	N-37°-W	北西	槽円形	不明	北東部
66	SF 1455	1.5 ≦	0.65	0.4	2.31 ≦	N-134°-E	南東	長槽円形	大型	北東部
67	SF 1456	1.31 ≦	0.7	0.15	1.87 ≦	N-104°-E	南東	槽円形	不明	北東部
68	SF 1457	1.45 ≦	0.55	0.28	2.64 ≦	N-125°-W	南西	長槽円形	不明	北東部
69	SF 1458	0.4 ≦	0.4	0.18	1.00 ≦	N-26°-W	北西	槽円形	不明	北東部
70	SF 1465	1.4	0.5	0.17	2.80	N-42°-E	北東	二等辺三角形	小型	北東部
71	SF 1467	0.55	0.25	0.14	2.20	N-33°-E	北東	長槽円形	小型	北東部
72	SF 1469	0.85	0.25 ≦	0.15	3.40 ≦	N-118°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
73	SF 1470	1.6 ≦	0.5	0.25	3.20 ≦	N-128°-W	南西	長槽円形	大型	北東部
74	SF 1471	1.75	0.7	0.19	2.50	N-125°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
75	SF 1472	0.85	0.4	0.08	2.13	N-44°-E	北東	長槽円形	小型	北東部
76	SF 1473	1.6	0.55	0.21	2.91	N-82°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
77	SF 1474	1.5	0.5	0.18	3.00	N-69°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
78	SF 1475	0.75 ≦	0.3 ≦	0.18	2.50 ≦	N-38°-E	北東	長槽円形	不明	北東部
79	SF 1476	1.25 ≦	0.6 ≦	0.19	2.08 ≦	N-64°-E	北東	二等辺三角形	不明	北東部
80	SF 1477	0.4 ≦	0.35 ≦	0.29	1.14 ≦	N-72°-W	北西	槽円形	不明	北東部
81	SF 1478	1.3 ≦	0.55	0.32	2.36 ≦	N-126°-W	南西	長槽円形	不明	北東部
82	SF 1480	1.5 ≦	0.8	0.35	1.88 ≦	N-33°-E	北東	槽円形	大型	北東部
83	SF 1481	1.45 ≦	0.6	0.17	2.42 ≦	N-56°-W	北西	二等辺三角形	不明	北東部
84	SF 1482	1.85	0.6	0.29	3.08	N-140°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
85	SF 1483	0.75 ≦	0.55	0.18	1.36 ≦	N-119°-E	南東	槽円形	不明	北東部
86	SF 1484	1.5	0.7	0.34	2.14	N-114°-W	南西	長槽円形	大型	北東部
87	SF 1485	1.35	0.5	0.13	2.70	N-125°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
88	SF 1486	1.2	0.5	0.23	2.40	N-57°-W	北西	長槽円形	小型	北東部
89	SF 1487	1.4	0.55	0.18	2.55	N-98°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
90	SF 1488	1.4	0.55	0.23	2.55	N-121°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
91	SF 1489	2.1 ≦	0.7	0.35	3.00 ≦	N-112°-W	南西	長槽円形	大型	北東部
92	SF 1491	1.15 ≦	0.6	0.23	1.92 ≦	N-116°-W	南西	槽円形	不明	北東部
93	SF 1494	0.5 ≦	0.35 ≦	0.11	1.43 ≦	N-51°-W	北西	槽円形	不明	北東部
94	SF 1495	0.9	0.55	0.08	1.64	N-134°-W	南西	槽円形	小型	北東部
95	SF 1497	0.55	0.4	0.08	1.38	N-41°-E	北東	槽円形	小型	北東部
96	SF 1499	1.5 ≦	0.55	0.35	2.73 ≦	N-171°-W	南西	二等辺三角形	大型	北東部
97	SF 1500	1.9	0.6 ≦	0.23	3.17 ≦	N-70°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
98	SF 1501	1.05	0.55	0.15	1.91	N-133°-W	南西	槽円形	小型	北東部
99	SF 1507	1.4	0.65	0.2	2.15	N-93°-W	南西	長槽円形	小型	中央部
100	SF 1508	1.15	0.4	0.2	2.88	N-77°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
101	SF 1511	1.15	0.55	0.05	2.09	N-5°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
102	SF 1512	1.25	0.45	0.1	2.78	N-55°-E	北東	二等辺三角形	小型	中央部
103	SF 1513	1.0	0.5	0.1	2.00	N-104°-E	南東	長槽円形	小型	中央部
104	SF 1518	1.1	0.6	0.15	1.83	N-86°-E	北東	槽円形	小型	中央部
105	SF 1519	0.8	0.4	0.1	2.00	N-116°-E	南東	長槽円形	小型	中央部
106	SF 1521	1.1	0.5	0.2	2.20	N-178°-W	南西	長槽円形	小型	中央部
107	SF 1525	0.9	0.35	0.2	2.57	N-43°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
108	SF 1527	0.8	0.5	0.15	1.60	N-55°-E	北東	槽円形	小型	中央部
109	SF 1528	0.6	0.5	0.05	1.20	不明	不明	槽円形	小型	中央部
110	SF 1529	0.75	0.6	0.01	1.25	不明	不明	槽円形	小型	中央部
111	SF 1530	0.65	0.4	0.04	1.63	N-14°-E	北東	槽円形	小型	中央部
112	SF 1532	0.9	0.5	0.1	1.80	N-105°-E	南東	槽円形	小型	中央部
113	SF 1533	1.1 ≦	0.45	0.25	2.44 ≦	N-62°-E	北東	長槽円形	不明	中央部
114	SF 1534	0.9	0.6	0.15	1.50	N-44°-E	北東	槽円形	小型	中央部
115	SF 1535	1.15	0.45	0.2	2.56	N-49°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
116	SF 1536	1.0	0.6	0.2	1.67	N-26°-E	北東	槽円形	小型	中央部
117	SF 1537	1.2	0.45	0.25	2.67	N-110°-W	南西	長槽円形	小型	中央部
118	SF 1541	1.25	0.4	0.25	3.13	N-49°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
119	SF 1547	0.5 ≦	0.4	0.2	1.25 ≦	N-64°-E	北東	槽円形	不明	中央部
120	SF 1548	1.2	0.45	0.15	2.67	N-53°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
121	SF 1549	0.35	0.25	0.1	1.40	N-9°-E	北東	槽円形	小型	中央部
122	SF 1550	1.6	0.45	0.45	3.56	N-62°-E	北東	長槽円形	大型	中央部

第25表 煙道付炉穴一覽表(3)

	遺構番号	規模				方位	方角	形状	規模	場所
		長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	長さ/幅					
123	SF 1552	0.35	0.3	0.1	1.17	N-32°-W	北西	円形	小型	中央部
124	SF 1553	0.35	0.2	0.1	1.75	N-31°-W	北西	槽円形	小型	中央部
125	SF 1554	0.85	0.4	0.05	2.13	N-34°-W	北西	長槽円形	小型	中央部
126	SF 1555	0.65	0.35 ≤	0.05	1.86 ≤	N-92°-W	南西	槽円形	小型	中央部
127	SF 1556	0.65	0.45	0.1	1.44	N-29°-W	北西	槽円形	小型	中央部
128	SF 1559	1.2	0.55	0.25	2.18	N-26°-W	北西	長槽円形	小型	中央部
129	SF 1561	0.5	0.3	0.03	1.67	不明	不明	槽円形	小型	中央部
130	SF 1564	1.45	0.35	0.25	4.14	N-42°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
131	SF 1579	0.95 ≤	0.5	0.35	1.90 ≤	N-58°-E	北東	槽円形	不明	北東部
132	SF 1580	0.3	0.3	0.03	1.00	不明	不明	円形	小型	北東部
133	SF 1581	1.15	0.65	0.5	1.77	N-51°-E	北東	槽円形	小型	北東部
134	SF 1582	0.95	0.55	0.3	1.73	N-65°-E	北東	槽円形	小型	北東部
135	SF 1583	0.6	0.4	0.02	1.50	N-121°-W	南西	槽円形	小型	北東部
136	SF 1586	0.7	0.5	0.1	1.40	N-49°-W	北西	槽円形	小型	北東部
137	SF 1587	0.9	0.5	0.05	1.80	N-114°-W	南西	二等辺三角形	小型	北東部
138	SF 1592	1.15	0.6	0.3	1.92	N-51°-E	北東	槽円形	小型	北東部
139	SF 1593	0.8 ≤	0.45	0.2	1.78 ≤	N-109°-W	南西	槽円形	不明	北東部
140	SF 1594	1.85	0.4	0.4	4.63	N-50°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
141	SF 1595	0.9	0.5	0.1	1.80	N-76°-E	北東	槽円形	小型	北東部
142	SF 1596	0.9	0.5	0.2	1.80	N-78°-E	北東	槽円形	小型	北東部
143	SF 1597	1.05	0.8	0.2	1.31	N-151°-E	南東	槽円形	小型	北東部
144	SF 1702	1.5	0.5	0.35	3.00	N-86°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
145	SF 1705	1.6	0.45	0.25	3.56	N-23°-E	北東	長槽円形	大型	北東部
146	SF 1706	1.3 ≤	0.5	0.25	2.60 ≤	N-32°-E	北東	長槽円形	不明	北東部
147	SF 1707	0.8 ≤	0.35	0.25	2.29 ≤	N-51°-W	北西	長槽円形	不明	北東部
148	SF 1713	0.95	0.5	0.2	1.90	N-48°-E	北東	槽円形	小型	北東部
149	SF 1716	1.4 ≤	0.6	0.35	2.33 ≤	N-116°-W	南西	長槽円形	不明	北東部
150	SF 1717	0.85	0.35	0.2	2.43	N-124°-W	南西	長槽円形	小型	北東部
151	SF 1718	1.3	0.65	0.45	2.00	N-70°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
152	SF 1719	1.6 ≤	0.45	0.25	2.22 ≤	N-132°-W	南西	長槽円形	不明	北東部
153	SF 1721	0.4 ≤	0.3 ≤	0.24	1.33 ≤	不明	不明	槽円形	不明	北東部
154	SF 1723	0.75	0.55	0.2	1.36	N-70°-E	北東	槽円形	小型	中央部
155	SF 1724	1.2	0.45	0.2	2.67	N-44°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
156	SF 1725	1.15	0.4	0.3	2.88	N-2°-E	北東	長槽円形	小型	中央部
157	SF 1726	1.15	0.45	0.1	2.56	N-96°-E	南東	二等辺三角形	小型	中央部
158	SF 1727	0.8 ≤	0.35	0.15	2.29 ≤	N-96°-E	南東	長槽円形	不明	中央部
159	SF 1728	1.3	0.4	0.25	3.25	N-17°-E	北東	長槽円形	小型	北東部

第26表 集石炉一覽表(1)

	遺構番号	規模			分類	場所	事業
		長さ(m)	幅(m)	深さ(m)			
1	SF 1010	0.8	0.7	0.27	B	北東部	新名神
2	SF 1022	1.1	0.8	0.45	A	北東部	
3	SF 1023	1.1	1.0	0.7	A	北東部	
4	SF 1404	1.15	1.0	0.52	A	北東部	
5	SF 1414	1.2	0.8	0.22	A	北東部	
6	SF 1454	0.9	0.75	0.35	B	北東部	
7	SF 1479	1.1	0.7	0.38	A	北東部	
8	SF 1490	1.2 ≤	0.8 ≤	0.37	A	北東部	
9	SF 1492	1.0 ≤	0.6 ≤	0.29	A	北東部	
10	SF 1506	0.9	0.7	0.35	B	中央部	
11	SF 1514	0.55	0.55	0.25	B	中央部	
12	SF 1544	0.6	0.6	0.25	B	中央部	
13	SF 1546	0.9	0.7	0.3	B	中央部	
14	SF 1570	0.65	0.55	0.15	B	中央部	
15	SF 1584	0.8	0.75	0.32	B	北東部	
16	SF 1585	0.75	0.55	0.2	B	北東部	
17	SF 1629	1.2	1.05	0.3	A	西部	

第26表 集石炉一覧表(2)

	遺構番号	規模			分類	場所	事業
		長さ(m)	幅(m)	深さ(m)			
18	SK 341	1.5	0.9	0.25	A	中央部	東園
19	SK 343	0.7	0.6	0.25	B	中央部	
20	SK 346	0.6	0.6	0.22	B	中央部	
21	SK 348	1.2	0.9	0.38	B	中央部	
22	SK 349	1.0	0.9	0.43	B	中央部	
23	SK 351	0.9	0.9	0.25	B	中央部	
24	SK 357	1.0	0.9	0.3	B	中央部	
25	SK 364	0.9	0.6	0.11	A	中央部	
26	SK 408	0.7	0.4	0.11	A	中央部	
27	SK 411	0.8	0.8	0.37	A	中央部	
28	SK 744	1.0	0.8	0.3	B	中央部	

第27表 弥生時代竪穴建物一覧表

○：あり (○)：推定(カマドの場合、土士の残存) ?：不明 —：なし

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	時代	規模				壁厚	壁柱穴	厨内炉	貯蔵穴	扉内柱	主柱穴	主柱穴長さ (m) × (m)	備考	場所		
		地区名	番号			長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (㎡)											
1	SH 1026	4次	—	—	弥生中期	3.5	2.8	0.12	9.80	—	—	○	—	—	—	—	—	東部		
2	SH 1305	9次	—	—	弥生後期	5.4	2.1	0.04	11.34	○	—	—	?	?	○	2.55 × ?	—	西部		
3	SH 1331	9次	—	—	弥生中期	5.05	4.4	0.19	22.22	○	○	—	○	—	○	2.4 × 1.95	—	西部		
4	SH 1333	9次	K-V2	H1	弥生土器遺	6.0	6.0	0.03	36.00	○	○	—	?	—	○	3.0 × 3.0	壁で替え?	西部		
5	SH 1444	10次	—	—	弥生中期	4.2	4.1	0.1	17.22	○	—	?	—	—	○	—	—	東部		
6	SH 1639	12次	K-U3	主1	弥生土器多数	6.0	4.7	0.15	28.20	○	—	—	—	(○)	○	3.0 × 2.25 × 2.1	—	西部		
7	SH 1641	12次	—	—	弥生後期	4.6	2.4	0.1	11.04	○	—	—	○	—	○	1.95 × 1.65 × 1.5	—	西部		
8	SH 1644	12次	—	—	弥生後期	7.0	7.0	0.3	49.00	○	—	○	○	—	○	3.9 × 3.9	馬蹄状の貯蔵穴	西部		
9	SH 1645	12次	J-Q19	主1	弥生土器遺	J-Q19	主3	弥生土器片	5.55	4.75	0.2	26.36	○	—	(○)	○	—	3.0 × 2.8 2.2 × 2.1	床面硬化	西部
10	SH 1646	12次	J-T21	主1	弥生土器遺	弥生後期	9.1	8.0	0.25	72.80	○	—	—	○	—	○	4.65 × 4.35	壁で替え	西部	
11	SH 1647	12次	—	—	弥生後期	(4.7)	4.3	0.1	(20.21)	○	—	(○)	○	—	○	2.3 × 2.3	—	西部		
12	SH 1661	12次	—	—	弥生後期	5.0	4.5	0.15	22.50	○	—	(○)	○	—	○	2.4 × 2.1	枕家焼	西部		
13	SH 1677	12次	—	—	弥生後期	6.8	6.7	0.1	45.56	○	—	—	○	—	○	3.6 × 3.6	壁で替え	西部		
14	SH 1683	12次	—	—	弥生中期	4.45	4.4	0.1	19.58	○	—	(○)	—	—	○	2.1 × 1.95	壁で替え?	西部		
15	SH 394	12次	—	—	弥生後期	6.0	5.4	0.1	32.40	○	—	—	(○)	—	○	3.0 × 2.7	—	西部		

第28表 弥生時代掘立柱建物一覧表

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	性格	規模			柱間(計測 北→南・西→東→)				間数	棟方位	方位	場所	
		地区名	番号			桁行 (m)	奥行 (m)	面積 (㎡)	桁行 (m)		奥行 (m)						
1	SB 1643	12次	—	—	附柱	9.9	5.55	54.95	西 1.8 × 1.65 + 1.65 + 1.65 + 1.8 + 1.35 中 1.2 × 1.5 + 2.1 + 2.4 + 1.5 + 1.5 東 1.65 + 1.65 + 1.8 + 1.65 + 1.5 + 1.65				2.7 × 2.85	6 × 2	南東棟	N-6°E	西部

第29表 古代竪穴建物一覧表(1)

○：あり (○)：推定(カマドの場合、土士の残存) ?：不明 —：なし

遺構番号	次数	遺物出土 主柱穴		出土遺物	規模				壁厚	壁柱穴	カマド	貯蔵穴	主柱穴	扉内柱	方位	主柱穴長さ (m) × (m)	備考	北方角 長方形	H3-10	カマド 貯蔵穴	
		地区名	番号		長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (㎡)													
1	SH 1011	4次	—	—	4.6	3.9	0.16	17.94	○	○	○	○	?	○	N20°E	—	⑤	長	?	a3	a4
2	SH 1014	4次	N-D4	PT	土器陶片	3.1	3.1	0.1	26.81	○	○	(○)	○	?	N45°W	2.1 × 2.1	⑤	正	①	a2-2	a4
3	SH 1014	4次	—	—	3.1	1.8	0.1	5.58	○	?	(○)	?	?	(○)	N45°W	—	⑤	?	?	?	?
4	SH 1027	4次	—	—	6.1	6.1	0.07	21.21	○	?	?	?	?	?	N20°W	—	⑤	正	?	?	?
5	SH 1036	4次	—	—	3.75	2.8	0.23	10.5	○	?	(○)	?	?	?	N10°W	—	⑤	?	?	?	?
6	SH 1062	4次	—	—	4.7	3.7	0.29	17.39	○	?	(○)	○	○	○	N10°W	2.3 × 2.1	⑤	長	①	a2-3	a3
7	SH 1106	4次	—	—	3.9	3.6	0.4	15.21	○	○	?	?	?	?	N20°W	1.95 × 1.95	⑤	正	①	?	?
8	SH 1164	4次	—	—	5.3	5.4	0.2	29.16	○	○	?	?	?	?	N60°E	3.3 × 2.7	⑤	正	⑤	a2-3	?
9	SH 1209	4次	—	—	3.9	1.7	0.02	4.93	○	?	(○)	(○)	?	?	N20°E	—	⑤	?	?	?	?
10	SH 1212	4次	—	—	1.5	2.6	0.08	17.12	○	?	○	(○)	?	?	N20°E	—	⑤	長	?	a2-3	a4

第 29 表 古代竪穴建物一覽表 (2)

遺跡番号	次巻	遺跡出土 主出土		規模				築造時期	構造	カマド	貯蔵穴	土坑穴	排水	方位	土坑穴 長さ (m)	幅 (m)	構造	正方向 長方形	バース	カマド	貯蔵穴
		地区名	番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	築造時期														
11 91 1218	8 次	—	—	2.0	1.5	0.09	4.5	5	5	5	5	5	5	N8° E	—	⑤	5	5	5	5	5
12 91 1219	8 次	—	—	4.8	0.65	0.01	4.06	5	5	5	5	5	5	N3° E	—	⑤	5	5	5	5	5
13 91 1220	8 次	—	—	3.8	3.2	0.18	12.07	5	5	5	5	5	5	N101° E	2.25 × 1.5 × 1.5 × 1.35	⑤	長	⑤	5	5	5
14 91 1223	8 次	—	—	5.3	5.1	0.1	27.03	5	5	5	5	5	5	N100° E	2.3 × 1.8	⑤	正	⑤	5	5	5
15 91 1223	8 次	—	—	6.2	2.2	0.2	13.04	5	5	5	5	5	5	5	—	⑤	5	5	5	5	5
16 91 1212	9 次	—	—	3.4	3.1	0.07	27.54	5	5	5	5	5	5	N122° E	2.0 × 2.2	⑤	長	⑤	5	5	5
17 91 1314	9 次	—	—	3.9	3.6	0.11	14.04	5	5	5	5	5	5	N30° E	1.95 × 1.8	⑤	長	⑤	5	5	5
18 91 1319	9 次	—	—	4.2	2.6	0.07	10.92	5	5	5	5	5	5	N10° E	—	⑤	長	⑤	5	5	5
19 91 1320	9 次	—	—	5.1	5.1	0.1	26.16	5	5	5	5	5	5	N30° W	2.7 × 2.7	⑤	正	⑤	5	5	5
20 91 1321	9 次	—	—	4.5	4.2	0.04	18.9	5	5	5	5	5	5	N84° W	2.25 × 2.1	⑤	長	⑤	5	5	5
21 91 1322	9 次	—	—	4.8	4.2	0.17	23.6	5	5	5	5	5	5	N90° E	2.25 × 2.1	⑤	長	⑤	5	5	5
22 91 1327	9 次	—	—	2.4	1.9	0.2	4.36	5	5	5	5	5	5	5	5	—	⑤	5	5	5	5
23 91 1417	10 次	—	—	3.4	2.4	0.03	6.48	5	5	5	5	5	5	N2° E	—	⑤	5	5	5	5	5
24 91 1438	10 次	—	—	5.1	5.1	0	26.16	5	5	5	5	5	5	N14° W	3.0 × 3.0	⑤	正	⑤	5	5	5
25 91 1438	10 次	—	—	4.9	3.7	0.06	16.13	5	5	5	5	5	5	N12° W	—	⑤	長	⑤	5	5	5
26 91 1448	10 次	—	—	4.1	3.1	0.04	12.71	5	5	5	5	5	5	N87° E	—	⑤	長	⑤	5	5	5
27 91 1450	10 次	—	—	5.2	5.1	0.09	26.32	5	5	5	5	5	5	N14° W	—	⑤	正	⑤	5	5	5
28 91 1466	10 次	—	—	3.7	3.6	0.11	13.32	5	5	5	5	5	5	N90° E	—	⑤	正	⑤	5	5	5
29 91 1511	10 次	M-子18	F1	土層階級点	4.2	3.8	0.12	16.28	5	5	5	5	5	N32° E	2.1 × 1.8	⑤	長	⑤	5	5	5
30 91 1513	11 次	M-子19	F4	土層階級点	4.8	4.8	0.03	23.04	5	5	5	5	5	N32° E	3.0 × 2.4	⑤	正	⑤	5	5	5
31 91 1518	11 次	L-G15	F1	土層階級点	4.8	4.8	0.1	23.07	5	5	5	5	5	N1° E	3.0 × 2.7	⑤	正	⑤	5	5	5
32 91 1562	11 次	L-D25	F6	土層階級点	5.55	5.1	0.1	28.31	5	5	5	5	5	N22° E	2.55 × 2.25	⑤	長	⑤	5	5	5
33 91 1590	11 次	—	—	0.96	0.81	0	0.71	5	5	5	5	5	5	N14° W	3.45 × 3.0	⑤	長	⑤	5	5	5
34 91 1714	11 次	—	—	4.1	3.7	0.4	15.17	5	5	5	5	5	5	N85° W	—	⑤	長	⑤	5	5	5
35 91 1806	12 次	—	—	4.1	4.9	0.1	16.4	5	5	5	5	5	5	N114° E	2.0 × 2.1	⑤	正	⑤	5	5	5
36 91 1807	12 次	—	—	3.6	3.6	0.15	13.06	5	5	5	5	5	5	N100° E	1.5 × 1.5	⑤	正	⑤	5	5	5
37 91 1817	12 次	—	—	4.5	4.5	0.1	20.25	5	5	5	5	5	5	N92° W	2.0 × 2.0	⑤	正	⑤	5	5	5
38 91 1824	12 次	K-子18	主1	遺跡外周 土層階級点	3.9	3.6	0.25	14.04	5	5	5	5	5	5	N100° E	2.1 × 1.8	⑤	長	⑤	5	5
39 91 1828	12 次	—	—	6.3	6.6	0.2	37.08	5	5	5	5	5	5	N97° E	3.0 × 3.2	⑤	長	⑤	5	5	5
40 91 1831	12 次	K-Q9	F1	遺跡外周 土層階級点	5.7	5.4	0.2	30.78	5	5	5	5	5	5	N2° W	3.0 × 2.7	⑤	長	⑤	5	5
41 91 1838	12 次	K-子18	F1	土層階級点	7.8	7.8	0.15	60.84	5	5	5	5	5	5	N97° E	4.2 × 3.6	⑤	正	⑤	5	5
42 91 1849	12 次	J-T98	主1	土層階級点	6.6	6.6	0.2	36.6	5	5	5	5	5	5	N9° E	3.3 × 3.0	⑤	長	⑤	5	5
43 91 1850	12 次	—	—	4.8	4.2	0.3	20.16	5	5	5	5	5	5	N2° E N97° E	2.1 × 1.95	⑤	長	⑤	5	5	
44 91 1861	12 次	J-O15	主2	土層階級点	6.0	4.9	0.3	29.4	5	5	5	5	5	5	N31° E	3.1 × 2.1 × 1.9	⑤	長	⑤	5	5
45 91 1862	12 次	J-P15	主1	土層階級点	4.2	3.9	0.1	16.28	5	5	5	5	5	5	N36° E	2.1 × 1.8	⑤	長	⑤	5	5
46 91 1838	12 次	J-子18	主1	遺跡外周 土層階級点	5.1	4.8	0.15	24.0	5	5	5	5	5	5	N9° E	2.5 × 2.1	⑤	長	⑤	5	5
47 91 1860	12 次	—	—	3.7	3.1	0.25	28.07	5	5	5	5	5	5	N30° E	2.7 × 2.1	⑤	長	⑤	5	5	
48 91 1862	12 次	—	—	7.2	6.3	0.2	45.36	5	5	5	5	5	5	N96° E	3.0 × 3.2	⑤	長	⑤	5	5	
49 91 1863	12 次	—	—	4.8	3.5	0.1	16.8	5	5	5	5	5	5	N12° W	2.4 × 2.4	⑤	正	⑤	5	5	
50 91 1864	12 次	J-X98	主1	遺跡外周 土層階級点	5.1	4.8	0.15	24.0	5	5	5	5	5	5	N107° E	2.25 × 1.8	⑤	長	⑤	5	5
51 91 1872	12 次	—	—	4.8	4.2	0.15	20.16	5	5	5	5	5	5	N90° W	2.1 × 1.95	⑤	長	⑤	5	5	
52 91 1874	12 次	J-Y9	主1	地土 6 遺跡外周 土層階級点	8.1	8.1	0.05	65.61	5	5	5	5	5	5	N4° E	4.5 × 4.5	⑤	正	⑤	5	5
53 91 1875	12 次	Q-C99	主1	土層階級点	6.6	6.0	0.2	36.00	5	5	5	5	5	5	N42° E	2.7 × 2.4	⑤	正	⑤	5	5
54 91 1876	12 次	Q-C10	主2	土層階級点	4.8	4.8	0.3	23.04	5	5	5	5	5	5	N124° E	1.8 × 1.8	⑤	正	⑤	5	5
55 91 1878	12 次	—	—	6.6	4.7	0.1	11.22	5	5	5	5	5	5	N27° W	—	⑤	5	5	5	5	
56 91 1880	12 次	—	—	5.2	5.2	0.15	27.04	5	5	5	5	5	5	N47° E	—	⑤	正	⑤	5	5	
57 91 1881	12 次	—	—	4.8	3.9	0.2	18.72	5	5	5	5	5	5	N30° E	2.7 × 1.95	⑤	長	⑤	5	5	

第29表 古代竪穴建物一覧表(3)

遺構番号	次数	建物出土状況		出土遺物	規模			壁厚	壁土	カマド	貯蔵穴	土坑	土坑内	方位	土柱長	長さ	面積	遺構	方向	カマド	貯蔵穴
		地区名	番号		長さ(m)	幅(m)	高さ(m)														
58	91-1082	12次	J-V13	主1	土銅器敷点	1.8	1.8	0.2	23.01	?	?	?	?	?	N107°W	2.1 × 1.8	④	正	⑤	a2 + 2	a1
59	91-1081	12次	—	—	—	4.2	3.8	0.2	16.38	?	?	?	?	?	N107°E	1.8 × 1.5	④	長	①	a2 + 3	a1
60	91-1085	12次	—	—	—	6.3	2.2	0.05	13.86 ±	?	?	?	?	?	3.8 × 2.3 × 2.0	④	正	?	?	?	?
61	91-1088	12次	—	—	—	3.9	3.9	0.3	15.21	?	?	?	?	?	N113°E	1.5 × 1.5	④	正	①	a3	a1
62	91-1090	12次	—	—	—	2.1 ± 0.3	2.6 ± 0.1	0.1	19.14 ±	?	?	?	?	?	N102°E	2.80 × 2.7 × 2.1 ± 1.6	④	長	?	a2 + 3	a1
63	91-1090	12次	—	—	—	5.1	3.1	0.1	27.54	?	?	?	?	?	N09°E	3.0 × 2.4	④	長	①	a2 + 2	a1
64	91-1091	12次	—	—	—	1.8	1.65	0.2	32.65	?	?	?	?	?	N09°E	2.1 × 2.4	④	正	①	a2	a1
65	91-1090	12次	—	—	—	5.9	4.8	0.1	25.92	?	?	?	?	?	N43°E	2.1 × 2.1	④	長	①	a2 + 3	a1
66	91-1090	12次	J-06	内	土銅器片	2.8 ± 0.1	2.1 ± 0.1	0.1	5.88 ± 0	?	?	?	?	?	N117°E	2.1 × 1.8	④	?	?	?	?
67	91-1099	12次	J-74	内	土銅器片	2.1	2.1	0.25	26.01	?	?	?	?	?	N07°W	2.50 × 2.50	④	正	①	a2	a1
68	91-1013	12次	J-15	内	漆器片・土器片	6.0	5.7	0.15	34.2	?	?	?	?	?	N87°E	3.0 × 2.7	④	長	①	a3	a1
69	91-1011	12次	J-16	内	土銅器敷点	5.1	5.1	0.2	26.01	?	?	?	?	?	N108°W	2.7 × 2.4	④	正	①	a2	a1
70	91-1010	12次	J-33	内	土銅器敷点	7.2	6.0	0.2	43.2	?	?	?	?	?	N07°W	3.3 × 3.0	④	長	①	a2 + 3	a0 + 4
71	91-1020	13次	—	—	—	4.3	4.3	0.2	36.25	?	?	?	?	?	N102°W	2.50 × 1.95	④	正	①	a2	a1
72	91-1021	13次	—	—	—	4.5	3.9	0.1	17.55	?	?	?	?	?	N107°W	1.8 × 1.8	④	長	②	?	?
73	91-1031	13次	—	—	—	0.95 ±	0.85 ±	0.05	0.81 ±	?	?	?	?	?	N106°W	1.80 × 1.8	④	長	①	a2 + 3	a1
74	91-1032	13次	—	—	—	6.4	7.95	0.1	66.78	?	?	?	?	?	N20°E	4.5 × 4.35	④	長	①	a2	?
75	91-1034	13次	—	—	—	7.5	7.2	0.1	54	?	?	?	?	?	N08°W	3.9 × 3.6	④	長	①	a2 + 3	a3
76	91-1036	13次	—	—	—	2.5 ± 0.1	2.1 ± 0.1	0.1	5.25 ± 0	?	?	?	?	?	?	—	④	?	?	?	?

第30表 古代土坑一覧表(1)

遺構番号	次数	主なアソビ		規模				大型土坑	ピット土坑	複数遺構	備考
		大地区	小地区	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	面積(m ²)				
1	SK 1017	4次	G	V1	2.3	1.3	0.29	2.99	大型土坑		②
2	SK 1032	4次	G	X4	2.9	2.1 ±	0.1	6.09 ±	大型土坑	ピット土坑	②
3	SK 1036	4次	G	Y2	2.3	1.95	0.33	4.49	大型土坑		②
4	SK 1037	4次	M	和5他	4.1	2.8	0.42	11.48	大型土坑	ピット土坑	②
5	SK 1043	4次	N	C1	4.0	2.9	0.6	11.60	大型土坑	ピット土坑	②
6	SK 1047	4次	M	105	1.85	1.5	0.15	2.78			②
7	SK 1049	4次	N	D7	1.15	0.7	0.44	0.81			②
8	SK 1051	4次	N	E3 + 4	3.0	2.4	0.41	7.20	大型土坑		②
9	SK 1052	4次	M	F22	4.1	3.5	0.45	14.35	大型土坑	ピット土坑	②
10	SK 1053	4次	M	F25	2.8	2.0	0.38	5.60	大型土坑		②
11	SK 1055	4次	N	G4 + 5	1.3	0.7	0.18	0.91			②
12	SK 1056	4次	N	G5	0.75	0.7	0.28	0.53			②
13	SK 1059	4次	M	和5他	4.1	3.1	0.43	12.71	大型土坑		②
14	SK 1060	4次	N	J1	1.5	1.0	0.25	1.50			②
15	SK 1061	4次	M	K23	6.4	5.4	0.3	34.56	大型土坑	ピット土坑	②
16	SK 1064	4次	N	G4	1.15	1.05 ±	0.16	1.21 ±			②
17	SK 1161	5次	K	Q23 + 24	5.6	4.0	0.25	22.40	大型土坑	ピット土坑	②
18	SK 1162	5次	K	Q24	1.25	1.15	0.1	1.44			②
19	SK 1165	5次	L	O5	3.65	3.15	0.1	11.50	大型土坑	ピット土坑	②
20	SK 1167	5次	L	N4	4.0	2.85	0.12	11.40	大型土坑	ピット土坑	②
21	SK 1168	5次	L	N1	1.1	0.9	0.08	0.99			②
22	SK 1169	5次	K	Q24	1.05	0.75	0.28	0.79			②
23	SK 1178	5次	L	N1	0.9	0.75	0.23	0.68			②
24	SK 1202	8次	G	W16	0.7	0.6	0.15	0.42			②
25	SK 1206	8次	N	J13	3.1	2.1	0.54	6.31	大型土坑	ピット土坑	②
26	SK 1208	8次	N	H14	1.8	0.75	0.2	1.35			②
27	SK 1210	8次	N	G15	2.3	1.55	0.43	3.57	大型土坑	SK1211 + 土遺構	②
28	SK 1211	8次	N	G15	4.0 ±	3.35	0.43	14.2 ±	大型土坑	SK1210 + 土遺構	②
29	SK 1214	8次	N	J11	3.3	2.0	0.45	6.60	大型土坑	SK1211 + 1216 + 土遺構	②
30	SK 1215	8次	N	H10	7.2	2.7 ±	0.26	19.44 ±	大型土坑	SK1214 + 1216 + 土遺構	②
31	SK 1216	8次	N	H11	6.9	3.45	0.35	23.81	大型土坑	SK1214 + 1215 + 土遺構	②
32	SK 1217	8次	N	H10	1.3	1.1	0.22	1.43			②
33	SK 1221	8次	N	I14	3.9	2.7	0.14	10.53	大型土坑	ピット土坑	②
34	SK 1224	8次	N	I11	3.0	2.25	0.16	6.75	大型土坑	ピット土坑	②
35	SK 1225	8次	N	K1	1.75	1.7	0.17	2.98			②
36	SK 1227	8次	M	I25	2.8	1.25	0.33	4.90	大型土坑		②
37	SK 1229	8次	M	I24	1.1	0.8 ±	0.18	0.88 ±			②
38	SK 1230	8次	M	K24	2.15	1.4	0.38	3.01	大型土坑		②
39	SK 1231	8次	M	I23 + 24	0.8	0.6	0.1	0.48			②

第30表 古代土坑一覧表(2)

遺構番号	次数	主なグッド		組別				大塚土坑	ピット土坑	機軸番	場所
		大地区	小地区	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	面積(㎡)				
40	SK 1315	9次	K	E14	2.3	0.8 5	0.14	1.84 5	大塚土坑		㊦
41	SK 1323	9次	K	M7他	2.6	0.6	0.14	1.56	大塚土坑		㊦
42	SK 1427	10次	F	W11他	5.4	3.9	0.4	20.52	大塚土坑	ピット土坑	SK1428と重なり
43	SK 1428	10次	F	X11	2.4	1.8 5	0.36	4.32 5	大塚土坑	ピット土坑	SK1427と重なり
44	SK 1439	10次	F	X11	1.6 5	1.45	0.22	2.32 5		ピット土坑	
45	SK 1437	10次	M	A10	3.8	2.8	0.31	10.64	大塚土坑		㊦
46	SK 1430	10次	M	A17他	3.6	3.4	0.3	12.24	大塚土坑		㊦
47	SK 1445	10次	M	C12他	4.7	3.0	0.38	14.10	大塚土坑		㊦
48	SK 1447	10次	M	C15他	4.0	2.5	0.2	10.00	大塚土坑	ピット土坑	㊦
49	SK 1448	10次	M	C16他	4.2	2.6	0.26	10.92	大塚土坑		㊦
50	SK 1449	10次	M	D15・16	2.5	2.4	0.3	6.00	大塚土坑	ピット土坑	㊦
51	SK 1451	10次	M	E12他	2.8	2.3	0.26	6.44	大塚土坑		㊦
52	SK 1453	10次	M	C13・14	2.1	1.7	0.28	3.57	大塚土坑		㊦
53	SK 1503	11次	L	M8・9	4.3	3.0	0.1	12.90	大塚土坑	ピット土坑	㊦
54	SK 1505	11次	L	K9他	1.7	0.75	0.4	1.28			㊦
55	SK 1509	11次	L	E15他	4.2	2.85	0.35	16.17	大塚土坑	ピット土坑	SK1510と重なり
56	SK 1510	11次	L	F14他	5.4	4.45	0.3	24.03	大塚土坑	ピット土坑	SK1509と重なり
57	SK 1520	11次	L	K13他	4.0	3.7	0.2	14.80	大塚土坑	ピット土坑	SK1526と重なり
58	SK 1524	11次	L	E13他	2.7 5	2.6	0.2	7.02 5	大塚土坑	ピット土坑	SK1542と重なり
59	SK 1526	11次	L	K12	5.3	4.95	0.35	26.24	大塚土坑	ピット土坑	SK1520と重なり
60	SK 1531	11次	L	M12他	2.05	1.3	0.1	2.67	大塚土坑		㊦
61	SK 1538	11次	L	K16他	4.7	3.5	0.4	16.45	大塚土坑	ピット土坑	㊦
62	SK 1542	11次	L	E13他	4.0 5	2.4	0.4	9.6 5	大塚土坑	ピット土坑	SK1524と重なり
63	SK 1543	11次	L	J19他	4.5	4.45	0.3	20.03	大塚土坑	ピット土坑	㊦
64	SK 1545	11次	L	H17他	6.45	4.1 5	0.1	26.45 5	大塚土坑	ピット土坑	㊦
65	SK 1560	11次	L	H17	1.35	0.9	0.15	1.22			㊦
66	SK 1563	11次	L	D20他	4.6	4.4	0.2	20.24	大塚土坑	ピット土坑	㊦
67	SK 1566	11次	L	D20他	1.4	1.0	0.43	1.40			㊦
68	SK 1567	11次	L	F21	2.4	1.6	0.35	3.84	大塚土坑	ピット土坑	SK1568・1569・1572と重なり
69	SK 1568	11次	L	F20他	2.5	2.15	0.4	5.38	大塚土坑	ピット土坑	SK1567・1569・1572と重なり
70	SK 1569	11次	L	F20他	4.7	4.3	0.4	20.21	大塚土坑	ピット土坑	SK1567・1568・1569と重なり
71	SK 1572	11次	L	F21	1.8	1.3	0.35	2.34		ピット土坑	SK1567・1568・1569と重なり
72	SK 1589	11次	L	A24	1.05	0.9	0.25	0.95			㊦
73	SK 1591	11次	M	E2	2.0	1.8	0.3	3.60	大塚土坑		㊦
74	SK 1709	11次	M	F9他	1.8	1.6	0.2	2.88			㊦
75	SK 1711	11次	M	D9他	2.2	2.1	0.4	4.62	大塚土坑		SK1712と重なり
76	SK 1712	11次	M	D10	2.7	2.0	0.45	5.40	大塚土坑		SK1711と重なり
77	SK 1715	11次	M	F11	1.65	1.4	0.2	2.31			㊦
78	SK 324	11次	L	O6・7	4.0	3.8	0.15	15.20	大塚土坑	ピット土坑	㊦
79	SK 1601	12次	K	F20他	6.4	3.65	0.25	23.36	大塚土坑	ピット土坑	㊦
80	SK 1602	12次	K	M23他	4.1	3.35	0.1	13.74	大塚土坑		㊦
81	SK 1603	12次	K	Q22他	0.95	0.85	0.3	0.81			㊦
82	SK 1608	12次	K	S14他	0.8	0.8	0.1	0.64			㊦
83	SK 1609	12次	K	P15・16	2.5	2.35	0.25	5.88	大塚土坑		㊦
84	SK 1610	12次	K	N16他	8.45	5.4	0.2	45.63	大塚土坑	ピット土坑	㊦
85	SK 1615	12次	K	L13	1.35	0.95	0.15	1.28			㊦
86	SK 1616	12次	K	J11他	0.9	0.8	0.1	0.72			㊦
87	SK 1622	12次	K	T5・6	1.0	0.75	0.2	0.75			㊦
88	SK 1630	12次	Q	A18	1.0	0.95	0.45	0.95			㊦
89	SK 1633	12次	K	O9・10	2.1	1.45	0.15	3.05	大塚土坑		㊦
90	SK 1634	12次	K	N7他	3.9	3.3	0.25	12.87	大塚土坑		㊦
91	SK 1658	12次	J	P13他	4.55	2.5	0.1	11.38	大塚土坑	ピット土坑	㊦
92	SK 1668	12次	J	P9・10	6.2 5	2.1	0.2	13.02 5	大塚土坑		㊦
93	SK 1669	12次	J	Q13他	6.2	3.45	0.1	21.29	大塚土坑	ピット土坑	㊦
94	SK 1673	12次	J	V9他	3.65 5	3.25	0.05	11.86 5	大塚土坑	ピット土坑	SK1815と重なり
95	SK 1687	12次	Q	A10	1.45	0.75	0.1	1.69			㊦
96	SK 1699	12次	K	J23他	1.2	1.15	0.25	1.38			㊦
97	SK 1802	13次	J	F96他	1.8	1.5	0.1	2.70			㊦
98	SK 1803	13次	J	P5・6	1.0	0.9	0.1	0.90			㊦
99	SK 1804	13次	J	P5	0.7	0.5	0.1	0.35			㊦
100	SK 1806	13次	J	H0他	1.5	1.4	0.1	2.10			㊦
101	SK 1807	13次	J	S5	2.9	2.6	0.1	7.54	大塚土坑	ピット土坑	SK1810と重なり
102	SK 1810	13次	J	S5他	1.7	0.6 5	0.15	1.02 5			㊦
103	SK 1811	13次	J	T23他	4.9	3.8	0.15	18.62	大塚土坑	ピット土坑	㊦
104	SK 1815	13次	J	V8他	4.9	3.3	0.15	16.17	大塚土坑	ピット土坑	SK1673と重なり
105	SK 1816	13次	J	W8・9	3.45	2.4	0.15	8.28	大塚土坑		㊦
106	SK 1819	13次	J	L2・3	3.25	2.7	0.25	8.78	大塚土坑		SK1823と重なり
107	SK 1823	13次	J	L2他	2.0	1.95	0.1	3.90	大塚土坑		SK1819と重なり
108	SK 1830	13次	Q	A9他	2.2 5	1.4	0.15	3.06 5	大塚土坑		㊦

第31表 古代掘立柱建物・柱列一覧表(1)

(●) 桁行中央の柱間が広い掘立柱建物

遺跡番号	次数	遺物出土 状況	出土遺物	柱類	基礎				柱間 (計測 北→南・西→東→)		間数	柱方位	方向	備考				
					桁行 (m)	並行 (m)	面積 (㎡)		桁行 (m)	並行 (m)								
1	SR 1045	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-22 P2 縄文土器片	竪柱	4.7	3.8	3.6	15.96	11.12	1.4等間								
2	SR 1063	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-24 P2 土師製灰点 M-25 P3 土師製灰点 M-26 P4 土師製灰点 M-27 P5 土師製灰点 M-28 P6 土師製灰点 M-29 P7 土師製灰点 M-30 P8 土師製灰点 M-31 P9 土師製灰点 M-32 P10 土師製灰点 M-33 P11 土師製灰点 M-34 P12 土師製灰点	竪柱	6.9	4.35		30.02		2.8 + 2.45 + 2.8 + 2.65		北2.5 + 2.35 + 2.5 南2.5 + 2.3 + 2.35	4 × 3	南北柱	N-30' - 4	0		
3	SR 1066	炊	M-24 P1 土師製灰点 M-25 P2 土師製灰点	竪柱	5.25	3.9		20.48		2.8 + 2.8 + 2.65		2.25 + 2.65	3 × 2	南北柱	N-30' - 4	0		
4	SR 1067	炊	M-21 P1 土師製灰点 M-22 P2 土師製灰点 M-23 P3 土師製灰点 M-24 P4 土師製灰点 M-25 P5 土師製灰点 M-26 P6 土師製灰点 M-27 P7 土師製灰点 M-28 P8 土師製灰点 M-29 P9 土師製灰点 M-30 P10 土師製灰点 M-31 P11 土師製灰点 M-32 P12 土師製灰点	竪柱 (●)	5.7	3.9		22.23		2.65 + 2.25 + 2.9		2.90等間		3 × 2	南北柱	N-30' - 4	0	
5	SR 1068	炊	M-22 P1 土師製灰点 M-23 P2 土師製灰点 M-24 P3 土師製灰点	竪柱	6.8	3.6		24.48		2.2等間		2.2等間	4 × 2	東西柱	N-3' - 4	0		
6	SR 1069	炊	M-22 P1 土師製灰点 M-23 P2 土師製灰点 M-24 P3 土師製灰点 M-25 P4 土師製灰点 M-26 P5 土師製灰点 M-27 P6 土師製灰点 M-28 P7 土師製灰点 M-29 P8 土師製灰点 M-30 P9 土師製灰点 M-31 P10 土師製灰点 M-32 P11 土師製灰点 M-33 P12 土師製灰点	竪柱	7.2	4.35		31.32		西3.45 + 2.25 + 2.5 東2.3 + 2.15 + 2.15 + 2.9		2.35 + 2.4		4 × 2	南北柱	N-34' - 4	0	
7	SR 1070	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-24 P2 土師製灰点 M-25 P3 土師製灰点 M-26 P4 土師製灰点	竪柱	5.7	3.4	5.4	4.95	30.78	26.75		西1.65 + 2.1 + 2.65 東1.95 + 2.25 + 2.65		北2.8 + 2.65 + 2.5 南2.65 + 2.65 + 2.9	3 × 3	南北柱	N-42' - 4	0
8	SR 1071	炊	—	—	竪柱	6.8	4.2		27.72		2.60等間		2.2等間	4 × 2	東西柱	N-30' - 4	0	
9	SR 1072	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-24 P2 土師製灰点 M-25 P3 土師製灰点 M-26 P4 土師製灰点 M-27 P5 土師製灰点 M-28 P6 土師製灰点 M-29 P7 土師製灰点 M-30 P8 土師製灰点 M-31 P9 土師製灰点 M-32 P10 土師製灰点 M-33 P11 土師製灰点 M-34 P12 土師製灰点	竪柱	7.8	3.4		46.12		2.90等間		2.90等間		4 × 3	東西柱	N-4' - 4	0	
10	SR 1081	炊	M-25 P1 土師製灰点 M-26 P2 土師製灰点 M-27 P3 土師製灰点 M-28 P4 土師製灰点 M-29 P5 土師製灰点 M-30 P6 土師製灰点 M-31 P7 土師製灰点 M-32 P8 土師製灰点 M-33 P9 土師製灰点 M-34 P10 土師製灰点 M-35 P11 土師製灰点 M-36 P12 土師製灰点	竪柱	5.65	3.9		22.02		2.90等間		2.90等間		3 × 2	南北柱	N-14' - 4	0	
11	SR 1082	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-24 P2 土師製灰点 M-25 P3 土師製灰点 M-26 P4 土師製灰点 M-27 P5 土師製灰点 M-28 P6 土師製灰点 M-29 P7 土師製灰点 M-30 P8 土師製灰点 M-31 P9 土師製灰点 M-32 P10 土師製灰点 M-33 P11 土師製灰点 M-34 P12 土師製灰点	竪柱	3.3	3.9		9.90		西1.2 + 0.9 + 2.2 東1.5 + 0.9 + 0.9		2.2等間		3 × 2	南北柱	N-2' - 4	0	
12	SR 1084	炊	M-23 P1 土師製灰点	竪柱	4.2	4.2		17.64		2.2等間		2.2等間	2 × 2	-	N-12' - 4	0		
13	SR 1085	炊	—	—	竪柱	6.4	3.6		23.76		2.4 + 2.1 + 2.1		2.45 + 2.95	3 × 2	南北柱	N-30' - 4	0	
14	SR 1086	炊	—	—	竪柱	6.3	4.5		28.35		南1.65 + 2.1 + 2.35		2.25等間	3 × 2	東西柱	N-4' - 4	0	
15	SR 1087	炊	M-23 P1 土師製灰点	竪柱	3.65	3.6		39.96		南1.65 + 2.0 + 2.2 西1.65 + 2.2		北2.9 + 2.5 + 2.4 南2.2 + 2.95 + 2.65	3 × 3	南北柱	N-30' - 4	0		
16	SR 1088	炊	M-22 P1 土師製灰点 M-23 P2 土師製灰点 M-24 P3 土師製灰点 M-25 P4 土師製灰点 M-26 P5 土師製灰点 M-27 P6 土師製灰点 M-28 P7 土師製灰点 M-29 P8 土師製灰点 M-30 P9 土師製灰点 M-31 P10 土師製灰点 M-32 P11 土師製灰点 M-33 P12 土師製灰点	竪柱	4.95	3.9		39.31		2.60等間		2.8 + 2.1		3 × 2	南北柱	N-11' - 4	0	
17	SR 1089	炊	M-23 P1 土師製灰点 M-24 P2 土師製灰点 M-25 P3 土師製灰点 M-26 P4 土師製灰点 M-27 P5 土師製灰点 M-28 P6 土師製灰点 M-29 P7 土師製灰点 M-30 P8 土師製灰点 M-31 P9 土師製灰点 M-32 P10 土師製灰点 M-33 P11 土師製灰点 M-34 P12 土師製灰点	竪柱 (●)	6.4	4.2		27.72		北2.4 + 2.4 + 2.8 南1.8 + 2.3 + 2.5		2.4 + 2.4		3 × 2	東西柱	N-30' - 4	0	

第 31 表 古代据立柱建物・柱列一覧表 (2)

遺跡番号	古名	遺跡出土状況		柱種	断面			柱間 (計測 北→南・西→東)	間数	柱方位	方位	備考			
		地区名	番号		幅 (m)	奥行 (m)	高さ (m)								
18	58-1050	吹	M-425	P1	圓柱	3.4	3.75	38.25	1.8等間	1.95+1.8	3×2	東西棟	N-37°-4	D	
				土俵跡(基点)											
				土俵跡(基点)											
				P5											
				P6											
				P7											
				P8											
				P9											
				P10											
19	58-1051	吹	M-425	P1	圓柱	3.55	4.95	27.47	1.8+1.8+1.95	西1.2+2.25+1.5 東1.3+1.8+1.65	3×3	東西棟	N-20°-4	D	
				土俵跡(基点)											
				P9											
20	58-1052	吹	M-122	P1	圓柱	6.15	3.9	23.99	1.5+1.5+1.5+1.65	1.95等間	4×2	南北棟	N-90°-4	D	
				土俵跡(基点)											
21	58-1167	吹	N-100	P1	圓柱	3.6	3.3	11.88	1.65+1.2+1.35	1.65等間	3×2	東西棟	N-19°-4	D	
22	58-1168	吹	L-40	P1	圓柱	3.0	2.7	8.10	1.9等間	1.35等間	2×2	東西棟	N-17°-4	D	
				P2											
				P3											
				P4											
				P5											
				P6											
23	58-1169	吹	K-725	P1	圓柱 (方)	2.8	3.7	33.48	1.8+2.1+2.1+1.8	2.1+1.8+1.8	4×3	東西棟	N-17°-4	D	
				P2											
24	58-1169	吹	L-103	P1	圓柱	2.4	4.2	22.68	1.9等間	2.1等間	3×2	東西棟	N-20°-4	D	
25	58-1181	吹	—	—	圓柱 (方)	5.4	3.6	18.44	1.5+2.4+1.5	1.8等間	3×2	東西棟	N-54°-4	D	
26	58-1182	吹	—	—	圓柱	2.1	1.8	5.76	1.65等間	0.9等間	2×2	東西棟	N-10°-4	D	
27	58-1192	吹	L-102	P1	圓柱	3.6	3.3	11.88	1.8等間	1.65等間	2×2	東西棟	N-0°	D	
				P2											
				P3											
				P4											
28	58-1194	吹	K-103	P1	圓柱	6.55	4.2	36.465	2.1等間	2.1等間	2.0×2	東西棟	N-27°-4	D	
				土俵跡(基点)											
29	5A-1195	吹	K-104	P1	柱列	5.4	2.1	—	1.2+1.2+1.9+1.5	1.65等間	4×2	南北	N-49°-4	D	
30	58-1196	吹	—	—	圓柱	6.4	1.5	32.80	1.8+2.4+2.4+1.8	2.25等間	4×2	南北棟	N-12°-4	D	
31	58-1201	吹	K-114	P1	圓柱	4.2	4.2	17.64	1.5+1.55+1.55	1.5+1.55+1.55	3×3	—	N-60°-4	D	
32	58-1228	吹	M-125	P1	圓柱	2.7	1.55	4.655	1.2+1.5	1.5	2×1.5	東西棟	N-57°-4	D	
				土俵跡(基点)											
				礎石(基点)											
				土俵跡(基点)											
				礎石(基点)											
				礎石(基点)											
33	58-1269	吹	—	—	圓柱	9.3	3.65	27.965	北1.8+1.95+1.95+1.8+1.8	西1.5等間	2×2.5	東西棟	N-4°-4	D	
															土俵跡(基点)
															礎石(基点)
															礎石(基点)
34	58-1314	吹	K-103	P1	圓柱	3.3	3.3	18.49	1.65等間	1.65等間	2×2	—	N-25°-4	D	
35	58-1317	吹	K-110	P1	圓柱	11.1	4.5	49.95	北1.5+1.8+1.8+2.1+1.8+2.1 南1.65+1.65+1.65+4.65	西1.2等間	6×2	東西棟	N-12°-4	D	
36	58-1321	吹	K-110	P1	圓柱	8.65	3.9	15.80	1.35等間	1.35等間	3×2	南北棟	N-30°-4	D	
37	58-1330	吹	—	—	圓柱	6.35	3.65	16.965	1.65+1.65+1.5+1.5	1.3等間	45°×25°	東西棟	N-30°-4	D	
38	58-1328	吹	—	—	圓柱 (方)	5.7	3.65	21.5	21.96	北1.2+1.45+1.5+1.2 南1.35+1.5+1.5+1.35	西1.2等間 南1.35等間 北1.35+1.35 南1.3+2.1	3×2	南北棟	N-18°-4	D
39	58-1332	吹	—	—	圓柱	4.2	3.6	15.12	13.68	2.1等間	2×2	南北棟	N-2°-4	D	
40	58-1436	掘	F-101	P1	圓柱 (方)	6.9	3.9	25.80	1.95+2.1+1.95	1.95等間	3×2	南北棟	N-54°-4	D	
41	58-1440	掘	M-119	P1	礎石(基点)	4.95	3.9	19.31	1.65等間	2.1+1.8	3×2	東西棟	N-17°-4	D	

第 31 表 古代獨立柱建物・柱列一覽表 (3)

遺跡番号	次期	遺跡出土 柱之 地区名	遺跡 番号	出土遺物	柱類	規模			柱間 (計測 北→南・西→東→)		間数	柱方位	方位	備考	
						柱行 (m)	梁行 (m)	柱深 (m)	柱行 (m)	梁行 (m)					
42 第 1843	30C				竪柱	3.7	3.0	31.64	1.95 × 1.8 × 1.95	1.95 × 1.8 × 1.8	3 × 3	南西側	N-137' -4	13	
															東 813 P2 土師器敷瓦 施土器敷瓦
															東 813 P1 土師器敷瓦
															東 814 P1 土師器片
															東 C13 P1 土師器敷瓦
43 第 1884	11C	—	—	—	竪柱	3.8	3.2	12.16	1.1 × 1.3 × 1.4	1.8等間	3 × 2	東西側	N-217' -4	12	
															東 1302 11C — — —
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
44 第 1822	11C	—	—	—	竪柱	2.4	2.15	5.40	1.2等間	2.15	2 × 1	東西側	N-42' -8	12	
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片 土師器敷瓦
45 第 1823	11C	—	—	—	竪柱	2.4	2.15	5.40	1.2等間	2.15	2 × 1	東西側	N-19' -4	12	
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
46 第 1828	11C	—	—	—	竪柱	4.6	3.3	13.18	北1.1 × 1.5 × 4.8 × 1.1 南1.1 × 2.4 × 1.1	3.3	4 × 1 (3 × 1)	東西側	N-14' -8	12	
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
47 第 1848	11C	—	—	—	竪柱	4.5	3.6	16.20	北1.1 × 2.1 南1.2 × 2.8 × 1.2	1.8等間	3 × 2	東西側	N-117' -8	12	
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-438 P1 土師器片
48 第 1851	11C	—	—	—	竪柱	3.6	3.6	12.96	1.8等間	1.8等間	2 × 2	—	N-11' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P5 施土器敷瓦
															東 1303 11C 1-438 P6 土師器敷瓦
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
49 第 1852	11C	—	—	—	竪柱	3.1	3.3	16.83	1.2 × 2.7 × 1.2	1.65等間	3 × 2	南西側	N-67' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
50 第 1858	11C	—	—	—	竪柱	3.4	4.2	22.68	1.5 × 2.4 × 1.5	北1.8 × 2.4 南1.7 × 1.5	3 × 2	南西側	N-32' -4	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
51 第 1871	11C	—	—	—	竪柱	3.4	4.2	22.68	1.5 × 2.4 × 1.5	2.1等間	3 × 2	東西側	N-117' -4	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
52 第 1874	11C	—	—	—	竪柱	6.6	4.8	29.70	1.65等間	1.5等間	4 × 3	東西側	N-117' -4	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
53 第 1875	11C	—	—	—	竪柱	3.4	3.3	17.82	北1.2 × 2.7 × 1.5 南1.3 × 2.7 × 1.2	1.65等間	2 × 1	東西側	N-6' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
54 第 1876	11C	—	—	—	竪柱	6.0	5.1	30.60	1.5等間	1.65 × 1.8 × 1.65	4 × 3	東西側	N-117' -4	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
55 第 1877	11C	—	—	—	竪柱	6.6	5.1	33.66	1.8 × 3.0 × 1.8	北1.5 × 1.8 × 1.8 南1.8 × 1.8 × 1.5	2 × 3	東西側	N-2' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
56 第 1878	11C	—	—	—	竪柱	3.9	3.6	14.04	1.95等間	1.8等間	2 × 2	東西側	N-217' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
57 第 1883	11C	F-17	F-17	粘土土師器	竪柱	6.75	4.2	28.35	北1.5 × 1.8 × 1.8 × 1.8 南1.5 × 1.8 × 1.8 × 1.65	北1.65 × 2.15 南1.5 × 2.1	4 × 2	東西側	N-2' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
58 第 1894	11C	東 58	F2	土師器片	竪柱	6.9	5.1	35.19	1.8 × 1.65 × 1.65 × 1.8	北1.8 × 1.5 × 1.8 南1.5 × 1.8 × 1.8	4 × 3	東西側	N-6' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
59 第 1898	11C	東 818	F1	土師器片	竪柱	6.6	4.35	28.71	1.65等間	北1.15 × 2.6 南1.5 × 1.5 × 1.15	4 × 3	東西側	N-217' -8	12	
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片
															東 1303 11C 1-218 P1 土師器片

第 31 表 古代掘立柱建物・柱列一覧表 (4)

遺構番号	高さ	掘立土壁		柱列	壁幅			柱間 (計測 北→南・西→東)		間数	柱方向	方位	備考
		地区名	番号		掘立 (m)	壁行 (m)	間幅 (m)	掘立 (m)	壁行 (m)				
60 第 1710	112			K-108 P10	掘立	4.2	3.9	16.36	2.1等間	1.90等間	2 × 2	東西	9°10' - 9
				K-111 P1									
				K-111 P1									
				K-112 P1									
61 第 1729	112			K-119 P1	掘立	6.6	4.95	22.47	1.65等間	1.65等間	4 × 3	東西	9°15' - 4
				K-120 P1									
				K-120 P2									
				K-121 P1									
62 第 1730	112			K-126 P2	掘立	6.45	5.3	21.29	1.65+1.65+1.65+1.5	1.65等間	4 × 2	東西	9°17' - 4
				K-127 P1									
63 第 1604	112			K-107 P1	掘立	6.23	5.10	45.79	北1.8+1.25+1.65+1.65+1.8 南1.8+1.65+1.5+1.5+1.8	1.95+1.8+1.8	3 × 3	東西	9°20' - 6
				K-108 P1									
				K-116 P1									
				K-120 P1									
64 第 1612	112			K-117 P1	掘立	10.8	4.2	45.36	2.1+2.1+2.1+2.4+2.1	2.1等間	3 × 2	東西	9°12' - 6
65 第 1613	112			K-113 P1	掘立	7.65	5.55	39.13	北1.65+1.8+1.8+1.8 南1.8+1.8+1.8+1.65	南1.8+1.95+1.8 北1.95+1.8+1.8	4 × 3	東西	9°18' - 9
				K-103 P1									
				K-114 P1									
				K-114 P2									
				K-114 P3									
66 第 1614	112			K-112 P1	掘立	6.6	5.55	36.43	南1.65+1.65+1.55+1.95 北1.65+1.5+1.65+1.9	北1.65+1.8+1.1 南1.65+1.95+1.95	4 × 3	南北	9°15' - 6
				K-112 P2									
				K-112 P3									
				K-112 P4									
				K-112 P5									
				K-112 P6									
				K-112 P7									
				K-112 P8									
				K-112 P9									
				K-112 P10									
				K-112 P11									
				K-112 P12									
				K-112 P13									
				K-112 P14									
67 第 1618	112			K-115 P1	掘立	5.23	3.3	17.33	1.5+2.1+1.65	1.65等間	3 × 2	東西	9°17' - 6
68 第 1619	112			K-115 P2	掘立	3.75	3.3	12.38	1.8+1.95	1.65等間	2 × 2	南北	9°21' - 6
69 第 1630	112			K-115 P3	掘立	3.45	3.45	11.90	1.8+1.95	1.65+1.8	2 × 2	—	9°20' - 6
70 第 1621	112			K-115 P4	掘立	6.0	3.6	21.60	1.65+1.95+1.95+1.65	1.8等間	4 × 3	東西	9°17' - 6
71 第 1626	112			K-115 P5	掘立	6.6	4.95	22.47	1.65等間	南1.95+1.35+1.65 北1.8+1.25+1.6	4 × 3	東西	9°7' - 4
72 第 1627	112			K-115 P6	掘立	5.7	3.9	22.33	南1.65+1.65+1.5+1.5 北1.35+1.5+1.5	1.8+2.1	4 × 2	南北	9°19' - 6
73 第 1632	112			K-115 P7	掘立	4.63	4.65	18.43	1.5+1.65+1.5	1.95+2.1	3 × 2	東西	9°9' - 6
74 第 1636	112			K-116 P10	掘立	4.2	3.6	12.48	1.35+1.9+1.35	1.65+0.9+1.65	3 × 3	東西	9°21' - 6
				K-116 P9									
				K-116 P8									
				K-116 P7									
75 第 1637	112			K-116 P6	掘立	6.0	3.9	23.40	北1.2+1.8+1.65+1.35 南1.2+1.65+1.8+1.35	南2.1+1.8 北1.8+1.1	4 × 2	東西	8°4' - 8
76 第 1638	112			K-116 P5	掘立	3.0	2.7	8.10	1.8等間	1.35等間	2 × 2	東西	9°7' - 4
77 第 1642	112			K-116 P4	掘立	6.6	4.8	21.68	1.65等間	1.65+1.5+1.65	4 × 3	東西	9°7' - 4
				K-116 P3									
78 第 1665	112			K-116 P2	掘立	4.8	3.6	17.28	1.2+2.4+1.2	1.8等間	3 × 2	東西	9°20' - 6
				K-116 P1									
				K-116 P1									
				K-116 P1									
79 第 1666	112			K-116 P1	掘立	4.8	3.6	17.28	2.4等間	1.8等間	2 × 2	東西	9°26' - 6

第 31 表 古代獨立柱建物・柱列一覽表 (5)

遺跡番号	式名	遺跡出土物		出土地物	柱種	柱間			柱間 (計測 北→南・西→東)	間数	棟方位	方位	備考					
		地区名	番号			柱径 (cm)	柱行 (cm)	間隔 (cm)										
89	遺 1607	13区	J-512	円	土師製灰片	類似 (*)	6.9	4.63	27.90	1.2+1.8+1.8+1.2	1.5+1.45+1.5	4 × 3	東西棟	N-12°-E	①			
			J-413	円	土師製灰片													
			J-413	円	土師製灰片・燻色灰片													
			J-414	円	土師製多角形燻色灰片													
			J-513	円	燻色灰片													
81	遺 1691	13区	J-416	円	土師製灰片燻色灰片	類似 (*)	6.75	4.2	28.30	北: 0+1.45+1.45+1.45 南: 0+1.8+1.5+1.45	南: 0.5+1.35+1.2 北: 1.5+1.2	4 × 3	東西棟	N-30°-E	①			
			J-416	円	土師製灰片													
			J-416	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-416	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-417	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-417	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-417	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-417	円	土師製灰片燻色灰片													
82	遺 1697	13区	J-410	円	土師製灰片	類似 (*)	6.45	4.65	29.90	北: 0+1.5+1.35+1.8 南: 0+1.35+1.5+1.8	西: 0+1.35+1.5 東: 1.5+1.35+1.35	4 × 3	東西棟	N-32°-E	①			
			J-411	円	土師製燻色灰片燻色灰片													
			J-412	円	土師製灰片													
			J-412	円	土師製多角形燻色灰片													
			J-412	円	土師製灰片													
			J-412	円	土師製灰片燻色灰片													
			J-412	円	土師製灰片													
83	遺 1698	13区	J-79	円	燻色灰片土師製灰片	類似 (*)	5.55	3.43	19.15	1.95+1.45+1.95	1.95+1.5	3 × 2	南北棟	N-17°-E	①			
			J-79	円	土師製灰片													
84	遺 1693	13区	—	—	—	類似 (*)	6.4	3.4	23.64	北: 0+1.8+1.45+1.8 南: 0+1.5+1.45+1.45	1.8等間	4 × 3	東西棟	N-29°-E	①			
85	遺 1612	13区	—	—	—	類似 (*)	4.65	4.5	26.50	1.45+1.5+1.5	1.5等間	3 × 3	東西棟	N-27°-E	①			
86	遺 1611	13区	J-36	円	土師製灰片	類似 (*)	4.95	3.6	17.42	1.5+1.95+1.5	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-31°-E	①			
			J-36	円	土師製灰片													
87	遺 1622	13区	J-42	円	土師製灰片	類似 (*)	7.05	5.25	37.91	1.8+1.8+1.8+1.45	1.8+1.45+1.8	4 × 3	東西棟	N-12°-E	①			
			J-42	円	土師													
88	遺 1624	13区	—	—	—	類似 (*)	3.0	3.0	9.00	1.0等間	1.0等間	2 × 2	—	N-17°-E	①			
89	遺 1625	13区	J-424	円	土師製灰片燻色灰片燻色灰片	類似 (*)	5.55	3.6	19.90	1.8+1.95+1.8	1.8等間	3 × 2	南北棟	N-0°-E	①			
			J-424	円	土師製灰片													
90	遺 1626	13区	J-421	円	燻色灰片燻色灰片燻色灰片	類似 (*)	5.4	3.3	11.90	1.8等間	1.45等間	2 × 2	南北棟	N-12°-E	①			
91	遺 1629	13区	Q-97	円	土師製灰片	類似 (*)	3.8	3.6	2.4	0.12	0.64	1.2等間	2 × 2	東西棟	N-18°-E	①		
			Q-97	円	土師製灰片													
92	遺 1633	13区	Q-82	円	土師製灰片	類似 (*)	7.5	3.6	27.00	1.8+1.8+1.95+1.95	1.8等間	4 × 2	東西棟	N-7°-E	①			
			Q-84	円	土師製灰片													
			Q-84	円	土師製灰片燻色灰片燻色灰片													
			Q-84	円	土師製灰片燻色灰片燻色灰片													
			Q-83	円	土師製灰片													
			Q-83	円	土師製灰片													
			Q-84	円	土師製燻色灰片燻色灰片燻色灰片													
			Q-84	円	土師製燻色灰片燻色灰片燻色灰片													
93	遺 1635	13区	Q-97	円	土師製灰片	類似 (*)	4.2	3.6	15.12	0.1等間	1.8等間	2 × 2	東西棟	N-12°-E	①			
94	遺 1645	13区	—	—	—	柱列	5.25	—	—	1.5+1.95+1.8	—	3	東西	N-61°-E	①			
95	遺 1643	13区	J-19	円	土師製灰片	類似 (*)	4.5	3.6	16.20	1.8等間	1.8等間	3 × 2	東西棟	N-21°-E	①			
			J-19	円	土師製灰片													
96	遺 1644	13区	—	—	—	類似 (*)	4.5	4.35	6.3	4.2	20.25	16.20	2.4+2.1 1.65+2.1	2.25等間 1.65+1.95	2 × 2	東西棟	N-15°-E	①
			—	—	—													
97	遺 1645	13区	—	—	—	類似 (*)	4.2	3.3	13.86	0.1等間	1.45等間	2 × 2	南北棟	N-0°-E	①			
98	遺 1647	13区	—	—	—	類似 (*)	5.75	5.1	28.075	2.1+1.8+1.8	1.2+1.35+1.2+1.35	3.5 × 4	東西棟	N-21°-E	①			
99	遺 1648	13区	J-105	円	土師製灰片	類似 (*)	6.9	5.65	40.37	2.1+2.1+2.2	2.1+2.1+1.45	3 × 3	東西棟	N-11°-E	①			

第 32 表 遺物観察表 (1)

報告番号	調査場所	種類	調査者	出土位置 等について	出土遺物等	計測値 (mm)		調査状況の概要	状態	用途	備考			
						長さ	幅							
1	401-01	縄文土器	深鉢	F-025	30100 No. 8			内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石多量	良	小片		
2	401-02	縄文土器	深鉢	F-021	30100 No. 8			内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片		
3	401-03	石製品	磨石	F-025	30100 No. 9	112.8	8.7	2.3						長さ 112.8 mm 幅 8.7 mm 厚さ 2.3 mm
4	401-04	石製品	砥石	F-025	30100 No. 9	111.9	10.3	10.0						長さ 111.9 mm 幅 10.3 mm 厚さ 10.0 mm
5	401-05	石製品	砥石	F-025	30100 No. 9	8.8	9.1	1						長さ 8.8 mm 幅 9.1 mm 厚さ 1 mm
6	401-06	石製品	磨石	F-025	30100 No. 10	8	7.4	2.4						長さ 8 mm 幅 7.4 mm 厚さ 2.4 mm
7	401-07	石製品	磨石	F-025	30100 No. 10	5.7	3.8	1.18						長さ 5.7 mm 幅 3.8 mm 厚さ 1.18 mm
8	401-07	縄文土器	深鉢	F-025	30102				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	層 (~5m) 粘土石	良	小片	
9	401-08	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 7				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石少量	良	小片	
10	401-01	縄文土器	深鉢	F-025	30102				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	層 (~2m) 粘土石	良	小片	破片確認
11	401-04	縄文土器	深鉢	F-021	30102 No. 22				内: 土器 外: 土器	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
12	401-05	縄文土器	深鉢	F-021	30102				内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石多量	良	小片	
13	401-07	縄文土器	深鉢	F-021	30102				内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石多量	良	小片	
14	401-02	縄文土器	深鉢	F-021	30102 No. 12				内: 野原土 外: 縄文土	30101(深鉢)	層 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
15	401-03	縄文土器	深鉢	F-021	30102 No. 12				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
16	401-08	縄文土器	深鉢	F-021	30102				内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
17	401-04	石製品	磨石	F-025	30102 No. 4	10.8	6	4.2						長さ 10.8 mm 幅 6 mm 厚さ 4.2 mm
18	401-11	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 12				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	層 (~2m) 粘土石	良	小片	
19	401-12	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 15				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
20	401-05	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 14				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
21	401-13	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 12				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
22	401-11	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 20				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	層 (~1.5m) 粘土石多量	良	小片	破片確認
23	401-14	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 15				内: 野原土 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
24	401-02	縄文土器	深鉢	F-025	30102 No. 12				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
25	401-05	石製品	磨石	F-025	30102 No. 8	11.9	9.8	1						長さ 11.9 mm 幅 9.8 mm 厚さ 1 mm
26	401-05	石製品	磨石	F-025	30102 No. 14	12.8	8.1	8.3						長さ 12.8 mm 幅 8.1 mm 厚さ 8.3 mm
27	401-07	石製品	磨石	F-025	30102	10.6	14.4	10						長さ 10.6 mm 幅 14.4 mm 厚さ 10 mm
28	401-01	石製品	砥石	F-025	30102 No. 7	10.1	12.6	14.7						長さ 10.1 mm 幅 12.6 mm 厚さ 14.7 mm
29	401-01	石製品	砥石	F-025	30102 No. 7	8.8	11.1	13.1						長さ 8.8 mm 幅 11.1 mm 厚さ 13.1 mm
30	401-02	石製品	磨石	F-025	30102 No. 18	4.4	5	1.5						長さ 4.4 mm 幅 5 mm 厚さ 1.5 mm
31	401-03	石製品	磨石	F-025	30102	7.2	16.1	11.6						長さ 7.2 mm 幅 16.1 mm 厚さ 11.6 mm
32	401-04	石製品	磨石	F-025	30102 No. 9	11.3	10.3	5.9						長さ 11.3 mm 幅 10.3 mm 厚さ 5.9 mm
33	1108-04	縄文土器	深鉢	等-3	30170-30170 土器類				内: 土器 外: 野原土 (水田層) 土	30101(深鉢)	層 (~5m) 粘土石多量	良	小片	
34	401-06	縄文土器	深鉢	F-029	30108				内: 野原土 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
35	401-01	石製品	磨石	F-029	30108	12.7	7.8	8.9						長さ 12.7 mm 幅 7.8 mm 厚さ 8.9 mm
36	401-02	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~3m) 粘土石多量	良	小片	
37	401-03	石製品	磨石	F-021	30108	4.3	2.8	1.4						長さ 4.3 mm 幅 2.8 mm 厚さ 1.4 mm
38	401-01	石製品	磨石	F-021	30108	10.6	5.8	3.8						長さ 10.6 mm 幅 5.8 mm 厚さ 3.8 mm
39	401-02	石製品	砥石	F-021	30108	11.3	12.5	3.5						長さ 11.3 mm 幅 12.5 mm 厚さ 3.5 mm
40	401-04	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	層 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
41	401-04	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 野原土	30101(深鉢)	中程度 (~3m) 粘土石	良	小片	破片確認
42	401-02	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
43	401-04	縄文土器	深鉢	F-021	30108 No. 1				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石	良	小片	
44	401-01	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石多量	良	小片	
45	401-01	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石多量	良	小片	
46	401-01	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	層 (~2m) 粘土石	良	小片	
47	401-15	縄文土器	深鉢	F-021	30108 No. 2				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~2m) 粘土石	良	小片	
48	401-08	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~1.5m) 粘土石	良	小片	
49	401-05	縄文土器	深鉢	F-021	30108 No. 3				内: 土器 外: 山形土	30101(深鉢)	中程度 (~3m) 粘土石多量	良	小片	
50	401-04	縄文土器	深鉢	F-021	30108				内: 土器 外: 野原土 (水田層) 土	30101(深鉢)	層 (約 1m) 粘土石	良	小片	
51	401-07	縄文土器	深鉢	F-021	30108 No. 2				内: 土器 外: 野原土 (山形土)	30101(深鉢)	中程度 (~3m) 粘土石	良	小片	

第 32 表 遺物観察表 (2)

標本番号	実物番号	種類	製作年	出土位置 F(1)等	計測値 (mm)			調査技術的特徴	表面	胎文	形状	残片	備考
					口径	高さ	底径						
52	410-01	石製品	磨石	F-401	SP 010	2.2	2.8	6.7	—	—	—	—	長さ 4.7 g 胎文
53	410-02	縄文土器	深鉢	F-402	SP 010 (18)	—	—	—	溝状 2 型(1)	中台状 (→ 3m 台地帯遺存)	高	小片	—
54	410-03	石製品	磨石	F-102	SP 010	13.4	3.1	4.5	—	—	—	—	長さ 4.75 g 胎文 3007-02(1)
55	410-04	石製品	磨石	F-401	SP 020 No. 4	3.4	3.8	5.3	—	—	—	—	長さ 2.53 g 胎文 3007-02(2)
56	410-05	石製品	磨石	F-401	SP 020	3.4	4.1	2.5	—	—	—	—	長さ 1.68 g 胎文
57	410-06	石製品	磨石	F-401	SP 020 No. 5	12.1	3.4	4.5	—	—	—	—	長さ 2.14 g 胎文 3007-02(3)
58	400-02	縄文土器	深鉢	F-400	SP 020	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
59	400-01	縄文土器	深鉢	F-400	SP 020	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
60	410-01	石製品	磨石	F-400	SP 020 No. 1	11.8	3.7	2.9	—	—	—	—	長さ 4.75 g 胎文
61	401-01	縄文土器	深鉢	F-020	SP 020	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯遺存)	高	小片	胎文 3007-02(4)
62	400-04	縄文土器	深鉢	F-021	SP 020 (18)	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
63	530-01	石製品	石	G-010	SP 110	20.4	22.1	5.5	—	—	—	—	長さ 14.57g 胎文 3007-02(5)
64	530-02	縄文土器	深鉢	F-111	SP 110	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
65	530-03	縄文土器	深鉢	F-112	SP 110	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
66	530-04	縄文土器	深鉢	F-113	SP 110	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
67	530-05	縄文土器	深鉢	F-114	SP 110	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
68	510-01	石製品	磨石	S-014	SP 120	8.7	16.1	4.8	—	—	—	—	長さ 4.60 g 胎文
69	400-04	縄文土器	深鉢	F-024	SP 020	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 1.5m 台地帯遺存)	高	小片	—
70	400-03	石製品	石	F-024	SP 020	4.3	3.4	1.2	—	—	—	—	長さ 14.7 g 胎文
71	410-01	石製品	石	F-024	SP 020	14	15.3	4.4	—	—	—	—	長さ 1.605 g 胎文 3007-02(6)
72	410-04	石製品	磨石	F-024	SP 020	8.3	13.6	2.3	—	—	—	—	長さ 1.57 g 胎文 3007-02(7)
73	410-02	石製品	磨石	F-024	SP 020	8.8	8.7	2.2	—	—	—	—	長さ 2.01 g 胎文 3007-02(8)
74	410-03	石製品	石	F-024	SP 020	18.1	18.5	3.4	—	—	—	—	長さ 1.48 g 胎文 3007-02(9)
75	420-01	石製品	磨石	F-024	SP 020	10	12.1	6.8	—	—	—	—	長さ 1.514 g 胎文
76	540-01	石製品	石	F-02	SP 110 No. 1	16.5	11.2	5.1	—	—	—	—	長さ 1.427 g 胎文 3007-02(10)
77	530-01	縄文土器	深鉢	F-03	SP 110	—	—	—	溝状 10 型(2)	中台状 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
78	500-01	縄文土器	深鉢	F-012	SP 120 No. 2	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
79	500-03	縄文土器	深鉢	F-012	SP 120 No. 4	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯) 埋	高	小片	—
80	500-04	縄文土器	深鉢	F-012	SP 120 No. 1	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
81	500-02	縄文土器	深鉢	F-012	SP 120 No. 2	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
82	510-01	石製品	磨石	F-012	SP 120 No. 3	13.6	1.6	4.7	—	—	—	—	長さ 1.702 g 胎文
83	510-01	石製品	磨石	F-013	SP 120 No. 1	13.4	6.7	2.8	—	—	—	—	長さ 2.244 g 胎文
84	500-04	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 1	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
85	500-05	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 2	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 1.5m 台地帯)	高	小片	—
86	500-04	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 3	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
87	510-01	石製品	石	F-014	SP 120 No. 7	15.9	17.9	4.0	—	—	—	—	長さ 1.023 g 胎文
88	510-01	石製品	石	F-014	SP 120 No. 8	17.0	17.0	2.3	—	—	—	—	長さ 1.360 g 胎文
89	510-02	石製品	石	F-014	SP 120 No. 9	17.3	14.9	3.7	—	—	—	—	長さ 1.200 g 胎文 埋
90	500-01	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 1.5m 台地帯)	高	小片	—
91	500-04	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 11	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
92	510-04	石製品	石	F-014	SP 120	8.1	13.0	3.0	—	—	—	—	長さ 1.75 g 胎文
93	500-01	石製品	石	F-014	SP 120 No. 12	20.4	15.4	5.3	—	—	—	—	長さ 1.183 g 胎文
94	500-01	石製品	石	F-014	SP 120 No. 21	15.1	14.3	2.3	—	—	—	—	長さ 1.72 g 胎文
95	510-01	石製品	石	F-014	SP 120 No. 42	21.9	21.8	4.9	—	—	—	—	長さ 1.174g 胎文
96	500-02	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 3	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
97	500-01	縄文土器	深鉢	F-014	SP 120 No. 13	—	—	—	溝状 10 型(1)	高 (→ 3m 台地帯)	高	小片	—
98	500-01	石製品	磨石	F-014	SP 120 No. 6	12.0	12.3	3.5	—	—	—	—	長さ 1.72 g 胎文
99	510-03	石製品	石	F-013	SP 120 No. 2-1	24.8	14.3	7.9	—	—	—	—	長さ 14.57g 胎文 埋
100	500-01	石製品	磨石	F-013	SP 120	10	16.3	2.9	—	—	—	—	長さ 1.286 g 胎文 3007-02(11)
101	500-01	縄文土器	深鉢	F-017	SP 120 No. 5	—	—	—	溝状 10 型(2)	高 (→ 3m 台地帯) 埋	高	小片	—
102	510-01	石製品	磨石	F-017	SP 120 No. 7	11.6	7.7	3.3	—	—	—	—	長さ 1.524 g 胎文
103	500-04	石製品	石	F-017	SP 120 No. 14	5.0	4.71	2.44	—	—	—	—	長さ 1.19 g 胎文

第 32 表 遺物観察表 (3)

標本番号	発掘層	種類	数量	出土位置 F(1)F	出土遺物 No. 1	計測値 (cm)			観察記録の備考	色相	胎子	焼痕	残存	備考
						全長	最大径	重量						
104	1010-02	瓦製品	破片	F-817	SP140 No. 10	15.1	7.5	4.9		—	—	—	—	墨色 (247.9g) 欠損
105	1010-04	瓦製品	破片	F-817	SP141 No. 11				内: 中子 外: 野焚	SP141-野焚	野	小片		
106	1010-05	瓦製品	破片	F-819	SP142 No. 1				内: 中子 外: 野焚	SP142-野焚	野	小片		
107	1010-05	瓦製品	破片	F-820	SP143 No. 1				内: 中子 外: 野焚	SP143-野焚	野	小片		
108	1010-07	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 11	14.7	8.8	4.4		—	—	—	—	墨色 (281.4g) 野焚
109	1010-05	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 12	17.1	8.5	5.3		—	—	—	—	墨色 (282.1g) 野焚
110	1010-06	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 1				内: 中子 外: 野焚	SP145-野焚	野	小片		
111	1010-07	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 11				内: 中子 外: 野焚	SP145-野焚	野	小片		
112	1010-05	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 12	8.8	3.7	4.5		—	—	—	—	墨色 (265.5g) 野焚
113	1010-06	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 1				内: 中子 外: 野焚	SP145-野焚	野	小片		
114	1010-05	瓦製品	破片	F-823	SP145 No. 11				内: 中子 外: 野焚	SP145-野焚	野	小片		
115	1010-07	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 1	15.4	9.7	5.4		—	—	—	—	墨色 (259.7g) 野焚
116	1010-05	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 2	24.3			内: 中子 外: 野焚	SP148-野焚	野	小片		破片欠
117	1010-05	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 3				内: 中子 外: 野焚	破 1010A-4	野	小片		
118	1010-07	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 1	19.2	(11.4)	(5.4)		—	—	—	—	墨色 (417.6g) 野焚
119	1010-05	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 9	19.2	(13.6)	(6.1)		—	—	—	—	墨色 (383.0g) 野焚
120	1010-05	瓦製品	破片	F-825	SP148 No. 11	17.3	9.7	5.5		—	—	—	—	墨色 (359.4g) 野焚
121	1010-04	瓦製品	破片	F-86	SP151				内: 中子 外: 野焚	SP151-野焚	野	小片		
122	1010-01	瓦製品	破片	F-86	SP151	24.6	15.9	6.6		—	—	—	—	墨色 (285g) 野焚
123	1010-05	瓦製品	破片	F-142	SP152				内: 中子 外: 野焚	破 7 1010-9	野	小片		
124	1010-03	瓦製品	破片	F-173	SP153				内: 中子 外: 野焚	SP153-野焚	野	小片		125g 野一破片
125	1010-04	瓦製品	破片	F-173	SP153				内: 中子 外: 野焚	SP153-野焚	野	小片		124g 野一破片
126	1010-05	瓦製品	破片	F-174	SP154 破片				内: 中子 外: 野焚	SP154-野焚	野	小片		
127	1010-07	瓦製品	破片	F-174	SP154 破片				内: 中子 外: 野焚	破 7 1010-6	野	小片		
128	1010-04	瓦製品	破片	F-174	SP154 破片				内: 中子 外: 野焚	SP154-野焚	野	小片		
129	1010-05	瓦製品	破片	F-1819	SP157 (18)				内: 中子 外: 野焚	SP157-野焚	野	小片		
130	1010-05	瓦製品	破片	F-173	SP159				内: 中子 外: 野焚	SP159-野焚	野	小片		
131	1010-04	瓦製品	破片	F-121	SP164	12.1	8.3	4.9		—	—	—	—	墨色 (25.50g) 野焚
132	1010-05	瓦製品	破片	F-44	SP165 破片				内: 中子 外: 野焚	SP165-野焚	野	小片		
133	1010-07	瓦製品	破片	F-86	SP164				内: 中子 外: 野焚	SP164-野焚	野	小片		
134	1010-04	瓦製品	破片	8-111	SP162				内: 中子 外: 野焚	SP162-野焚	野	小片		野の毛と破片
135	1010-06	瓦製品	破片	8-111	SP162				内: 中子 外: 野焚	SP162-野焚	野	小片		
136	1010-05	瓦製品	破片	F-86	SP168	18.3	8.6	5.1		—	—	—	—	墨色 (27.9g) 野焚
137	1010-05	瓦製品	破片	F-86	SP165	26.5	14.3	5.7		—	—	—	—	墨色 (27.9g) 野焚
138	1010-04	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 1				内: 中子 外: 野焚	破 1010-1	野	小片		
139	1010-05	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 1				内: 中子 外: 野焚	破 1010-2	野	小片		
140	1010-07	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 2				内: 中子 外: 野焚	破 7 1010-3	野	小片		
141	1010-05	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 3				内: 中子 外: 野焚	破 7 1010-4	野	小片		
142	1010-06	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 4				内: 中子 外: 野焚	SP170-野焚	野	小片		
143	1010-06	瓦製品	破片	8-66	SP170 No. 5				内: 中子 外: 野焚	SP170-野焚	野	小片		
144	1010-07	瓦製品	破片	F-174	SP174				内: 中子 外: 野焚	SP174-野焚	野	小片		
145	1010-06	瓦製品	破片	F-86	SP174				内: 中子 外: 野焚	SP174-野焚	野	小片		
146	1010-01	瓦製品	破片	F-86	SP179	29.7	20.9	9.8		—	—	—	—	墨色 (27.70g) 野焚
147	400-01	瓦製品	破片	F-100	SP180 No. 1	22.8	14.8	5.5		—	—	—	—	墨色 (12.3g) 野焚
148	400-05	瓦製品	破片	F-101	SP182				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
149	400-06	瓦製品	破片	F-101	SP182				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
150	400-07	瓦製品	破片	F-101	SP182				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
151	400-10	瓦製品	破片	F-101	SP182 (18)				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
152	400-10	瓦製品	破片	F-101	SP182 No. 4 (18)				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
153	400-10	瓦製品	破片	F-101	SP182 No. 5 (18)				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
154	400-10	瓦製品	破片	F-101	SP182 (18)				内: 中子 外: 野焚	SP182-野焚	野	小片		
155	410-02	瓦製品	破片	F-101	SP182	(8.1)	(6)	(3.1)		—	—	—	—	墨色 (176.8g) 野焚

第 32 表 遺物観察表 (4)

標本番号	発掘番号	種類	器種名	出土位置 F(1)等	出土遺物等	計測値 (mm)		調査経過の概要	出所	出土	形状	残片	備考
						口径	高さ						
156	416-02	石製品	磨石	F-021	SP1022 (石)	80	19.0	15.5	—	—	—	—	磨石 (190.7x7.1) 標本 9897-02F1
157	416-01	石製品	石皿	F-061	SP1022 (石)	—	—	—	—	—	—	—	磨石 (110.7x5.1) 標本 9897-01F1
158	424-01	石製品	磨石	F-051	SP1022 (石)	104.1	18.0	16.5	—	—	—	—	磨石 (104.7x8.4) 標本 9897-01F1
159	411-01	石製品	石皿	F-021	SP1022 No. 1 (石)	26.5	11.4	4.5	—	—	—	—	磨石 (27.2x6.7) 標本 9897-01F1
160	406-16	縄文土器	深鉢	F-025	SP1023 No. 1	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1023 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
161	406-07	縄文土器	深鉢	F-025	SP1023 No. 1	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1023 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
162	419-02	石製品	磨石(石)	F-025	SP1023 (石)	—	—	—	—	—	—	—	磨石 (110.7x4.6) 標本
163	425-02	石製品	打製石片	F-025	SP1023 (石)	16.1	8.1	2.2	—	—	—	—	磨石 (107.4x4.6) 標本
164	419-02	石製品	磨石	F-025	SP1023 上層	8.5	6.4	2.9	—	—	—	—	磨石 (105.4x4.6) 標本 9897-02F1
165	419-02	石製品	石皿	F-025	SP1023 上層	18.3	18.8	16.0	—	—	—	—	磨石 (150.4x4.7) 標本
166	425-01	石製品	磨石	F-025	SP1023 (石)	9	8.0	5.5	—	—	—	—	磨石 (111.4x4.6) 標本
167	000-10	縄文土器	深鉢	F-021	SP1476 No. 2	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
168	000-10	縄文土器	深鉢	F-021	SP1476 No. 1	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 5.010.0	高 1.0	小片	—
169	000-03	石製品	削片	F-022	SP1476 石割No. 6	3.0	4.4	0.9	—	—	—	—	磨石 (104.5x4.6) 標本 9897-03F1
170	000-01	石製品	磨石	F-022	SP1476	4.26	2.6	0.90	—	—	—	—	磨石 (104.5x4.6) 標本 9897-01F1
171	000-02	石製品	削片	F-022	SP1476	4.40	3.00	0.7	—	—	—	—	磨石 (104.5x4.6) 標本 9897-02F1
172	000-04	縄文土器	深鉢	F-014	SP1498 No. 1	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1498 磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
173	000-05	縄文土器	深鉢	F-014	SP1498 No. 2	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1498 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
174	000-01	石製品	磨石	F-014	SP1498 No. 1	112.0	17.0	16.3	—	—	—	—	磨石 (150.7x7.1) 標本
175	1010-01	石製品	石皿	9-014	SP1498 No. 1	38.8	16.7	5.9	—	—	—	—	磨石 (15.31x6) 標本
176	1000-01	石製品	磨石	F-023	SP1498 No. 2	11.6	6.7	3.7	—	—	—	—	磨石 (170.4x4.6) 標本
177	000-01	石製品	磨石	9-02	SP1498 No. 2	10.2	6.7	3.6	—	—	—	—	磨石 (103.7x4.6) 標本
178	0007-02	石製品	磨石	1-02	SP1498	9.5	6.2	4.2	—	—	—	—	磨石 (104.7x4.6) 標本
179	1012-01	石製品	石皿	1-016	SP1498	26.5	18.0	6.6	—	—	—	—	磨石 (14.58x4.6) 標本
180	1110-01	石製品	石皿	1-000	SP1498 無磨石	22.50	19.2	6.40	—	—	—	—	磨石 (14.11x6) 標本
181	1114-02	石製品	石皿	1-023	SP1498 無磨石	21.31	19.8	6.5	—	—	—	—	磨石 (14.58x4.6) 標本
182	1114-01	石製品	石皿	1-023	SP1498 無磨石	19.51	19.5	7.0	—	—	—	—	磨石 (14.58x4.6) 標本
183	1115-01	石製品	石皿	1-072	SP1498 無磨石	30.6	19.2	6.7	—	—	—	—	磨石 (14.58x4.6) 標本
184	000-04	縄文土器	深鉢	1-02	SP1498 No. 1	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
185	406-08	縄文土器	深鉢	F-025	SK1026	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1026 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
186	406-04	縄文土器	深鉢	9-02	SK1026	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1026 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
187	406-08	縄文土器	深鉢	F-025	SK1026	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1026 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
188	405-03	縄文土器	深鉢	F-025	SK1021	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 2.016.0	高 1.0	小片	—
189	405-01	縄文土器	深鉢	F-061	F-012	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
190	405-07	縄文土器	深鉢	F-061	F-012	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
191	1117-07	縄文土器	深鉢	1-024	F-011	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
192	1116-16	縄文土器	深鉢	9-03	SK1722	—	—	—	高 4.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
193	1116-03	石製品	石皿	9-02	SK1722 磨石 01	16.9	17.0	0.4	—	—	—	—	磨石 (10.16x4.6) 標本
194	1116-01	石製品	石皿	9-03	SK1722 磨石 02	9.7	16.9	6.1	—	—	—	—	磨石 (10.16x4.6) 標本
195	1117-02	石製品	石皿	9-03	SK1722 磨石 02	16.7	7.1	4.6	—	—	—	—	磨石 (10.16x4.6) 標本
196	1117-01	石製品	石皿	9-03	SK1722 磨石 01	16.8	11.9	5.3	—	—	—	—	磨石 (10.16x4.6) 標本
197	516-16	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 1.010.0	高 1.0	小片	—
198	516-04	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
199	506-07	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
200	506-08	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 2.010.0	高 1.0	小片	—
201	516-11	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
202	516-02	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石 11	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.0	高 1.0	小片	—
203	516-03	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 1.010.0	高 1.0	小片	—
204	516-05	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 1.010.0	高 1.0	小片	—
205	516-01	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
206	516-06	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	磨石 0195.4	高 1.0	小片	—
207	516-02	縄文土器	深鉢	1-021	SK1722 磨石	—	—	—	高 3.0 内径 10.0 口径 6.0	SP1021 磨石 0195.4	高 1.0	小片	—

第 32 表 遺物観察表 (5)

報告番号	発掘番号	種別	遺物名	出土位置 / 土層	計測値 (cm)	遺物の特徴	出所	期	状態	備考
208	310-07	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 縄文瓦	32.014-1000	3000 B	底 (~2cm) 白色灰多	底 小片
209	310-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 十字・浅線	32.014-1000	3000 B	壁 7.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
210	310-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多, ~5cm 白色灰多	底 小片
211	310-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 11	内: 十字 外: 浅線・浅線・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
212	310-07	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 十字・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
213	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 十字・浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
214	308-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 土腹径 7	内: 十字 外: 十字	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
215	308-07	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 8	内: 十字 外: 十字・十字	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
216	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 No. 1	内: 十字・十字 外: 十字・十字・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
217	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 7	内: 十字・十字 外: 十字・十字・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
218	310-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 8	内: 十字・十字 外: 十字・十字・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
219	300-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 11	内: 十字 外: 浅線・十字	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.4 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
220	308-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 10	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
221	310-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 浅線 外: 十字・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.2 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
222	310-01	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 13	内: 十字・十字 外: 十字・十字・斜目	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多, 底径 浅線	底 小片
223	310-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
224	310-01	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 十字・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.2 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
225	309-08	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 浅線 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
226	303-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 No. 4	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
227	300-01	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 8	内: 十字 外: 十字・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
228	304-05	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 7	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.3 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
229	302-01	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 7	内: 十字 外: 浅線・斜目・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.3 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
230	300-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
231	300-05	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
232	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	壁 2.5×11.5 浅線 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
233	308-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 浅線 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
234	310-10	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
235	310-07	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.4 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
236	300-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 浅線 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
237	310-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
238	300-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 浅線 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
239	304-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	壁 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
240	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
241	310-05	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 7	内: 十字・十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	壁 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
242	300-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 11	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
243	300-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
244	308-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	壁 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多, 浅線	底 小片
245	310-04	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.4 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
246	309-05	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 浅線 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.5 浅線 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多, 浅線	底 小片
247	300-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 12	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
248	308-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 下腹径 13	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
249	300-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 10	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
250	310-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
251	300-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 7	内: 十字・十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
252	310-06	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字・十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.3 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
253	310-02	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
254	310-10	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
255	311-01	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
256	310-09	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多, ~4cm 白色灰多	底 小片
257	310-05	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	壁 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
258	310-03	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 底径 7	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片
259	310-07	縄文土器	深鉢	E-721	50×100 上腹径 10	内: 十字 外: 浅線・浅線	32.014-1000	3000 B	浅線 2.5×11.5 中: 壁 (~3cm) 白色灰多	底 小片

第 32 表 遺物観察表 (7)

観測番号	発掘番号	種別	群集名	出土位置等	容積 (cm)			観察経過の概要	色調	胎子	構成	原料	備考	
					直径	高さ	厚さ							
212	504-02	縄文土器	深鉢	E-713	504-023 上腹(1)			内: 土質 外: 敷瓦・土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~5cmの色差)	瓦	小片		
213	534-04	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 上腹(1)			内: 土質 外: 敷瓦	黄緑 257/4	中程度 (~5cmの色差)	瓦	小片		
214	534-03	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 敷瓦	黄緑 151/3	中程度 (~2cmの色差, ナー ト層)	瓦	小片		
215	534-06	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 敷瓦	二色(黄 257/4)	中程度(ナート層, ~4cmの色 差, ~5cmの色差)	瓦	小片		
216	534-04	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・泥線・泥線・泥点	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
217	534-03	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄緑 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
218	537-09	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
219	537-10	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
220	540-02	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 敷瓦・土質	黄 250/4	中程度 (~4cmの色差, 黄褐色)	瓦	小片		
221	534-03	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・土質	黄 1000/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片		
222	540-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
223	534-06	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄褐色 1000/4	中程度 (~5cmの色差, ~3cmの色 差)	瓦	小片		
224	534-04	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄 250/4)	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片		
225	547-06	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 下腹(No.1)			内: 土質 外: 土質	二色(黄 250/4)	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	構成部分	
226	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・土質	黄褐色 1000/4	中程度 (~5cmのナート層, ~2cm の色差)	瓦	小片		
227	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	1/12		
228	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・土質	黄 250/4	中程度 (~4cmの色差, ~3cmの色 差)	中片	内片		
229	534-04	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・泥線・泥線	黄 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	構成部分	
230	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片	内片	
231	534-05	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~5cmの色差, ~2cmの色 差)	瓦	小片		
232	534-02	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	底部	
233	547-05	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 下腹(No.1)			内: 土質 外: 土質	二色(黄 250/4)	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片	底部	
234	534-09	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	底部	
235	534-02	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	底部	
236	537-06	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	底部	
237	537-05	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片	底部	
238	537-07	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~5cmの色差)	瓦	小片	底部	
239	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片	底部	
240	534-08	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 上腹(No.1)		18.3	内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~3cmの色差)	瓦	小片	底部	
241	547-04	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~4cmの色差)	瓦	小片	底部	
242	537-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-023 下腹(No.1)		11.2	内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~3cmの色差)	瓦	構成部分 底部1/3	頭一底部	
243	534-08	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄 250/4)	中程度 (~3cmの色差)	瓦	小片	底部	
244	547-03	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 下腹(No.1)			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~5cmの色差)	瓦	小片	内片・内片	
245	537-06	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	構成部分 底部1/3	
246	537-02	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	内片・内片	
247	537-02	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中		7.4	内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	台盤・内片・3部之 頭一底部	
248	534-02	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中			内: 土質 外: 土質・泥瓦	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~3cmの色差, 黄褐色等)	瓦	小片	内片・内片	
249	547-01	縄文土器	台形深鉢	E-711	504-023 腹中(No.1)			内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	台盤・3部之頭一底部	
250	540-05	白磁品	水皿	E-711	504-023 腹中	7	1.44	0.4	—	—	—	—	厚さ 2.7g 重さ 7.4g 容積 1.44cc	
251	540-02	白磁品	水皿	E-711	504-023 腹中	2.44	1.92	0.7	—	—	—	—	厚さ 4.07g 重さ 12.4g 容積 2.44cc	
252	540-01	白磁品	水皿	E-711	504-023 下腹	9	5.3	1.9	—	—	—	—	厚さ 4.07g 重さ 17.4g 容積 5.3cc	
253	540-03	白磁品	水皿	E-711	504-023 上腹(No.1)	11.8	11.8	0.1	—	—	—	—	厚さ 10.54g 重さ 13.8g 容積 11.8cc	
254	540-02	白磁品	水皿	E-711	504-023 下腹(No.1)	18.1	18.7	0.1	—	—	—	—	厚さ 17.52g 重さ 20.8g 容積 18.1cc	
255	544-01	白磁品	水皿	E-711	504-023 腹中	25.7	14.9	0.7	—	—	—	—	厚さ 15.94g 重さ 25.7g 容積 14.9cc	
256	540-01	白磁品	水皿	E-711	504-023 上腹(No.1)	24.8	21.8	10.5	—	—	—	—	厚さ 15.94g 重さ 24.8g 容積 21.8cc	
257	534-01	縄文土器	深鉢	E-711	504-024 土器	12.0			内: 土質 外: 土質・土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~4cmの色差, ナー ト層)	瓦	口縁部 1/12	
258	537-03	縄文土器	深鉢	E-711-24	504-024				内: 土質 外: 敷瓦・土質	黄 250/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	
259	534-08	縄文土器	深鉢	E-711-24	504-024				内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	
260	534-01	縄文土器	深鉢	E-711-24	504-024				内: 土質 外: 土質	黄 250/4	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	
261	534-01	縄文土器	深鉢	E-711-24	504-024				内: 土質 外: 土質	二色(黄緑) 1000/4	中程度 (~3cmの色差)	瓦	小片	
262	534-04	縄文土器	深鉢	E-711-24	504-024				内: 土質 外: 土質	二色(黄 250/4)	中程度 (~2cmの色差)	瓦	小片	
263	534-01	縄文土器	深鉢	E-714	504-024 土器				内: 土質 外: 土質	黄緑 257/4	中程度 (~2cmの色差, ~2cmの色 差, 黄褐色等)	瓦	小片	外縁部は黄褐色

第 32 表 遺物観察表 (8)

観覧番号	発掘番号	遺物名	時期	出土遺物層	形制番号 (H)			調査記録の種類	出所	出土	現状	備考
					1層	2層	3層					
364	526-08	縄文土器	深鉢	E-702	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線	CG164 遺物 10792.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
365	527-01	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線	遺物 1 10792.8	中年代 (→3000年前後)	高	小片
366	526-04	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線	CG164 遺物 2 10792.5	中年代 (→3000年前後)	高	小片
367	526-01	縄文土器	深鉢	E-702	301108			内、ナデ、外、垂線、注線	遺物 2 1079.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
368	526-03	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、垂線	CG164 遺物 10792.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
369	525-08	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、垂線、注線	CG164 遺物 2 10813.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
370	525-06	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、垂線、注線	CG164 遺物 2 10813.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
371	525-03	縄文土器	深鉢	E-702	301108			内、ナデ、外、垂線、注線	CG164 遺物 10792.3	中年代 (→3000年前後、自然発着)	高	小片
372	525-02	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、垂線、注線	遺物 2 1079.4	中年代 (3000年前後、→3000年前後)	高	小片
373	525-02	縄文土器	深鉢	E-702-14	301108			内、ナデ、外、注線	CG164 遺物 2 10854.9	中年代 (→3000年前後)	高	小片
374	524-08	縄文土器	深鉢	E-702-24	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線	CG164 遺物 10792.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
375	525-07	縄文土器	深鉢	E-702-24	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線	CG164 遺物 2 10813.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
376	526-03	縄文土器	自作深鉢	E-702	301108			内、ナデ、外、注線、ナデ	遺物 2 1079.8 CG164 遺物 10792.2	中年代 (→3000年前後)	高	小片
377	525-01	縄文土器	深鉢	E-702-24	301108			内、ナデ、外、ナデ、垂線、注線	遺物 2 1079.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
378	546-02	石製品	鏡	E-702-14	301108	8.4	8.8	5.1	—	—	—	遺物 1081.2 CG164 遺物 10812.1
379	5276-05	縄文土器	深鉢	J-819-18 J-819	301876			内、オビエ、ナデ、垂線	CG164 遺物 10796.4	高 (→23000年前後)	高	小片
380	5276-04	縄文土器	深鉢	J-819-18 J-819	301876			内、オビエ、ナデ、垂線、注線	遺物 10792.2	中年代 (→23000年前後)	高	小片
381	5276-04	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、垂線、注線	CG164 遺物 10796.4	中年代 (→23000年前後)	高	小片
382	5276-03	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、垂線、注線	CG164 遺物 10796.5	高 (→23000年前後)	高	小片
383	5276-04	縄文土器	自作深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、垂線	CG164 遺物 10796.4	高 (→23000年前後)	高	小片
384	5276-03	縄文土器	深鉢	J-819-18 J-819	301876		6.6		遺物 10796.9	高 (→23000年前後)	高	小片
385	5286-04	石製品	鏡	J-819	301876	1.8	2.6	0.5	—	—	—	遺物 1081.2 CG164 遺物 10812.1
386	5287-01	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、注線、ナデ、垂線	CG164 遺物 10796.3	高 (→23000年前後)	高	小片
387	5287-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.2	高 (→23000年前後)	高	小片
388	5287-04	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、垂線	遺物 10796.5	高 (→23000年前後)	高	小片
389	5287-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.2	高 (→23000年前後)	高	小片
390	5287-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.6	高 (→23000年前後)	高	小片
391	5287-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 2 10796.8	高 (→23000年前後)	高	小片
392	5287-03	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.4	中年代 (→23000年前後)	高	小片
393	5287-04	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 2 10796.9	高 (→23000年前後)	高	小片
394	5287-04	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.5	高 (→23000年前後)	高	小片
395	5287-01	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、ナデ、外、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.2	高 (→23000年前後)	高	小片
396	891-02	石製品	鏡	8-713	301311	8.6	8.1	2.2	—	—	—	遺物 1081.2 CG164 遺物 10812.1
397	891-03	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、垂線	遺物 10796.6	中年代	高	小片
398	891-04	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、垂線	遺物 2 10796.8	中年代	高	小片
399	891-03	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、垂線	遺物 10796.9	中年代	高	小片
400	891-01	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、ナデ、垂線	遺物 10796.9	中年代	高	小片
401	891-02	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、ナデ、垂線	遺物 10796.5	中年代	高	小片
402	891-02	石製品	鏡	8-812	301312	13.7	13.6	2.5	—	—	—	遺物 1081.2 CG164 遺物 10812.1
403	899-08	縄文土器	深鉢	8-812	301312			内、ナデ、外、ナデ、垂線	遺物 10796.2 遺物 2 10796.5	高	小片	
404	1108-09	縄文土器	深鉢	1-023	301840			内、ナデ、外、ナデ、垂線、注線	CG164 遺物 10796.2	中年代 (→3000年前後)	高	小片
405	1108-03	縄文土器	深鉢	1-023	301840	16.0			CG164 遺物 2 10796.4	中年代 (→3000年前後)	高	小片
406	1201-01	縄文土器	深鉢	J-819	301876	10.4			遺物 10796.2	中年代 (→23000年前後)	高	小片
407	1201-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線	CG164 遺物 10796.3	中年代	高	小片
408	1201-04	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線	CG164 遺物 10796.4	中年代 (→23000年前後)	高	小片
409	1201-07	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線	遺物 10796.9	中年代 (→23000年前後)	高	小片
410	1201-05	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線、注線	遺物 2 10796.8	中年代	高	小片
411	1271-01	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線	CG164 遺物 10796.8	高 (→23000年前後)	高	小片
412	1201-02	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線	CG164 遺物 10796.4	中年代 (→23000年前後)	高	小片
413	1201-03	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.2	高 (→23000年前後)	高	小片
414	1201-01	縄文土器	深鉢	J-819	301876			内、オビエ、ナデ、注線、垂線	遺物 10796.5	中年代	高	小片
415	1208-05	石製品	鏡	J-819	301876	2.1	2.7	0.9	—	—	—	遺物 1081.2 CG164 遺物 10812.1

*ブロンズ製品

第 32 表 遺物観察表 (9)

観測番号	発掘番号	種類	形状	寸法 長さ×幅×厚さ	出土時期	重量 (g)			調査方法	色	粘土	焼成	備考	備考
						目録	調査	重量						
416	1279-02	白磁瓦	扇形・楕円	φ103	SK079 No.1	8.2	5.5	4.7		—	—	—	—	番号 279-14 存在 25枚
417	1280-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ111*	SK080				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線・楕文	焼 7.500.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
418	1280-05	瓦葺瓦	瓦葺	φ113	SK082				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線	実測値 1070.2	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
419	1280-07	瓦葺瓦	瓦葺	φ113	SK083				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
420	1280-08	瓦葺瓦	瓦葺	φ113	SK082				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
421	1280-07	瓦葺瓦	瓦葺	φ111*	SK082				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
422	1280-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ113*	SK083				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.2	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
423	1280-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ113*	SK083				内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・法線・楕文	焼 7.500.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
424	1280-04	白磁瓦	扇形	φ112	SK080	1.1	1.9	0.7		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
425	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ48	SK085				内、ナギ 外、ナギ	実測値 1070.5	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
426	1279-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ48	SK085				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	実測値 1070.7	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
427	1282-02	白磁瓦	切妻瓦葺	φ48	SK087 No.27	4.0	5.5	1.9		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
428	1280-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ77	SK086 No.1				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	実測値 1070.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
429	1280-02	白磁瓦	扇形	φ72	SK083	5.9	11.2	5.0		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
430	1280-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ72	SK077 No.19				内、ナギ 外、ナギ・オキズ	実測値 1070.9 実測値 1070.7	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
431	1280-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ71	SK081 No.10				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
432	1284-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ71	SK077 No.7				内、ナギ 外、ナギ・法線	実測値 1070.3	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
433	1280-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ76	SK080 No.12				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.6 実測値 1070.5	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
434	1280-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ76	SK080 No.7				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	実測値 1070.1	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
435	1280-01	白磁瓦	切妻瓦葺	φ80	SK081	2.7	4.4	2.0		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
436	1279-05	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087	77.6			内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.3	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	白磁瓦 7/12
437	1279-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	焼 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
438	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
439	1279-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.3	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	中・焼
440	1279-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.3	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
441	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・法線 外、ナギ・法線	実測値 1070.2	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	存在形式
442	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	実測値 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
443	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.2				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	実測値 1070.7	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
444	1279-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.3				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	オリーブ溝 2.50.5	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
445	1279-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.5				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	実測値 1070.2	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
446	1279-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.4				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文、観察論文
447	1279-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.7				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
448	1279-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	オリーブ溝 3.50.5	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	中・焼	小片	
449	1277-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線	二点11(實測) 1070.5	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
450	1279-08	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.5				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
451	1277-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ84	SK087 No.6				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・法線・楕文	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
452	1274-01	白磁瓦	扇形	φ84	SK087	11.6	7.4	5.3		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
453	1279-08	白磁瓦	切	φ84	SK087	3.26	2.65	0.4		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14
454	1284-02	瓦葺瓦	瓦葺	φ88	SK088 No.41、43				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	実測値 1270.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
455	1280-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.7				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	実測値 1070.7 実測値 1070.1	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
456	1280-04	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.2				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	焼 7.500.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
457	1280-05	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.3				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	焼 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察論文
458	1280-06	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.4				内、ナギ 外、ナギ	焼 7.500.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
459	1280-01	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.14				内、ナギ 外、ナギ・法線・楕文	焼 1070.4 実測値 1070.6	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
460	1280-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.14				内、ナギ・オキズ 外、ナギ・オキズ・ナギ	焼 7.500.9 実測値 1070.1	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	高さ 5.7cm
461	1280-03	瓦葺瓦	瓦葺	φ85	SK088 No.15				内、ナギ 外、ナギ	実測値 1070.3	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	高さ 11.0cm
462	1280-01	白磁瓦	切	φ85	SK088 No.30	10.6	11.1	4.5		—	—	—	—	番号 279、 中 279-14 観察論文
463	520-01	瓦葺瓦	瓦葺	F-01	SK108	20.7	0.4		内、オキズ・ナギ 外、オキズ・ナギ・ナギ	実測値 2.5×5.6	中・焼 (→ 2.500.0-右表、 右表、→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	観察文、内蔵品、観察論文
464	520-07	瓦葺瓦	瓦葺	F-04	SK110				内、ナギ 外、ナギ	実測値 1070.9	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	
465	520-08	瓦葺瓦	瓦葺	F-04	SK110				内、ナギ 外、ナギ・ナギ	実測値 1070.7	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	高さ 0.8cm
466	1280-10	瓦葺瓦	瓦葺	A-27	SK017				内、オキズ・ナギ 外、楕文・ナギ	二点11(實測) 1070.4	中・焼 (→ 2.500.0-右表)	瓦	小片	A012、焼一層ナギ

*ナギはナギ

第 32 表 遺物観察表 (10)

報告番号	発掘番号	種類	器物名	出土位置 F(層)	出土数量	計量単位 (mm)			調査報告の名称	年代	出土	形状	用途	備考
						長さ	幅	高さ						
467	1104-02	縄文土器	深鉢	L-212	SK1077			5.9	高ナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	縁部外	網走川流域・ 佐田川流域
468	1105-01	縄文土器	深鉢	9-07	SK1080	24.2	23.0		高ナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	注ぎ 取器	八幡川流域 佐田川流域
469	1105-01	縄文土器	深鉢	9-07	SK1080	26.1	22.5		高ナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	注ぎ 取器	佐田川流域 八幡川流域
470	1020-03	縄文土器	深鉢	J-817	F61				高ナデ 内ナデ・フツナデ・ フツナデ・注ぎ	CG161観察 1076/5	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	柳井川流域
471	1020-02	縄文土器	深鉢	J-814	F61				高ナデ 内ナデ・フツナデ・ フツナデ・注ぎ	観察 1 1076/4	中年代	高	小片	
472	530-09	縄文土器	深鉢	E-023	F61				高ナデ 内ナデ・注ぎ	観察簿 1076/9	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
473	530-08	縄文土器	深鉢	E-023	F61				高ナデ 内ナデ・注ぎ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	文相沢カ
474	530-11	縄文土器	深鉢	E-023	F61				高ナデ 内ナデ	観察 1 1076/4	中年代	高	小片	
475	530-10	縄文土器	深鉢	E-023	F61				高ナデ 内ナデ・注ぎ	CG161観察 1076/4	中年代	高	小片	
476	1020-01	縄文土器	深鉢	J-817	F62				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ・ フツナデ・注ぎ	CG161観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	柳井川流域
477	530-10	縄文土器	深鉢	E-723	F61				高ナデ 内ナデ・注ぎ・取器	観察簿 1076/9	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
478	1105-04	縄文土器	深鉢	9-07	F61				高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
479	1105-04	縄文土器	深鉢	9-04	F61				高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
480	1104-02	縄文土器	深鉢	9-07	F61				高ナデ 内ナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
481	1105-01	縄文土器	深鉢	9-07	F61				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ・ フツナデ・注ぎ	観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	赤松川流域
482	1010-08	縄文土器	深鉢	J-817	F61			6.9	高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	取器	
483	1230-05	石製品	石鏃	J-821	F61	3.38	6.54	3.38		—	—	—	—	長さ12.6 幅5.4 厚さ2.4
484	1010-04	石製品	石鏃	J-817	F61	2.3	1.7	0.5		—	—	—	—	長さ11.6 幅4.0 厚さ1.0
485	1010-01	石製品	石鏃	J-809	F61	3.38	5.8	1.9		—	—	—	—	長さ12.6 幅5.4 厚さ2.4
486	540-06	石製品	石鏃	E-022	F61	1.15	1.38	0.24		—	—	—	—	長さ11.6 幅4.0 厚さ1.0
487	1010-03	石製品	石鏃	J-817	F61	4.08	2.9	1.1		—	—	—	—	長さ11.6 幅4.0 厚さ1.0
488	430-01	弥生土器	甕	9-02	SK1076	28.9			高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察 1076/9	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	網走川流域(佐田川)
489	430-02	弥生土器	瓦甕	9-04	SK1076 No. 10				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察 1 1076/9	高	口縁部 1.7/1.9		
490	437-01	弥生土器	瓦甕	9-04	SK1076 No. 3	17.4			高ナデ 内ナデ・フツナデ・注ぎ	観察 1076/9	高	口縁部 4.7/2	柳井川	
491	437-02	弥生土器	甕	9-02	SK1076 No. 3				高ナデ 内ナデ・フツナデ	観察簿 1076/9 No. 1076/1	中年代	高	縁部	
492	437-13	弥生土器	甕	9-02	SK1076				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ・取器	観察簿 1076/9	高	口縁部 4.7/2		
493	430-04	弥生土器	甕	9-02	SK1076				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察 1 1076/9	高	口縁部 1.7/2		
494	430-03	弥生土器	甕	9-02	SK1076	21.5			高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ・取器	観察 1 1076/9 観察 1 1076/1	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 2.3/2	
495	430-08	石製品	燧石片	9-02	SK1076 No. 1	5.8	1.8	0.9		—	—	—	—	長さ11.7 幅4.7
496	430-02	石製品	石鏃	9-02	SK1076 No. 11	11.0	14.1	3.8		—	—	—	—	長さ110.0 幅10.0 厚さ1.0
497	800-01	弥生土器	甕	F-02	SK1076				高ナデ 内ナデ	観察 1076/9	中年代	高	小片	
498	800-02	土製品	漆片	F-02	SK1076 ヤツル川(漆片)	3.3				観察簿 1 1076/4	中年代	高	取器	佐田川流域
499	1271-01	弥生土器	香口付口縁部	9-01	SK1071				高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
500	800-03	弥生土器	香口付口縁部	9-01	SK1071	15.8			高ナデ 内ナデ・取器 高ナデ・取器 高ナデ・取器	CG161観察 1076/3 観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	八幡川上村
501	800-05	土器	甕	9-02	SK1071				高ナデ 内ナデ	CG161観察 1076/4	中年代	高	口縁部 1.7/2	
502	800-04	弥生土器	甕	9-02	SK1071 香口付			3.9	高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 6.7/2	
503	800-06	弥生土器	甕	9-04	SK1071 子口	2.9			高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	
504	1020-04	弥生土器	甕	9-04	SK1076				高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
505	1020-02	弥生土器	甕	9-04	SK1076				高ナデ 内ナデ・取器	CG161観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
506	1020-03	弥生土器	甕	9-02	SK1076 No. 1				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	赤松川
507	1020-05	弥生土器	甕	9-02	SK1076 No. 1	15.6			高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察 1 1076/4	高	口縁部 1.7/2		
508	1020-07	弥生土器	高杯	9-02	SK1076				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
509	1020-04	漆器	漆器	9-02	SK1076 高杯	10.4			高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	高 2 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	
510	1020-08	弥生土器	高杯	4-04	SK1076				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ・注ぎ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	小片	
511	1020-04	弥生土器	甕	J-823	SK1076 高杯	10.4			高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 2.3/2	
512	1020-02	弥生土器	甕	J-823	SK1076 高杯	18.1			高ナデ・フツナデ・取器 内ナデ・フツナデ	観察簿 1076/9	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	
513	1020-03	弥生土器	甕	J-823	SK1076 高杯				高ナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	
514	1020-07	弥生土器	高杯	J-823	SK1076 高杯			6.8	高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/3	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 1.7/2	
515	1020-03	弥生土器	高杯	J-823	SK1076 高杯				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	CG161観察 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 6.7/2	
516	1020-04	弥生土器	高杯	J-823	SK1076 高杯				高ナデ・フツナデ 内ナデ・フツナデ	観察簿 1 1076/4	中年代 (1-2世紀前半)	高	口縁部 12.1/2	
517	1020-01	石製品	燧石	J-822	SK1076 燧石 燧石	11.2	2.4	2.4		—	—	—	—	長さ110.0 幅10.0 厚さ1.0

*ヤツル川流域

第 32 表 遺物観察表 (11)

観覧番号	発掘場所	種類	遺物名	寸法 長さ×幅×高さ	出土遺物等	測定値 (mm)			調査経過の概要	数量	出土	構成	備考	
						長さ	幅	高さ						
518	1207-08	陶器類	鉢蓋	φ102	SK044 陶器				内、ロウソク燭リ 内、ロウソク燭	調査 2 376.2 調査 2 377.3	底	底	小片	
519	1207-08	陶器類	鉢蓋	φ102	SK044 陶器	13.9			内、ロウソク燭 内、ロウソク燭	調査 1 1000.1	底	底	口縁部 底面	土手崩壊
520	1229-01	粘土土器	筒状口縁皿	φ121	SK046 土器				内、木製 内、銅製、土器	調査 2 376.6	底	底	小片	
521	1229-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、銅製、土器 内、漆製	調査 2 376.6	底	底	口縁部 2.712	
522	1229-03	粘土土器	小笠蓋	φ101	SK046 土器	2.9			内、ハルク・ナツ 内、土器、土器	調査 1 1000.4	中程度 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
523	1207-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4 調査 2 376.6	底	底	小片	筒状口縁
524	1229-01	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	4.6			内、オサマ・土器 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
525	1229-04	粘土土器	蓋	φ100	SK046 土器				内、ハルク・ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	
526	1229-08	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、ナツ 内、土器、漆製蓋	調査 1 1000.4	底	底	底面	土手崩壊
527	1229-02	粘土土器	筒状蓋	φ101	SK046 土器				内、ハルク	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
528	1229-01	陶器品	筒状口縁皿	φ101	SK046 土器	20.1	6.9	2.3			—	—	—	蓋径 20.1、 高さ 6.9
529	1229-02	陶器品	筒状口縁皿	φ101	SK046 土器				内、ナツ 内、ナツ、銅製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	小片	
530	1229-03	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	13.6			内、オサマ・ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	口縁部 1.712	外周部破損
531	1229-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、ハルク 内、ナツ、ハルク	調査 2 377.3	底 (10~15cm程度)	底	小片	
532	1229-03	粘土土器	筒状蓋	φ101	SK046 土器	8.8			内、オサマ・ナツ 内、オサマ・ナツ	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	底面	土手崩壊
533	1229-01	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	4.6			内、ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
534	1229-02	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	9.6			内、ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	底面	土手崩壊
535	1229-05	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	8.7			内、ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
536	1229-08	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	4.4			内、オサマ・ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
537	1227-03	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	19.8			内、銅製、ハルク・オサマ・ナツ 内、ナツ、銅製、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	口縁部 1.712	
538	1227-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	17.6			内、オサマ・ナツ 内、漆製、ハルク・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	口縁部 1.712	
539	1229-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、銅製、土器 内、ナツ、漆製蓋、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
540	1229-08	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	6.5			内、オサマ・ナツ 内、土器	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
541	1229-04	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器	20.5			内、土器 内、土器	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	口縁部 1.712	
542	1229-03	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、ナツ 内、土器、漆製蓋、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	小片	
543	1229-03	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、土器 内、土器、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
544	1227-01	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、土器、オサマ・ナツ 内、土器、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
545	1229-08	粘土土器	蓋	φ101	SK046 土器				内、土器 内、土器	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
546	1229-01	陶器品	口縁	φ101	SK046 土器	2.26	1.06	0.7			—	—	—	蓋径 2.26、 高さ 1.06
547	1229-02	陶器類	鉢蓋	φ100	SK046 土器	12.1			内、ロウソク燭 内、ロウソク燭	調査 2 377.3	中程度 (10~20cm程度)	底	口縁部 1.712	
548	1229-01	陶器類	蓋	φ101	SK046 土器	4.6			内、ロウソク燭 内、ナツ、ロウソク燭、ハルク	調査 2 377.3	底	底	底面	土手崩壊
549	1229-01	陶器類	蓋	φ100	SK046 土器	16.9			内、ロウソク燭・ナツ 内、ロウソク燭・ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	口縁部 1.712	
550	1229-08	土器類	蓋	φ101	SK046 土器				内、ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	小片	
551	1229-03	陶器品	磁石	φ101	SK047 土器	14.8	3.8	2.9			—	—	—	磁石径 14.8、 高さ 3.8、 厚さ 2.9
552	1247-07	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器	3.7			内、ナツ 内、ハルク・ナツ	調査 1 2 376.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	筒状
553	1249-08	粘土土器	筒状口縁皿	φ101	SK048 土器	11.7			内、オサマ・ナツ、ハルク 内、漆製、ハルク	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	口縁部 4.712	
554	1249-08	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器	2.6			内、ハルク・土器、ナツ、漆製蓋 内、土器、土器	調査 1 1000.4	中程度 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
555	1249-07	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器	3.6			内、オサマ・ナツ 内、漆製蓋	調査 1 1000.4	底	底	底面	筒状
556	1271-05	粘土土器	蓋	φ122	SK048 土器				内、木製	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	小片	
557	1271-04	粘土土器	蓋	φ122	SK048 土器	5.6			内、オサマ・土器 内、オサマ・ナツ	調査 2 377.3	底	底	底面	土手崩壊
558	1271-04	粘土土器	蓋	φ122	SK048 土器				内、土器、土器 内、土器、土器	調査 1 1000.4	中程度 (10~15cm程度)	底	小片	
559	1271-03	粘土土器	蓋	φ122	SK048 土器	5.8			内、ハルク 内、ハルク	調査 1 1000.4	中程度 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊
560	440-03	粘土土器	蓋	φ101	SK047 土器				内、オサマ・ナツ 内、オサマ・ナツ、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	小片	
561	407-01	粘土土器	蓋	φ101	SK047 土器	16.8			内、ナツ、漆製蓋、漆製蓋 内、ナツ、漆製蓋	調査 1 1000.4	中程度 (10~15cm程度)	底	2.712	
562	430-03	粘土土器	蓋	φ101	SK047 土器	23.0			内、オサマ・ナツ、ハルク 内、ハルク	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	口縁部 1.712	
563	400-01	陶器品	打撃石	φ101	SK047 土器	101.0	140.71	0.81			—	—	—	蓋径 101.0、 高さ 140.71、 厚さ 0.81
564	430-03	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器				内、オサマ・ナツ 内、ハルク	調査 1 1000.4	中程度 (10~20cm程度)	底	小片	
565	440-02	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器	8.1			内、オサマ・ナツ 内、ナツ	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	筒状
566	410-01	陶器品	筒状口縁皿	φ101	SK048 土器	15.0	6.1	2.5			—	—	—	蓋径 15.0、 高さ 6.1、 厚さ 2.5
567	1034-03	粘土土器	蓋	φ101	SK048 土器				内、ナツ 内、ナツ、漆製蓋	調査 1 1000.4	底 (10~15cm程度)	底	底面	土手崩壊

*φ101×高さ

第 32 表 遺物観察表 (12)

報告番号	発掘番号	種別	器物名	出土位置等	計測値 (mm)		調査状況や特徴	材質	期土	形状	用途	備考
					長さ	幅・高さ						
560	0304-04	第五土層	器	F-014 F-011	SK100	9.0	内: オヤシ-ナデ 外: ナデ+ハコ	IC-014(器) 0307-4	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	口縁部	底面 6.7(2)
569	0304-04	第五土層	器	F-014 F-011	SK110		内: オヤシ-ナデ 外: ナデ+縦線模文	IC-014(器) 2 0307-4	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	小片	
570	0307-01	第五土層	器(口縁)	J-P011*	SK100	14.4	内: オヤシ-ナデ 外: 縦線模文+ナデ	IC-014(器) 0307-4	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 5.7(2)
571	0307-01	第五土層	器	J-P012 J-P014	SK100		内: ナデ 外: ナデ+縦線文	器 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	小片	
572	0307-01	第五土層	器	J-P011*	SK100		内: オヤシ-ナデ 外: ハコ+縦線模文	器 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	小片	
573	0307-01	第五土層	器	J-P011*	SK100	6.7	内: オヤシ-ナデ 外: ハコ+直線文	器 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 7.9(2)
574	0307-01	第五土層	器	J-Q01	SK100 No. 1-7-1-4-5		内: オヤシ-ナデ 外: ハコ+直線文	IC-014(器) 0306-4	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 6.0(2)
575	0401-02	第五土層	輪郭器	9-C9	03040	9.4	内: ナデ 外: ナデ+直線文+縦線模文	器 0306-3 器底面 0306-2	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 2.7(2)
576	0401-01	第五土層	器	9-C9	03040		内: オヤシ+ハコ+直線文 外: ハコ+ナデ+縦線模文	器 1 0306-3 器底面 0306-2	中年代 (→3-1000年代)	高	小片	
577	0401-01	第五土層	器	9-C9	03040	5.1	内: オヤシ-ナデ 外: ハコ+直線文	器 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 7.7(2)
578	0401-01	第五土層	器	9-C9	03040	5.7	内: オヤシ-ナデ+直線文 外: 直線文+直線文+直線文	器底面 2 0307-2	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 7.7(2)
579	0304-02	第五土層	器?	F-04	F-02	27.0	内: ナデ 外: ナデ+ハコ+直線文	器底面 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 1.7(2) 底面
580	0304-02	第五土層	器	F-04	F-02	18.0	内: ナデ 外: 直線文	器 1 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 1.8(2)
581	0304-04	第五土層	器	F-023	F-01		内: ナデ+縦線模文 外: ナデ	器底面 1 0306-9		高	口縁部	底面 6.1(2) 底面
582	0307-01	第五土層	器	9-D5	F-01	18.6	内: ナデ+ハコ+直線文+直線文 外: ナデ	器 2 0306-9	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	口縁部	底面 1.7(2)
583	0401-01	第五土層	器	F-Q05	F-01		内: ナデ 外: ナデ+直線模文	器 0307-3		高	小片	底面
584	0307-02	第五土層	器	J-Q02	F-02		内: オヤシ-ナデ 外: ナデ+直線文	器底面 0306-4	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 1.9(2)
585	0304-01	第五土層	器	J-04	F-02		内: オヤシ-ナデ 外: ナデ+直線模文	器底面 0306-4	中年代 (→3-1000年代)	高	小片	
586	0304-01	第五土層	器	J-Q01	F-01	25.7	内: ナデ 外: ナデ+直線文+ハコ	IC-014(器) 0306-4	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 1.7(2)
587	0303-01	遺棄品	高坪	9-F16	SK100 No. 2	16.0	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 1 0311-1	中年代	高	9.9(2)	器底面直線部
588	0303-07	遺棄品	器?	9-F19	SK100 中年代調査区(11) 噴き跡調査区(1)	10.0	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0311-1		高	口縁部	底面 2.1(2)
589	0303-01	土師器	器	9-F19	SK100 噴き跡調査区(1)	12.0	内: ロウソクナデ 外: ナデ+ハコ	器底面 0306-3	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	口縁部	底面 1.5(2)
590	0303-02	土師器	器	9-F19	SK100 噴き跡調査区(1)	12.0	内: ナデ+ハコ 外: ナデ+ハコ	器底面 1 0306-3	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	口縁部	底面 2.7(2)
591	0303-01	土師器	器	9-F19	SK100 噴き跡調査区(1)	12.0	内: ナデ+ハコ 外: ナデ+ハコ	器底面 1 0306-3	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	口縁部	底面 2.7(2)
592	0303-06	土師器	器	9-F19	SK100 No. 1		内: ナデ+オヤシ 外: ナデ+ハコ	器底面 0306-3	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	底面	底面 1.7(2)
593	0309-01	石製品	短石	9-A0	SK101 No. 1	11.6	直線部直線部	—	—	—	—	長さ(0.01-4g.)
594	0401-02	遺棄品	短石	9-D25	SK100A F-06 No. 4	14.0	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0311-1 底面 1 0311-1	中年代 (→3-1000年代前半葉)	高	底面	底面 4.5(2)
595	0401-02	遺棄品	器	9-D25	SK100A F-02		内: ナデ+直線文+直線文 外: ナデ+直線文	器 1 0307-6		高	小片	
596	0401-02	土師器	器	9-D25	SK100A F-06 No. 1	20.0	内: 直線部 外: 直線部+直線部+直線部	器底面 1 0306-4		高	口縁部	底面 1.7(2)
597	0401-02	遺棄品	短石	9-D25	SK100A F-11	9.6	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0307-3		高	口縁部	底面 4.7(2)
598	0401-02	遺棄品	短石	9-D25	SK100 SK100		内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ	底面 0311-1		高	口縁部	底面 1.7(2)
599	0304-04	遺棄品	短石	9-D25	SK100	9.7	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0311-1		高	口縁部	底面 5.7(2)
600	0401-02	遺棄品	器	9-D25	SK100	13.8	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ	底面 0311-1 底面 0311-1		高	口縁部	底面 1.7(2)
601	0304-04	遺棄品	短石	9-D22	SK100 (直線)	12.2	内: 直線部+直線部 外: 直線部+直線部	器底面 0307-3	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 2.1(2) 底面
602	0304-02	遺棄品	短石?	9-D21	SK100 SK100		内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ	底面 0311-1		高	口縁部	底面 1.7(2) 底面
603	0304-04	遺棄品	短石?	9-D21	SK100 SK100		内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ	器底面 1 0307-3 器底面 1 0307-3 器底面 0306-3		高	小片	器底面直線部 器底面直線部 器底面直線部
604	0304-06	土師器	器	9-D4	SK100		内: 直線部+直線部 外: 直線部+直線部	器底面 0306-3	中年代	高	小片	小片
605	0304-06	土師器	器	9-D4	SK100 SK100		内: ナデ+ハコ+直線文 外: ナデ+ハコ+直線文	器底面 0306-3	中年代	高	小片	小片
606	0304-01	土師器	器	9-D21	SK100 SK100	20.6	内: ナデ+ハコ+直線文 外: ナデ+ハコ+直線文	器底面 1 0306-3 器底面 0306-3		高	口縁部	底面 1.7(2)
607	0304-02	土師器	長形器	9-D21	SK100 (直線)		内: 直線部+直線部 外: 直線部+直線部	器底面 0306-3	中年代	高	小片	
608	0401-01	石製品	短石	9-D21	SK100		内: ナデ 外: ナデ	器底面 0306-4 底面 0311-1		高	小片	
609	0401-01	土師器	器	9-D25	SK100	18.1	内: 直線部+直線部 外: 直線部+直線部	器底面 1 0307-3		高	口縁部	底面 2.3(2)
610	0304-01	土師器	器	9-A0	SK100 直線部		内: ナデ+ハコ+直線文 外: ナデ+ハコ+直線文	器底面 0306-3	中年代	高	小片	内面直線部 小片
611	0304-02	遺棄品	高坪	1-F2	SK100		内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ	器底面 0311-1		高	小片	
612	0304-01	土師器	器	1-F2	SK100 直線部		内: ナデ+ハコ 外: ナデ+ハコ	器底面 0306-3	中年代 (→3-1000年代)	高	小片	
613	0307-01	遺棄品	短石	9-D4	SK100		内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0311-1	中年代 (→3-1000年代)	高	底面	底面 6.7(2)
614	0307-01	土師器	器	9-D11	SK100 直線部	25.0	内: ナデ+ハコ 外: ナデ+ハコ	器底面 1 0307-6	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 2.7(2)
615	0304-06	遺棄品	短石	9-A7	SK100 直線部	9.8	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	底面 0311-1		高	3.7(2)	
616	0304-04	遺棄品	短石	9-A2	SK100 直線部	18.7	内: ロウソクナデ 外: ロウソクナデ+直線文	器底面 1 0306-9	中年代 (→3-1000年代)	高	口縁部	底面 1.7(2)

*J-P011*直線部

第 32 表 遺物観察表 (13)

観覧番号	発掘場所	遺物	遺物名	出土時期 (元号)	出土遺跡等	埋没深さ (cm)			遺物出土の時期	土質	出土	場所	備考	
						位置	数量	単位						
617	815-03	土師器	杯	8-9C	8K023 野原1				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰黒 2.5Bc2	※	品	小片	
618	815-03	土師器	小笠笠	8-9C	8K023 野原1	11.2			内、ロココナデ 外、土ナデ・ハヤテ	灰 2.5Bc2	中程度 (→2.5a) 程度	品	6.12	
619	815-03	土師器	罎	8-11	8K023 野原1				内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	中程度	品	小片	
620	815-03	土師器	瓶	8-11	8K023 野原1				内、土ナデ・ハヤテ 外、土ナデ・ハヤテ	2.5a1(黄緑) 10B11	中程度	品	小片	
621	814-06	土師器	瓶 頸部 土師	8-9C	8K023 野原1				内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	中程度 (1.0~1.0) 程度	品	頸部のみ 小笠笠	
622	814-05	土師器	土師	8-9C	8K023 野原1	4.9	1.1	1.0	内、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	※	品	底部 頸部のみ	
623	814-07	土師器	杯	8-9C	8K023 野原1	17.5	1.6	1.5	埋没深さ不明	—	—	—	—	オカシクエス
624	811-05	土師器	杯	8-9C	8K028				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰 2.5Bc2	※	品	口縁部 底面	
625	811-01	土師器	杯	8-9C	8K028 No. 1, No. 2				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	口縁部 底面	自然脱落
626	808-01	土師器	赤土器	8-9C	8K028	18.3			内周、縁部なしが 多い	浅黄緑 10B12	中程度	品	口縁部 底面	
627	805-02	土師器	杯	8-9C	8K028 No. 14	10.8	4.4		内、ロココナデ 外、ロココナデ・ロココナデ式	灰赤 2.5Bc1	※	品	7.12	
628	805-01	土師器	杯	8-9C	8K028 底面	12.2	4.8		内、ロココナデ 外、ロココナデ・ヘリ塗り	灰 2.5Bc1	中程度	品	底部 7.12	
629	811-02	土師器	杯	8-9C	8K028 野原1				内周、縁部のため不明	灰赤 10B1	※	品	小片	
630	807-01	土師器	罎	8-9C	8K028 No. 22	12.6			内、土ナデ・ハヤテ 外、土ナデ	2.5a1(黄緑) 10B14	※	品	口縁部 3.72	
631	806-02	土師器	罎	8-9C	8K028 No. 22				内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	※	品	口縁部 底面	
632	806-03	土師器	罎	8-9C	8K028 No. 22				内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	※	品	口縁部 3.72	
633	805-02	土師器	罎	8-9C	8K028 No. 1				内周、縁部のため不明	灰赤 2.5Bc2	中程度	品	小片	
634	806-01	土師器	罎	8-9C	8K028	131.6			内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	中程度 (1.0~2.0) 程度	品	口縁部 底面	
635	811-04	土師器	杯	8-9C	8K021	12.9			内、ロココナデ 外、ロココナデ・ヘリ塗り	灰赤 10B1	※	品	口縁部 1.1 中心部	
636	810-02	土師器	杯	8-9C	8K021				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	口縁部 1.6 底面	
637	808-05	土師器	杯	8-9C	8K021 No. 6	17.2			内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 2.5Bc1	※	品	口縁部 2.72	
638	810-01	土師器	罎	8-9C	8K021 奥野原1				内周、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	中程度	品	小片 小笠笠	
639	805-03	土師器	杯 底面	8-9C 8-9C	8K021 奥野原1 No. 2	12.5	3.4		内、ロココナデ 外、ロココナデ・ヘリ塗り	灰 10B1	※	品	口縁部 8.12	
640	808-04	土師器	杯 底面	8-9C	8K021 No. 4				内、ハヤテ 外、縁部のため不明	浅黄緑 10B12	※	品	頸部のみ	
641	807-02	土師器	杯	8-9C	8K021	19.5	3.5	1.1	埋没深さ不明	—	—	—	—	オカシクエス
642	1021-08	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	12.0			内、土ナデ・ハヤテ 外、土ナデ・ハヤテ	浅黄緑 2.5Bc1	※	品	4.12	
643	1024-04	土師器	瓶 土師	7-12	8K026 東土師	18.0			内、土ナデ 外、土ナデ	2.5a1(黄緑) 2.5Bc4	※	品	5.12	東土師?
644	1024-05	土師器	瓶 土師	7-12	8K026 東土師	17.0			内、土ナデ 外、土ナデ	2.5a1(黄緑) 2.5Bc4	※	品	5.12	東土師?
645	1024-02	土師器	瓶 土師	7-12	8K026 東土師	17.0			内、土ナデ・オヤエ 外、土ナデ・オヤエ	2.5a1(黄緑) 10B12	※	品	5.12	東土師?
646	1021-01	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師	9.1			内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	口縁部 2.72	東土師
647	1021-03	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師	11.0	2.4		内、ロココナデ 外、ロココナデ・ヘリ塗り	灰赤 2.5Bc1	※	品	口縁部 2.72	東土師
648	1021-07	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師	16.0			内、ロココナデ 外、ロココナデ・ヘリ塗り	灰赤 2.5Bc1	※	品	底部 2.72	東土師
649	1021-05	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	小片 東土師	
650	1021-04	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	13.2	4.6	8.4	内、ロココナデ 外、ロココナデ・ロココナデ式	灰赤 10B1	※	品	7.12	東土師
651	1021-06	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	底面 小片	
652	1022-02	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、ロココナデ 外、ロココナデ	灰赤 10B1	※	品	小片	
653	1021-05	土師器	瓶 土師	8-9C	8K026 東土師				内、土ナデ 外、土ナデ	浅黄緑 2.5Bc4	※	品	小片 東土師?	
654	1021-07	土師器	瓶 土師	8-9C	8K026 東土師	18.0			内、土ナデ 外、土ナデ	灰赤 10B1	※	品	小片 東土師?	
655	1021-01	土師器	瓶 土師	8-9C	8K026 東土師	15.1			内、土ナデ 外、土ナデ	2.5a1(黄緑) 2.5Bc4	※	品	小片 東土師?	
656	1021-03	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、土ナデ・縁部縁部 外、土ナデ	灰 10B1	※	品	小片	
657	1021-01	土師器	小笠笠	8-9C	8K026 東土師	13.0			内、土ナデ・ハヤテ 外、土ナデ・ヘリ塗り	浅黄緑 2.5Bc4	中程度 (→2.5a) 程度	品	口縁部 底面	
658	1024-02	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、ハヤテ・オヤエ 外、ハヤテ・オヤエ	浅黄緑 2.5Bc4	中程度 (→2.5a) 程度	品	底部 小片	
659	1021-05	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	21.0			内、土ナデ・ヘリ塗り 外、土ナデ・ヘリ塗り	浅黄緑 10B12	※	品	口縁部 3.12	
660	1021-02	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	18.0			内、ハヤテ 外、土ナデ	浅黄緑 2.5Bc4	※	品	口縁部 3.12	
661	1021-03	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、土ナデ・オヤエ・ハヤテ 外、土ナデ・ハヤテ	浅黄緑 2.5Bc4	中程度 (→2.5a) 程度	品	口縁部 3.12	
662	1021-04	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	24.0			内、土ナデ・ハヤテ 外、土ナデ	浅黄緑 2.5Bc4	※	品	口縁部 1.1, 3.12	
663	1021-04	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師	20.0			内、土ナデ 外、土ナデ	浅黄緑 10B12	※	品	口縁部 3.12	東土師?
664	1024-01	土師器	罎	8-9C	8K026 東土師				内、土ナデ 外、土ナデ	浅黄緑 10B12	中程度 (→2.5a) 程度	品	底部 小片	
665	1021-01	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師	14.0			内、土ナデ 外、土ナデ	浅黄緑 10B12	中程度 (→2.5a) 程度	品	底部 小片	
666	1021-03	土師器	杯	8-9C	8K026 東土師	19.0	3.9		内、ロココナデ 外、ロココナデ・ロココナデ式	灰赤 10B1	※	品	底部 自然脱落	

第 32 表 遺物観察表 (14)

報告番号	発掘番号	種別	群種名	出土位置 (層位)	出土層位	数量			調査担当者	出所	出土	形状	用途	備考
						片数	重量	長さ						
667	1030-02	遺物類	群種	9-013	301930 北土層位13	11.4	2.9		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ 内 ハ	高田 1971	群	瓦製	自然発着	
668	1030-04	土器類	小笠原	9-013	301930 北土層位13	13.3			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 2.7/2
669	1030-05	土器類	小笠原	9-013	301930 北土層位13	13.0			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 1.7/2
670	1030-06	遺物類	群種	9-08	301930	11.0			高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	群	高	口縁部 2.7/2	
671	1030-08	遺物類	群	9-08	301930	14.4			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	中厚板 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 2.7/2
672	1030-01	土器類	群	9-08	301930				高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 1.7/2
673	1030-07	土器類	群	9-08	301930				高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 1.7/2
674	1030-02	土器類	群種土器	4-06	301930	8.7			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	中厚板 (→200mm程度厚さ多量)	高	口縁部 0.7/2
675	1110-05	遺物類	群種	1-015	301930 東土層位15	13.4			高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	群	高	小片	
676	1110-07	遺物類	群種	1-014	301930 東土層位15	12.2			高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1971	群	高	小片	
677	1110-06	土器類	群	1-014	301930 東土層位15				高 ハヤシ 外 ハヤシ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	片断 瓦製
678	1110-08	遺物類	群種	1-021	301930 東土層位15				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	群	高	高	2.7/2
679	1110-06	遺物類	群	1-021	301930 東土層位15				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	高	小片	内面自然発着
680	1110-07	土器類	群	1-021	301930 東土層位15	18.8			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1971	群	高	口縁部 3.7/2	
681	420-02	土器類	群	76	301930 北土層位13				高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	中厚板	高	口縁部 2.7/2	
682	420-01	土器類	群	79	301930 北土層位13				高 ハヤシ・ヤナヒ・ヤナヒ・ヤナヒ 外 ハヤシ・ヤナヒ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高	口縁部 2.7/2	
683	1110-03	土器類	群	1-021	301930 東土層位15				高 オヤシ・ヤナヒ 外 オヤシ・ヤナヒ	高田 1970-9	中厚板	高 (→200mm程度)	高	破断片 片断厚さ20mm
684	1130-01	土器類	群種	1-021	301930 東土層位15	12.7	7.8	8.8	高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1971	群	高	破片 厚さ1.5mm	
685	1110-02	土器類	群	9-04	301930 北土層位13	18.9			高 ナチ・ヤナヒ 外 ナチ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 2.7/2
686	1030-05	遺物類	群種	9-017	301930 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	中厚板	中厚板	
687	1200-07	土器類	群	9-017	301930 北土層位13	14.8			高 ナチ・ヤナヒ・ヤナヒ・ヤナヒ 外 ナチ・ヤナヒ	高田 1970-9	群	高	7.0/2	
688	1210-02	遺物類	群種	9-015	301930 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1970-9	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 1.7/2
689	1210-04	遺物類	群種	9-015	301930 北土層位13	10.2	3.1		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 6.7/2
690	1210-06	遺物類	群種	9-015	301930 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1970-9	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 1.7/2
691	1210-01	遺物類	群種	9-013	301930 北土層位13	13.9	5.3		高 土器ロウケツ・陶器類 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	6.7/2
692	1210-03	遺物類	群種	9-015	301930 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 2.7/2
693	1210-05	土器類	群	9-015	301930 北土層位13	16.0			高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	口縁部 2.7/2
694	1210-04	土器類	群	9-015	301930 北土層位13				高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	破片 4.7/2
695	1210-08	遺物類	群種	9-112	301937 東土層位15	12.9	4.4		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1970-9	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 5.7/2
696	1211-02	遺物類	群種	9-112	301937 東土層位15				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	小片
697	1211-02	遺物類	群種	9-010	301937 東土層位15	10.2	3.1		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	2.7/2
698	1211-01	遺物類	群種	9-110	301937 東土層位15	8.9			高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	群	高 (→200mm程度)	高	破片 1.7/2
699	1211-04	遺物類	群	9-110	301937 東土層位15				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・二重瓦	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	口縁部 1.7/2
700	1210-01	遺物類	群種	9-110	301937 東土層位15	12.8			高 土器ロウケツ・陶器類 外 土器ロウケツ・ヤナヒ	高田 1971	中厚板	高	口縁部 6.7/2	
701	1210-02	遺物類	群種	9-110	301937 東土層位15				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	高	3.7/2
702	1210-02	土器類	群	9-110	301937 東土層位15	16.3			高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	群	高	口縁部 2.7/2	
703	1210-01	土器類	群	9-110	301937 東土層位15	16.0			高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	口縁部 5.7/2
704	1210-05	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	12.8	3.7		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1971	群	高	口縁部1.12 中心あり	
705	1210-04	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	12.8	4.2		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1970-9	群	中厚板	2.7/2	
706	1210-04	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	群	高	口縁部 1.7/2	
707	1210-01	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	11.2	4.2		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1970-9	群	高 (→200mm程度)	高	6.7/2
708	1210-03	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	11.4	4.2		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1970-9	群	高	口縁部 6.7/2	
709	1210-02	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	11.9	3.9		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1971	群	高 (→200mm程度)	高	口縁部 5.7/2
710	1210-02	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	12.8	4.1		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ハヤシ	高田 1971	群	高	6.7/2	
711	1210-03	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	13.0	4.8		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ・ロウケツ	高田 1971	中厚板	高 (→200mm程度)	中厚板	瓦製
712	1210-09	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13				高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1970-9	群	高	破断片のみ 厚さ1.5mm	
713	1210-04	遺物類	群種	9-019	301938 北土層位13	11.0	4.0		高 土器ロウケツ 外 土器ロウケツ	高田 1971	中厚板	高	口縁部 1.7/2	
714	1210-03	土器類	群	9-019	301938 北土層位13				高 ナチ・ヤナヒ 外 陶器類	高田 1970-9	中厚板	高	小片	
715	1210-02	土器類	群	9-019	301938 北土層位13				高 陶器類 外 陶器類	高田 1970-9	中厚板	高	小片	

第 32 表 遺物観察表 (15)

観測番号	実測番号	種別	群像名	出土位置 (方位)	出土深さ等	調査層 (cm)	調査経緯の時刻		方位	出土	構成	備考
							日付	時刻				
716	1214-08	土師器	器	A-P11	SR024 北東上層		10時	東端部(北)の赤土	東向き 10時4分	器	品	小片
717	1214-07	土師器	器	A-P11	SR021 南東上層	17.6	10時	東端部(北)の赤土	東向き 10時4分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
718	1214-01	土師器	器	A-P11	SR024 北東上層	11.8	10時	東端部(北)の赤土	北向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
719	1214-05	土師器	器	A-P11	SR024 北東上層 北	15.4	10時	東端部(北)の赤土	北向き 10時3分	層 (→1-2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
720	1214-06	土師器	器	A-P11	SR024 北東上層	19.2	10時	東端部(北)の赤土	北向き 10時4分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
721	1214-06	土師器	器	A-P11	SR024 北東上層		10時	ナチ、ナチエ ナチ、ナチエ	東向き 10時6分	中々層	品	器身のみ
722	1214-08	土師器	器	A-P7	SR029		10時	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	器	品	小片
723	1214-02	土師器	群像	A-P12	SR031 北	11.4	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 7時3分	層	品	10.12
724	1214-03	土師器	群像	A-Q3	SR031 南東上層	11.7		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
725	1214-09	土師器	群像	A-P9	SR027 北	12.7	5.4	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層	品	木箱 4.19
726	1214-05	土師器	群像	A-P9	SR031 北	12.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
727	1214-01	土師器	群像	A-P10	SR031 北	19.0	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 7時3分	層 (→2m層赤土)	品	蓋部 3.12
728	1214-04	土師器	群像	A-P9 A-P10	SR031 北	11.2	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
729	1214-01	土師器	群像	A-Q3	SR031 北	10.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
730	1214-08	土師器	群像	A-P10	SR031 北	19.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
731	1214-10	土師器	群像	A-P10 A-Q2	SR027 南東上層 →後述P17.15	11.2	4.5	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	層 (→2m層赤土)	品	器身 6.12
732	1214-06	土師器	群像	A-P10	SR031 北	10.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
733	1214-04	土師器	群像	A-Q3	SR031 北東上層	10.2		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
734	1214-07	土師器	群像	A-P9	SR031 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	層 (→2m層赤土)	品	蓋部 3.12
735	1214-04	土師器	群像	A-Q3	SR031 北	12.0		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	層 (→2m層赤土)	品	器身 6.12
736	1214-02	土師器	群像	A-Q3	SR031 北東上層	17.7		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	層 (→2m層赤土)	品	器身 2.12
737	1214-03	土師器	群像	A-Q3	SR031 北東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層 (→2m層赤土)	品	小片
738	1214-01	土師器	群像	A-P9	SR031 北	17.7		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
739	1214-05	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層	11.0		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→1m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
740	1214-04	土師器	群像	A-Q3	SR031 北東上層	10.9		口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時4分	中々層	品	口縁部 1.5-12
741	1214-01	土師器	群像	A-Q3	SR031 北東上層	10.2		口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時4分	層 (→1m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
742	1214-08	土師器	群像	A-P9	SR031 北	19.2		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	中々層 (→1m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
743	1214-05	土師器	群像	A-P10	SR031 北			口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時2分	中々層	品	小片
744	1214-01	土師器	群像	A-P10	SR031 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時4分	層	品	小片
745	1214-02	土師器	群像	A-P9	SR021 北	17.4		口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時4分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
746	1214-02	土師器	群像	A-P10	SR031 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	中々層 (→1m層赤土)	品	器身のみ
747	1214-03	土師器	群像	A-P10	SR031 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	層 (→1m層赤土)	品	器身のみ
748	1214-07	土師器	群像	A-P9	SR021 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	中々層 (→1m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
749	1214-08	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層	11.0	4.4	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	中々層 (→2m層赤土)	品	蓋部 3.12
751	1214-04	土師器	群像	A-Q4	SR040			口内ナチエ、ナチ 口内ナチエ	北向き 10時4分	層 (→1m層赤土)	品	器身 6.12
752	1214-05	土師器	群像	A-Q4	SR040 北	25.2		口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時4分	中々層 (→1m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
753	1214-04	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層	14.0	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時2分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
754	1214-03	土師器	群像	A-Q3	SR040 南東上層 (南)	11.0	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	口縁部 1.5-12
755	1214-02	土師器	群像	A-Q4	SR040 北	12.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
756	1214-01	土師器	群像	A-Q4	SR040 北	12.0		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
757	1214-06	土師器	群像	A-Q4	SR040 北	10.4		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	口縁部 1.5-12
758	1214-06	土師器	群像	A-Q4	SR040 北			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	層	品	小片
759	1214-01	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層	14.4	5.4	口内ナチエ 口内ナチエ	北向き 10時3分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	蓋部 3.12
760	1214-02	土師器	群像	A-Q3	SR040 北	11.8		口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
761	1214-03	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層	12.0	4.0	口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	蓋部 3.12
762	1214-04	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	品	口縁部 1.5-12
763	1214-05	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	蓋部 3.12
764	1214-06	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	蓋部 3.12
765	1214-07	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時1分	中々層 (→2m層赤土)	中々 品	蓋部 3.12
766	1214-08	土師器	群像	A-Q1*	SR027 南東上層			口内ナチエ 口内ナチエ	東向き 10時6分	層 (→2m層赤土)	品	器身 1.12

*P17より調査

第 32 表 遺物観察表 (16)

観覧番号	観覧年月	種類	観覧者	出土位置 (7/10)	出土遺物等	形数表 (枚)			調査担当者	出所	出土	現状	保存	備考
						片数	重量	長さ						
767	1270-02	土器類	常	J-013	301930 アモ				高 1.4 内 1.4 外 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	小片	
768	1270-03	土器類	常	J-013	301930 東室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	小片	黒紙
769	1270-01	土器類	常	J-013	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→2500年程度)	高	黒紙	黒紙
770	1270-06	土器類	常	J-015	301930 軒室	16.2			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所4	中年代	高	口縁部	1.7/2
771	1270-02	土器類	特殊	J-015	301930 アモ	16.7	5.3		内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所4	中年代 (→300年程度)	高	黒紙	黒紙
772	1270-02	土器類	特殊	J-015*	301930 アモ	16.9			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所4	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
773	1270-04	土器類	特殊	J-016	301930 北室	71.6			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
774	1270-02	土器類	常	J-016	301930 東室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	黒紙	黒紙
775	1270-06	土器類	常	J-016	301930 アモ				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
776	1270-04	土器類	常	J-016	301930 アモ				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
777	1270-02	土器類	特殊	J-017*	301930 東室	12.7	4.4		内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
778	1270-01	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
779	1270-01	土器類	特殊	J-011	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
780	1270-04	土器類	常	J-011	301930 東室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
781	1270-04	土器類	常	J-011	301930 東室	18.6			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
782	1270-03	土器類	特殊	J-019	301930 軒室	13.1			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
783	1270-04	土器類	特殊	J-019	301930 軒室	15.6			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
784	1270-05	土器類	特殊	J-019	301930 軒室	12.5	4.6		内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
785	1270-06	土器類	特殊	J-019	301930 軒室	13.9	5.4		内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
786	1270-02	土器類	常	J-019	301930 軒室	19.0			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
787	1270-02	土器類	常	J-09-10	301930 北	16.1			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
788	1270-02	土器類	常	J-09-10	301930 北	17.7			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
789	1270-06	土器類	常	J-09	301930 東室	17.9			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
790	1270-01	土器類	常	J-010	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
791	1270-01	土器類	常	J-08	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
792	1270-03	土器類	特殊	J-011	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
793	1270-05	土器類	特殊	J-011	301930	12.0	3.6		内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
794	1270-02	土器類	特殊	J-011	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
795	1270-04	土器類	常	J-011	301930				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
796	1270-04	土器類	特殊	J-015	301930 軒室	13.4			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
797	1270-04	土器類	特殊	J-015	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
798	1270-01	土器類	特殊	J-015	301930 軒室	9.8			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
799	1270-02	土器類	常	J-015	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
800	1270-07	土器類	常	J-015	301930 北				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
801	1270-01	土器類	常	J-015	301930 軒室	14.4			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
802	1270-03	土器類	常	J-015	301930 軒室	14.4			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
803	1270-04	土器類	常	J-016	301930 軒室	23.4			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代	高	口縁部	2.7/2
804	1270-05	土器類	特殊	J-015	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
805	1270-02	土器類	特殊	J-019	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
806	1270-01	土器類	常	J-019	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
807	1270-04	土器類	特殊	J-019	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
808	1270-04	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室	12.1			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
809	1270-07	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室	12.1			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
810	1270-02	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
811	1270-10	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
812	1270-08	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
813	1270-09	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室	11.9			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
814	1270-08	土器類	特殊	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
815	1270-05	土器類	常	J-017*	301930 軒室				内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
816	1270-01	土器類	常	J-017*	301930 軒室	12.0			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2
817	1270-02	土器類	常	J-017*	301930 軒室	18.8			内 1.4 外 1.4 高 1.4	江古川遺物 観察所1	中年代 (→300年程度)	高	口縁部	2.7/2

*アモット跡地

第 32 表 遺物観察表 (17)

観測番号	実測番号	種別	群集名	出土層位	出土遺物等	埋藏深 (cm)		埋藏状況の備考	土質	出土	構成	形状	備考
						計算	測定						
818	1347-01	土器類	群	J-013	SR070 土			埋	埋	埋	埋	小片	
819	1347-03	土器類	群	J-013	SR070 土			埋	埋	埋	埋	群	群
820	1350-21	土器類	群	J-019	SR074 焼瓦片	14.8	4.2	埋	埋	埋	埋	高	3.15
821	1350-21	土器類	群	J-019	SR074 焼瓦片	14.8	5.8	埋	埋	埋	埋	高	3.15
822	1350-22	土器類	群	J-019	SR074 焼瓦片			埋	埋	埋	埋	高	3.15
823	1350-23	土器類	群	J-019	SR074 焼瓦片	12.0		埋	埋	埋	埋	高	3.15
824	1350-24	土器類	群	J-019	SR074 焼瓦片	73.4	4.4	埋	埋	埋	埋	高	6.75
825	1340-05	土器類	群	J-014	SR074 土	12.5		埋	埋	埋	埋	高	3.15
826	1350-03	土器類	群	J-019	SR074 土	4.8	8.15	埋	埋	埋	埋	高	3.15
827	1350-02	土器類	群	J-019	SR074 土		18.2	埋	埋	埋	埋	高	3.15
828	1350-04	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
829	1357-04	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
830	1357-05	土器類	群	J-019	SR074 土	11.3	8.6	7.6	埋	埋	埋	高	3.15
831	1357-05	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
832	1357-07	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
833	1356-06	土器類	群	J-019	SR074 土	17.7		埋	埋	埋	埋	高	3.15
834	1350-08	土器類	群	J-019	SR074 土	21.6		埋	埋	埋	埋	高	3.15
835	430-05	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
836	1357-03	土器類	群	J-019	SR074 土			埋	埋	埋	埋	高	3.15
837	1350-04	土器類	群	J-019	SR074 土	13.1	1.2	埋	埋	埋	埋	高	3.15
838	1350-03	土器類	群	J-019	SR074 土	18.0	1.7	1.7	埋	埋	埋	高	3.15
839	1350-21	土器類	群	J-019	SR074 土	13.1	3.0	11.1	埋	埋	埋	高	3.15
840	1350-22	土器類	群	J-019	SR074 土	18.1	3.0	15.1	埋	埋	埋	高	3.15
841	1370-01	土器類	群	J-019	SR074 土	2.22	18.81	16.59	埋	埋	埋	高	3.15
842	1351-05	土器類	群	J-019	SR074 土	19.8	29.8	4.6	埋	埋	埋	高	3.15
843	1350-07	土器類	群	J-019	SR074 土	12.4	4.8		埋	埋	埋	高	3.15
844	1350-08	土器類	群	J-019	SR074 土	72.0	5.1		埋	埋	埋	高	3.15
845	1350-08	土器類	群	J-019	SR074 土	11.7	5.6		埋	埋	埋	高	3.15
846	1350-08	土器類	群	J-019	SR074 土	73.9	5.0		埋	埋	埋	高	3.15
847	1350-03	土器類	群	J-019	SR074 土	11.9			埋	埋	埋	高	3.15
848	1350-08	土器類	群	J-019	SR074 土	12.5			埋	埋	埋	高	3.15
849	1350-02	土器類	群	J-019	SR074 土	13.0	4.6		埋	埋	埋	高	3.15
850	1350-04	土器類	群	J-019	SR074 土	13.9			埋	埋	埋	高	3.15
851	1350-01	土器類	群	J-019	SR074 土	12.8			埋	埋	埋	高	3.15
852	1340-04	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
853	1340-06	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
854	1340-05	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
855	1340-07	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
856	1340-02	土器類	群	J-019	SR074 土	14.6			埋	埋	埋	高	3.15
857	1351-01	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
858	1340-21	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
859	1340-03	土器類	群	J-019	SR074 土	6.5	6.9	2.7	埋	埋	埋	高	3.15
860	1351-03	土器類	群	J-019	SR074 土	19.3	5.0		埋	埋	埋	高	3.15
861	1351-01	土器類	群	J-019	SR074 土	10.7			埋	埋	埋	高	3.15
862	1351-02	土器類	群	J-019	SR074 土	73.2	5.3		埋	埋	埋	高	3.15
863	1351-04	土器類	群	J-019	SR074 土	39.8			埋	埋	埋	高	3.15
864	1351-05	土器類	群	J-019	SR074 土	77.2			埋	埋	埋	高	3.15
865	1351-02	土器類	群	J-019	SR074 土	10.7			埋	埋	埋	高	3.15
866	1350-02	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
867	1351-06	土器類	群	J-019	SR074 土				埋	埋	埋	高	3.15
868	430-01	土器類	群	J-019	SR074 土	12.2	5.0		埋	埋	埋	高	3.15

第 32 表 遺物観察表 (18)

報告番号	発掘年度	種別	器物名	出土位置等	数量 (個)	調査経過の時期	出所	出土	現状	保存	備考
369	1937-02	土器類	器	30-30000 (1-30000)	21.4	高 1 ハブメーナ 高 1 ハブメーナ	高野 野田	中年代 (1-30000年前)	高	観察 2.12	
370	1937-01	土器類	器	30100 子		高 1 ハブメーナ	高野	中年代	高	観察 2.12	
371	1937-04	土器類	群細器	30100		高 1 ハブメーナ	高野	中年代	高	観察 1.12	
372	1937-03	土器類	器	30100 白土の	10.2	高 1 ハブメーナ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
373	1937-01	土器類	器	30100 大ヤク 器1	15.8	高 1 ナブ	高野	中年代	高	観察 1.12	
374	1937-03	土器類	器	30100 群細器 器2	17.3	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
375	1937-07	土器類	器	30100 群細器	17.2	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 4.12	
376	1937-04	土器類	器	30100 群細器 器2	23.2	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
377	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器2	18.9	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
378	1937-02	土器類	器	30100 大ヤク 器1	11.6	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
379	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器4	16.2	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
380	1937-02	土器類	器	30100 群細器 器2	18.5	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
381	1937-02	土器類	器	30100 群細器		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
382	1937-02	土器類	器	30100 群細器 器4		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
383	1937-03	土器類	器	30100 群細器 器2		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
384	1937-06	土器類	器	30100 群細器 器4		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
385	1937-02	土器類	器	30100 群細器		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
386	1937-01	土器類	器	30100 群細器		高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
387	1937-01	土器類	器	30100 群細器 器2	26.9	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
388	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	12.8	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
389	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	14.4	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
390	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	12.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
391	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	12.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
392	1937-07	土器類	群細器	30100 群細器 器1	13.3	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
393	1937-03	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
394	1937-03	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
395	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
396	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
397	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
398	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
399	1937-03	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
400	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
401	1937-05	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
402	1937-05	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
403	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
404	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
405	1937-05	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
406	1937-07	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
407	1937-06	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
408	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
409	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
410	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
411	1937-07	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
412	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
413	1937-06	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
414	1937-02	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
415	1937-06	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
416	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
417	1937-05	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
418	1937-04	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	
419	1937-01	土器類	群細器	30100 群細器 器1	23.1	高 1 ナブ	高野	中年代 (1-30000年前)	高	観察 1.12	

第 32 表 遺物観察表 (19)

観測番号	実施年度	種別	調査地	出土位置	出土遺物等	発掘深 (cm)	調査経過の概要	品名	出土	構成	備考			
												調査日時	調査者	
320	1980-08	土器類	原	0-30	SR003	18.0	内、ナギナ 外、ナギナ	二土器類 SR003	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 2.7(2)			
321	1980-05	土器類	原	0-30	SR002 新堀川第2	14.4	内、ナギナ 外、ナギナ、オサエ	二土器類 SR002	層 (1~3m) 散在	高	口縁部 4.1(1)			
322	1980-04	土器類	原	0-30	SR002 新堀川第2	23.0	内、ナギナ 外、ナギナ、オサエ	二土器類 SR002	層 (1~3) 5m) 散在	高	口縁部 SR002			
323	1980-04	土器類	原 (遺下)	0-30	SR003 No. 7	16.0	内、ナギナ 外、ナギナ	二土器類 SR003	中層	高	口縁部 5.7(2)			
324	1980-05	土器類	原	0-30	SR003	19.0	内、ナギナ、ハク 外、ナギナ	二土器類 SR003	層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)			
325	1980-05	土器類	原	0-30	SR003 No. 10	14.4	内、ナギナ、ハク 外、ナギナ	二土器類 SR003	中層	高	口縁部 2.7(2)			
326	1980-07	土器類	原	0-30	SR003		内、ナギナ 外、オサエ、ナギナ、ハク	二土器類 SR003	中層 (1~2m) 散在	高	小片			
327	1980-03	土器類	原 (遺下)	0-30	SR003		内、ナギナ 外、ナギナ	二土器類 SR003	中層	高	小片			
328	1980-08	土器類	自然露	0-30	SR003 No. 1	36.4	内、新堀川内、新堀川	二土器類 SR003	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 6.6			
329	1980-03	土器類	原 (遺下、遺)	0-30	SR003 一遺		内、ナギナ 外、ハク、ナギナ	二土器類 SR003	中層 (1~4m) 散在	高	口縁部 6.6			
330	1984-07	土器類	土器	0-30	SR003 一遺	18.3	0.2	0.2	0.2	内、ナギナ	二土器類 SR003	高	4.1(2)	
331	1984-08	土器類	土器	0-30	SR003 一遺	18.0	0.3	0.3	0.3	内、ナギナ	二土器類 SR003	高	4.1(2)	
332	1980-01	土器類	瓦片	0-30	SR002 一遺	9.9	5.2	2.1		内、新堀川内、新堀川	二土器類 SR002	高	口縁部 5.1(2)	
333	1980-01	土器類	瓦片	0-30	SR002 No. 21	10.0	10.0	5.4		内、新堀川内、新堀川	二土器類 SR002	高	口縁部 5.1(2)	
334	1980-01	土器類	瓦片	0-30	SR002 No. 22	11.0	14.9	11.3		内、新堀川内、新堀川	二土器類 SR002	高	口縁部 5.1(2)	
335	1984-05	土器類	神鏡	1-10	SR003		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR003	層 (1~2m) 散在	高	小片			
336	1984-04	土器類	神鏡	1-10	SR003 新堀川		内、ナギナ、ハク 外、新堀川内、新堀川	土器類 SR003	層 (1~2m) 散在	高	口縁部 7.1(2)			
337	1984-07	土器類	神鏡	1-10	SR003		内、オサエ、ナギナ 外、オサエ、ナギナ、ハク	二土器類 SR003	中層 (1~2m) 散在	高	底面			
338	1980-02	土器類	神鏡	1-10	SR003 新堀川		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR003	層 (1~2m) 散在	高	小片			
339	1980-01	土器類	神鏡	1-10	SR003 新堀川		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR003	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 1.8(2)			
340	1984-06	土器類	神鏡	1-10	SR003 新堀川	18.0	内、ハク 外、ナギナ、ハク	二土器類 SR003	層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)			
341	1984-08	土器類	瓦片	1-10	SR003 新堀川	14.4	4.0	3.5		内、新堀川内、新堀川	二土器類 SR003	高	口縁部 5.1(2)	
342	1980-07	土器類	神鏡	0-10	SR004		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	層 (1~3m) 散在	高	口縁部 5.1(2)			
343	1980-08	土器類	神鏡	0-10	SR004 原		内、口コナナ 外、口コナナ、工製新堀川	土器類 SR004	層 (1~2m) 散在	高	口縁部 1.8(2)			
344	1980-08	土器類	神鏡	0-10	SR004 古ナギ		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	層 (1~3m) 散在	高	口縁部 1.8(2)			
345	1980-05	土器類	神鏡	0-10	SR004		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	層 (1~3m) 散在	高	口縁部 2.8(2)			
346	1980-01	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 27		内、口コナナ、工製ナギ 外、口コナナ、新堀川	土器類 SR004	層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)			
347	1980-08	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 28	8.1	2.5	2.5		内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~3m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
348	1980-01	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 29	10.0	3.1			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層	高	口縁部 5.1(2)
349	1980-08	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 30	12.4	3.5			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
350	1980-05	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 31	10.0	3.2			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	4.1(2)
351	1980-08	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 32	10.0	3.1			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層	高	口縁部 5.1(2)
352	1980-07	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 33	9.9				内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
353	1980-01	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 34	10.0				内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
354	1980-02	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 35					内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR004	中層 (1~4m) 散在	高	口縁部 2.7(2)
355	1980-02	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 36	10.0				内、ナギナ 外、ナギナ	二土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
356	1980-04	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 37					内、ナギナ 外、ナギナ、ハク	二土器類 SR004	中層 (1~2m) 散在	高	小片
357	1980-01	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 38					内、ナギナ、ハク 外、ナギナ、ハク	二土器類 SR004	層 (1~3m) 散在	高	小片
358	1980-02	土器類	神鏡	0-10	SR004 No. 39					内、新堀川内、新堀川 外、新堀川内、新堀川	二土器類 SR004	中層 (1~4m) 散在	高	小片
359	1980-02	土器類	神鏡	1-10	SR005 新堀川、No. 1	14.4	4.7			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR005	中層 (1~2m) 散在	高	5.7(2)
360	1980-08	土器類	神鏡	1-10	SR005 新堀川、No. 2	12.0	5.0			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR005	中層 (1~4m) 散在	高	口縁部 一断面
361	1987-01	土器類	神鏡	1-10	SR005 新堀川、No. 11	12.0				内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR005	中層 (1~2m) 散在	高	口縁部 5.1(2)
362	1987-03	土器類	神鏡	1-10	SR005 新堀川、No. 12	12.0				内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR005	中層 (1~5m) 散在	高	口縁部 4.1(2)
363	1987-04	土器類	神鏡	1-10	SR005 新堀川、No. 11					内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR005	中層	高	小片
364	1987-05	土器類	原・遺下	1-10	SR005 新堀川、No. 21					内、ナギナ 外、ナギナ、オサエ	二土器類 SR005	層 (1~3m) 散在	高	小片
365	1987-06	土器類	原・遺下	1-10	SR005 新堀川、No. 22					内、ナギナ、オサエ 外、ナギナ、オサエ	二土器類 SR005	層 (1~3m) 散在	高	小片
366	1980-01	土器類	神鏡	1-10	SR006 No. 9	14.0	4.4			内、口コナナ 外、口コナナ	土器類 SR006	中層	高	口縁部 2.7(2)
367	1980-05	土器類	神鏡	1-10	SR006 No. 11	10.0				内、ナギナ 外、新堀川内、新堀川	二土器類 SR006	中層	高	口縁部 10.2(2)
368	1980-02	土器類	神鏡	1-10	SR006 No. 12	10.0				内、ナギナ 外、ナギナ、ハク	二土器類 SR006	中層	高	口縁部 4.7(2)
369	1980-04	土器類	神鏡	1-10	SR006 No. 14	14.4				内、ナギナ 外、ナギナ、ハク	二土器類 SR006	中層	高	口縁部 5.1(2)

*ナギナ、ハク

第 32 表 遺物観察表 (21)

観測番号	観測場所	種類	遺物名	寸法(長さ×幅×高さ)	出土遺物等	形質			遺物注目の特徴	色相	粘土	焼成	備考
						材質	重量	形状					
1019	1320-01	土器類	甕	φ47	SR014 陶器類破片				陶・ナツ 陶・ナツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→20cm程度)	瓦	小片
1020	1320-02	土器類	甕	φ46	SR014 土器類破片				陶・陶器類破片 陶・陶器類破片	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	小片
1021	1320-03	土器類	甕	φ47	SR014 陶器類破片				陶・ナツ・ハツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	小片
1022	1320-04	土器類	甕	φ47	SR014 中央部高直筒式 甕				陶・ナツ 陶・ナツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	小片
1023	1320-04	土器類	甕	φ47	SR014 中央部高直筒式 甕	14.8			陶・オヤニ・ナツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1024	1320-07	土器類	甕	φ49	SR014 口ナツ直筒式 甕	17.2			陶・陶器類破片 陶・陶器類破片	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→20cm程度)	瓦	口縁 2.12
1025	1320-08	土器類	甕	φ47	SR014 陶器類破片	20.7			陶・オヤニ・ナツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→50cm程度)	瓦	口縁部 1.12
1026	1320-08	土器類	甕	φ47	SR014 陶器類破片	22.6			陶・オヤニ・ナツ 陶・オヤニ・ナツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→1.5m程度)	瓦	口縁部 2.12
1027	1320-07	土器類	甕	φ46	SR014 中央部高直筒式 甕	19.8			陶・ナツ・ハツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄 2.136.3	甕	瓦	口縁部 4.12
1028	1320-01	土器類	甕	φ47	SR014 口ナツ直筒式 甕				陶・オヤニ 陶・オヤニ・オヤニ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	小片
1029	1320-01	土器類	甕	φ46	SR014				陶・オヤニ・ナツ 陶・ハツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	底部 11.12
1030	1320-04	土器類	甕	φ47	SR014 口ナツ直筒式 甕				陶・ナツ 陶・オヤニ・ナツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→40cm程度)	瓦	甕身 6.12
1031	1320-08	土器類	甕	φ46	SR014 中央部高直筒式 甕				陶・ナツ 陶・オヤニ・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→20cm程度)	瓦	甕身 6.12
1032	1320-08	土器類	甕	φ46	SR014 中央部高直筒式 甕				陶・ナツ 陶・オヤニ・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→30cm程度)	瓦	甕身 6.12
1033	1320-01	石製品	鏡石	φ49	SR014	11.6	5.3	3.4	鏡石類鏡石?	—	—	—	—
1034	1320-01	石製品	鏡石	φ47	SR014 磨鏡石	10.1	21.1	4.4	鏡石類鏡石?	—	—	—	—
1035	1320-03	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品上No.6	14.7			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.2	甕	瓦	
1036	1320-01	遺棄物	鉢	φ46	SR014 遺棄品上No.1 遺棄品上No.6 遺棄品上No.8	14.9	4.6		陶・口ナツナツ・ナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.2	中央部 (口→20cm程度)	瓦	10.12
1037	1320-02	遺棄物	鉢	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	15.0	4.2		陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→20cm程度)	瓦	3.12
1038	1320-02	遺棄物	鉢	φ44	SR014 遺棄品上層				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部	瓦	遺棄品 2.12
1039	1320-04	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品上層				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→30cm程度)	瓦	小片
1040	1320-03	遺棄物	鉢	φ43	SR014 口ナツ直筒式 甕				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	甕 (口→30cm程度)	瓦	小片
1041	1320-08	遺棄物	鉢	φ44	SR014 遺棄品下層	10.6			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	甕	瓦	口縁部 4.12
1042	1320-04	遺棄物	鉢	φ44	SR014 遺棄品上層	10.8			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	甕	瓦	口縁部 1.12
1043	1320-05	遺棄物	鉢	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	10.4			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→20cm程度)	瓦	甕身 1.5.12
1044	1320-03	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品上層	11.4			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→40cm程度、磨鏡石)	瓦	口縁部 4.12
1045	1320-05	遺棄物	鉢	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.4			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ (口ナツナツ)	淡黄 1307.1	甕 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1046	1320-06	遺棄物	鉢	φ45	SR014 磨鏡石				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	甕 (口→30cm程度)	瓦	甕身 2.12
1047	1320-01	遺棄物	鉢	φ44	SR014 口ナツ直筒式 甕	13.0	4.8		陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部	瓦	5.7.12上
1048	1320-01	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品上No.11	4.1~4.4			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→30cm程度)	瓦	甕身 4.12
1049	1320-08	遺棄物	鉢	φ44	SR014 遺棄品上No.3				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部	瓦	1.12
1050	1320-08	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品下層				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部	瓦	小片
1051	1320-07	遺棄物	鉢	φ45	SR014 遺棄品上層				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部	瓦	小片
1052	1320-02	遺棄物	鉢	φ44	SR014 遺棄品下層				陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→30cm程度)	瓦	小片
1053	1320-01	遺棄物	甕	φ45	SR014 遺棄品下層	12.9			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	甕 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1054	1320-01	遺棄物	甕	φ45	SR014 遺棄品上No.9				陶・口ナツナツ・直線・磨鏡石状文	淡黄 2.17.1	甕 (口→30cm程度)	瓦	3.12
1055	1320-03	遺棄物	鏡石	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.7			陶・上層ナツ・磨鏡石 陶・上層ナツ・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→20cm程度)	瓦	磨鏡石13
1056	1320-03	土器類	甕	φ45	SR014 遺棄品上層	11.8			陶・オヤニ・ナツ 陶・オヤニ・ナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 1.12
1057	1320-01	土器類	甕	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.4			陶・口ナツナツ 陶・口ナツナツ	淡黄 1307.1	中央部 (口→40cm程度)	瓦	磨鏡石 10.12
1058	1320-02	土器類	甕	φ44	SR014 口ナツ直筒式 甕	14.5			陶・ナツ・ハツナツ 陶・ナツ	淡黄緑 13067.2	中央部 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 1.12
1059	1320-05	土器類	甕	φ45	SR014 遺棄品上層 口ナツ直筒式 甕	11.8			陶・ナツ・オヤニ 陶・ナツ・オヤニ	淡黄緑 13067.2	中央部 (口→50cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1060	1320-02	土器類	甕	φ46	SR014 口ナツ直筒式 甕	14.4			陶・ナツ・オヤニ・ハツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 1.12
1061	1320-03	土器類	甕	φ44	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.6			陶・ナツ 陶・ナツ	淡黄緑 13067.4	中央部 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1062	1320-04	土器類	甕	φ44	SR014 遺棄品下層	10.3			陶・ナツ 陶・ナツ	淡黄 1307.6	中央部 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 5.12
1063	1320-01	土器類	甕	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.2			陶・陶器類破片 陶・陶器類破片	淡黄 2.1306.4	中央部 (口→20cm程度)	瓦	口縁部 4.12
1064	1320-04	土器類	甕	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕				陶・ナツ 陶・ナツ・ハツナツ	淡黄緑 13067.2	中央部 (口→30cm程度、磨鏡石)	瓦	小片
1065	1320-02	土器類	甕	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.8			陶・ナツ・オヤニ・ハツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.3	甕 (口→50cm程度)	瓦	口縁部 1.12
1066	1320-01	土器類	甕	φ45	SR014 口ナツ直筒式 甕	11.4			陶・ナツ・オヤニ・ハツ 陶・ナツ・ハツ	淡黄緑 13067.4	甕 (口→30cm程度)	瓦	口縁部 2.12
1067	1320-01	石製品	鏡石	φ44	SR014 口ナツ直筒式 甕	7.3	14.5	4.0	磨鏡石類鏡石?	—	—	—	—

第 32 表 遺物観察表 (22)

報告番号	発掘番号	種類	器種等	出土位置等	計量 (mm)		調査場所の名称	出所	出土	用途	備考	
					長さ	直径						
1060	1235-02	流石器	神槍	J-973 J-984	第19号段出土品 No. 7	14.0	14.0	内 石ノコナガサ 外 石ノコナガサ・石ノコナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 石ノコナガサ 6.72	
1060	1235-02	流石器	神槍	J-984	第19号段出土品 No. 7	12.0	5.3	内 榊藪の丸小玉	石ノコナガサ 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 石ノコナガサ 6.72	
1070	1234-02	流石器	神槍	J-973	第19号段 No. 7	10.1		内 石ノコナガサ・ナガサ 外 石ノコナガサ・石ノコナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 石ノコナガサ 6.72	
1071	1234-02	流石器	神槍	J-973	第19号段 No. 7	13.4		内 石ノコナガサ 外 石ノコナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 石ノコナガサ 6.72	
1072	1235-06	流石器	神槍	J-973 J-984	第19号段 No. 7	10.4		内 石ノコナガサ 外 石ノコナガサ・石ノコナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代	高 石ノコナガサ 6.72	
1073	1235-01	流石器	器	J-973	第19号段 No. 7	10.0		内 陶土 外 陶土	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 流石器 6.72	
1074	1235-05	土器類	器	J-973	第19号段 No. 7	10.0		内 陶土 外 陶土	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 流石器 6.72	
1075	1235-04	土器類	器	J-973 J-984	第19号段 No. 7	22.2		内 ナガサ 外 ナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代 (埋-1000年位)	高 石ノコナガサ 6.72	
1076	1057-01	土器類	瓶	J-973-4 J-982-4	第19号段 No. 9・10・11	21.6		内 ナガサ 外 ナガサ	高 1.5 高 1.5	中年代	高 6.72	
1077	1057-01	土器類	瓶	J-973	第19号段 No. 9	18.9	18.8	9.1				高 4.7 9.1
1078	1058-01	土器類	瓶	J-973	第19号段 No. 9	8.38	25.5	7.4				高 3.2 6.72
1079	1058-02	土器類	瓶	J-984	第19号段出土品 No. 2	8.38	25.5	7.4				高 3.2 6.72
1080	1058-01	土器類	瓶	J-973-4 J-982-4	第19号段 No. 9	9.3	7.35	2.3				高 3.2 6.72
1081	1245-01	流石器	神槍	J-985	第20号段 No. 2	12.3	5.3					高 1.5 6.72
1082	1245-06	土器類	器	J-985	第20号段出土品 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1083	1245-05	土器類	器	J-985	第20号段出土品 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1084	1245-02	流石器	神槍	J-985	第20号段 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1085	1245-01	流石器	神槍	J-984	第20号段 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1086	1238-01	流石器	神槍	J-974	第18号段出土品 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1087	1245-02	流石器	神槍	J-984	第20号段 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1088	1245-04	流石器	器	J-974	第18号段出土品 No. 1	12.4						高 1.5 6.72
1089	1245-04	土器類	器	J-975	第18号段 No. 1	14.4						高 1.5 6.72
1090	1245-01	土器類	器	J-974	第18号段 No. 1	10.0						高 1.5 6.72
1091	1245-02	流石器	神槍	P-423	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1092	1245-01	流石器	神槍	P-423	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1093	1245-02	流石器	神槍	P-423	第20号段 No. 2	14.4	4.1					高 1.5 6.72
1094	1245-01	流石器	神槍	P-423	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1095	1245-01	流石器	神槍	P-424-1 P-424-2	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1096	1245-01	流石器	神槍	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1097	1245-06	流石器	器	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1098	1245-04	土器類	器	P-423	第20号段 No. 2	9.6						高 1.5 6.72
1099	1245-04	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	12.2						高 1.5 6.72
1100	1245-03	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	10.6						高 1.5 6.72
1101	1244-01	土器類	器	P-423	第20号段 No. 2	17.8						高 1.5 6.72
1102	1244-02	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	12.0						高 1.5 6.72
1103	1244-02	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	24.1						高 1.5 6.72
1104	1244-04	土器類	器	P-423	第20号段 No. 2	11.2						高 1.5 6.72
1105	1244-06	土器類	器	P-423	第20号段出土品 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1106	1244-01	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1107	1244-09	土器類	器	P-423	第20号段出土品 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1108	1244-07	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1109	1244-08	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1110	1245-06	土器類	器	P-424	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1111	1245-01	土器類	器	P-423	第20号段 No. 2	10.0						高 1.5 6.72
1112	436-01	土器類	器	N-124	第10号段 No. 1	11.6						高 1.5 6.72
1113	436-02	土器類	器	N-124	第10号段 No. 1	11.6						高 1.5 6.72
1114	436-03	土器類	器	N-124	第10号段 No. 1	11.6						高 1.5 6.72
1115	436-04	流石器	神槍	N-123	第10号段 No. 1	12.4						高 1.5 6.72
1116	436-05	土器類	器	N-122	第10号段 No. 1	19.2						高 1.5 6.72
1117	437-04	流石器	器	N-424	第10号段 No. 1	10.0						高 1.5 6.72

第 32 表 遺物観察表 (23)

観測番号	実施年度	遺物	遺物名	出土位置 P11-P7	数量	計測値 (mm)		調査経過の時期	色別	粘土	焼成	発見	備考	
						長さ	幅							
1118	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33008 P12	10.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	灰黒色 (3008)	黒	品	1.12	越後川	
1119	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33009 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	灰黒色 (3041)	黒	品	小片		
1120	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33010 P12	10.4		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	二色(黄黒) (3008)	黒	品	5.12	越後川	
1121	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33011 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	品	小片		
1122	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33012 P12	18.3		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	黒	品	口縁部 5.12		
1123	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33013 P12	10.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	品	口縁部 5.12		
1124	201-08	遺物類	杯蓋	9-41	33014 P12	11.6		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	品	口縁部 5.12		
1125	201-01	遺物類	杯蓋	9-41	33015 P12	11.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	二色(黄黒) (3008)	黒	品	底部 5.12	越前川	
1126	201-01	遺物類	杯蓋	9-41	33016 P12	14.0	3.0	10.9	内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	二色(黄黒) (3008)	黒	品	5.12	越前川
1127	201-02	遺物類	杯蓋	9-41	33017 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	黒	品	小片		
1128	201-02	遺物類	杯蓋	9-41	33018 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	品	小片	大正川	
1129	201-02	遺物類	杯蓋	9-41	33019 P11	10.2		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	中程度(1~2)粉粒状	黒	口縁部 5.12		
1130	201-05	遺物類	杯蓋	9-41	33020 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	中程度(1~2)粉粒状	黒	小片		
1131	221-02	遺物類	杯蓋	9-51	33021 P11	12.9	4.5		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・ヘラ型	灰白 (301)	中程度(1~2)粉粒状	品	10.12	
1132	221-01	遺物類	杯蓋	9-51	33022 P11	11.9	4.5		内、口辺ナナジ・ヘラ型	灰白 (301)	中程度(1~2)粉粒状	品	11.12	
1133	201-02	遺物類	杯蓋	9-41	33023 P12			黄黒色 1.12	内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	灰白 (301)	中程度(1~2)粉粒状	品	底部 5.12	
1134	1118-01	土器類	高脚杯	1-41	33024 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	1~2)粉粒状	品	破片	
1135	1117-06	土器類	杯蓋	1-41	33025 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	1~2)粉粒状	品	小片	
1136	1118-05	土器類	杯蓋	1-41	33026 P11	11.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1137	1117-02	土器類	杯蓋	1-42	33027 P14	11.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1138	1118-04	土器類	杯蓋	1-41	33028 P12	11.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1139	1117-08	遺物類	杯蓋	1-42	33029 P18	9.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1140	1117-07	遺物類	杯蓋	1-42	33030 P18	9.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1141	1118-02	土器類	杯蓋	1-42	33031 P18	10.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12			
1142	1117-05	遺物類	杯蓋	1-12	33032 P15			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	1~2)粉粒状	品	5.12	
1143	1147-02	遺物類	杯蓋	6-41	33033 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	中程度(1~2)粉粒状	黒	底部 5.12		
1144	1209-04	土器類	杯蓋	2-41	33034 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	中程度(1~2)粉粒状	黒	杯蓋面 5.12		
1145	1209-02	遺物類	杯蓋	2-41	33035 P18	17.1		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	黒	口縁部 5.12			
1146	1215-01	土器類	杯蓋	2-41	33036 P11			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	中程度(1~2)粉粒状	黒	杯蓋面 5.12		
1147	1201-03	遺物類	杯蓋	2-12	33037 P18			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	小片			
1148	1201-04	遺物類	杯蓋	2-41	33038 P12			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	1~2)粉粒状	品	小片	
1149	1201-06	土器類	杯蓋	2-41	33039 P11			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	中程度	品	小片		
1150	1117-04	土器類	土製瓦	F-11	33040 P12	3.8	1.4	1.3	内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	破片片断	番号(2) 1g	
1151	1121-07	遺物類	杯蓋	1-14	33041 P11	10.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ式	灰白 (301)	品	口縁部 5.12		
1152	1207-03	土製瓦	土製瓦	2-41	33042 P11	12.4	0.95	0.95	内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	中程度	中程度	小片	番号(1) 3g
1153	1201-01	遺物類	杯蓋	1-41	33043 P11	14.2			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	中程度	中程度	口縁部 5.12	
1154	1201-05	遺物類	杯蓋	2-41	33044 P12				内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	小片		
1155	1201-07	遺物類	杯蓋	2-41	33045 P12				内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	灰白 (301)	品	小片		
1156	1201-08	土器類	杯蓋	2-41	33046 P12				内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	1~2)粉粒状	品	小片
1157	1207-06	遺物類	杯蓋	6-41	33047 P12	12.5			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	灰白 (301)	中程度(1~2)粉粒状	品	口縁部 5.12	
1158	1221-01	遺物類	高脚杯	1-12	33048 P12	9.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	黒	底部	二色(黄黒)	
1159	201-05	遺物類	杯蓋	9-41	33049 P12	14.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	黒	4.12	越後川	
1160	201-03	遺物類	杯蓋	9-41	33050 P12	17.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	黒	口縁部 5.12		
1161	201-04	遺物類	杯蓋	9-41	33051 P14				内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	中程度(1~2)粉粒状	品	底部	
1162	201-02	遺物類	杯蓋	9-41	33052 P14	10.0	3.0		内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	黄黒色 (3008)	黒	底部		
1163	201-01	遺物類	杯蓋	9-41	33053 P14	10.0	3.15	1.3	内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	二色(黄黒) (3008)	黒	4.12	越前川	
1164	201-07	遺物類	杯蓋	9-41	33054 P14	10.2			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	中程度(1~2)粉粒状	品	口縁部 4.12	
1165	201-06	土器類	杯蓋	9-41	33055 P14	22.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	二色(黄黒) (3008)	品	口縁部 5.12		
1166	201-02	土器類	杯蓋	9-41	33056 P14	14.0			内、口辺ナナジ 内、口辺ナナジ	黄黒色 (3008)	品	口縁部 5.12		
1167	201-02	土製瓦	瓦片	9-41	33057 P14	15.4	5.4	1.1	縦割(縦割・縦割)1個(4.5g)	黄黒色 (3008)	品	番号(2) 1g 1個		

第 32 表 遺物観察表 (24)

標本番号	採集場所	種類	群名	出土遺物層	形制 (mm)		調査経過の時期	形状	出土	出土	出土	備考		
					長さ	幅								
1189	539-08	土師器	器	9-124	F10	11.0	8.0	内側 縁部のため半部 削り落し、平子	厚 0.5mm	中年代 (1-2世紀末)	高	1.71		
1189	539-08	土師器	器	9-124	F10	18.0		内側 ナデ・ハヤシ	厚 0.5mm	中年代	高	2.07		
1190	539-08	土師器	器	9-124	F10	12.2	5.7	8.4	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 1.0mm	中年代	高	11.12	
1171	539-04	土師器	器	9-124	F10	13.0	4.7	7.4	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ・赤色	厚 0.5mm	中年代	中低	5.31	
1172	539-04	土師器	器	9-124	F10	14.3	4.5	6.1	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ・ロウソクデツツ	厚 0.5mm	中年代 (3世紀末)	高	5.12	疑わしき
1173	539-04	土師器	器	9-124	F10				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1174	539-07	土師器	器	9-124	F10				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	中年代	高	10.73	内側二重輪 内面二重ツ
1175	539-08	土師器	器	9-114	F12	10.0			内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1176	539-04	土師器	器	9-114	F12	10.0			内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62	裏面有刺状孔あり	
1177	539-08	土師器	器	9-203	F13	14.0			内側 ナデ・ハヤシ・オサエ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1178	539-08	土師器	器	9-203	F13	22.0			内側 ハヤシ・オサエ 外側 ナデ・ハヤシ・オサエ	厚 0.5mm	高	4.71		
1179	539-04	土師器	器	9-203	F13	22.0			内側 ナデ・ハヤシ・オサエ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	2.12		
1180	539-08	土師器	器	9-203	F13	12.0	5.0	5.0	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	中年代 (1-3世紀末)	高	4.71	
1181	539-08	土師器	器	9-214	F13	11.2	4.9	4.9	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	中年代 (1-2世紀末)	高	1.62	
1182	539-04	土師器	器	9-214	F13	20.4			内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	中年代 (1-2世紀末)	高	1.62	
1183	539-08	土師器	器	9-104	F14				内側 ロウソクデ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1184	539-08	土師器	器	9-114	F14	11.8	3.5	3.5	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ・ツツ	厚 0.5mm	中年代	高	6.31	
1185	539-08	土師器	器	9-40	F14	20.0			内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1186	539-07	土師器	器	9-44	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1187	539-10	土師器	器	9-29	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	3.71	疑わしき 内面有刺状孔	
1188	539-08	土師器	器	9-203	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1189	539-08	土師器	器	9-203	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1190	539-11	土師器	器	9-203	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1191	539-08	土師器	器	9-203	F14	13.5	10.5	10.5	内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1191	539-08	土師器	器	9-40	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1192	539-04	土師器	器	9-217	F14				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1193	539-08	土師器	器	9-715	F14				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	中年代 (1-2世紀末)	高	1.62	
1194	539-04	土師器	器	9-204	F14	10.0			内側 ナデ・ハヤシ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1195	539-08	土師器	器	9-204	F14				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1196	539-08	土師器	器	9-203	F14				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	高	1.62		
1197	539-08	土師器	器	9-203	F14				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	高	1.62		
1198	539-08	土師器	器	9-401	F14	10.0			内側 ナデ・ハヤシ 外側 ナデ・ハヤシ	厚 0.5mm	高	1.62		
1199	539-12	土師器	小皿	9-401	F14	8.2	3.0	3.0	内側 ナデ 外側 ナデ・オサエ	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1200	539-01	常陸土師	器	9-401	F14			21.4	内側 オサエ・ナデ 外側 土師ナデ・オサエ・ナデ	厚 0.5mm	中年代 (1-3世紀末)	高	1.62	
1201	539-10	土師器	縁部土師	1-102	F14				内側 ナデ・オサエ	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1202	539-03	土師器	土師	9-103	F14				内側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1203	539-01	土師器	土師	9-124	F14	8.1	1.2	1.1	内側 ナデ	厚 0.5mm	中年代 (1-3世紀末)	高	1.62	
1204	539-01	土師器	土師	9-124	F14	18.1	1.1	0.9	内側 ナデ	厚 0.5mm	中年代	高	1.62	
1205	539-01	土師器	土師	9-103	F14	4.4	1.3	1.3	内側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1206	539-04	土師器	器	1-47	SK24	12.4			内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1207	539-04	土師器	器	9-104	SK27 10				内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1208	539-08	土師器	器	9-103	SK27 10	11.0			内側 ナデ 外側 ナデ	厚 0.5mm	中年代 (1-3世紀末)	高	1.62	
1209	539-04	土師器	器	9-11	SK30	8.9			内側 ナデ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1210	539-08	土師器	器	9-11	SK30	11.8			内側 ロウソクデ 外側 ロウソクデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1211	539-01	土師器	器	9-11	SK30			8.4	内側 ナデ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1212	539-08	土師器	器	9-11	SK30				内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	高	1.62		
1213	539-08	土師器	器	9-11	SK30				内側 ナデ・ハヤシ 外側 ナデ・ハヤシ	厚 0.5mm	高	1.62		
1214	539-08	土師器	器	9-11	SK30				内側 ナデ・ハヤシ 外側 ナデ・ハヤシ	厚 0.5mm	高	1.62		
1215	539-08	土師器	器	9-11	SK30	14.0			内側 ナデ・ハヤシ 外側 ナデ・ハヤシ	厚 0.5mm	高	1.62		
1216	539-04	土師器	器	9-11	SK30	11.0			内側 ナデ 外側 ナデ	厚 0.5mm	高	1.62		
1217	539-08	土師器	器	9-11	SK30	13.0			内側 縁部のため半部 削り落し	厚 0.5mm	高	1.62		

第 32 表 遺物観察表 (25)

観覧番号	発祥番号	種別	器種等	出土位置等	発掘層 (m)	調査経過			調査経過の時期	品類	出土	状態	備考
						調査	調査	調査					
1218	446-01	土師器	甕	9-47	00193 No. 1	23.8			甕 甕底の穴の形跡	土師器 1987年	甕	高	口縁部 2.712
1219	446-04	土師器	甕	9-47	00193 11層	31.7			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ・コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 2.712
1220	446-02	土師器	甕	9-47	00193	17.8			甕 甕底の穴の形跡	土師器 1987年	甕	高	口縁部 2.712
1221	446-01	土師器	甕 甕底・底	9-47	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底の 穴の形跡
1222	450-01	土師器	甕	9-47	00193 11層				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	中流部 穴の形跡
1223	450-02	土師器	甕	9-47	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	中流部 穴の形跡
1224	450-02	土師器	甕	9-72	00192				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712以下
1225	450-03	土師器	甕	718	1-04002				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1226	450-01	土師器	甕	9-72	00192				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1227	450-03	土師器	甕	9-47	00193		18.3		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1228	450-04	土師器	甕	9-45	00194	28.1			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ・コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-1.5mDの中心部)	口縁部 1.712以下
1229	446-02	土師器	甕	9-105	00193		3.7	18.4	甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712以下
1230	446-01	土師器	甕	9-11	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1231	446-04	土師器	甕	9-125	00194				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1232	450-02	土師器	甕	9-11	00193		11.3		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712
1233	446-02	土師器	甕	9-125	00194				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712
1234	446-01	土師器	甕	9-115	00193		21.0		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712
1235	450-04	土師器	甕	9-105	00194				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1236	450-05	土師器	甕	9-71	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片	
1237	450-06	土師器	甕	9-71	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1238	450-01	土師器	甕	9-71	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1239	450-02	土師器	甕	9-71	00193		22.0		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-2.5mの中心部)	口縁部 1.712
1240	450-03	土師器	甕	9-71	00193		23.2		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-2.5mの中心部)	口縁部 1.712
1241	536-01	土師器	甕	9-223 9-224	00191		14.4		甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1242	536-02	土師器	甕	9-24	00191				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1243	536-01	土師器	甕	9-223 9-224	00191				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1244	536-09	土師器	甕	9-224	00192				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1245	536-08	土師器	甕	9-24	00192				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 穴の形跡
1246	536-04	土師器	甕	1-44	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-4mの中心部)	口縁部 1.712
1247	536-07	土師器	甕	1-44	00193		11.4	4.2	甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 穴の形跡
1248	537-01	土師器	甕	1-45	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1249	536-05	土師器	甕	1-45	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	小片
1250	536-08	土師器	甕	1-45	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1251	537-01	土師器	甕	1-46	00178	19.2			甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	2.712
1252	537-02	土師器	甕	1-47	00178 No. 1				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1253	536-04	土師器	甕	9-71	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1254	536-06	土師器	甕	9-71	00193	9.8			甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 4.712
1255	536-08	土師器	甕	9-213	00198	11.8	4.0	0.4	甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	11.712
1256	536-01	土師器	甕	9-71	00193				甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1257	537-04	土師器	甕	9-71	00198	14.0			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 2.712
1258	537-02	土師器	甕	9-71	00198	14.0			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 2.712
1259	537-03	土師器	甕	9-71	00198	23.2			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	口縁部 1.712
1260	536-03	土師器	甕	9-71	00198	17.4	0.6		甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1261	536-03	土師器	甕	9-71	00198	18.2	0.2	0.1	甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1262	536-02	土師器	甕	9-71	00198	19.0	4.0	3.7	甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1263	537-01	土師器	甕	9-71	00198	6.0	0.7	0.3	甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1264	536-07	土師器	甕	9-71	00198 No. 7	9.4	2.2	4.4	甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-2.5mの中心部)	口縁部 2.712
1265	536-01	土師器	甕	9-71	00198 No. 7	14.4	0.3	3.4	甕 甕底の穴の形跡 内、コナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡
1266	536-02	土師器	甕	9-71	00198 No. 7	16.6	3.1		甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	2.712
1267	537-05	土師器	甕	9-454	00199 No. 4	14.0			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	中・小片 (1-2.5mの中心部)	口縁部 2.712
1268	537-01	土師器	甕	9-454	00199	23.0			甕 甕底の穴の形跡 内、ナデ	土師器 1987年	甕	高	甕底 穴の形跡

第 32 表 遺物観察表 (26)

報告番号	発掘年度	種別	群名	出土位置	出土層階	数量	形状・大きさ	材質	調査担当者	図説	出土	現状	保存	備考
1209	1957-02	土器類	窯	9-015	SK170	27	2	高	高 土子・ハケ 高 土子・ハケ・ウツリ	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	2/12	
1270	1958-03	石製品	磨石	9-015	SK170	(14.9)	(18.5)	2.2	高	高	—	—	—	磨石 (187.4g)
1271	1958-03	土器類	鉢蓋	9-015	SK170-1211	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1272	1958-05	土器類	磨石	9-015	SK170-1211	9.6	3.5	7.4	高 土子 高 土子・ハケ・ウツリ	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	5/12	
1273	1958-05	石製品	磨石	9-015	SK170-1211	(18.1)	(17)	2.5	高	高	—	—	—	磨石 (184.2g)
1274	1958-05	土器類	鉢蓋	9-015	SK171	11.9	3.9	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1275	1958-05	土器類	鉢蓋	9-015	SK171	22.8	3.6	7.9	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 4/12	
1276	1958-04	土器類	鉢	9-015	SK171	12.4	4.7	8.4	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 1/12	
1277	1958-07	土器類	鉢	9-015	SK171	18.3	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1278	1958-08	土器類	鉢	9-015	SK171	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1279	1958-07	土器類	平鉢?	9-015	SK171	5.7	(4.5)	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1280	1958-04	土器類	鳥取蓋	9-015	SK171	—	(8)	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 のみ	
1281	1958-08	土器類	蓋	9-015	SK171	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 1/12	
1282	1958-05	土器類	蓋	9-015	SK171	(12.8)	2.4	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	蓋内穴
1283	1958-08	土器類	蓋	9-015	SK171	18.9	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1284	1957-04	土器類	蓋	9-015	SK171	12.4	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 6/12	
1285	1958-04	土器類	蓋	9-015	SK171	11.4	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1286	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	21.3	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 4/12	
1287	1957-04	土器類	蓋	9-015	SK171	21.3	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1288	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	(26.7)	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1289	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	18.2	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1290	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1291	1957-04	石製品	磨石	9-015	SK171	19.02	9.31	4.24	高	高	—	—	—	磨石 (181.6g)
1292	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	25.2	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1293	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	27.4	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1294	1957-02	土器類	蓋	9-015	SK171	21.3	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 2/12	
1295	1958-02	土器類	鉢蓋	9-016	SK172	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 1/12	
1296	1957-01	石製品	磨石	9-016	SK171-1212	19.91	4.14	3.33	高	高	—	—	—	磨石 (182.1g)
1297	1958-03	土器類	鉢蓋	—	SK174-1213-1218	8.8	2.9	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	5/12	
1298	1958-02	土器類	鉢蓋	—	SK174-1213-1218	11.9	4.3	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	3/12	
1299	1958-03	土器類	鉢	9-016-14	SK176	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 のみ	
1300	1958-03	土器類	鉢蓋	9-016-14	SK176	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 のみ	
1301	1957-02	土器類	蓋	9-016-1	SK176	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 小片	
1302	1957-05	土器類	鉢	9-04	SK177	11.6	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1303	1958-04	土器類	鉢	9-04	SK177	12.9	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1304	1958-04	土器類	平鉢	9-04	SK177	3.4	3.1	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1305	1958-04	土器類	平鉢	9-04	SK177	3.4	4.2	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1306	1957-05	土器類	鉢	9-01	SK178	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1307	1957-05	土器類	鉢	9-01	SK178	18.4	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1308	1958-02	土器類	蓋	9-01	SK178	16.9	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 のみ	
1309	1957-01	土器類	蓋	9-024	SK179	11.2	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1310	1957-01	土器類	蓋	9-024	SK179	16.0	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 4/12	
1311	1957-02	土器類	鉢蓋	9-024	SK179	9.57	4.4	1.6	高	高	—	—	—	鉢蓋
1312	1957-02	土器類	鉢蓋	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1313	1958-03	土器類	鉢	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1314	1957-02	土器類	鉢	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1315	1958-07	土器類	鉢	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1316	1958-04	土器類	鉢	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	小片	
1317	1957-05	土器類	鉢蓋	9-024	SK179	14.3	4.5	9.7	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	口縁 1/12	
1318	1958-04	土器類	鉢	9-024	SK179	—	—	—	高 土子 高 土子	図説 図説1	中年代 (1-3m層位)	高	底面 のみ	

*フリップ資料

第 32 表 遺物観察表 (27)

観覧番号	実用番号	種別	群別	出土内容 及び寸法	出土時期等	容積値 (ml)	質量値 (g)		観察経過の概要	虫類	動物	植物	発見	備考
							目録	実測						
1319	898-01	土師器	甕	丸 8x14 底径 10.0	丸 17.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1320	898-04	土師器	甕	丸 8x14 底径 10.0	丸 14.8			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1321	898-06	土師器	甕	丸 8x14 底径 10.0	丸 16.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1322	898-04	土師器	甕	丸 8x14 底径 10.0	丸 16.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1323	875-01	鉄製品	鉄器	丸 8x14 底径 10.0	丸 4.2 × 3.1 × 0.3			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	鉄片
1324	898-09	土師器	甕	丸 8x13 底径 10.0	丸 14.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1325	898-02	土師器	甕	丸 8x14 底径 10.0	丸 78.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1326	1020-05	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 11.0 × 3.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1327	1020-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 15.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1328	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1329	1027-02	土師器	土師	丸 8x13 底径 10.0	丸 4.0 × 3.3			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1330	1027-03	土師器	土師	丸 8x13 底径 10.0	丸 3.8 × 0.95			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1331	1020-03	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1332	1027-08	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 22.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1333	1027-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1334	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 11.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1335	1027-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 22.5			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1336	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 11.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1337	1020-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1338	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 15.0 × 3.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1339	1020-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 15.0 × 3.7			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1340	1020-03	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 14.4 × 3.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1341	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 9.3 × 3.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1342	1020-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 13.0 × 4.5			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1343	1020-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 14.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1344	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 4.2			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1345	1020-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 11.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1346	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 17.4 × 3.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1347	1020-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1348	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 18.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1349	1020-06	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 12.6			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1350	1020-07	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1351	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1352	1020-08	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 23.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1353	1020-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 10.6 × 3.2 × 0.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1354	1020-03	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 11.8 × 3.3			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1355	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 14.0 × 3.4			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1356	1020-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1357	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 14.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1358	1020-06	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 10.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1359	1020-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 13.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1360	1021-04	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1361	1020-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1362	1021-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 17.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1363	1021-05	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1364	1110-02	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1365	1110-41	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 8.9			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1366	1110-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1367	1110-01	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	
1368	1110-05	土師器	鉢	丸 8x13 底径 10.0	丸 16.0			丸 土師器 丸 土師器	二辺11.5 底径 10.0	中程度			丸 7.12	

第 32 表 遺物観察表 (28)

観測番号	観測年月	観測地	出土品名	出土品数量	数量 (個)			調査担当者	出所	現状	備考
					片断	数量	高				
1269	1970-02	浅草区 塚	土器	1-432	SK730	14.9		内 土器ロケツ 内 土器ロケツ・ロケツヤ	浅草区 SK730	中年代	高 口縁部 2.7/2
1270	1970-04	土器区 塚	土器	1-433	SK730			内 土器 内 土器・土器のたね	浅草区 SK730	中年代	高 小片
1271	1970-06	浅草区 高井	土器	1-433	SK730			内 土器ロケツ 内 土器ロケツ・土器	浅草区 SK730	高	口縁部 3.7/2
1272	1970-01	土器区 塚	土器	1-433	SK730			内 土器 内 土器のたね	浅草区 SK730	中年代	高 塚手のみ
1273	1970-07	土器区 塚	土器	1-433	SK730			内 土器 内 土器のたね	浅草区 SK730	高	小片
1274	1970-08	土器区 塚	土器	1-432	SK730			内 土器 内 土器のたね	浅草区 SK730	高	塚手のみ
1275	1970-04	浅草区 高井	土器	1-437	SK730			内 土器 内 土器ロケツ	浅草区 SK730	中年代	高 口縁部 1.7/2
1276	1970-04	浅草区 高井	土器	1-434	SK730	11.3		内 土器 内 土器ロケツ	浅草区 SK730	高	口縁部 3.7/2
1277	1970-01	土器区 塚	土器	1-437	SK730			内 土器 内 土器のたね	浅草区 SK730	中年代	高 小片
1278	1970-02	土器区 塚	土器	1-437	SK730			内 土器 内 オウエ・ナツ	浅草区 SK730	高	塚手のみ
1279	1970-01	浅草区 塚	土器	1-434	SK730	16.3	14.9	6.2	浅草区 SK730	—	—
1280	1970-06	浅草区 塚	土器	1-434	SK730			内 土器 内 土器ロケツ・ロケツヤ	浅草区 SK730	高	塚手のみ 1.7/2
1281	1970-02	浅草区 高井	土器	1-119	SK740	8.8			浅草区 SK740	高	口縁部 5.5/2
1282	1970-06	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	16.5			浅草区 SK740	高	口縁部 2.7/2
1283	1970-05	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	16.0			浅草区 SK740	高	口縁部 4.3/2
1284	1970-03	浅草区 高井	土器	1-119	SK740	11.0	4.8		浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1285	1970-08	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	10.6	3.8		浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1286	1970-05	浅草区 高井	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1287	1970-06	浅草区 高井	土器	1-119	SK740	9.0	3.5		浅草区 SK740	高	口縁部 2.7/2
1288	1970-06	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	9.5			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 2.5/2
1289	1970-04	浅草区 高井	土器	1-119	SK740	9.3			浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1290	1970-05	浅草区 高井	土器	1-119	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 2.7/2
1291	1970-06	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	10.1	4.2		浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1292	1970-06	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	11.5	10.3		浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1293	1970-02	浅草区 高井	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1294	1970-01	浅草区 高井	土器	1-229	SK740		8.2		浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1295	1970-04	浅草区 高井	土器	1-119	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 2.5/2
1296	1970-05	浅草区 高井	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 2.5/2
1297	1970-01	浅草区 塚	土器	1-119	SK740	10.0			浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1298	1970-03	浅草区 塚	土器	1-119	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1299	1970-07	浅草区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1300	1970-04	浅草区 フラタカ	土器	1-119	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1301	1970-07	土器区 塚	土器	1-229	SK740	18.4			浅草区 SK740	高	口縁部 3.7/2
1302	1970-07	浅草区 塚	土器	1-229	SK740	16.4			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1303	1970-01	土器区 塚	土器	1-229	SK740	19.3			浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1304	1970-04	土器区 塚	土器	1-229	SK740	13.8			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1305	1970-05	土器区 塚	土器	1-119	SK740	13.8			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 2.7/2
1306	1970-02	土器区 塚	土器	1-229	SK740	17.1			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1307	1970-01	土器区 塚	土器	1-229	SK740	16.9			浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1308	1970-03	土器区 塚	土器	1-229	SK740	19.3			浅草区 SK740	高	口縁部 2.7/2
1309	1970-06	土器区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1310	1970-03	土器区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2
1311	1970-07	土器区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1312	1970-02	浅草区 塚	土器	1-229	SK740	18.0	12.3	10.6	浅草区 SK740	—	—
1313	1970-01	浅草区 塚	土器	1-117	SK740	12.4			浅草区 SK740	高	口縁部 2.7/2
1314	1970-01	浅草区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1315	1970-05	浅草区 高井	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	中年代	高 小片
1316	1970-04	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	16.9			浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1317	1970-01	浅草区 高井	土器	1-229	SK740	12.8			浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1318	1970-02	土器区 塚	土器	1-229	SK740				浅草区 SK740	高	口縁部 1.7/2
1319	1970-02	土器区 塚	土器	1-229	SK740	16.0			浅草区 SK740	中年代	高 口縁部 1.7/2

第 32 表 遺物観察表 (29)

観測番号	発掘調査	種別	群像名	出土遺構等	測長値 (mm)			遺物製造の時期	出土	構成	原料	備考
					寸法	重量	直径					
1420	1918-08	土師器	器	K-129	SK108			内: ナナク・ハナク 外: ナナク・ハナク	厚 2.0(6.8)	器	土	中央
1421	1298-03	土師器	杯盤	K-05*	SK101	11.8	4.0	内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚 2.0(1.2)	器	中央	(→2面観察)
1422	1298-02	土師器	杯盤	K-05	SK101	11.8		内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(6.1)	器	中央	厚底(1.6)、厚底(1.6)
1423	1298-02	土師器	杯盤	K-05	SK101	12.4	2.2	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1424	1298-05	土師器	杯盤	K-05	SK101	12.4		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚 2.0(5.1)	器	中央	(→2面観察)
1425	1298-06	土師器	杯盤	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(6.1)	器	中央	(→4面観察)
1426	1298-02	土師器	杯盤	K-05	SK101	13.0	3.7	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(厚底1.4、厚底1.4)	器	中央	厚底 7.1
1427	1291-02	土師器	杯盤	K-02*	SK103	13.0	4.0	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(6.1)	器	中央	厚底
1428	1298-04	土師器	杯盤	K-05	SK101	13.1	4.1	内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1429	1291-01	土師器	杯盤	K-05	SK101	13.2	4.1	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(厚底1.7、厚底1.7)	器	中央	厚底 7.1
1430	1292-01	土師器	杯盤	K-05	SK101	12.9	4.4	内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	厚底 7.1
1431	1298-05	土師器	杯盤	K-05	SK101	12.7	4.2	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1432	1298-01	土師器	杯盤	K-05	SK101	13.6		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1433	1291-01	土師器	杯盤	K-02*	SK101	12.9	3.7	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚底 2.0(1.1)	器	中央	厚底
1434	1291-02	土師器	杯盤	K-02*	SK101	11.8	4.2	内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚底 2.0(1.1)	器	中央	厚底
1435	1298-06	土師器	杯盤	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚底 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1436	1298-03	土師器	蓋形	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1437	1298-03	土師器	蓋形	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	厚底
1438	1298-03	土師器	蓋形	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	(→1面観察)
1439	1298-04	土師器	蓋形	K-05	SK101	12.2		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(6.1)	器	中央	厚底
1440	1298-01	土師器	瓶	K-020	SK101			内: ナナク・オヤナク 外: ナナク・オヤナク	厚 2.0(6.1)	器	中央	(→2面観察)
1441	1291-01	土師器	瓶	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質・濃緑釉(裏面)	厚 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1442	1291-03	土師器	瓶	K-05	SK101			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚 2.0(1.1)	器	中央	(→1面観察)
1443	1297-03	土師器	瓶	K-020	SK101			内: 黒山石系土質 外: 黒山石系土質	厚 2.0(6.6)	器	中央	厚底
1444	1298-08	土師器	白磁器	K-05	SK101			内: ナナク 外: ナナク	厚底 2.0(6.4)	器	中央	厚底
1445	1298-05	土師器	瓶	K-02*	SK101			内: 黒山石系土質	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1446	1298-08	土師器	瓶	K-02*	SK101	12.0		内: ナナク・ハナク 外: ナナク	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→1面観察)
1447	1298-03	土師器	瓶	K-05	SK101	13.4		内: 黒山石系土質 外: 黒山石系土質	厚底 2.0(6.4)	器	中央	(→1面観察)
1448	1298-01	土師器	瓶	K-02*	SK101	20.2		内: 黒山石系土質	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1449	1298-01	土師器	瓶	K-05	SK101	19.3		内: 黒山石系土質 外: ナナク・オヤナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1450	1298-04	土師器	瓶	K-02*	SK101	19.4		内: ナナク・ハナク 外: ナナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1451	1298-02	土師器	瓶	K-02*	SK101	17.2		内: 黒山石系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→1面観察)
1452	1298-02	土師器	瓶	K-02*	SK101	19.0		内: ハナク 外: ナナク・ハナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1453	1297-02	土師器	瓶	K-05	SK101			内: 黒山石系土質	厚底 2.0(6.6)	器	中央	厚底
1454	1297-01	土師器	瓶	K-01	SK101			内: ナナク・オヤナク・ハナク 外: ナナク・オヤナク	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1455	1298-04	土師器	瓶	K-05	SK101			—	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→1面観察)
1456	1291-01	土師器	瓶	K-020	SK101	11.4	4.4	—	—	器	中央	厚底 10.5, 10
1457	1297-03	土師器	瓶	K-05	SK109			内: 白土系土質 外: 白土系土質・ヘラ型目	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→4面観察)
1458	1297-04	土師器	杯盤	K-05	SK110	11.4		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(5.1)	器	中央	(→2面観察)
1459	1298-03	土師器	瓶	K-05	SK110			内: ナナク・ハナク 外: オヤナク・ナナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	厚底
1460	1298-03	土師器	杯盤	K-11	SK110			内: 白土系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1461	1298-02	土師器	杯盤	K-11	SK110	14.8		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(厚底観察)
1462	1298-04	土師器	杯盤	K-11	SK110			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1463	1298-08	土師器	杯盤	K-11	SK110	16.8		内: ナナク・ハナク 外: ナナク・ハナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→4面観察)
1464	1298-05	土師器	瓶	K-11	SK110			内: 黒山石系土質	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→1面観察)
1465	1298-01	土師器	瓶	K-11	SK110	17.9		内: ナナク・オヤナク 外: ナナク・オヤナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	(→2面観察)
1466	1291-01	土師器	瓶	K-04	SK110	18.7	4.0 4.4	—	—	器	中央	厚底 (11.1, 11.1) 厚底 (11.1, 11.1)
1467	1297-03	土師器	杯盤	K-05	SK110	18.5		内: 白土系土質 外: 白土系土質・白土系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→2面観察)
1468	1291-01	土師器	瓶	K-08 10*	SK111	21.2		内: ナナク・ハナク・オヤナク 外: ナナク・ハナク	厚底 2.0(6.6)	器	中央	厚底
1469	1298-02	土師器	杯盤	J-01	SK112			内: 白土系土質 外: 白土系土質	厚底 2.0(1.1)	器	中央	厚底
1470	1298-04	土師器	瓶	J-01	SK113			内: 白土系土質 外: 白土系土質・厚底	厚底 2.0(1.1)	器	中央	(→1面観察)

*オヤナク付

第 32 表 遺物観察表 (30)

観覧番号	観覧年月日	種類	観覧者	保存管理 所(市)	出土の場所	形制		調査年度(年)	調査内容の種類	出所	出土	形式	形状	備考
						材質	数量							
1471	12-02-02	土器類	鑑	J-P13	SK300	19.0			内陶・磁器の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1472	12-04-06	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器・オセエ ・ナツ	清瀬町 埋蔵品	中学生 (窯~300年程度)	高	標準小皿	
1473	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (窯~300年程度)	高	標準小皿	
1474	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (窯~300年程度)	高	標準小皿	
1475	12-05-05	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1476	12-05-04	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1477	12-05-02	土器類	鑑	J-P13	SK300	19.0			内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	中学生	高	口縁部 1.12	
1478	12-05-02	土器類	鑑	J-P13	SK300	19.0			内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1479	12-05-03	土器類	鑑	J-P13	SK300	19.4			内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1480	12-05-01	土器類	鑑	J-P13	SK300	19.3			内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1481	12-05-06	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1482	12-05-07	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	標準小皿	
1483	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P13	SK300				内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1484	12-05-04	土器類	鑑	J-P13 J-P12-14	SK300	19.0			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1485	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P9	SK370 No. 2-3	12.2	4.3		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (窯~300年程度)	高 標準小皿	4.12	
1486	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P8*	SK370	14.1	4.7		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	4.12	
1487	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P9	SK370 No. 2	12.2	5.4		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	3.12	
1488	12-05-06	土器類	中学生 観一覧	J-P8*	SK370	12.2	5.4		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1489	12-05-06	土器類	中学生 観一覧	J-P9	SK370 No. 1				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 6.12	
1490	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P8*	SK370	19.3	5.0		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1491	12-05-02	土器類	鑑	J-P8*	SK370				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	小片	
1492	12-05-05	土器類	中学生 観一覧	J-P9	SK370 No. 11			12.0	内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 2.12	
1493	12-05-04	土器類	中学生 観一覧	J-P8*	SK370				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1494	12-05-07	土器類	中学生 観一覧	J-P8*	SK370				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1495	12-05-01	土器類	鑑	J-P8*	SK307	19.5			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	口縁部 4.12	
1496	12-05-01	土器類	鑑	J-P8*	SK370	19.2			内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1497	12-05-07	土器類	中学生 観一覧	J-P8	SK308				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	標準小皿	
1498	12-05-04	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 12	12.0	4.4		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	口縁部 1.12	
1499	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12 J-P11	SK310				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1500	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 12				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1501	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 17-19-21	11.8	5.4		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 6.12	
1502	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 19-22	10.0	5.3		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 1.12	自然発見
1503	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310	13.4	5.2		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 6.12	
1504	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310	10.9			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 2.5-0.2	
1505	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 19-20	11.6	5.2		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 2.12	
1506	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 12			観覧 4.12	内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 4.12	
1507	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 13-19	19.0			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	口縁部 1.12	
1508	12-05-07	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 14	18.0			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	口縁部 2.12	
1509	12-05-04	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 11-13-15-17-19	21.6			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	口縁部 4.12	
1510	12-05-05	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 11		6.0		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	底部 2.12	
1511	12-05-04	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310		5.1		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	窯 (~300年程度)	高	底部	
1512	12-05-06	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 7	21.2			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	底部 1.12	
1513	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 7				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	標準小皿	
1514	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 8				内陶・磁器 の土器	清瀬町 埋蔵品	中学生 (~300年程度)	高	標準小皿	
1515	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 5	12.4	5.9	1.2	土器	二宮山 埋蔵品	窯	高	底部 6.12	観覧(2.12)
1516	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	小片	
1517	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310	19.2			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	口縁部 1.12	
1518	12-05-06	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310 No. 1	19.4	4.3		内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生 (窯~300年程度)	高	口縁部 1.12	
1519	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 4.12	口縁部最大
1520	12-05-01	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310				内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 6.12	
1521	12-05-02	土器類	中学生 観一覧	J-P12	SK310	17.2			内陶・磁器 の土器	二宮山 埋蔵品	中学生	高	底部 1.12	

* J-P12 観覧

第 32 表 遺物観察表 (31)

標本番号	発見場所	種別	群	出土時期 (年代)	出土数量	容積 (cm)		調査経過の概要	画像	出土	構成	形状	備考	
						長さ	幅							
1322	1326-06	土器類	群	J-02	SK010			内: ナギ 外: ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1323	1326-07	土器類	群	J-03	SK010			内: 麻織の丸い平底 外: ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1324	1326-08	土器類	群	J-03	SK010 No. 1			内: ナギ、ハナ 外: ナギ、ハナ	浅黄褐色 SK010	中程度	瓦	口縁部 1.5cm	大型品	
1325	1326-09	土器類	群	J-04	SK010 群			内: 白コトナギ 外: 白コトナギ	黒 SK010	中程度	瓦	小片		
1326	1326-10	土器類	群	J-04	SK010 群			内: 白コトナギ 外: 白コトナギ	黒 SK010	中程度	瓦	小片		
1327	1326-11	土器類	群	J-04	SK010 No. 11	12.0	4.4	内: 白コトナギ 外: 白コトナギ、白コトナギ式	黒色 SK010	中程度	瓦	口縁部 2.5cm		
1328	1326-15	土器類	群	J-04	SK010 No. 17-18			内: 麻織の丸い平底 外: ナギ、ナギ式	浅黄褐色 SK010	中程度	瓦	口縁部 2.5cm	型六次	
1329	1326-16	土器類	群	J-04	SK010 No. 12	13.0	0.0	内: 麻織の丸い平底 外: ナギ	黒 SK010	中程度	瓦	口縁部 1.5cm		
1330	1326-14	土器類	群?	J-04	SK010 No. 4			内: 麻織の丸い平底 外: ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1331	1326-13	土器類	群?	J-04	SK010 群			内: 麻織の丸い平底 外: ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1332	1326-12	土器類	群	J-04	SK010 群			内: ナギ 外: ナギ、ナギ式	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1333	1326-04	土器類	群	J-04	SK010 No. 8			内: ナギ 外: ナギ、ナギ式	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	口縁部 1.5cm	型六次	
1334	1341-02	土器類	群	J-04	SK010 No. 14	3.2	3.1	1.1	群別番号 14	—	—	—	型六次 14	
1335	1345-03	土器類	群	J-02	SK017 No. 1	14.2			内: 白コトナギ 外: 白コトナギ、白コトナギ式	黒色 SK017	中程度	瓦	口縁部 4.7cm	
1336	1337-08	土器類	群	—	古瓦群? 1337-08			内: ナギ 外: 群別	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1337	408-04	縄文土器	群	F-04	包土群			内: ナギ 外: 群別(横手型) 支	黒 SK010	中程度	瓦	小片		
1338	1306-01	縄文土器	群	群	包土群			内: ナギ 外: ナギ、ナギ式、群別	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片	型六次	
1339	1337-08	縄文土器	群	—	包土群			内: ナギ 外: 群別(水付横手型) 支	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1340	538-08	縄文土器	群	F-03	瓦類木炭			内: 木炭 外: 群別	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1341	534-06	縄文土器	群	群	黒瓦木炭			内: ナギ 外: ナギ、群別	群別 SK010	中程度	瓦	小片		
1342	402-07	縄文土器	群	F-02	包土群			内: ナギ 外: 群別	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1343	1303-03	縄文土器	群	群	包土群			内: ナギ 外: 群別(水付横手型) 支	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1344	1340-04	縄文土器	群	群	瓦類木炭			内: ナギ 外: 群別、群別	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1345	1302-01	縄文土器	群	群	包土群			内: ナギ 外: 群別(水付横手型) 支	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1346	1304-01	縄文土器	群	—	黒土			内: ナギ 外: ナギ	黒色 2 群別 SK010	中程度	瓦	口縁部 1.5cm	型六次	
1347	1344-01	縄文土器	群	群	瓦類木炭	10.4		内: 木炭 外: 群別、ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	小片		
1348	407-03	土器類	群	群	包土群	4.0	2.0	0.0	—	—	—	—	型六次 7a 群別観察品	
1349	1270-04	土器類	群	群	包土群	4.0	4.1	0.40	—	—	—	—	型六次 11 群別観察品	
1350	1270-07	土器類	群	群	包土群	1.0	1.0	0.1	—	—	—	—	型六次 10 群別観察品	
1351	1327-04	土器類	群	L-119	包土群	1.8	1.4	0.2	—	—	—	—	型六次 9 群別観察品	
1352	540-04	土器類	群	—	包土群	1.0	1.0	0.0	—	—	—	—	型六次 1 群別観察品	
1353	1270-02	土器類	群	群	包土群	1.4	1.0	0.0	—	—	—	—	型六次 8 群別観察品	
1354	542-04	土器類	群	群	包土群	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	型六次 10 群別観察品	
1355	420-06	土器類	群	群	包土群	1.0	1.0	0.0	—	—	—	—	型六次 11 群別観察品	
1356	1300-05	土器類	群	群	包土群	2.2	4.0	1.4	—	—	—	—	型六次 12 群別観察品	
1357	410-01	土器類	群	群	包土群	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	型六次 10 群別観察品	
1358	1300-02	土器類	群	群	包土群	0.0	4.7	1.4	—	—	—	—	型六次 14 群別観察品	
1359	432-02	土器類	群	群	包土群	0.0	3.0	0.0	—	—	—	—	型六次 9 群別観察品	
1360	410-03	土器類	群	群	包土群	0.0	3.0	1.3	—	—	—	—	型六次 10 群別観察品	
1361	540-03	土器類	群	群	包土群	2.5	2.4	1.0	—	—	—	—	型六次 17 群別観察品	
1362	540-01	土器類	群	群	包土群	2.3	3.0	0.0	—	—	—	—	型六次 9 群別観察品	
1363	1300-01	土器類	群	群	包土群	2.0	2.0	0.7	—	—	—	—	型六次 13 群別観察品	
1364	540-03	土器類	群	群	包土群	2.0	2.4	0.7	—	—	—	—	型六次 10 群別観察品	
1365	400-02	土器類	群	群	包土群	11.1	5.2	2.0	—	—	—	—	型六次 14 群別観察品	
1366	410-02	土器類	群	群	包土群	0.1	0.1	0.0	—	—	—	—	型六次 14 群別観察品	
1367	538-05	土器類	群	群	包土群	0.0	4.0	1.0	—	—	—	—	型六次 17 群別観察品	
1368	427-01	土器類	群	群	包土群	18.1	0.0	0.2	—	—	—	—	型六次 13 群別観察品	
1369	400-01	土器類	群	群	包土群	12.0	16.0	0.2	—	—	—	—	型六次 13 群別観察品	
1370	1300-03	縄文土器	群	J-04	SK010 No. 1				内: ナギ 外: ナギ	二点(1)群 SK010	中程度	瓦	口縁部	
1371	1340-07	縄文土器	群	J-03	SK014				内: ナギ 外: ナギ、浅黄褐色	浅黄褐色 SK014	中程度	瓦	小片	

第 32 表 遺物観察表 (32)

報告番号	発掘場所	種類	器物名	出土位置等 アフリカ	形制 (mm)			調査担当者	出所	出土	時代	用途	備考
					口径	高さ	底径						
1572	1584-05	縄文土器	深鉢	F-403	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ 刺文	深鉢 10737.9	中年代 (～1.3kmの古墳区)	高	小片	
1573	1584-03	縄文土器	深鉢	F-425	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ、刺文	深鉢 10737.9 底径 1702.1		高	小片	
1574	1585-02	縄文土器	深鉢	J-05	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ 刺文、刺文	深鉢 10734.9	高 (～1kmの古墳区)	高	小片	新編縄文表
1575	498-06	縄文土器	深鉢	9-021	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ 刺文	深鉢 10734.9	高 (～3kmの古墳区)	高	小片	
1576	1105-07	縄文土器	深鉢	9-025	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ 刺文	深鉢 10734.9	中年代 (～1.5kmの古墳区)	高	小片	
1577	1105-02	縄文土器	深鉢	9-023	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ			高ナナブ 刺文、刺文、刺文、ナナブ	深鉢 10734.9	中年代 (浅層古墳区)	高	小片	新編縄文表
1578	1575-02	石製品	磨石	S-081	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	13.6	7.7	4.8	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1579	1604-02	石製品	磨石	S-124	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	11.4	5.8	2.2	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1580	1584-02	石製品	磨石	J-021	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	9.2	6.9	1.7	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1581	810-01	石製品	磨石	9-012-11	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	12.6	13.6	6.25	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1582	407-04	石製品	石盤	S-01	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	1.72	1.33	0.76	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1583	1031-02	石製品	石盤	J-09	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	1.5	1.15	0.7	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1584	1575-02	石製品	石盤	J-013	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	2.98	2.98	0.92	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1585	1585-03	石製品	磨石	J-012	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	17.21	3.2	1.9	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1586	1575-01	石製品	磨石	J-015	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	8.1	2.9	1.0	磨石 1074.9	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1587	809-01	石製品	磨石	S-012	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	5.3	3.4	1.3	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1588	801-01	石製品	石	S-06	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	3.16	1.99	0.43	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1589	545-02	石製品	石	T11	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	3.16	2.98	0.95	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1590	545-01	石製品	石	T11	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	4.29	2.76	1.06	—	—	—	—	磨石 1074.9 1074.9
1591	814-02	縄文土器	釜	S-02	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文、刺文	高 (浅層古墳区)	高	口縁部 小片	
1592	814-01	縄文土器	釜	S-03	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1593	1514-05	縄文土器	釜	L-111	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文、刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1594	1575-01	縄文土器	釜	J-014	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1595	1585-06	縄文土器	釜	J-09	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1596	1585-02	縄文土器	釜	S-04	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	中年代	高	小片	
1597	810-06	縄文土器	釜	S-11	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	2.4	中年代		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1598	1575-02	縄文土器	釜	F-47	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	6.0	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	内面磨石
1599	1575-02	縄文土器	釜	J-014	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1600	1144-03	縄文土器	磨石	L-010	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	2.2	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	中年代 (～0.5kmの古墳区)	高	底面 小片	
1601	1574-01	縄文土器	釜	J-019	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	4.7	高ナナブ 刺文		高ナナブ 刺文	中年代 (～1kmの古墳区)	高	底面 小片	
1602	1575-02	縄文土器	鉢	S-019*	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	5.4	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	新編縄文表
1603	1514-05	縄文土器	釜	L-114	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1604	1574-01	縄文土器	釜	J-011	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	4.9	高ナナブ 刺文		高ナナブ 刺文	中年代 (～1kmの古墳区)	高	底面 小片	
1605	1574-01	縄文土器	釜	J-014	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	5.5	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1606	1541-01	縄文土器	釜	L-09	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	10.1	高ナナブ 刺文		高ナナブ 刺文	中年代 (～1kmの古墳区)	高	底面 小片	
1607	1575-07	縄文土器	釜	J-05	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	6.0	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1608	1574-02	縄文土器	深鉢	J-014	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1609	1574-03	縄文土器	深鉢	S-01	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	中年代 (～0.5kmの古墳区)	高	小片	
1610	1574-02	縄文土器	深鉢	F-108	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	中年代	高	小片	
1611	824-07	縄文土器	釜	S-04	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	高 (浅層古墳区)	高	小片	
1612	1574-04	縄文土器	釜	F-40	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ 刺文	中年代	高	小片	
1613	1574-01	縄文土器	釜	L-012	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	7.6	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	中年代	高	底面 小片	
1614	824-04	縄文土器	磨石	S-04	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	5.1	高ナナブ 刺文		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1615	824-03	縄文土器	釜	—	磨石	21.2			高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	高 (浅層古墳区)	高	口縁部 小片	
1616	1585-03	縄文土器	釜	S-013	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	6.7	高ナナブ 刺文		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1617	1575-02	縄文土器	深鉢	F-40	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	高 (浅層古墳区)	高	底面 小片	
1618	1574-02	縄文土器	深鉢	S-010	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	12.3	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	高 (浅層古墳区)	高	口縁部 小片	
1619	1574-02	縄文土器	深鉢	L-110	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ				高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	中年代	高	口縁部 小片	
1620	824-08	縄文土器	深鉢	S-125	宮内庁古事類 自然の巻もろこみ	11.3	高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ		高ナナブ 刺文	中年代 (～1kmの古墳区)	高	口縁部 小片	
1621	1574-04	縄文土器	深鉢	—	磨石	12.6			高ナナブ、中ナ ブ、ナナブ	高 (浅層古墳区)	高	口縁部 小片	

*アフリカ製

第 32 表 遺物観察表 (33)

観測番号	発見番号	種別	遺物名	出土位置等	出土時期等	平面図		設置状況の略図	形状	出土	構成	材料	備考	
						位置	向き							
1822	1346-04	土器類	杯縁	-	縄文	11.6	4.6	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 6.112		
1823	1347-07	土器類	杯縁	9-10	古墳	17.2	4.8	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 6.112	自然埋蔵	
1824	1348-04	土器類	杯縁	9-A21	古墳	11.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1825	1321-06	土器類	杯縁	1-8(1)	縄文	13.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1826	435-02	土器類	杯縁	9-A1	古墳	17.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1827	438-01	土器類	杯縁	9-A2	古墳			内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1828	870-05	土器類	杯縁	9-A15	縄文	13.4		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1829	435-01	土器類	杯縁	9-A1	古墳	14.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1830	430-03	土器類	杯縁	714	◎	15.5	3.45	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112	埋蔵	
1831	430-04	土器類	杯縁	714	◎	14.8		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1832	438-05	土器類	解台	9-11	古墳	9.2		内、口辺ナナジ・縁部・ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1833	438-06	土器類	解台	7-A24	縄文	12.6		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1834	434-03	土器類	杯	9-A21	縄文	12.4		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1835	825-03	土器類	杯	9-A24	木の板	11.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1836	825-01	土器類	解台	9-A24	木の板	17.0	4.1	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	11.112		
1837	820-02	土器類	解台	9-A13	縄文	11.8	4.6	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1838	430-03	土器類	解台	714	◎	12.8	4.0	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1839	820-04	土器類	解台	9-A15	縄文			内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112		
1840	1830-08	土器類	解台	-	縄文		7.0	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 4.112		
1841	1259-02	土器類	解台	9-A23	埋蔵 縄文	12.9	3.8~4.0	5.7	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 4.112	
1842	430-02	土器類	解台	714	◎	9.8		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・口辺ナナジ式	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	自然埋蔵 埋蔵	
1843	430-01	土器類	解台	714	◎	9.0		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	埋蔵	
1844	434-04	土器類	杯	9-A15	縄文			内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1845	438-07	土器類	底	438埋蔵 土器				内、口辺ナナジ・ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	中年代	埋蔵	
1846	820-07	土器類	杯縁	9-A24	木の板	9.3		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1847	430-01	土器類	杯	714	◎	8.5		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112		
1848	1307-08	土器類	杯	9-A23	古墳		8.1	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	へつり「へ」	
1849	435-02	土器類	杯	714	◎	11.5		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1850	820-02	土器類	杯	714	◎	12.0		内、ナナジ・ハナ 外、ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	5.112		
1851	1321-04	土器類	杯	9-A5	埋蔵 縄文	11.0		内、ナナジ・ハナ 外、ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1852	824-02	土器類	杯	9-A15	縄文	11.3		内、ナナジ・ハナ 外、ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1853	1318-02	土器類	杯	723 9-A21	古墳	11.8		内、口辺ナナジ・ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1854	824-01	土器類	杯	9-A4	木の板	11.0		内、ナナジ・ハナ 外、ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1855	438-01	土器類	杯	9-A1	古墳	14.0		内、ハナ・ナナジ 外、ハナ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1856	1317-03	土器類	杯	1-A21	埋蔵 縄文	23.0		内、ナナジ・ハナ 外、ナナジ・ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1857	430-01	土器類	杯	714	◎			内、ハナ 外、ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	杯中央	埋蔵	
1858	904-01	土器類	杯	9-A2	埋蔵 縄文			内、ナナジ 外、ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	中年代	埋蔵	
1859	520-04	山家類	杯	711		14.4	8.4	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1860	520-08	山家類	杯	711		11.6		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1861	520-08	山家類	杯	711		12.7		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	口縁部 5.112		
1862	1127-06	山家類	杯	1-A23	埋蔵 縄文	7.4		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	埋蔵	
1863	520-07	山家類	杯	711		7.1		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112		
1864	520-09	山家類	杯	711		5.7		内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112		
1865	520-03	山家類	小皿	711		8.2	1.6	5.0	内、口辺ナナジ 外、口辺ナナジ・縁部	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	
1866	1837-04	土器類	土器	7-A21	古墳	4.7	1.3		美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	美原 7.3	
1867	820-08	土器類	杯縁	-	縄文	4.0	4.16	1.94	美原 2 314(1)	中年代 (1~2世紀前半)	底	美原 5.112	美原 7.3	